



Information-technology
Promotion
Agency, Japan

2016年度
情報セキュリティの脅威に対する意識調査
－ 調査報告書 －

2016年12月

独立行政法人 情報処理推進機構

目次

1	調査概要	P3~4
2	回答者属性	P5~7
3	調査結果概要	P8~16
4	調査結果詳細【パソコン調査】	P17
4-1	パソコンでのインターネット利用状況	P18~37
4-2	情報セキュリティの脅威に対する意識	P38~55
4-3	情報セキュリティに関する被害状況	P56~63
4-4	情報セキュリティ対策の実施状況	P64~94
5	調査結果詳細【スマートデバイス調査】	P95
5-1	スマートデバイスでのインターネット利用状況	P96~106
5-2	情報セキュリティの脅威に対する意識・被害状況・対策	P107~127

1

調査概要

1.調査概要

調査目的	本調査は、過去に当機構が実施した「情報セキュリティの脅威に対する意識調査」を継承し、インターネット利用者を対象としたアンケート調査を実施することで、パソコンおよびスマートデバイスの個人利用者が、情報セキュリティ関連の脅威に対する認識をどの程度深めているか、どの程度対策を進めているか等を把握し、今後の普及啓発活動に役立てることを目的とする。																																																																																																																																																	
調査対象者	<p>【対象者条件】 全国13歳以上の、①パソコンでのインターネット利用者ならびに②スマートデバイス（スマートフォンまたはタブレット端末）でのインターネット利用者。それぞれの利用者の性別・年代別構成をもとに割り付けて回収（下表参照）。</p> <p>【納品サンプル数および割付】 ①パソコンでの情報セキュリティの脅威に対する意識調査（以下「パソコン調査」） 5,000サンプル ②スマートデバイスでの情報セキュリティの脅威に対する意識調査（以下「スマートデバイス調査」） 5,000サンプル ※①②の振り分けにあたっては、事前調査にて、①は「インターネットはパソコンのみで行う」または「インターネットの利用時間がスマートデバイスよりパソコンの方が長い」回答者を、②は「インターネットはスマートデバイスのみで行う」または「インターネットの利用時間がパソコンよりスマートデバイスの方が長い」回答者を抽出。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①パソコン調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">男性</th> <th colspan="2">女性</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>n数</th> <th>%</th> <th>n数</th> <th>%</th> <th>n数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>13-14歳</td><td>60</td><td>1.2%</td><td>45</td><td>0.9%</td><td>105</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>15-19歳</td><td>138</td><td>2.8%</td><td>142</td><td>2.8%</td><td>280</td><td>5.6%</td></tr> <tr><td>20-29歳</td><td>353</td><td>7.1%</td><td>406</td><td>8.1%</td><td>759</td><td>15.2%</td></tr> <tr><td>30-39歳</td><td>453</td><td>9.1%</td><td>448</td><td>9.0%</td><td>901</td><td>18.0%</td></tr> <tr><td>40-49歳</td><td>559</td><td>11.2%</td><td>504</td><td>10.1%</td><td>1,063</td><td>21.3%</td></tr> <tr><td>50-59歳</td><td>448</td><td>9.0%</td><td>351</td><td>7.0%</td><td>799</td><td>16.0%</td></tr> <tr><td>60-69歳</td><td>452</td><td>9.0%</td><td>269</td><td>5.4%</td><td>721</td><td>14.4%</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>277</td><td>5.5%</td><td>95</td><td>1.9%</td><td>372</td><td>7.4%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2,740</td><td>54.8%</td><td>2,260</td><td>45.2%</td><td>5,000</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②スマートデバイス調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">男性</th> <th colspan="2">女性</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>n数</th> <th>%</th> <th>n数</th> <th>%</th> <th>n数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>13-14歳</td><td>70</td><td>1.4%</td><td>49</td><td>1.0%</td><td>119</td><td>2.4%</td></tr> <tr><td>15-19歳</td><td>218</td><td>4.4%</td><td>222</td><td>4.4%</td><td>440</td><td>8.8%</td></tr> <tr><td>20-29歳</td><td>453</td><td>9.1%</td><td>550</td><td>11.0%</td><td>1,003</td><td>20.1%</td></tr> <tr><td>30-39歳</td><td>554</td><td>11.1%</td><td>622</td><td>12.4%</td><td>1,176</td><td>23.5%</td></tr> <tr><td>40-49歳</td><td>560</td><td>11.2%</td><td>602</td><td>12.0%</td><td>1,162</td><td>23.2%</td></tr> <tr><td>50-59歳</td><td>355</td><td>7.1%</td><td>362</td><td>7.2%</td><td>717</td><td>14.3%</td></tr> <tr><td>60-69歳</td><td>216</td><td>4.3%</td><td>167</td><td>3.3%</td><td>383</td><td>7.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2,426</td><td>48.5%</td><td>2,574</td><td>51.5%</td><td>5,000</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>		男性		女性		合計		n数	%	n数	%	n数	%	13-14歳	60	1.2%	45	0.9%	105	2.1%	15-19歳	138	2.8%	142	2.8%	280	5.6%	20-29歳	353	7.1%	406	8.1%	759	15.2%	30-39歳	453	9.1%	448	9.0%	901	18.0%	40-49歳	559	11.2%	504	10.1%	1,063	21.3%	50-59歳	448	9.0%	351	7.0%	799	16.0%	60-69歳	452	9.0%	269	5.4%	721	14.4%	70歳以上	277	5.5%	95	1.9%	372	7.4%	合計	2,740	54.8%	2,260	45.2%	5,000	100.0%		男性		女性		合計		n数	%	n数	%	n数	%	13-14歳	70	1.4%	49	1.0%	119	2.4%	15-19歳	218	4.4%	222	4.4%	440	8.8%	20-29歳	453	9.1%	550	11.0%	1,003	20.1%	30-39歳	554	11.1%	622	12.4%	1,176	23.5%	40-49歳	560	11.2%	602	12.0%	1,162	23.2%	50-59歳	355	7.1%	362	7.2%	717	14.3%	60-69歳	216	4.3%	167	3.3%	383	7.7%	合計	2,426	48.5%	2,574	51.5%	5,000	100.0%
	男性		女性		合計																																																																																																																																													
	n数	%	n数	%	n数	%																																																																																																																																												
13-14歳	60	1.2%	45	0.9%	105	2.1%																																																																																																																																												
15-19歳	138	2.8%	142	2.8%	280	5.6%																																																																																																																																												
20-29歳	353	7.1%	406	8.1%	759	15.2%																																																																																																																																												
30-39歳	453	9.1%	448	9.0%	901	18.0%																																																																																																																																												
40-49歳	559	11.2%	504	10.1%	1,063	21.3%																																																																																																																																												
50-59歳	448	9.0%	351	7.0%	799	16.0%																																																																																																																																												
60-69歳	452	9.0%	269	5.4%	721	14.4%																																																																																																																																												
70歳以上	277	5.5%	95	1.9%	372	7.4%																																																																																																																																												
合計	2,740	54.8%	2,260	45.2%	5,000	100.0%																																																																																																																																												
	男性		女性		合計																																																																																																																																													
	n数	%	n数	%	n数	%																																																																																																																																												
13-14歳	70	1.4%	49	1.0%	119	2.4%																																																																																																																																												
15-19歳	218	4.4%	222	4.4%	440	8.8%																																																																																																																																												
20-29歳	453	9.1%	550	11.0%	1,003	20.1%																																																																																																																																												
30-39歳	554	11.1%	622	12.4%	1,176	23.5%																																																																																																																																												
40-49歳	560	11.2%	602	12.0%	1,162	23.2%																																																																																																																																												
50-59歳	355	7.1%	362	7.2%	717	14.3%																																																																																																																																												
60-69歳	216	4.3%	167	3.3%	383	7.7%																																																																																																																																												
合計	2,426	48.5%	2,574	51.5%	5,000	100.0%																																																																																																																																												
調査手法	インターネット調査																																																																																																																																																	
調査時期	2016年10月6日(木)～2016年10月12日(水)																																																																																																																																																	
調査実施会社	株式会社ネオマーケティング																																																																																																																																																	
調査結果の見方	<ul style="list-style-type: none"> ・nは回答者数を表している。 ・回答率(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。 ・設問の回答には、単一回答と複数回答がある。複数回答の設問は、回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。 ・nが30未満の数値は参考値とする。 																																																																																																																																																	

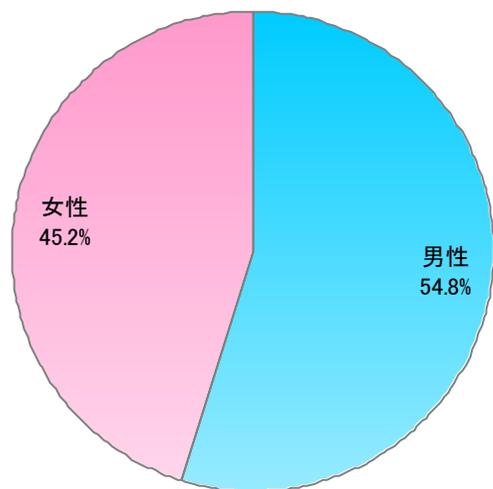
2

回答者属性

2.回答者属性【パソコン調査】

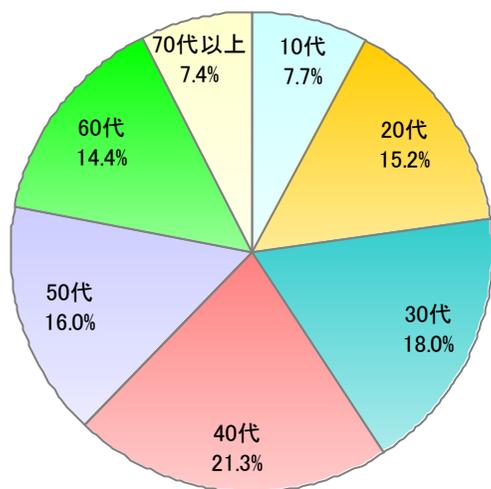
性別

(n=5000)



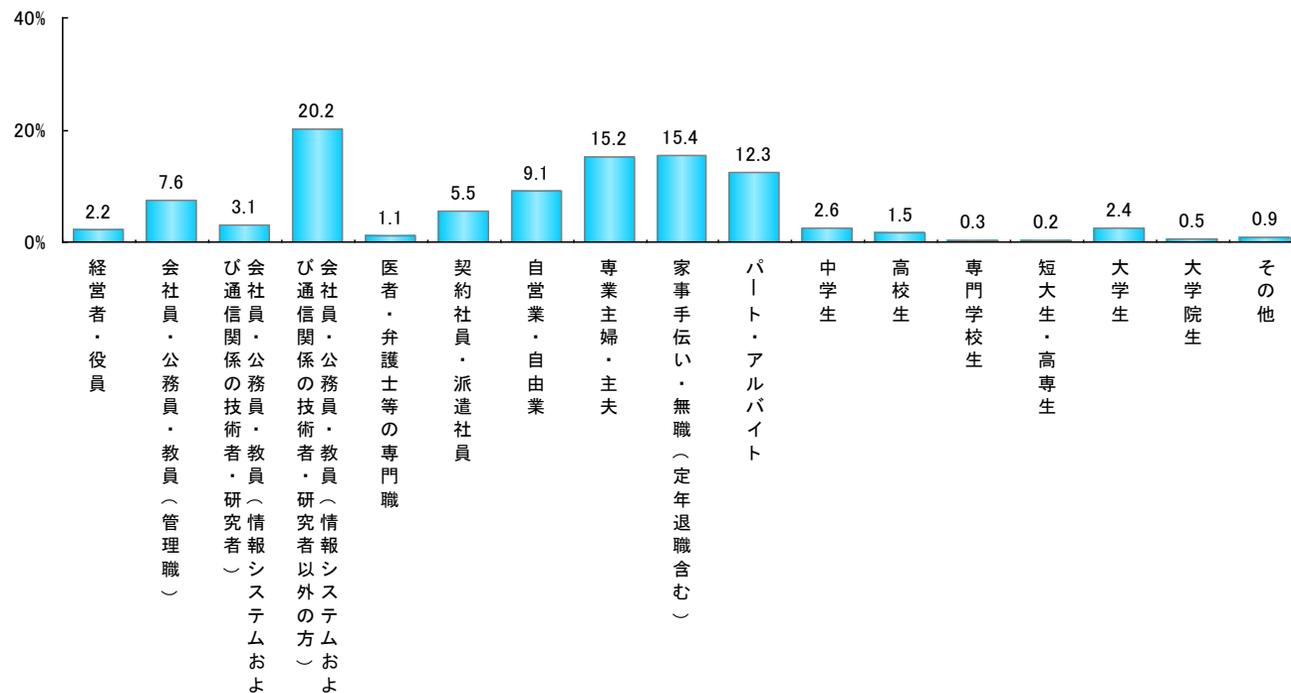
年代

(n=5000)



職業

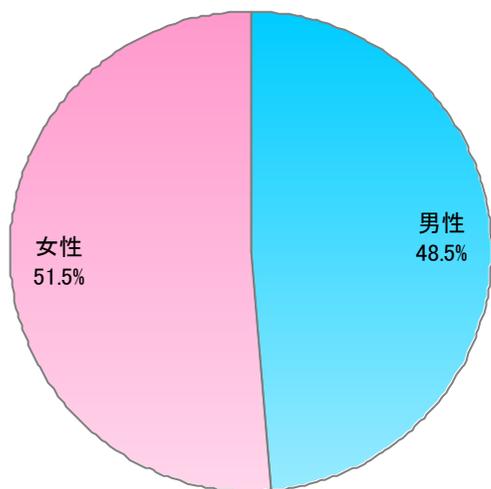
(n=5000)



2.回答者属性【スマートデバイス調査】

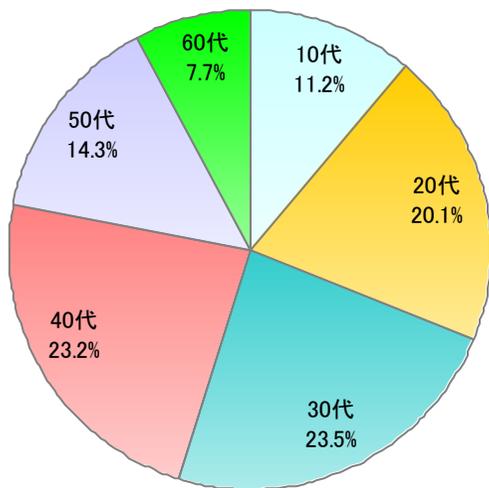
性別

(n=5000)



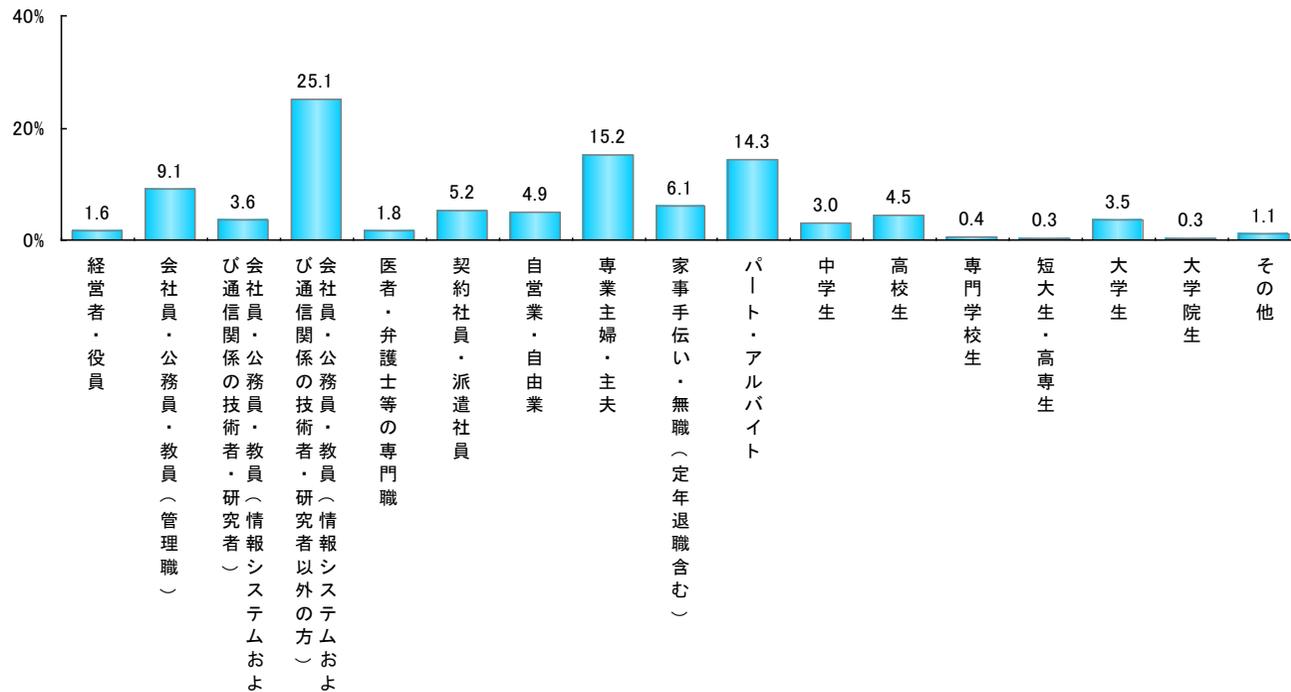
年代

(n=5000)



職業

(n=5000)



3

調査結果概要

3.結果概要 (1) インターネットサービスの利用状況①

インターネットは主に情報収集や買い物目的での利用が多い。スマートデバイスでは「SNS」も6割弱と利用者が多い。

- インターネット利用時の使用機器のOSは、パソコンでは「Windows 10」が前回調査から大幅に増加し最多に。スマートデバイスでは、Androidが最多であるがiOSが僅差で続いている。

パソコン利用者の使用機器のOS

- 使用機器のOSについて最も高いのは、「Windows 10」(42.3%)である。次いで「Windows 7」(30.8%)、「Windows 8 / 8.1」(13.1%)、「Windows Vista」(4.4%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「Windows 10」の割合が32.3ポイントと大きく増加している。反対に「Windows 7」が15.4ポイント、「Windows 8 / 8.1」が11.9ポイントと大きく減少。

【パソコン調査】使用機器のOS (p.20)

スマートデバイス利用者の使用機器のOS

- 使用機器のOSについて最も高いのは、「Android」(49.3%)である。次いで「iOS」(44.4%)、「Windows (Windows Phone、Windows Mobile、Windows RT、Windows 8 / 8.1、Windows 10)」(3.2%)、「わからない」(2.9%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「Android」の割合が3.6ポイントとやや増加。

【スマートデバイス調査】使用機器のOS (p.98)

- インターネットの利用用途の上位は「検索サイト・ポータルサイト」のほか、「インターネットショッピング」、「ニュースサイト」など。スマートデバイス利用者では「SNS」も6割弱が利用。

パソコン利用者のインターネットの利用用途

- インターネットの利用用途について最も高いのは、「検索サイト・ポータルサイト」(84.8%)である。次いで「インターネットショッピング」(73.2%)、「ニュースサイト」(66.2%)、「電子メール」(59.7%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「ニュースサイト」が8.2ポイント、「企業・団体のサイト」が8.2ポイント、「インターネットショッピング」が6.3ポイント、「インターネットバンキング」が7.6ポイント、「旅行のオンライン予約サイト」が5.9ポイント、「商品比較・クチコミ等のコミュニティサイト」が5.4ポイント、「Q&Aサイト」が7.6ポイント、「電子メール」が7.4ポイント、「懸賞サイト」が8.6ポイント増加、「動画共有サイト」の割合が3.5ポイントとやや増加。

【パソコン調査】インターネットの利用用途 (p.27-28)

スマートデバイス利用者のインターネットの利用用途

- インターネットの利用用途について最も高いのは、「検索サイト・ポータルサイト」(83.4%)である。次いで「ニュースサイト」(61.4%)、「SNS」(58.7%)、「インターネットショッピング」(56.1%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「検索サイト・ポータルサイト」が3.3ポイント、「企業・団体のサイト」が3.3ポイント、「インターネットバンキング」が3.6ポイント、「懸賞サイト」が3.4ポイントとやや増加。

【スマートデバイス調査】インターネットの利用用途 (p.104-105)

3.結果概要 (2) インターネットサービスの利用状況②

スマートデバイスでの公衆無線LAN利用率が前回調査よりやや増加し3割を超える。利用しているサービスは、ホームページやブログの閲覧が約8割。インターネットバンキングやオンライントレード等の金融関連サービスの利用者がやや増加。

- スマートデバイスでの無線LAN接続時の環境は「暗号化や認証等のセキュリティ対策が施されている環境で接続する」が約5割で最も高い。利用しているサービスは、「ホームページやブログなどの閲覧」が約8割で最も高い。

スマートデバイス利用者の無線LAN (Wi-Fi) 接続時の環境

- 無線LAN (Wi-Fi) 接続時の環境について最も高いのは、「暗号化や認証等のセキュリティ対策が施されている環境で接続する」(54.0%)である。次いで「公衆無線LANなどのフリーWi-Fiを利用して接続する」(31.5%)、「モバイルルータを利用してキャリア網に接続する」(23.1%)、「無線LANは使わない」(18.9%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「暗号化や認証等のセキュリティ対策が施されている環境で接続する」の割合が4.6ポイントとやや減少。

【スマートデバイス調査】無線LAN (Wi-Fi) 接続時の環境 (p.113)

スマートデバイス利用者の公衆無線LAN接続時の利用サービス

- 公衆無線LAN (Wi-Fi) 接続時に利用しているサービスについて最も高いのは、「ホームページやブログ等の閲覧」(81.5%)である。次いで「ネットショッピングやネットオークションでの買い物」(33.2%)、「Web掲示板やSNSへの書き込み」(32.9%)、「インターネットバンキングやオンライントレード等の金融関連サービス」(14.5%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「インターネットバンキングやオンライントレード等の金融関連サービス」の割合が3.2ポイントとやや増加。

【スマートデバイス調査】公衆無線LAN (Wi-Fi) 接続時に利用しているサービス (p.114)

3.結果概要 (3) インターネット利用時の不安要素①

インターネット利用時の不安要素は、サイトやサービスを問わず「コンピュータウイルスへの感染が心配」が多い。インターネットショッピングやインターネットオークションでは「詐欺被害に遭うことが心配」、インターネットバンキングや株のネット取引では「知らない間に銀行口座からお金が引き出されることが心配」が多く、サービスの種類によって不安となる要素は異なる。

■ インターネット利用時の不安要素は、「コンピュータウイルスへの感染」が上位である。

パソコン利用者のインターネット利用時の不安要素

- 「検索サイト・ポータルサイト」「ニュースサイト」「企業・団体のサイト」「インターネットショッピング」は、「企業・団体のサイト」で「漠然とした不安を感じている」(17.1%)が前回調査より5.6ポイント増加。「インターネットショッピング」で「詐欺被害に遭うことが心配」(20.2%)が前回調査より4.5ポイント減少。
- 「インターネットオークション」「インターネットバンキング」「株のネット取引」「旅行のオンライン予約サイト」は、「インターネットバンキング」で「詐欺被害に遭うことが心配」(17.2%)が前回調査より4ポイント減少。「株のネット取引」で「特に不安を感じていない」(33.7%)が前回調査より6.5ポイント減少。「旅行のオンライン予約サイト」で「特に不安を感じていない」(39.5%)が前回調査より4ポイント減少。
- 「商品比較・クチコミ等のコミュニティサイト」「Q&Aサイト」「掲示板」「Wikipedia等、百科事典サイト、オンライン辞書」は、「掲示板」で「特に不安を感じていない」(45.0%)が前回調査より4.1ポイント減少。
- 「SNS」「アプリによる通話」「電子メール」「オンラインゲーム」は、「SNS」で「知らないところでの個人情報の掲載や誹謗・中傷などが心配」(20.5%)が前回調査より5.6ポイント減少。「アプリによる通話」で「知らないところでの個人情報の掲載や誹謗・中傷などが心配」(10.6%)が前回調査より5.6ポイント減少。
- 「懸賞サイト」「映像や音楽、電子書籍の購入」「動画共有サイト」「クラウドサービス」は、「懸賞サイト」で「パソコンに届く迷惑メールが増えることが心配」(23.1%)が前回調査より5.4ポイント減少。「映像や音楽、電子書籍の購入」で「身に覚えのない料金の支払い要求が増えることが心配」(11.5%)が前回調査より5.3ポイント減少、「特に不安を感じていない」(41.9%)が6ポイント減少。
- 「アダルトサイトの閲覧」「海外サイトの閲覧」「ファイル交換ソフトの利用」は、「アダルトサイトの閲覧」で「身に覚えのない料金の支払い要求が増えることが心配」(26.5%)が前回調査より7ポイント減少、「違法行為や迷惑行為として取り締まりを受けることが心配」(10.1%)が5.3ポイント減少。「海外サイトの閲覧」で「コンピュータウイルスへの感染が心配」(51.0%)が前回調査より5.3ポイント増加。「ファイル交換ソフトの利用」で「詐欺被害に遭うことが心配」(12.8%)が前回調査より5.1ポイント減少、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(25.5%)で13ポイント減少、「知らない間に銀行口座からお金が引き出されることが心配」(4.3%)が6ポイント減少、「自分が意図せず、自動的に不正なサイトへ誘導されることが心配」(8.5%)が4.3ポイント、「違法行為や迷惑行為として取り締まりを受けることが心配」(8.5%)が12ポイント減少、「検索やアクセスの履歴、アップロードしたデータ等の漏えいが心配」(8.5%)が9.4ポイント減少、「漠然とした不安を感じている」(6.4%)が14.1ポイント減少、「特に不安を感じていない」(51.1%)が17.8ポイント増加。

【パソコン調査】インターネット利用時の不安要素 (p.31-36)

3.結果概要 (4) インターネット利用時の不安要素②

漏えいしたら困る情報は、パソコン利用者、スマートデバイス利用者ともに「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」「銀行の口座情報」が7割以上。前回調査と比べてほぼ横ばいか、やや減少している項目が多い。

- インターネット上に漏えいしたら困る情報は、パソコン利用者は「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」「銀行の口座情報」が7割以上。スマートデバイスでは「住所」「携帯電話番号」「マイナンバー」「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」「氏名」「銀行の口座情報」が7割以上。

パソコン利用者のインターネット上に漏えいしたら困る情報

- インターネット上に漏えいしたら困る情報について最も高いのは、「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」(71.7%)である。次いで「銀行の口座情報」(70.2%)、「住所」(67.0%)、「マイナンバー」(66.9%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「マイナンバー」が6.2ポイント、「生年月日」が5.3ポイント減少。「住所」が3.9ポイント、「勤務先・通学先」が3ポイント、「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」が3.4ポイント、「銀行の口座情報」が4.2ポイント、「ウェブの閲覧履歴」が3.2ポイントとやや減少。

【パソコン調査】インターネット上に漏えいしたら困る情報 (p.37)

スマートデバイス利用者のインターネット上に漏えいしたら困る情報

- インターネット上に漏えいしたら困る情報について最も高いのは、「住所」(77.0%)である。次いで「携帯電話番号」(75.7%)、「マイナンバー」(75.3%)、「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」(75.1%)、「氏名」(75.0%)、「銀行の口座情報」(74.1%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「職業」が3.4ポイント、「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」が3.0ポイント、「銀行の口座情報」が4.2ポイント、「ウェブの検索履歴」が3.6ポイント、「ウェブの閲覧履歴」が3.7ポイント、「位置情報」が3.8ポイント、「インターネット上にバックアップした写真」が3.6ポイント、「ネットストレージ等のインターネット上にアップロードしたデータ」が3.5ポイントとやや減少。

【スマートデバイス調査】インターネット上に漏えいしたら困る情報 (p.106)

3.結果概要 (5) 情報セキュリティの脅威に関する認知・理解

情報セキュリティに関する攻撃・脅威等では、「ワンクリック請求」、「フィッシング詐欺」の認知度が約9割と高い。国内で被害が増加している「ランサムウェア」は認知度は増加したものの4割にも満たない状況。スマートデバイスのウイルスの認知度は、前回調査よりやや減少したものの約7割と高い。習熟度による認知度の差が大きい。

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等では、認知度・理解度ともに「ワンクリック請求」がトップ。2016年に入り被害が増加している「ランサムウェア」の認知度は4割にも満たない状況。

パソコン利用者の情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知・理解

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知について最も高いのは、「ワンクリック請求」(88.7%)である。次いで「フィッシング詐欺」(87.2%)、「cookie」(83.1%)、「セキュリティホール」(72.1%)と続く。
- 「認知」割合を、前回調査と比較すると、「ランサムウェア」(34.1%)の割合が7.2ポイント増加。「マルウェア」(51.9%)の割合が3.2ポイント、「オプトアウト/オプトイン」(33.2%)の割合が3.9ポイントとやや増加。「ランサムウェア」は、2016年に入り被害が増加しているが、一般利用者の認知度は4割未満とまだ低い。
- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度について、全問正解の割合をみると、「ワンクリック請求」(23.7%)が最も高い。次いで「セキュリティホール」(18.8%)、「フィッシング詐欺」(17.1%)、「マルウェア」(11.2%)、「偽セキュリティソフト」(11.2%)と続く。

【パソコン調査】情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知 (p.38-40)

【パソコン調査】情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度 (p.41-46)

- スマートデバイスのウイルス認知は、前回調査から4.5ポイント減少。習熟度による認知率の差が大きい。

スマートデバイスのウイルス認知

- スマートデバイスのウイルス認知については、「詳しい内容について知っている」(5.2%)、「概要をある程度知っている」(24.0%)、「そのようなものがあることを聞いたことがある程度である」(38.3%)を合計した認知度が67.5%であり、「全く知らなかった」は32.5%。
- SD習熟度でみると、レベルの高い層ほど認知度が高く、レベル4では85.2%、レベル1では34.9%と大きな差が見られる。レベル4は「詳しい内容について知っている」が15.8ポイント、「概要をある程度知っている」が18.2ポイント、レベル1は「全く知らなかった」が32.6ポイントと全体よりも高い。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「全く知らなかった」の割合が全体よりも35.1ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、認知率が4.5ポイントとやや減少しており、「全く知らなかった」が4.5ポイントとやや増加。

【スマートデバイス調査】スマートデバイスのウイルス認知 (p.118)

3.結果概要 (6) 情報セキュリティに関する被害・トラブル経験

パソコン利用者の過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルの経験率は約3割。
情報セキュリティに関する金銭的被害の経験率は5.0%で前回調査と同程度であるが、高額被害も含めた平均被害金額は増加。

■ 過去1年間の被害経験率は約3割である。被害経験者の約3人に1人が「自力で対処」「何もしなかった」と回答。

パソコン利用者の情報セキュリティに関する被害・トラブル経験

- 過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルについて、何らかの被害があった人は32.8%。被害・トラブルの上位は「全く知らない差出人から大量のメールが送られてきた」(13.5%)、「急にパソコンの動作が重くなったり、動かなくなったりした」(10.4%)であった。
- 前回調査と比較すると、「被害にあったことはない」の割合が3.8ポイントとやや減少。
- 情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法について最も高いのは、「自力で対処」(31.5%)である。次いで「家族・友人・知人に相談」(15.3%)、「パソコンメーカーに相談」(10.7%)と続く。一方、被害・トラブル経験者のうち、約3人に1人が「何もしなかった」(33.4%)と回答。
- 性別で見ると、男性は「自力で対処」が8.0ポイント、女性は「家族・友人・知人に相談」が7.8ポイント、全体よりもやや高い。
- 年代別で見ると、10代は「家族・友人・知人に相談」の割合が全体よりも12.7ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、「何もしなかった」の割合が7.5ポイント増加している。反対に「自力で対処」の割合が4.6ポイントとやや減少。
- 情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由について最も高いのは、「何をしてもよいかわからなかった」(46.2%)である。次いで「対処の必要性を感じなかった」(42.5%)、「面倒だった」(15.9%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「何をしてもよいかわからなかった」の割合が全体よりも7.2ポイントとやや高い。
- 前回調査と比較すると、「何をしてもよいかわからなかった」の割合が6.5ポイント増加している。反対に「対処の必要性を感じなかった」の割合が8.1ポイント減少。

【パソコン調査】過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブル (p.56-57)

【パソコン調査】情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法 (p.62)

【パソコン調査】情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由 (p.63)

■ パソコンでの情報セキュリティに関する金銭的被害の経験率は5.0%で前回調査と同程度。平均被害金額は125,794円と前回調査よりも71,271円増加しており、「10万円以上」の被害が9.1ポイント増加。

パソコン利用者の情報セキュリティに関する金銭的被害経験

- 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害経験割合は5.0%である。
- 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額は平均125,794円である。前回調査と比較すると、71,271円増加しており、「10万円以上」の被害が9.1ポイント増加。330万円の高額被害（投資詐欺）も見られた。

【パソコン調査】過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害経験 (p.58)

【パソコン調査】過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額 (p.59-61)

3.結果概要 (7) 情報セキュリティに関する被害・トラブル経験

スマートデバイス利用者のウイルスの感染・発見経験率が、年々増加。

最も被害金額の大きいものは「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ」の50万円。

※サンプル数が少ないため、参考値

■ スマートデバイスのウイルスは感染経験、発見経験ともに年々増加。

スマートデバイス利用者のウイルス感染経験

- スマートデバイスのウイルス感染経験について最も高いのは、「感染・発見したことはない」(65.2%)である。次いで「感染したことはないが、セキュリティソフトなどで発見したことがある」(25.9%)、「感染したことがある」(5.3%)、「わからない」(3.7%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「感染したことはないが、セキュリティソフトなどで発見したことがある」が6.7ポイント増加。反対に「感染・発見したことはない」が3.6ポイント、「わからない」が3.9ポイントとやや減少。
- スマートデバイスのウイルス感染時の被害状況について最も高いのは、「個人情報の流出」(48.1%)である。次いで「友人・知人の情報の流出」(26.0%)、「不正な請求メッセージの表示」(26.0%)と続く。
- 前回調査と比較すると「個人情報の流出」が10.6ポイント、「不正な請求メッセージの表示」が13.5ポイントと大きく増加。
- セキュリティ被害・トラブル時の対処法について最も高いのは、「スマートデバイスメーカーに相談」(61.0%)である。次いで「携帯電話会社に相談」(28.8%)、「スマートデバイスを購入した販売店に相談」(20.3%)、「サービスの提供会社に相談」(16.9%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「スマートデバイスメーカーに相談」が16.8ポイントと大きく増加。「銀行・クレジットカード会社へ連絡」が4.5ポイントとやや増加。

【スマートデバイス調査】スマートデバイスのウイルス感染経験 (p.119)

【スマートデバイス調査】スマートデバイスのウイルス感染時の被害状況 (p.120)

【スマートデバイス調査】セキュリティ被害・トラブル時の対処法 (p.121)

■ 最も被害金額の大きいものは「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ」の50万円。

スマートデバイス利用者の情報セキュリティに関する金銭的被害経験

- 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害について、「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ」は最も被害者が多く(5人)、1万円未満が2人、中央値は10,000円、平均値は107,916円、最大被害額は50万円。 ※サンプル数が少ないため、参考値

【スマートデバイス調査】過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額 (p.123-124)

3.結果概要 (8) 情報セキュリティ対策の浸透度

パソコン利用者の情報セキュリティ対策として「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」を約半数が実施。サービス毎に異なるパスワードを設定している人は3割弱。管理方法は「紙にメモ」「自分で記憶」などが大半。

- パソコンでの情報セキュリティ対策は「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」がトップ。スマートデバイスでは「OSのアップデート」、「信頼できる場所からアプリをインストールする」が上位。

パソコン利用者の情報セキュリティ対策の状況

- 情報セキュリティ対策で最も高いのは、「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」(48.9%)である。次いで「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」(43.9%)、「WindowsUpdate等によるセキュリティパッチの更新」(43.7%)、「怪しいと思われるウェブサイトにはアクセスしない」(41.3%)と続く。

【パソコン調査】情報セキュリティ対策 (p.72)

スマートデバイス利用者の情報セキュリティ対策の状況

- スマートデバイスのセキュリティ対策の実施状況について最も高いのは、「OSのアップデート」(43.2%)である。次いで「信頼できる場所からアプリをインストールする」(41.5%)、「インストールしたアプリのアップデート」(29.5%)と続く。

【スマートデバイス調査】スマートデバイスのセキュリティ対策の実施状況 (p.127)

- サービス毎に異なるパスワードを設定している人は3割弱。管理方法は「手帳などの紙にメモをしている」「自分で記憶している」が大半。

パソコン利用者のパスワードの設定方法

- パスワードの設定方法について最も高いのは、「パスワードは誕生日など推測されやすいものを避けて設定している」(47.0%)である。次いで「パスワードはわかりにくい文字列を設定している」(46.0%)、「サービス毎に異なるパスワードを設定している」(26.9%)、「パスワードは定期的に変更している」(23.7%)と続く。
- 管理しているID（アカウント）が2種類以上の回答者のうち、32.4%がサービス毎に異なるパスワードを設定。
- パソコン習熟度でみると、パソコン習熟度が高い人ほど、サービス毎に異なるパスワードを設定している割合が高い。
- ID・パスワードの管理方法について最も高いのは、「手帳などの紙にメモをしている」(53.6%)である。次いで「自分で記憶している」(52.0%)、「ブラウザの保存機能を使っている」(12.0%)、「パソコンにインストールして使うアカウント管理ソフトウェアを使っている」(7.0%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「手帳などの紙にメモをしている」の割合が4.6ポイントとやや増加。

【パソコン調査】パスワードの設定方法 (p.64-67)

【パソコン調査】ID・パスワードの管理方法 (p.68)

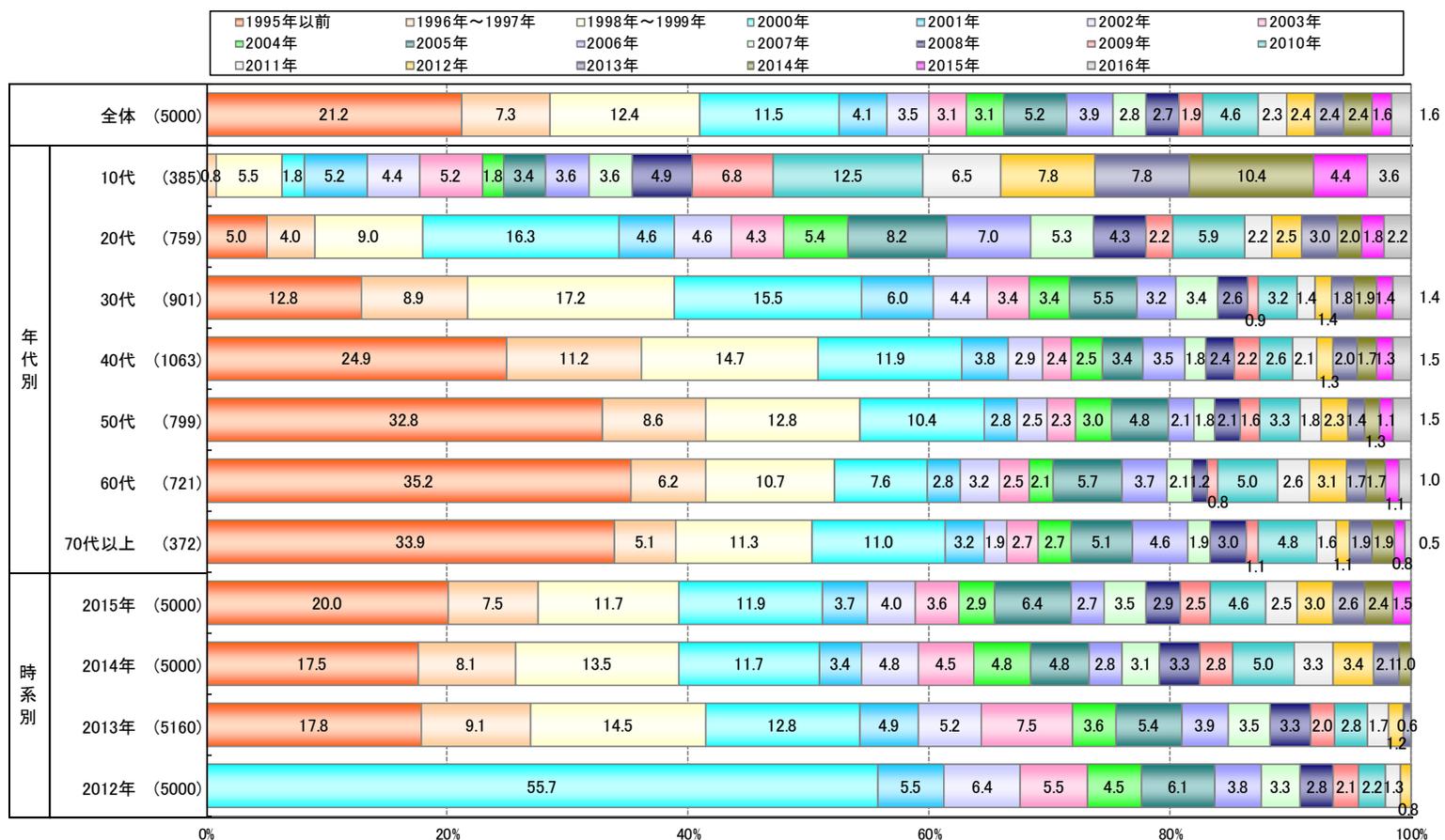
4

調査結果詳細【パソコン調査】

4-1.パソコンでのインターネット利用状況 4-1-1.インターネット利用開始時期

- インターネット利用開始時期について最も高いのは、「1995年以前」(21.2%)である。次いで「1998年～1999年」(12.4%)、「2000年」(11.5%)、「1996年～1997年」(7.3%)と続く。
- 年代別で見ると、50代以降では「1995年以前」の割合が全体よりも約11～14ポイント高い。

【Q2】 あなたが、パソコンでインターネットを利用し始めた時期はいつですか。覚えていない場合はだいたいの時期で構いませんので以下よりご回答ください。（お答えは1つ）



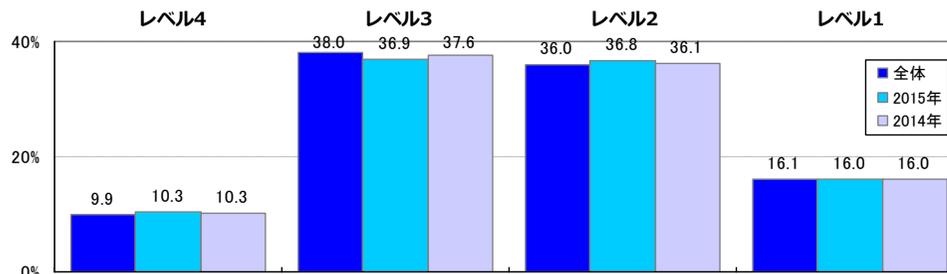
4-1-2.パソコンの習熟度

- パソコンの習熟度について最も高いのは、「必要なソフトウェアをインストールして使ったり、パソコンやソフトウェアの設定を変えて使ったりできるレベルである」(38.0%)である。次いで「メールを使ったり、ホームページを閲覧したり、文章を書いたりするのに支障がないレベルである」(36.0%)、「パソコンの設定はお店や家族・知人に任せ、メールやホームページの閲覧をする程度で簡単な操作ならできるレベルである」(16.1%)、「パソコンを組み立てたり、トラブルが起きても自分で解決できるレベルである」(9.9%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「レベル1」が7.8ポイント、20代は「レベル3」が8ポイント、「レベル2」は60代が5.6ポイント、70代以上が6.2ポイントと全体よりもやや高い。
- 職業別で見ると、会社員・公務員・教員（情報システムおよび通信関係の技術者・研究者）は「レベル4」が24.7ポイント、中学生は「レベル1」が16.5ポイントと全体よりも高い。

【Q3】 あなたはパソコンで以下のことを自分ひとりでできますか。最もあてはまるレベルをお答えください。（お答えは1つ）

※習熟度を以下のように定義し、分析に使用している。

- レベル4：非常に習熟している（パソコンを組み立てたり、トラブルが起きても自分で解決できるレベルである）
- レベル3：習熟している（必要なソフトウェアをインストールして使ったり、パソコンやソフトウェアの設定を変えて使ったりできるレベルである）
- レベル2：基本操作は習熟（メールを使ったり、ホームページを閲覧したり、文章を書いたりするのに支障がないレベルである）
- レベル1：入門・初心者（パソコンの設定はお店や家族・知人に任せ、メールやホームページの閲覧をする程度で簡単な操作ならできるレベルである）



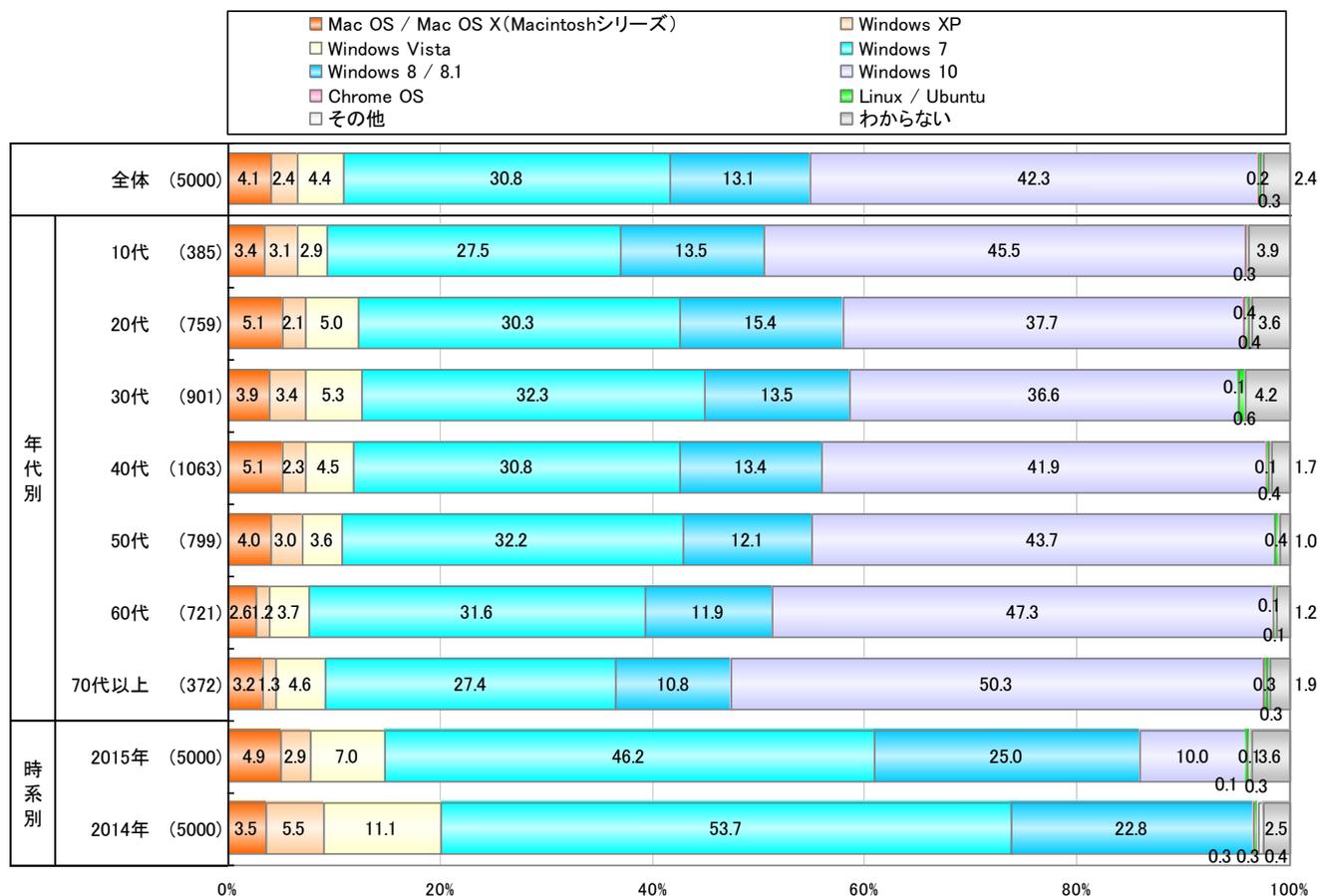
- 全体+10%以上
- 全体+5%以上
- 全体-5%以下
- 全体-10%以下 (属性n=30以上)

	全体	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	
全体	5000	9.9	38.0	36.0	16.1	
年代別	10代	385	8.1	28.6	39.5	23.9
	20代	759	9.9	46.0	32.0	12.1
	30代	901	10.5	39.8	36.4	13.2
	40代	1063	12.6	40.9	31.4	15.1
	50代	799	10.1	35.7	36.0	18.1
	60代	721	7.5	33.6	41.6	17.3
	70代以上	372	6.2	32.8	42.2	18.8
職業別	経営者・役員	108	12.0	50.0	27.8	10.2
	会社員・公務員・教員(管理職)	379	16.6	39.8	30.3	13.2
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)	156	34.6	47.4	10.3	7.7
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)	1009	11.5	44.5	30.8	13.2
	医者・弁護士等の専門職	55	9.1	36.4	25.5	29.1
	契約社員・派遣社員	274	6.2	47.1	34.7	12.0
	自営業・自由業	455	16.3	44.4	29.5	9.9
	専業主婦・主夫	761	1.4	22.3	47.6	28.6
	家事手伝い・無職(定年退職含む)	770	9.5	41.3	36.9	12.3
	パート・アルバイト	614	6.2	30.6	45.6	17.6
	中学生	129	3.9	27.1	36.4	32.6
	高校生	77	6.5	23.4	45.5	24.7
	専門学校生	17	29.4	29.4	41.2	-
	短大生・高専生	8	12.5	37.5	25.0	25.0
	大学生	118	9.3	42.4	40.7	7.6
大学院生	25	4.0	76.0	8.0	12.0	
その他	45	2.2	37.8	44.4	15.6	
時系列別	2015年	5000	10.3	36.9	36.8	16.0
	2014年	5000	10.3	37.6	36.1	16.0

4-1-3.使用機器のOS①

- 使用機器のOSについて最も高いのは、「Windows 10」(42.3%)である。次いで「Windows 7」(30.8%)、「Windows 8 / 8.1」(13.1%)、「Windows Vista」(4.4%)と続く。
- 年代別で見ると、60代は5ポイント、70代以上は8ポイントで「Windows 10」が全体よりもやや高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「Windows 10」の割合が32.3ポイントと大きく増加している。反対に「Windows 7」が15.4ポイント、「Windows 8 / 8.1」が11.9ポイントと大きく減少している。

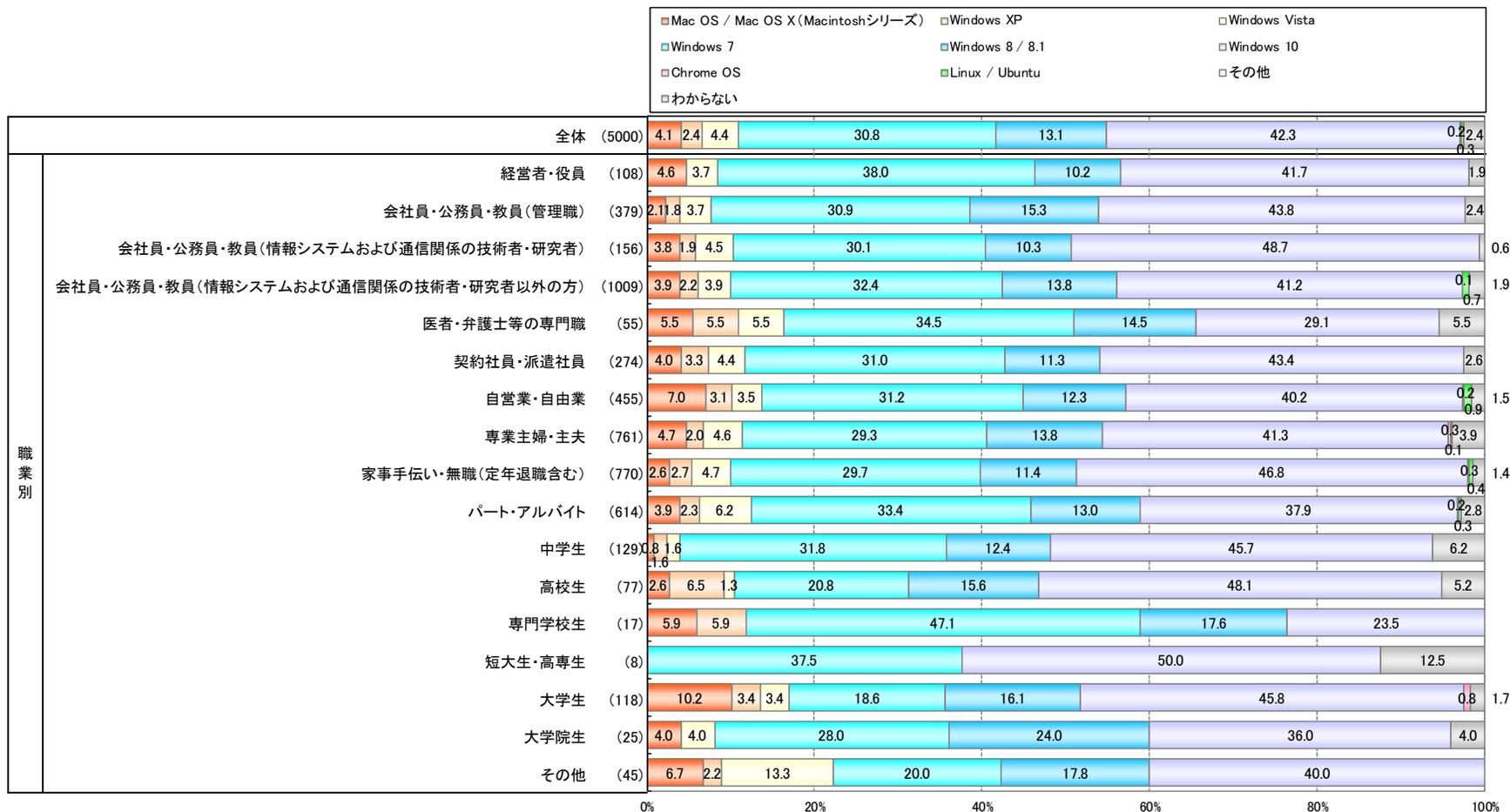
【Q1】あなたが主に利用しているパソコンのOSをお答えください。パソコンを複数台お持ちの場合は、最もインターネットを利用しているパソコンのOSについてお答えください。(お答えは1つ) ※個人で所有するパソコンに限りません。ご家族が所有している機器、友人や知り合いが所有している機器、プライベートで利用するネットカフェ等の機器なども含んでお答えください。



4-1-3.使用機器のOS②

■ 職業別でみると、経営者・役員は「Windows 7」の割合が全体よりも7.2ポイントとやや高い。

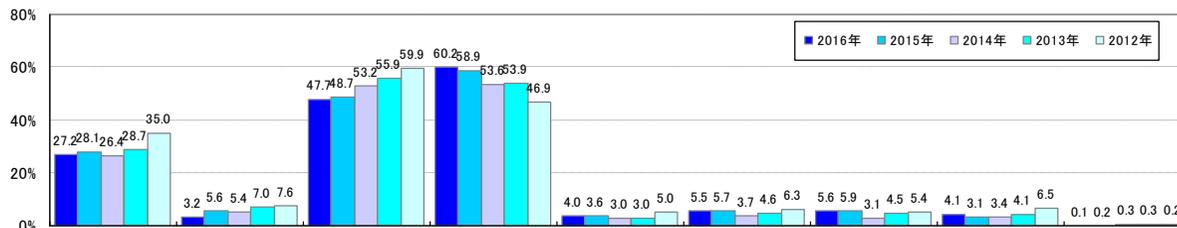
【Q1】あなたが主に利用しているパソコンのOSをお答えください。パソコンを複数台お持ちの場合は、最もインターネットを利用しているパソコンのOSについてお答えください。（お答えは1つ）※個人で所有するパソコンに限りません。ご家族が所有している機器、友人や知り合いが所有している機器、プライベートで利用するネットカフェ等の機器なども含んでお答えください。



4-1-4.パソコンでのインターネットの利用場所

- パソコンでのインターネットの利用場所について最も高いのは、「自宅（無線LAN）」(60.2%)である。次いで「自宅（有線）」(47.7%)、「職場」(27.2%)、「外出先（公衆無線LAN）」(5.6%)と続く。
- 性別でみると、男性は「職場」が7.7ポイント、「自宅（有線）」が6.9ポイントと全体よりもやや高い。
- 年代別でみると、10代は「学校」の割合が全体よりも21.2ポイント高い。
- 職業別でみると、経営者・役員が41.3ポイント、会社員・公務員・教員（情報システムおよび通信関係の技術者・研究者）が49.7ポイント、会社員・公務員・教員（情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方）が35.7ポイント、医者・弁護士等の専門職が27.3ポイント、契約社員・派遣社員が20.6ポイントで「職場」、中学生が24.7ポイント、高校生が24.1ポイント、大学生が58.7ポイントで「学校」、高校生が11.2ポイント、大学生が16.1ポイントで「自宅（無線LAN）」とそれぞれ全体よりも高い。

【Q4】あなたがパソコンでインターネットを利用する場所はどこですか。（お答えはいくつでも）※主に利用しているパソコンに限らずに、パソコンでインターネットを使用することのある場所をすべてお答えください。



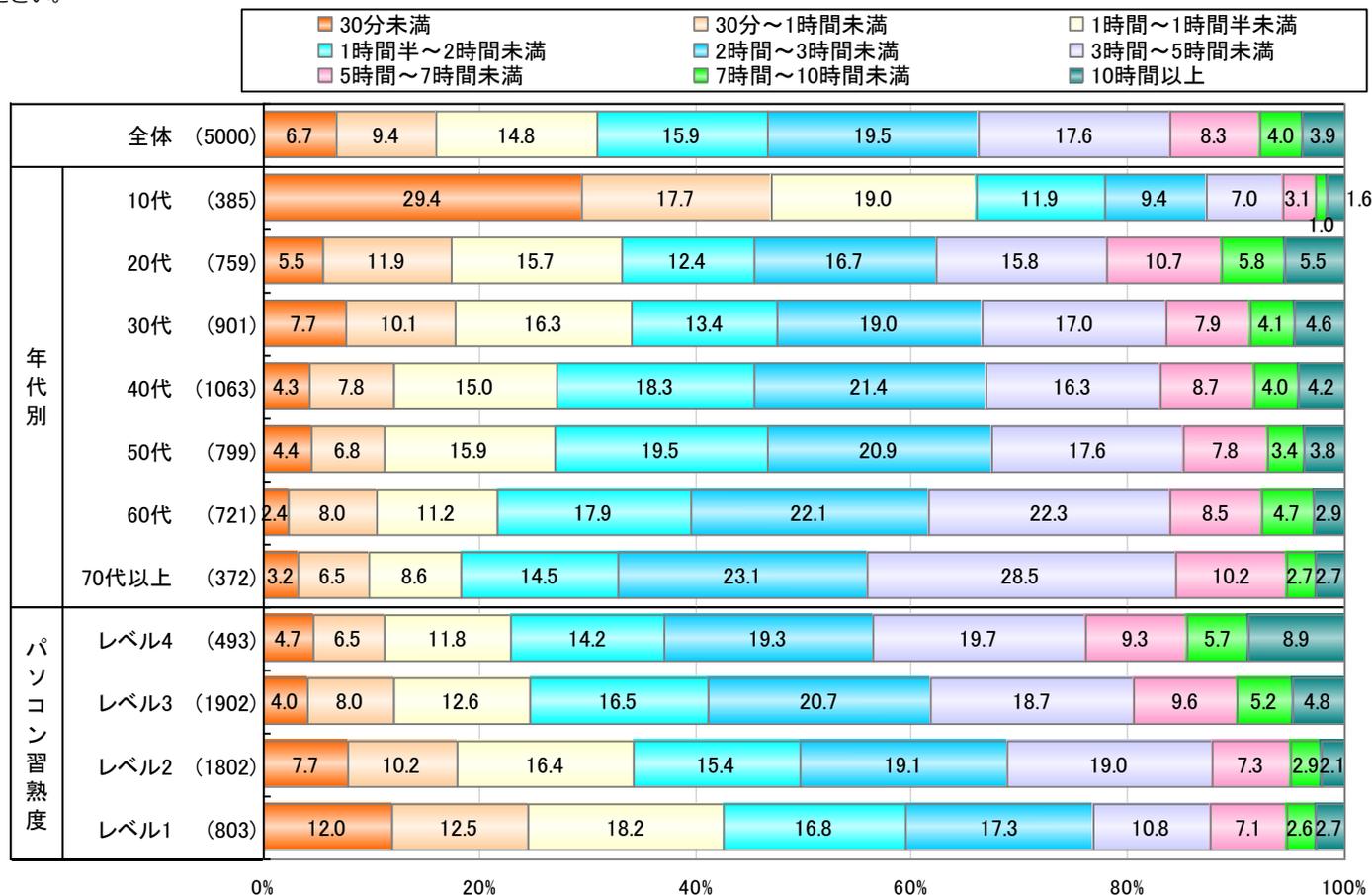
- 全体+10%以上
- 全体+5%以上
- 全体-5%以下
- 全体-10%以下 (属性n=30以上)

	全体	職場	学校	自宅(有線)	自宅(無線LAN)	自宅(データ通信カード・端末利用)	外出先(データ通信カード・端末利用)	外出先(公衆無線LAN)	インターネットカフェ、マンガ喫茶等	その他
全体	5000	27.2	3.2	47.7	60.2	4.0	5.5	5.6	4.1	0.1
性別										
男性	2740	34.9	2.7	54.6	57.4	3.9	6.6	6.1	4.8	0.1
女性	2260	17.9	3.8	39.3	63.5	4.1	4.1	4.9	3.3	0.1
年代別										
10代	385	8.6	24.4	39.7	70.6	3.9	4.7	6.0	2.3	0.3
20代	759	28.2	8.6	42.3	65.3	5.5	6.7	7.8	6.3	0.1
30代	901	33.7	0.2	44.5	60.8	4.0	6.2	5.5	6.8	0.1
40代	1083	37.4	-	49.4	60.2	4.0	6.4	7.2	5.2	-
50代	799	35.7	-	48.3	59.7	3.9	6.1	4.9	2.6	-
60代	721	15.0	-	52.4	54.9	3.1	3.2	2.9	1.1	0.1
70代以上	372	4.8	-	59.4	48.7	2.4	2.4	2.4	1.1	0.3
職業別										
経営者・役員	108	68.5	-	46.3	59.3	5.6	9.3	13.0	7.4	-
会社員・公務員・教員(管理職)	379	66.8	-	52.2	61.2	4.7	8.7	7.7	6.9	0.3
会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)	156	76.9	-	52.6	62.2	9.0	11.5	12.2	9.6	-
会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)	1009	62.9	-	48.6	59.0	4.5	7.0	8.3	6.1	-
医者・弁護士等の専門職	55	54.5	-	34.5	67.3	7.3	7.3	5.5	9.1	-
契約社員・派遣社員	274	47.8	-	46.7	57.3	5.5	8.8	5.5	4.4	-
自営業・自由業	455	22.2	-	57.8	51.9	5.5	7.0	6.8	4.0	-
専業主婦・主夫	761	-	-	39.8	65.7	2.8	2.6	3.0	1.8	-
家事手伝い・無職(定年退職含む)	770	0.1	-	54.9	54.4	2.7	2.5	1.8	1.3	0.3
パート・アルバイト	614	-	-	43.6	62.9	2.3	2.9	2.3	3.3	0.2
中学生	129	-	27.9	41.1	65.1	1.6	3.1	4.7	1.6	-
高校生	77	-	27.3	33.8	71.4	3.9	5.2	5.2	1.3	-
専門学校生	17	-	58.8	35.3	64.7	-	-	11.8	-	-
短大生・高専生	8	-	75.0	62.5	62.5	12.5	12.5	12.5	25.0	-
大学生	118	-	61.9	33.9	76.3	5.1	10.2	11.9	5.1	0.8
大学院生	25	-	60.0	36.0	72.0	4.0	4.0	8.0	8.0	-
その他	45	33.3	-	48.9	53.3	4.4	6.7	6.7	6.7	-
時系列										
2015年	5000	28.1	5.6	48.7	58.9	3.6	5.7	5.9	3.1	0.2
2014年	5000	26.4	5.4	53.2	53.6	3.0	3.7	3.1	3.4	0.3
2013年	5160	28.7	7.0	55.9	53.9	3.0	4.6	4.5	4.1	0.3
2012年	5000	35.0	7.6	59.9	46.9	5.0	6.3	5.4	6.5	0.2

4-1-5.パソコンでのインターネット利用時間（平日）①

- パソコンでのインターネット利用時間（平日）について最も高いのは、「2時間～3時間未満」（19.5%）である。次いで「3時間～5時間未満」（17.6%）、「1時間半～2時間未満」（15.9%）、「1時間～1時間半未満」（14.8%）と続く。
- 年代別で見ると、10代は「30分未満」の割合が全体よりも22.7ポイント高い。70代以上は「3時間～5時間未満」の割合が全体よりも10.9ポイント高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル1は「30分未満」の割合が全体よりも5.3ポイントとやや高い。

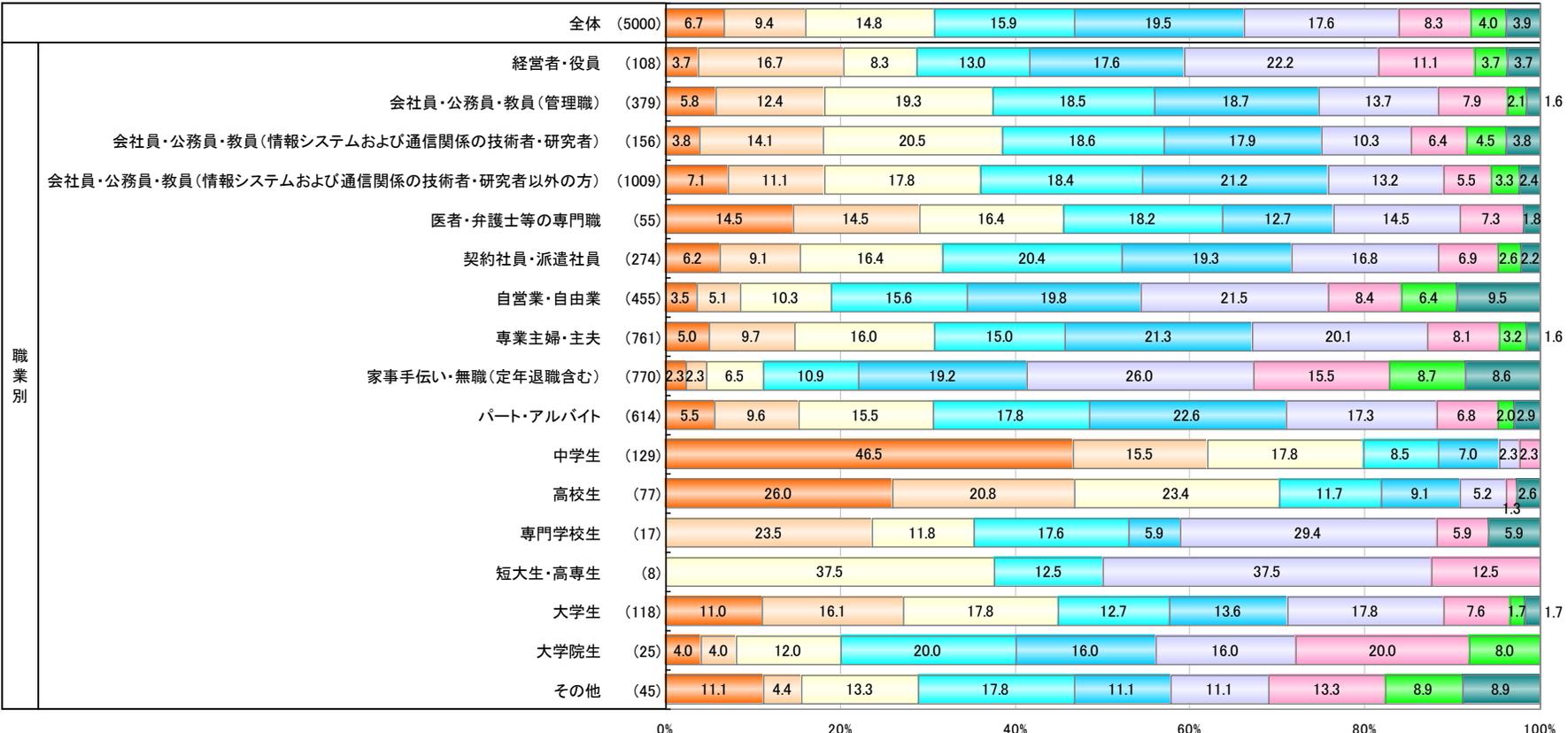
【SC5】 [パソコン]あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日（またはお仕事や学校などのある日）／休日（またはお仕事や学校などのない日）の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。（お答えはそれぞれ1つずつ）※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。



4-1-5.パソコンでのインターネット利用時間（平日）②

■ 職業別でみると、家事手伝い・無職（定年退職含む）は「3時間～5時間未満」、中学生、高校生は「30分未満」が最も高い。全体と比較すると、「30分未満」は中学生が39.8ポイント、高校生が19.3ポイントで全体よりも高い。

【SC5】 [パソコン]あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日（またはお仕事や学校などのある日）／休日（またはお仕事や学校などのない日）の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。（お答えはそれぞれ1つずつ）※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。



4-1-6.パソコンでのインターネット利用時間（休日）①

- パソコンでのインターネット利用時間（休日）について最も高いのは、「2時間～3時間未満」（20.3%）である。次いで「3時間～5時間未満」（20.1%）、「1時間半～2時間未満」（14.3%）、「1時間～1時間半未満」（12.3%）と続く。
- 年代別でみると、10代は「30分未満」の割合が全体よりも15.9ポイント高い。70代以上は「3時間～5時間未満」の割合が全体よりも10.3ポイント高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル1は「30分未満」の割合が全体よりも5.3ポイントとやや高い。

【SC5】 [パソコン]あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日（またはお仕事や学校などのある日）／休日（またはお仕事や学校などのない日）の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。（お答えはそれぞれ1つずつ）※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。



4-1-6.パソコンでのインターネット利用時間（休日）②

■ パソコンでのインターネット利用時間（休日）職業別でみると、医者・弁護士等の専門職は「1時間半～2時間未満」、家事手伝い・無職（定年退職含む）、大学生、その他は「3時間～5時間未満」、中学生は「30分未満」が最も高い。全体と比較すると、中学生は「30分未満」の割合が全体よりも27.1ポイント高い。

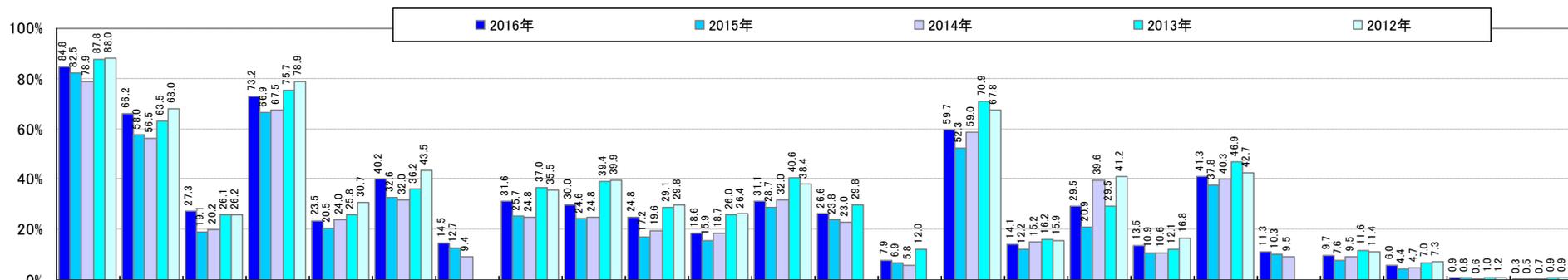
【SC5】 [パソコン]あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日（またはお仕事や学校などのある日）／休日（またはお仕事や学校などのない日）の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。（お答えはそれぞれ1つずつ）※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。



4-1-7.インターネットの利用用途①

■ インターネットの利用用途について前年（2015年）と比較すると、「ニュースサイト」が8.2ポイント、「企業・団体のサイト」が8.2ポイント、「インターネットショッピング」が6.3ポイント、「インターネットバンキング」が7.6ポイント、「旅行のオンライン予約サイト（宿泊、航空券、飲食店の予約）」が5.9ポイント、「商品比較・クチコミ等のコミュニティサイト」が5.4ポイント、「Q&Aサイト」が7.6ポイント、「電子メール」が7.4ポイント、「懸賞サイト」が8.6ポイント増加している。「動画共有サイト（YouTube、ニコニコ動画等）」の割合が3.5ポイントとやや増加している。

[Q5] パソコンでインターネットを利用する際、どのようなサイトやサービスなどを利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）

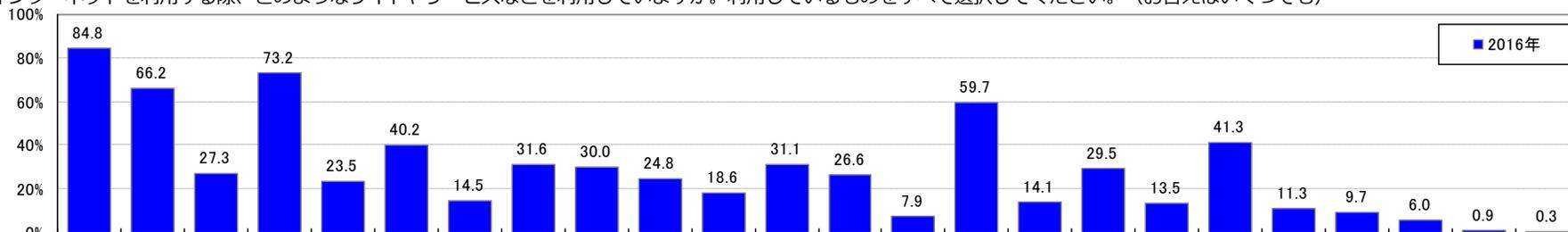


時系列	全体	検索サイト・ポータルサイト	ニュースサイト	企業・団体のサイト	インターネットショッピング	インターネットオークション	インターネットバンキング	株のネット取引	航空券、飲食店の予約サイト（宿泊、航空）	商品比較・クチコミ等のコミュニティサイト	Q & A サイト	掲示板	Wikipedia等、百科事典サイト、オンライン辞書	LINE等（LINE、Gmail、Twitter、LINE等）	SNS（Mixi、Facebook、LINE等）	アプリによる通話（Skype、LINE等）	電子メール	オンラインゲーム	懸賞サイト	映像や音楽、電子書籍の購入	動画共有サイト（YouTube、ニコニコ動画等）	クラウドサービス（Dropbox、Googleドキュメント等）	クラウドサービスの閲覧	海外サイトの閲覧	ファイル交換ソフトの利用（Winny、Winny等）	その他
2016年	5000	84.8	66.2	27.3	73.2	23.5	40.2	14.5	31.6	30.0	24.8	18.6	31.1	26.6	7.9	59.7	14.1	29.5	13.5	41.3	11.3	9.7	6.0	0.9	0.3	
2015年	5000	82.5	58.0	19.1	66.9	20.5	32.6	12.7	25.7	24.6	17.2	15.9	28.7	23.8	6.9	52.3	12.2	20.9	10.9	37.8	10.3	7.6	4.4	0.8	0.5	
2014年	5000	78.9	56.5	20.2	67.5	24.0	32.0	9.4	24.8	24.8	19.6	18.7	32.0	23.0	5.8	59.0	15.2	39.6	10.6	40.3	9.5	9.5	4.7	0.6	0.7	
2013年	5160	87.8	63.5	26.1	75.7	25.8	36.2		37.0	39.4	29.1	26.0	40.6	29.8	12.0	70.9	16.2	29.5	12.1	46.9		11.6	7.0	1.0	0.9	
2012年	5000	88.0	68.0	26.2	78.9	30.7	43.5		35.5	39.9	29.8	26.4	38.4			67.8	15.9	41.2	16.8	42.7		11.4	7.3	1.2	0.9	

4-1-7.インターネットの利用用途②

- インターネットの利用用途について最も高いのは、「検索サイト・ポータルサイト」(84.8%)である。次いで「インターネットショッピング」(73.2%)、「ニュースサイト」(66.2%)、「電子メール」(59.7%)と続く。
- 性別でみると、男性は「インターネットバンキング」が5.1ポイント、「アダルトサイトの閲覧」が7.2ポイントと全体よりもやや高い。
- 年代別でみると、20代は「動画共有サイト (YouTube、ニコニコ動画等)」が16.5ポイント、70代以上は「懸賞サイト」が15.4ポイント、「電子メール」が17.5ポイント、「旅行のオンライン予約サイト (宿泊、航空券、飲食店の予約)」が17.1ポイントと全体よりも高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「ニュースサイト」「インターネットショッピング」等、多数の項目の割合が全体よりも5ポイント以上高い。

[Q5] パソコンでインターネットを利用する際、どのようなサイトやサービスなどを利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



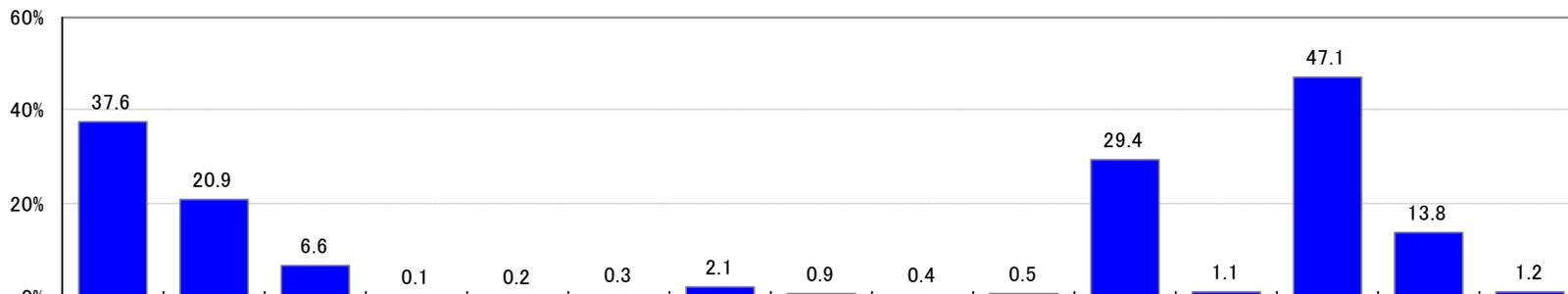
	全体	利用用途																										
		検索サイト・ポータルサイト	ニュースサイト	企業・団体のサイト	インターネットショッピング	インターネットオークション	インターネットバンキング	株のネット取引	旅行のオンライン予約サイト (宿泊、航空券、飲食店の予約)	商品比較・クチコミ等のコミュニティサイト	Q & A サイト	掲示板	Wiki、pedia等、百科事典サイト、オンライン辞書	Twitter、Facebook、LINE等	Skype、アプリによる通話 (LINE等)	電子メール	オンラインゲーム	懸賞サイト	映像や音楽、電子書籍の購入	動画共有サイト (YouTube、ニコニコ動画等)	クラウドサービス (Dropbox、iCloud、Yandex、等)	アダルトサイトの閲覧	海外サイトの閲覧	Sharenny、Winny等	ファイル交換ソフトの利用	その他		
全体	5000	84.8	66.2	27.3	73.2	23.5	40.2	14.5	31.6	30.0	24.8	18.6	31.1	26.6	7.9	59.7	14.1	29.5	13.5	41.3	11.3	9.7	6.0	0.9	0.3			
性別	男性	2740	84.9	68.4	28.7	73.8	26.3	45.3	19.2	30.4	28.0	23.0	34.1	26.1	7.5	62.9	15.4	30.3	14.3	42.9	12.1	16.9	7.7	1.0	0.3			
	女性	2260	84.6	63.5	25.6	72.5	20.0	34.2	8.9	33.0	32.4	27.1	27.6	27.2	8.4	55.9	12.5	28.5	12.6	39.5	10.3	1.1	4.0	0.8	0.4			
年代別	10代	385	77.7	44.7	13.8	37.7	12.2	12.7	3.9	10.4	13.8	15.1	11.9	19.5	22.3	6.8	34.5	21.3	12.2	8.8	41.8	7.0	4.2	3.1	1.0	0.8		
	20代	759	85.5	58.2	26.1	66.4	21.5	26.5	7.9	21.1	26.1	28.5	25.4	42.0	39.3	14.9	47.8	21.6	21.5	18.4	57.8	15.5	11.7	7.8	1.7	0.1		
	30代	901	85.7	65.6	25.3	73.3	25.5	40.4	11.9	27.4	30.5	27.1	22.8	34.6	33.7	8.3	54.8	17.4	22.9	14.4	46.6	13.8	13.4	6.2	1.8	0.3		
	40代	1063	86.2	69.6	28.3	76.6	28.2	47.3	14.0	31.0	35.0	29.3	22.2	31.4	26.5	8.0	63.0	12.4	30.0	15.7	41.6	12.3	11.2	7.2	0.8	0.3		
	50代	799	87.5	72.7	29.8	79.8	25.9	46.8	17.8	36.7	33.0	23.4	14.5	27.5	20.5	5.1	65.5	9.1	33.8	12.0	35.7	8.0	8.1	5.3	0.3	0.4		
	60代	721	83.2	71.4	31.9	83.8	21.2	51.0	21.2	45.6	30.9	21.2	11.8	26.5	17.5	4.0	71.7	7.8	41.9	11.1	30.5	9.6	6.7	5.1	0.4	-		
	70代以上	372	82.0	72.0	31.5	79.3	19.9	41.1	26.9	48.7	31.2	19.6	12.6	28.5	18.8	7.0	77.2	10.5	44.9	8.1	26.9	8.3	7.8	5.1	0.3	0.8		
パソコン習熟度	レベル4	493	87.0	72.2	34.3	78.9	37.5	55.0	21.7	30.2	40.8	34.5	32.5	45.2	37.5	16.4	68.4	23.5	29.8	20.5	50.5	22.9	17.8	15.4	2.0	0.2		
	レベル3	1902	89.6	72.5	34.6	80.6	28.3	50.5	16.8	37.1	37.2	31.5	23.3	42.2	35.3	10.8	69.5	18.4	33.9	19.9	50.9	17.9	14.1	9.1	0.9	0.2		
	レベル2	1802	84.3	64.5	24.4	72.4	19.9	34.4	13.0	32.2	27.1	22.3	14.8	25.4	21.5	4.7	57.9	10.4	28.6	9.7	37.1	5.1	6.0	2.4	0.4	0.3		
	レベル1	803	73.1	51.3	12.3	53.9	11.3	20.0	8.1	17.8	13.1	8.8	7.1	9.1	10.7	2.9	35.6	6.1	20.7	3.0	22.7	2.9	1.0	1.4	0.7			

4-1-8.電子メールを利用する際のソフトウェア

- 電子メールを利用する際のソフトウェアについて最も高いのは、「Yahoo!メール、AOLメールなどのWebメール」(47.1%)である。次いで「Microsoft Outlook」(37.6%)、「Gmail」(29.4%)、「Windows Live Mail」(20.9%)と続く。
- 年代別でみると、60代、70代以上は「Microsoft Outlook」が最も高い。全体と比較すると、20代は「Gmail」の割合が全体よりも19.6ポイント高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「Mozilla Thunderbird」が14.5ポイント、「Gmail」が13.3ポイントと全体よりも高い。

【Q5SQ】 電子メールを利用する際に使用しているソフトウェアをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=電子メールを利用する方(Q5)



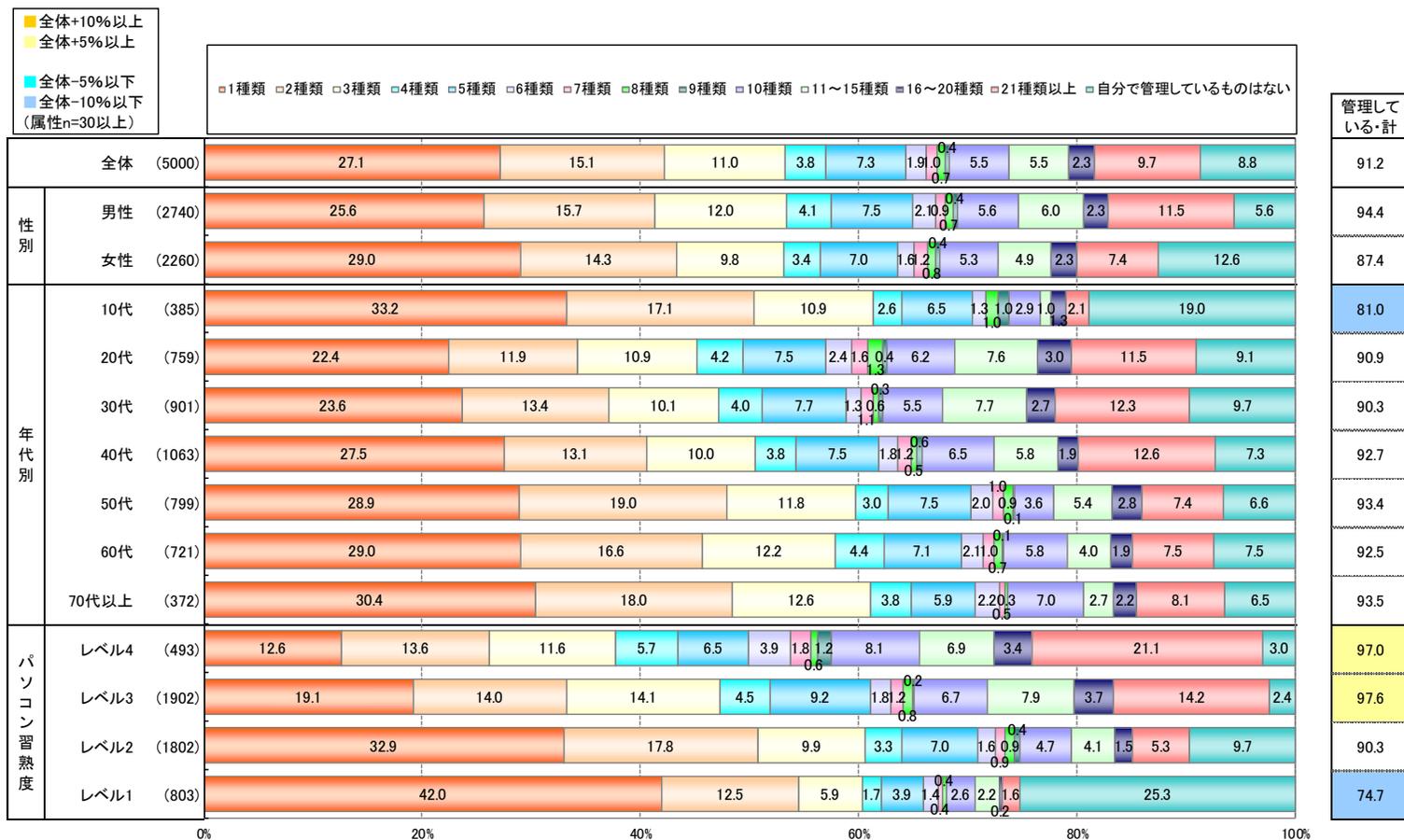
■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

		全体	Microsoft Outlook	Windows Live Mail	Mozilla Thunderbird	Netscape Messenger	Lotus Notes	Mac Mail	Mailbox	秀丸メール	Shuriken	Gmail	Office 365	Yahoo! AOL etc. Webmail	プロバイダのWebメール	その他	
	全体	2987	37.6	20.9	6.6	0.1	0.2	0.3	2.1	0.9	0.4	0.5	29.4	1.1	47.1	13.8	1.2
性別	男性	1723	38.4	23.6	8.4	0.1	0.2	0.2	2.3	1.1	0.4	0.6	29.7	1.2	45.3	13.8	1.3
	女性	1264	36.5	17.2	4.1	0.2	0.2	0.4	1.9	0.6	0.3	0.5	28.9	1.0	49.5	13.7	0.9
年代別	10代	133	34.6	21.1	7.5	-	0.8	0.8	1.5	0.8	-	-	38.3	3.0	47.4	5.3	0.8
	20代	363	29.8	12.1	6.1	0.6	0.6	0.8	1.1	0.6	1.1	0.8	49.0	2.8	58.1	11.0	0.6
	30代	494	31.2	14.2	8.3	-	-	0.4	2.0	1.4	0.2	0.4	40.5	0.6	55.1	12.1	0.8
	40代	670	32.8	21.8	7.3	0.3	-	-	3.0	0.7	0.6	0.4	27.9	0.6	47.2	15.1	1.3
	50代	523	39.8	23.7	7.8	-	0.2	-	2.3	1.0	0.2	0.6	23.3	1.3	44.2	16.4	1.3
	60代	517	47.4	24.4	5.0	-	-	0.4	1.9	0.4	0.2	0.6	17.2	0.6	41.4	14.9	1.7
	70代以上	287	49.5	30.0	2.8	-	0.3	-	2.1	1.4	-	0.7	17.4	0.7	34.5	13.9	1.0
パソコン習熟度	レベル4	337	27.3	22.3	21.1	0.3	0.3	0.6	3.9	5.0	1.8	1.8	42.7	2.1	43.9	16.0	3.3
	レベル3	1321	38.9	22.7	6.9	0.2	0.2	0.2	3.0	0.5	0.4	0.7	34.9	1.5	49.1	14.9	1.0
	レベル2	1043	39.6	19.8	2.7	-	0.1	0.2	0.9	0.2	-	0.1	21.9	0.6	46.3	12.5	0.8
	レベル1	286	36.4	14.7	2.4	-	0.3	0.3	1.0	-	-	-	15.4	-	44.4	10.5	1.0

4-1-9.管理しているID（アカウント）の数

- 管理しているID（アカウント）の数について最も高いのは、「1種類」（27.1%）である。次いで「2種類」（15.1%）、「3種類」（11.0%）、「21種類以上」（9.7%）と続く。
- パソコン習熟度でみると、レベル1は「自分で管理しているものはない」の割合が全体よりも16.5ポイント高い。

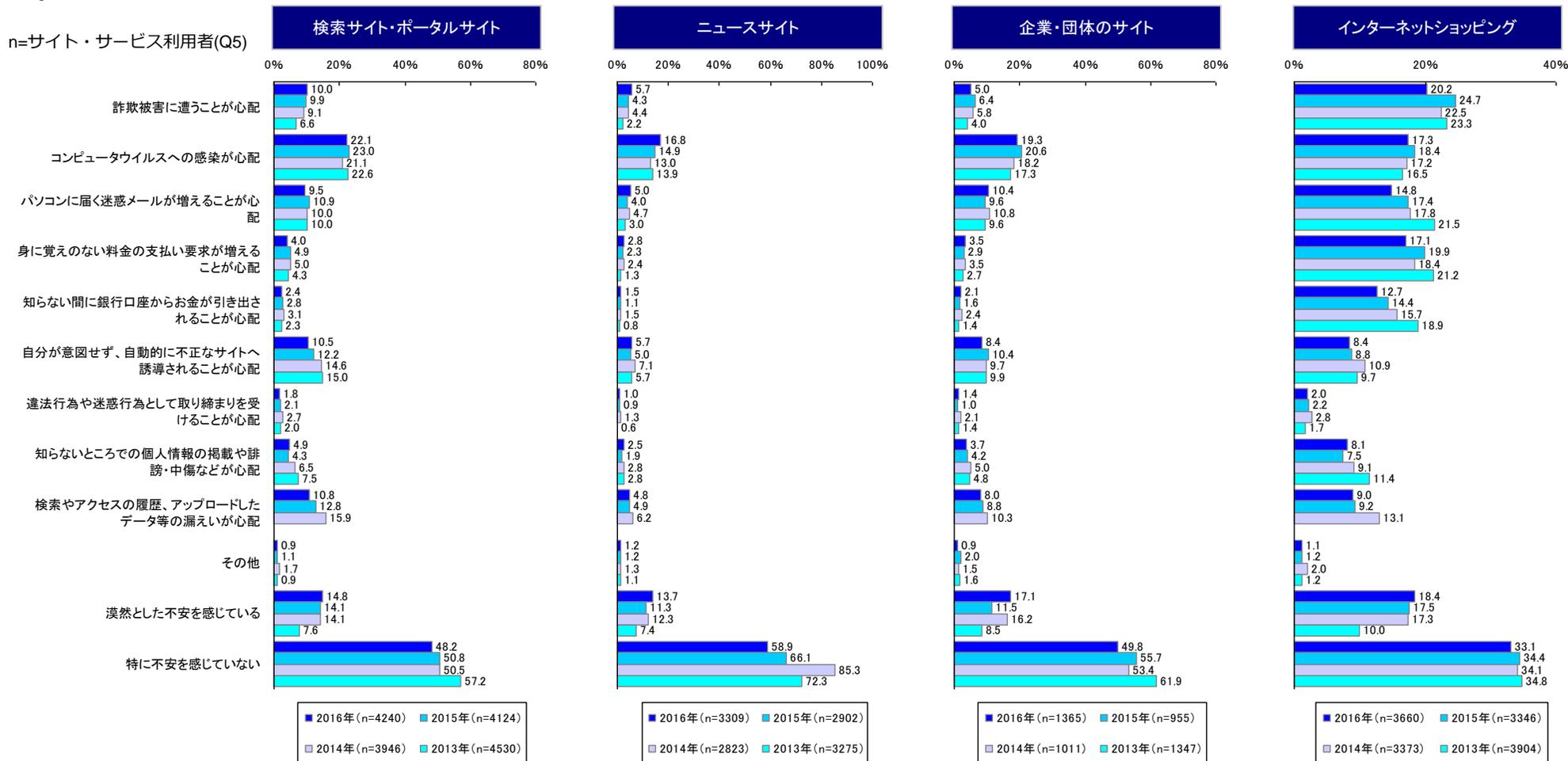
【Q6】あなたがインターネットで利用しているID（アカウント）の内、自分で管理しているものはいくつありますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。（お答えは1つ）※直近1年以内に使用したもので、複数のサービスで共通したIDを使用している、サイト・サービスが異なれば別々にカウントしてください。



4-1-10.インターネット利用時の不安要素①

- 検索サイト・ポータルサイトについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(48.2%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(22.1%)、「漠然とした不安を感じている」(14.8%)、「検索やアクセスの履歴、アップロードしたデータ等の漏えいが心配」(10.8%)と続く。
- ニュースサイトについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(58.9%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(16.8%)、「漠然とした不安を感じている」(13.7%)、「詐欺被害に遭うことが心配」(5.7%)、「自分が意図せず、自動的に不正なサイトへ誘導されることが心配」(5.7%)と続く。
- 企業・団体のサイトについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(49.8%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(19.3%)、「漠然とした不安を感じている」(17.1%)、「パソコンに届く迷惑メールが増えることが心配」(10.4%)と続く。
- インターネットショッピングについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(33.1%)である。次いで「詐欺被害に遭うことが心配」(20.2%)、「漠然とした不安を感じている」(18.4%)、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(17.3%)と続く。

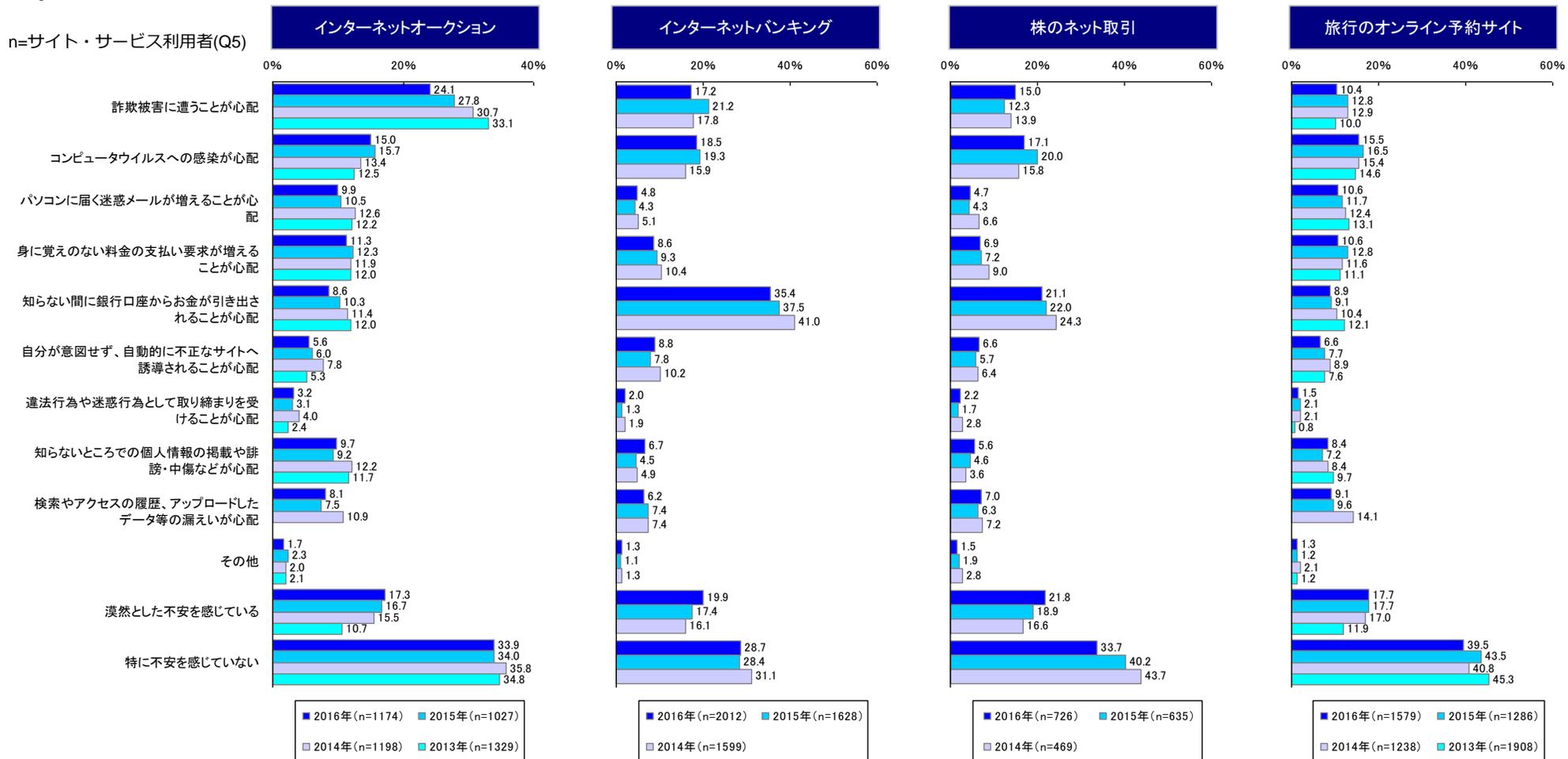
【Q7】パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)



4-1-10.インターネット利用時の不安要素②

- インターネットオークションについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(33.9%)である。次いで「詐欺被害に遭うことが心配」(24.1%)、「漠然とした不安を感じている」(17.3%)、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(15.0%)と続く。
- インターネットバンキングについて最も高いのは、「知らない間に銀行口座からお金が引き出されることが心配」(35.4%)である。次いで「特に不安を感じていない」(28.7%)、「漠然とした不安を感じている」(19.9%)、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(18.5%)と続く。
- 株のネット取引について最も高いのは、「特に不安を感じていない」(33.7%)である。次いで「漠然とした不安を感じている」(21.8%)、「知らない間に銀行口座からお金が引き出されることが心配」(21.1%)、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(17.1%)と続く。
- 旅行のオンライン予約サイトについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(39.5%)である。次いで「漠然とした不安を感じている」(17.7%)、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(15.5%)、「パソコンに届く迷惑メールが増えることが心配」(10.6%)と続く。

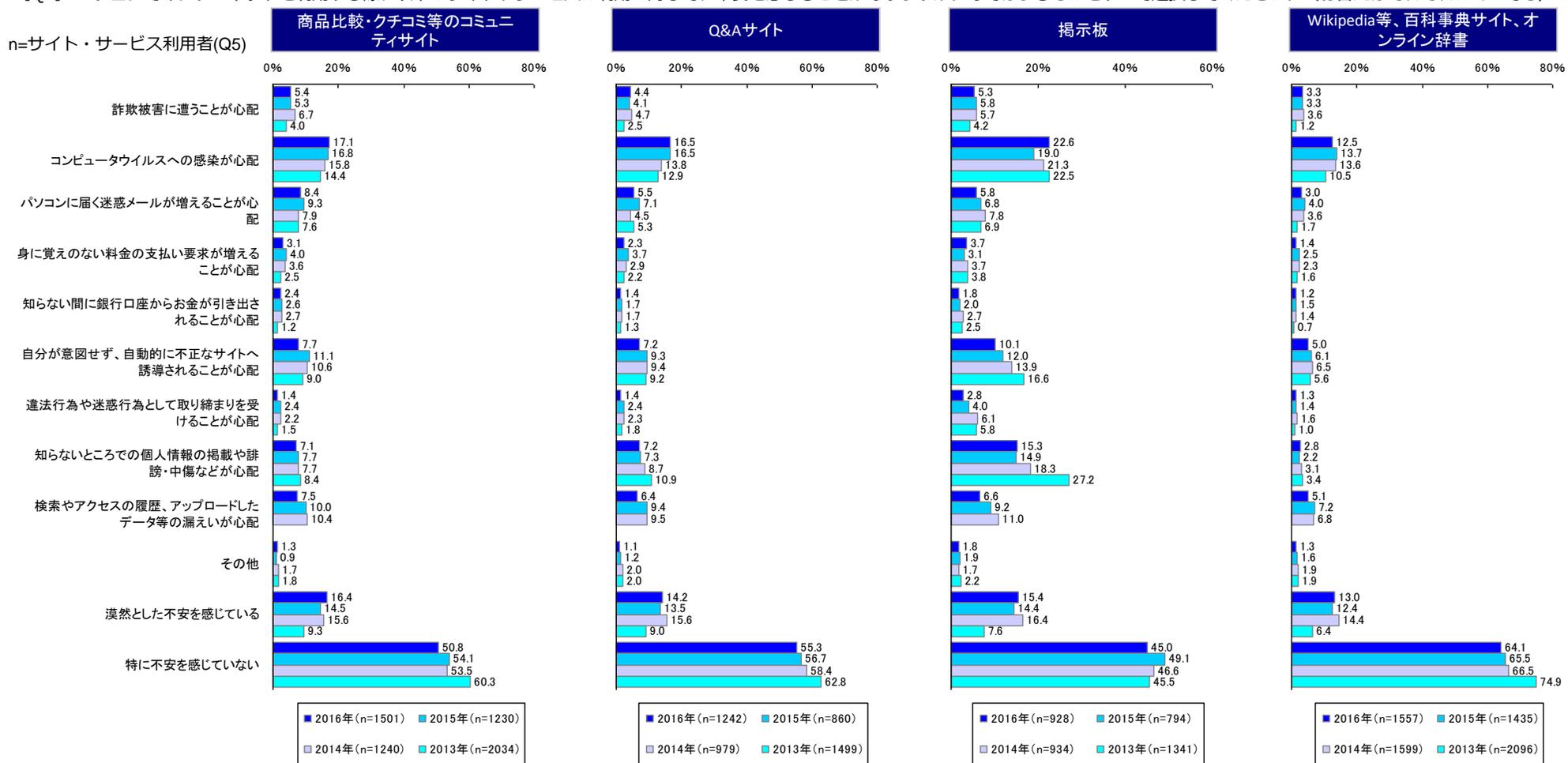
【Q7】パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)



4-1-10.インターネット利用時の不安要素③

- 商品比較・クチコミ等のコミュニティサイトについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(50.8%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(17.1%)、「漠然とした不安を感じている」(16.4%)、「パソコンに届く迷惑メールが増えることが心配」(8.4%)と続く。
- Q&Aサイトについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(55.3%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(16.5%)、「漠然とした不安を感じている」(14.2%)、「自分が意図せず、自動的に不正なサイトへ誘導されることが心配」(7.2%)、「知らないところでの個人情報の掲載や誹謗・中傷などが心配」(7.2%)と続く。
- 掲示板について最も高いのは、「特に不安を感じていない」(45.0%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(22.6%)、「漠然とした不安を感じている」(15.4%)、「知らないところでの個人情報の掲載や誹謗・中傷などが心配」(15.3%)と続く。
- Wikipedia等、百科事典サイト、オンライン辞書について最も高いのは、「特に不安を感じていない」(64.1%)である。次いで「漠然とした不安を感じている」(13.0%)、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(12.5%)、「検索やアクセスの履歴、アップロードしたデータ等の漏えいが心配」(5.1%)と続く。

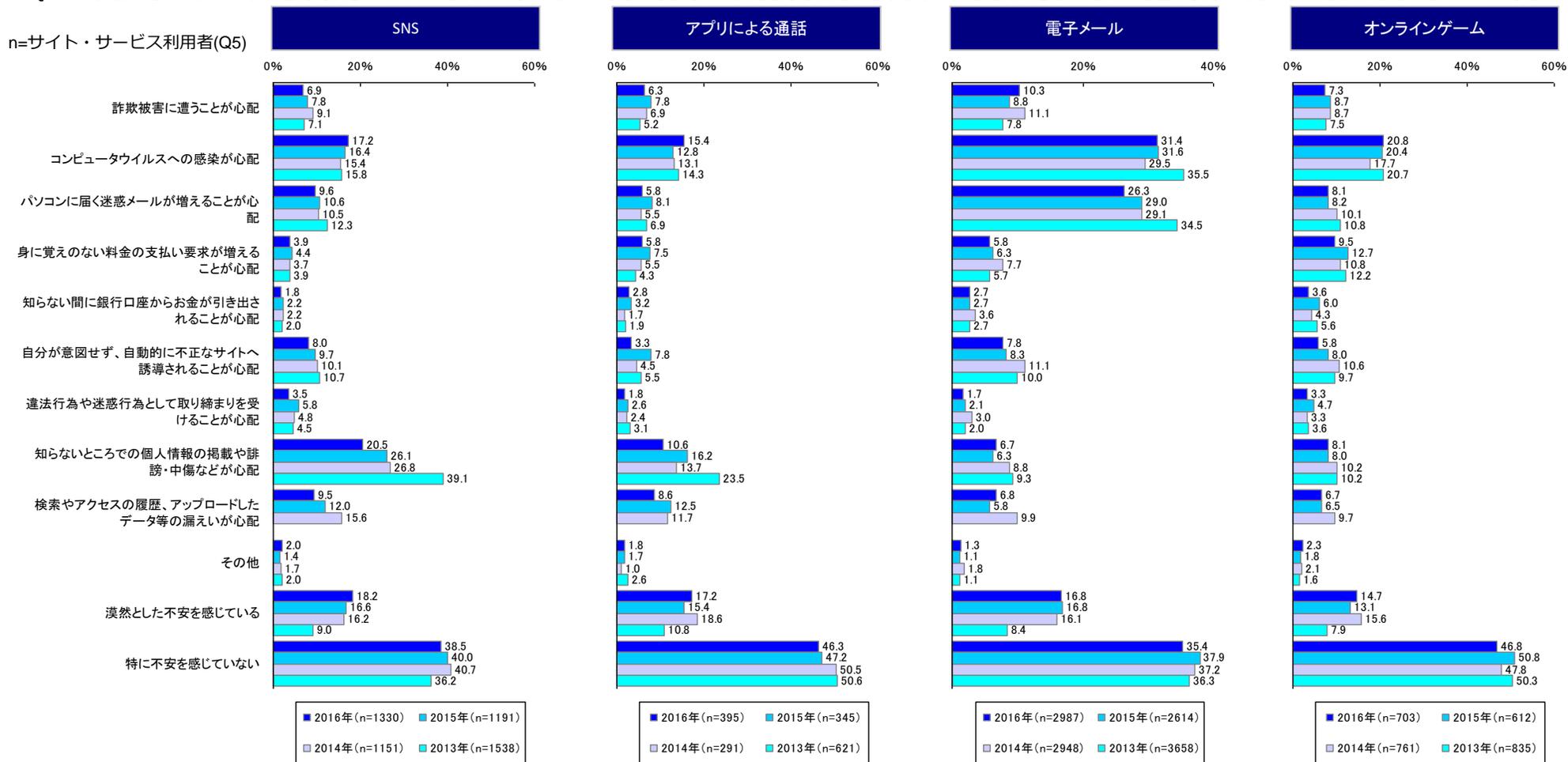
【Q7】 パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)



4-1-10.インターネット利用時の不安要素④

- SNSについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(38.5%)である。次いで「知らないところでの個人情報の掲載や誹謗・中傷などが心配」(20.5%)、「漠然とした不安を感じている」(18.2%)、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(17.2%)と続く。
- アプリによる通話について最も高いのは、「特に不安を感じていない」(46.3%)である。次いで「漠然とした不安を感じている」(17.2%)、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(15.4%)、「知らないところでの個人情報の掲載や誹謗・中傷などが心配」(10.6%)と続く。
- 電子メールについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(35.4%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(31.4%)、「パソコンに届く迷惑メールが増えることが心配」(26.3%)、「漠然とした不安を感じている」(16.8%)と続く。
- オンラインゲームについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(46.8%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(20.8%)、「漠然とした不安を感じている」(14.7%)、「身に覚えのない料金の支払い要求が増えることが心配」(9.5%)と続く。

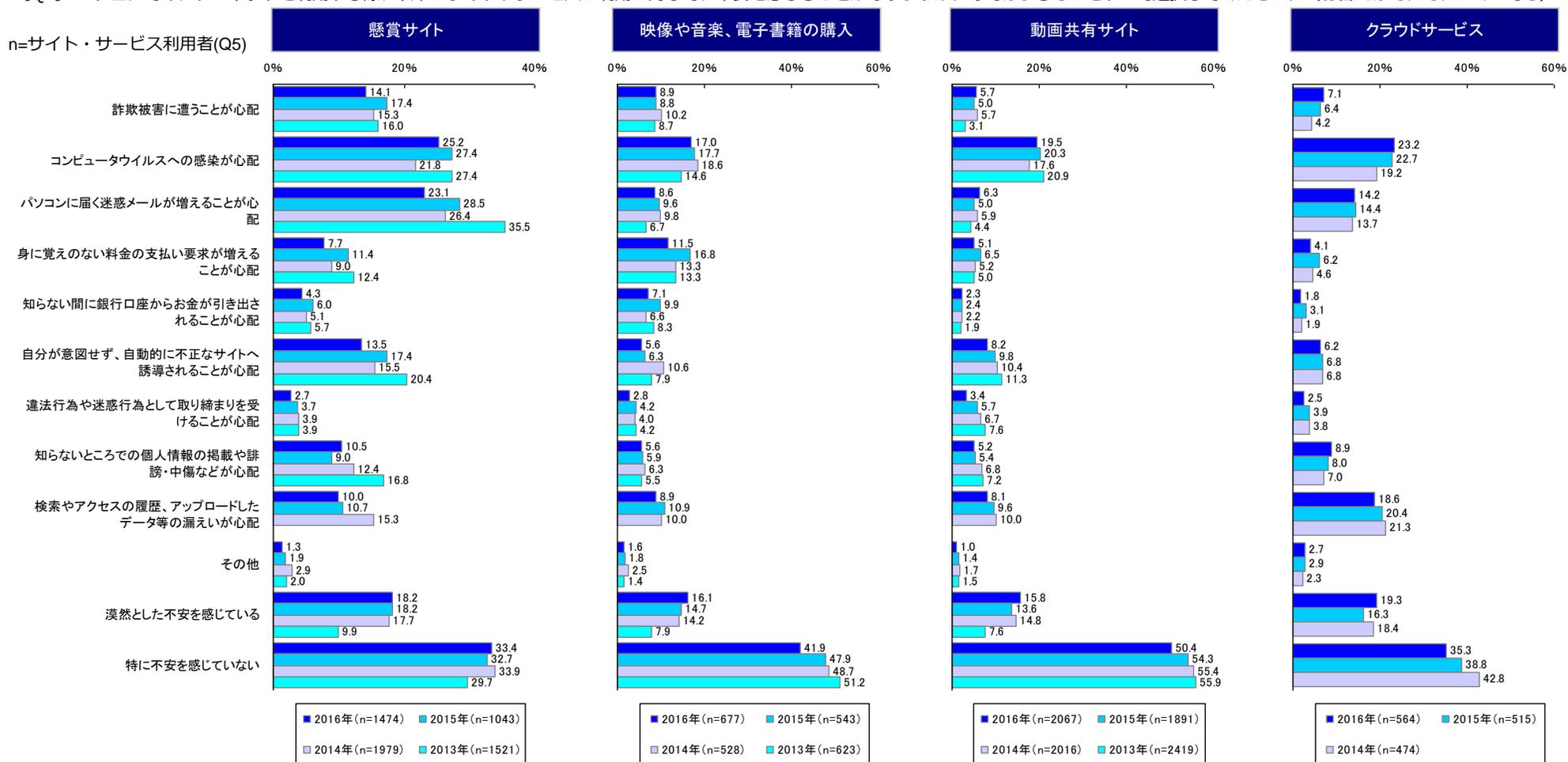
【Q7】 パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)



4-1-10.インターネット利用時の不安要素⑤

- 懸賞サイトについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(33.4%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(25.2%)、「パソコンに届く迷惑メールが増えることが心配」(23.1%)、「漠然とした不安を感じている」(18.2%)と続く。
- 映像や音楽、電子書籍の購入について最も高いのは、「特に不安を感じていない」(41.9%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(17.0%)、「漠然とした不安を感じている」(16.1%)、「身に覚えのない料金の支払い要求が増えることが心配」(11.5%)と続く。
- 動画共有サイトについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(50.4%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(19.5%)、「漠然とした不安を感じている」(15.8%)、「自分が意図せず、自動的に不正なサイトへ誘導されることが心配」(8.2%)と続く。
- クラウドサービスについて最も高いのは、「特に不安を感じていない」(35.3%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(23.2%)、「漠然とした不安を感じている」(19.3%)、「検索やアクセスの履歴、アップロードしたデータ等の漏えいが心配」(18.6%)と続く。

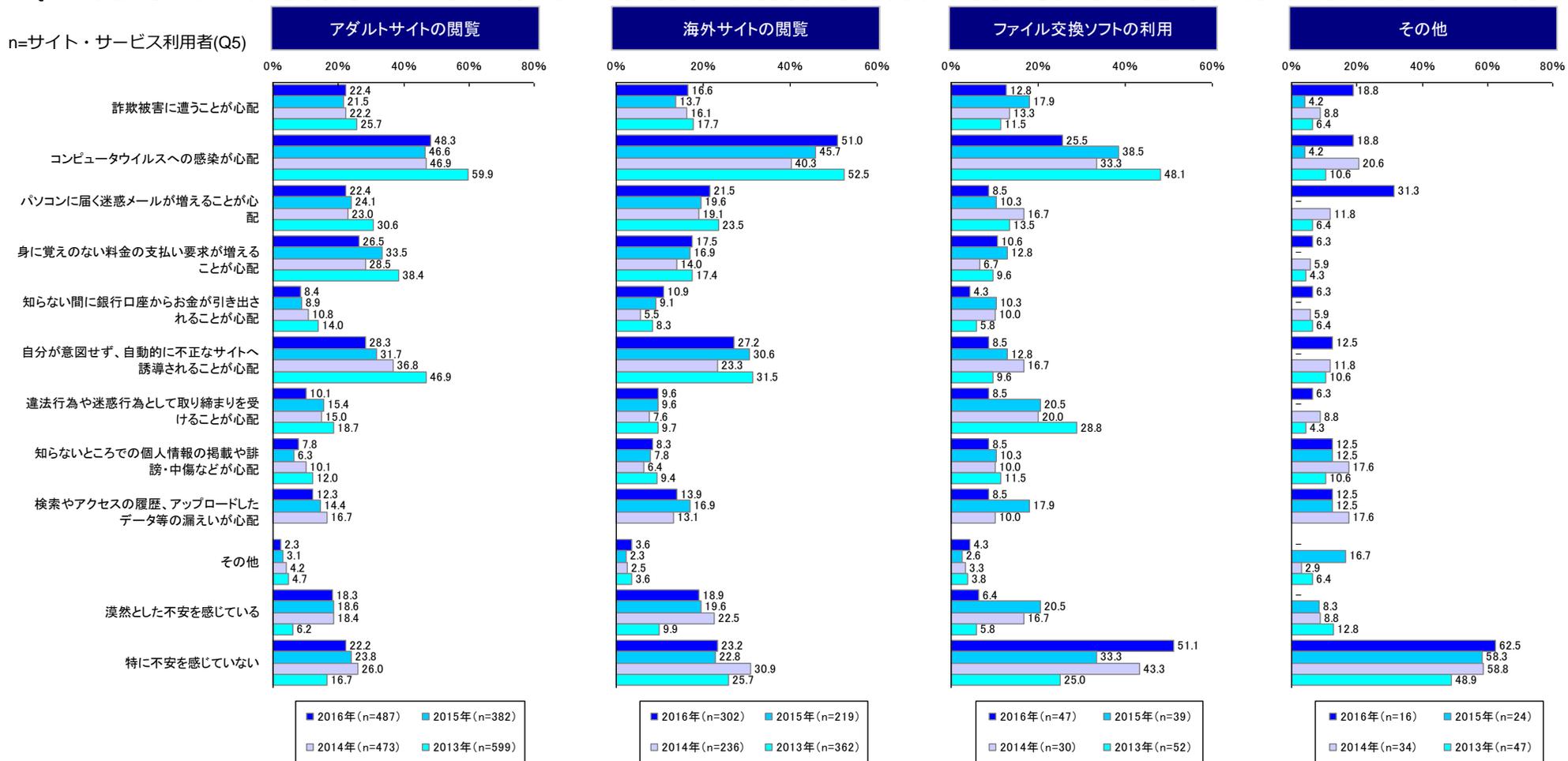
【Q7】 パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)



4-1-10.インターネット利用時の不安要素⑥

- アダルトサイトの閲覧について最も高いのは、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(48.3%)である。次いで「自分が意図せず、自動的に不正なサイトへ誘導されることが心配」(28.3%)、「身に覚えのない料金の支払い要求が増えることが心配」(26.5%)、「詐欺被害に遭うことが心配」(22.4%)と続く。
- 海外サイトの閲覧について最も高いのは、「コンピュータウイルスへの感染が心配」(51.0%)である。次いで「自分が意図せず、自動的に不正なサイトへ誘導されることが心配」(27.2%)、「特に不安を感じていない」(23.2%)、「パソコンに届く迷惑メールが増えることが心配」(21.5%)と続く。
- ファイル交換ソフトの利用について最も高いのは、「特に不安を感じていない」(51.1%)である。次いで「コンピュータウイルスへの感染が心配」(25.5%)、「詐欺被害に遭うことが心配」(12.8%)、「身に覚えのない料金の支払い要求が増えることが心配」(10.6%)と続く。

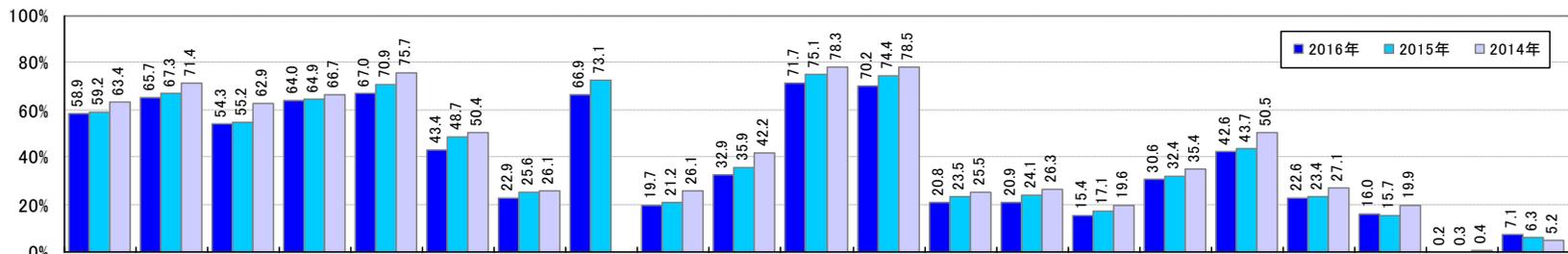
【Q7】 パソコンでインターネットを利用する際、以下のサイトやサービスの利用に対して、不安を感じることがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)



4-1-11.インターネット上に漏えいしたら困る情報

- インターネット上に漏えいしたら困る情報について最も高いのは、「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」(71.7%)である。次いで「銀行の口座情報」(70.2%)、「住所」(67.0%)、「マイナンバー（個人番号）」(66.9%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「固定電話番号」の割合が全体よりも15.3ポイント高い。
- 前年（2015年）と比較すると、「マイナンバー（個人番号）」が6.2ポイント、「生年月日」が5.3ポイント減少している。「住所」が3.9ポイント、「勤務先・通学先」が3ポイント、「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」が3.4ポイント、「銀行の口座情報」が4.2ポイント、「ウェブの閲覧履歴」が3.2ポイントとやや減少している。

【Q8】 インターネット上に漏えいしたら困るものとして、以下からあてはまるものをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）



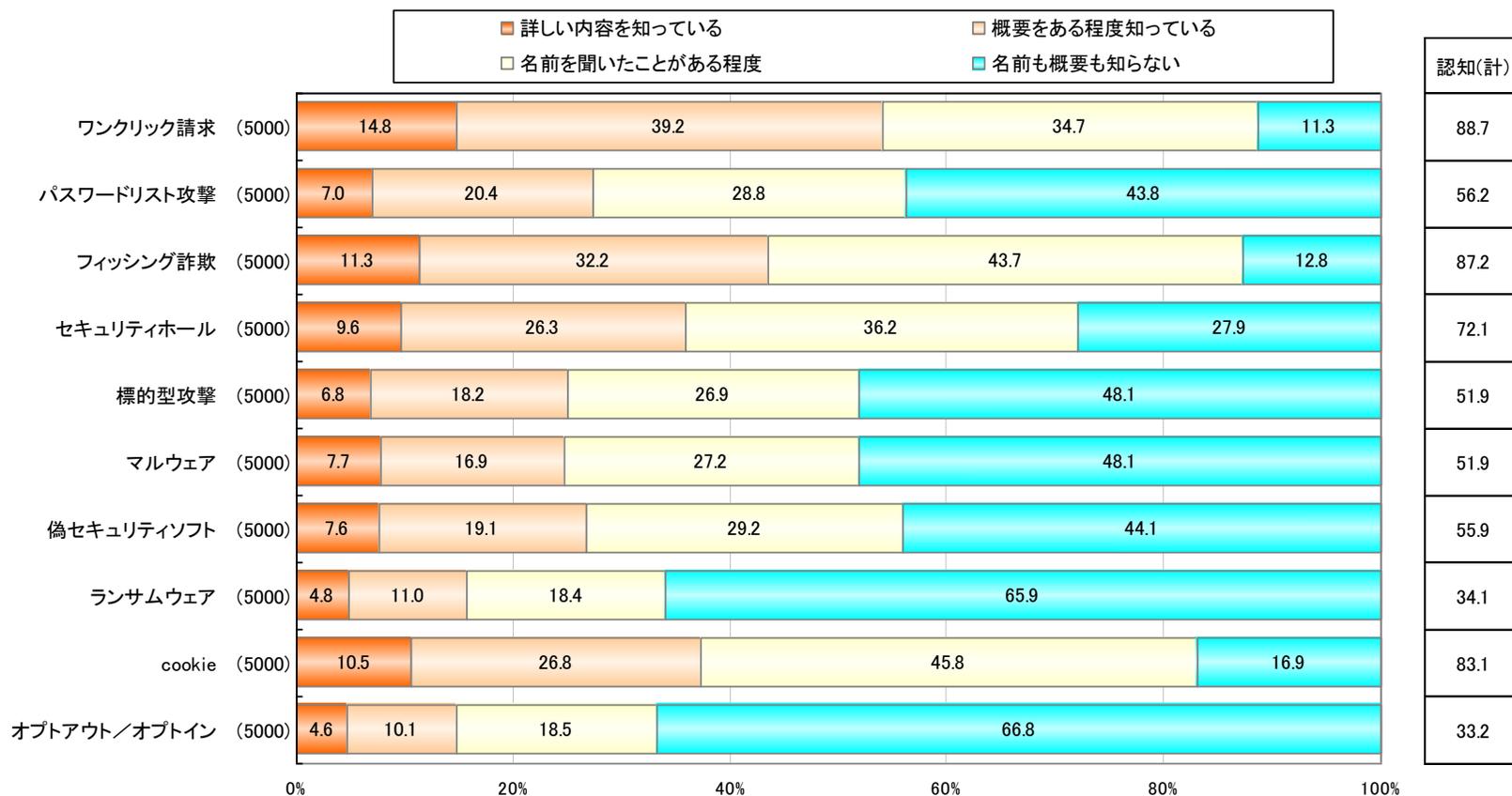
■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

		全体	電子メールアドレス	氏名	固定電話番号	携帯電話番号	住所	生年月日	性別	マイナンバー（個人番号）	職業	勤務先・通学先	クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード	銀行の口座情報	ウェブの検索履歴	ウェブの閲覧履歴	文字入力履歴	位置情報	自分が写っている写真	アップした写真	インターネット上にアップしたデータ	ネットストレージ等のインターネット上にアップしたデータ	その他	特になし
性別	全体	5000	58.9	65.7	54.3	64.0	67.0	43.4	22.9	66.9	19.7	32.9	71.7	70.2	20.8	20.9	15.4	30.6	42.6	22.6	16.0	0.2	7.1	
	男性	2740	55.5	59.9	51.4	59.5	61.3	38.4	21.1	64.5	19.3	32.3	69.1	67.8	18.3	18.6	14.1	25.6	36.3	18.5	14.3	0.2	8.6	
	女性	2260	63.0	72.8	57.7	69.6	74.0	49.5	25.0	69.7	20.2	33.7	74.9	73.1	23.7	23.6	17.1	36.7	50.3	27.5	18.0	0.1	5.4	
年代別	10代	385	60.0	69.4	53.8	60.5	66.8	44.9	24.7	56.9	16.1	40.8	47.0	47.8	15.6	14.3	11.4	26.2	40.3	21.0	15.1	0.5	7.5	
	20代	759	50.6	64.0	45.6	60.9	67.1	34.9	18.4	59.2	24.2	40.4	62.8	64.3	24.1	25.0	19.8	36.2	46.6	27.3	21.1	0.1	11.2	
	30代	901	54.6	64.9	43.8	63.5	67.6	39.7	21.8	65.0	22.1	37.6	70.7	69.1	23.3	23.1	16.6	32.2	44.7	25.3	16.4	0.2	8.5	
	40代	1063	58.1	68.0	56.1	65.7	67.8	44.7	22.2	69.6	25.0	38.4	77.9	73.9	22.8	23.0	19.4	36.0	46.5	25.5	18.3	0.1	5.9	
	50代	799	62.0	65.6	57.7	67.2	67.8	46.3	24.2	71.5	18.3	32.9	77.5	74.3	19.6	20.4	15.0	30.4	41.3	21.5	13.3	0.1	5.6	
	60代	721	64.9	64.1	62.3	65.6	65.7	48.7	24.8	71.0	13.5	18.4	76.8	75.6	14.8	15.3	9.7	23.4	34.8	15.3	11.8	-	4.9	
	70代以上	372	69.4	64.0	69.6	61.0	64.5	48.1	28.2	71.5	8.6	10.8	78.0	78.0	21.2	19.9	8.6	18.8	38.7	15.9	12.6	0.3	6.2	
パソコン習熟度	レベル4	493	53.5	60.4	53.5	59.8	60.0	37.3	21.1	68.0	22.1	36.9	74.4	69.2	22.1	22.7	20.7	34.1	42.8	25.2	22.9	0.6	8.5	
	レベル3	1902	59.7	66.8	54.9	66.2	69.7	43.1	22.5	70.1	21.5	36.9	75.4	74.6	23.6	24.2	18.7	35.9	46.4	26.6	20.9	0.1	5.6	
	レベル2	1802	60.5	68.6	56.9	66.1	70.3	46.0	23.5	68.3	18.0	31.7	73.2	71.1	20.0	19.8	12.7	28.1	43.1	20.8	11.8	0.1	5.8	
	レベル1	803	56.9	59.7	47.1	56.9	57.9	42.2	23.5	55.4	17.9	23.9	57.9	58.5	14.9	14.6	10.6	21.8	32.5	15.4	9.3	0.1	13.1	
時系列	2015年	5000	59.2	67.3	55.2	64.9	70.9	48.7	25.6	73.1	21.2	35.9	75.1	74.4	23.5	24.1	17.1	32.4	43.7	23.4	15.7	0.3	6.3	
	2014年	5000	63.4	71.4	62.9	66.7	75.7	50.4	26.1		26.1	42.2	78.3	78.5	25.5	26.3	19.6	35.4	50.5	27.1	19.9	0.4	5.2	

4-2.情報セキュリティの脅威に対する意識 4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知①

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知（計）の割合をみると、「ワンクリック請求」（88.7%）が最も高い。次いで「フィッシング詐欺」（87.2%）、「cookie」（83.1%）、「セキュリティホール」（72.1%）と続く。

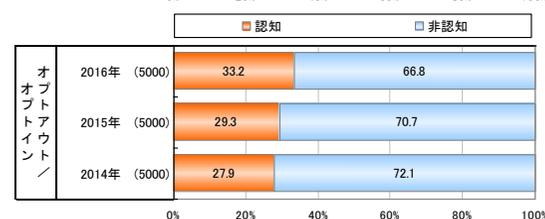
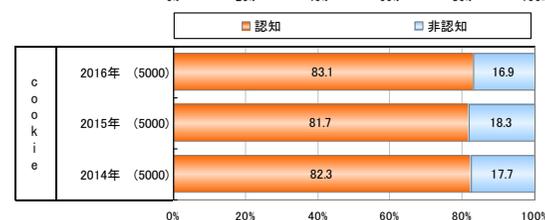
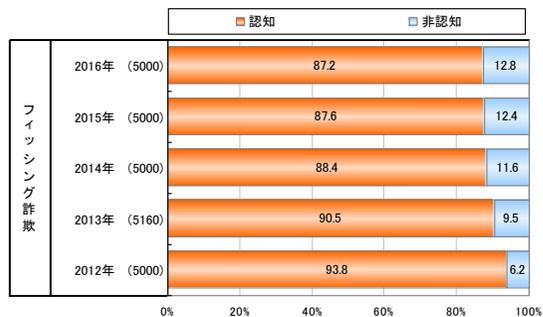
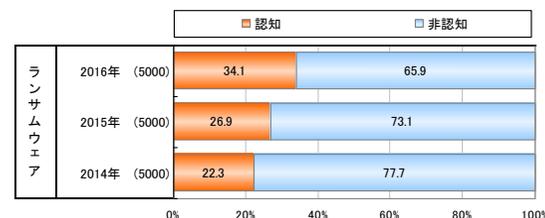
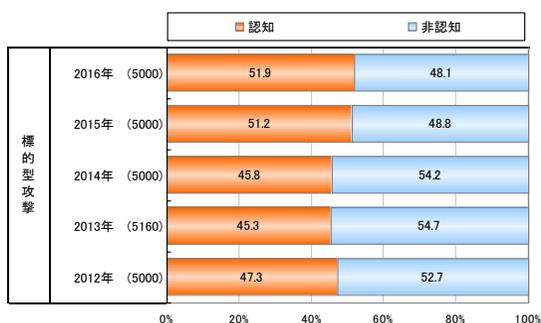
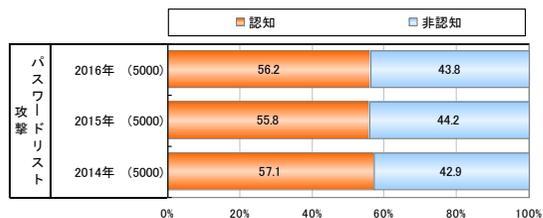
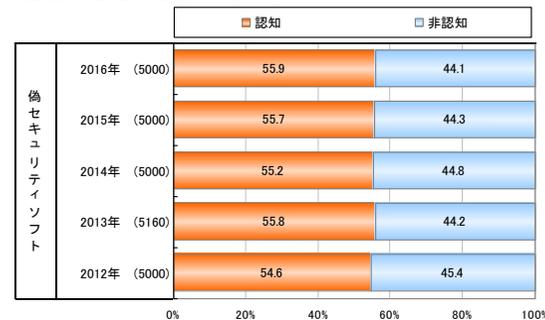
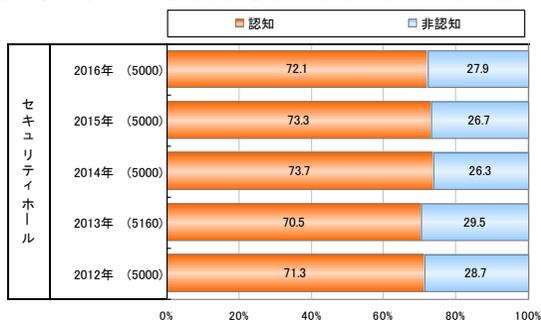
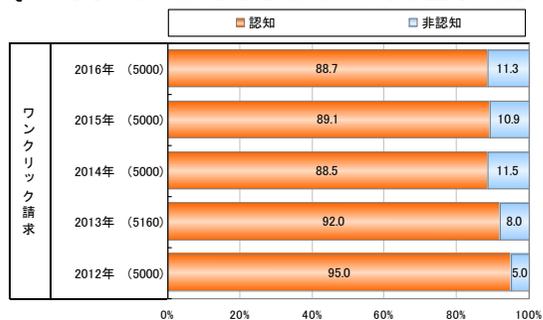
【Q9】 あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威等についてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）



4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知②

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の「認知」割合について、前年（2015年）と比較すると、「マルウェア」の割合が3.2ポイント、「オプトアウト/オプトイン」の割合が3.9ポイントとやや増加している。「ランサムウェア」の割合が7.2ポイント増加している。

【Q9】 あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威等についてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

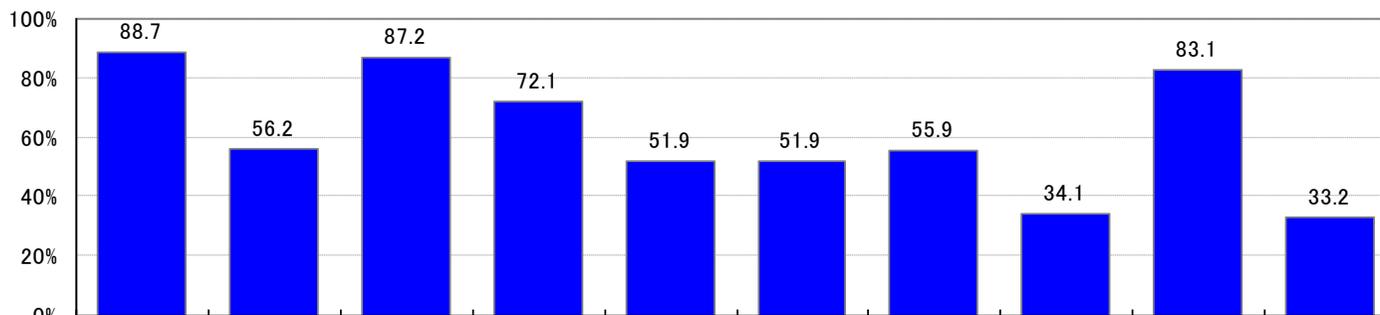


4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知③

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知について最も高いのは、「ワンクリック請求」(88.7%)である。次いで「フィッシング詐欺」(87.2%)、「cookie (クッキー)」(83.1%)、「セキュリティホール (脆弱性)」(72.1%)と続く。
- 性別でみると、男性は「マルウェア」の割合が全体よりも10.1ポイント高い。
- 年代別でみると、20代は「マルウェア」の割合が全体よりも10.7ポイント高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「パスワードリスト攻撃 (リスト型アカウントハッキング)」が27ポイント、「セキュリティホール (脆弱性)」が21ポイント、「標的型攻撃」が30.7ポイント、「マルウェア」が37.1ポイント、「偽セキュリティソフト」が26.7ポイント、「ランサムウェア」が33.9ポイント、「オプトアウト (opt-out) / オプトイン (opt-in)」が29.7ポイント、レベル3は「マルウェア」が16.5ポイントと全体よりも高い。

[Q9] あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威等についてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※値は「詳しい内容を知っている」「概要をある程度知っている」「名前を聞いたことがある程度」の合計値



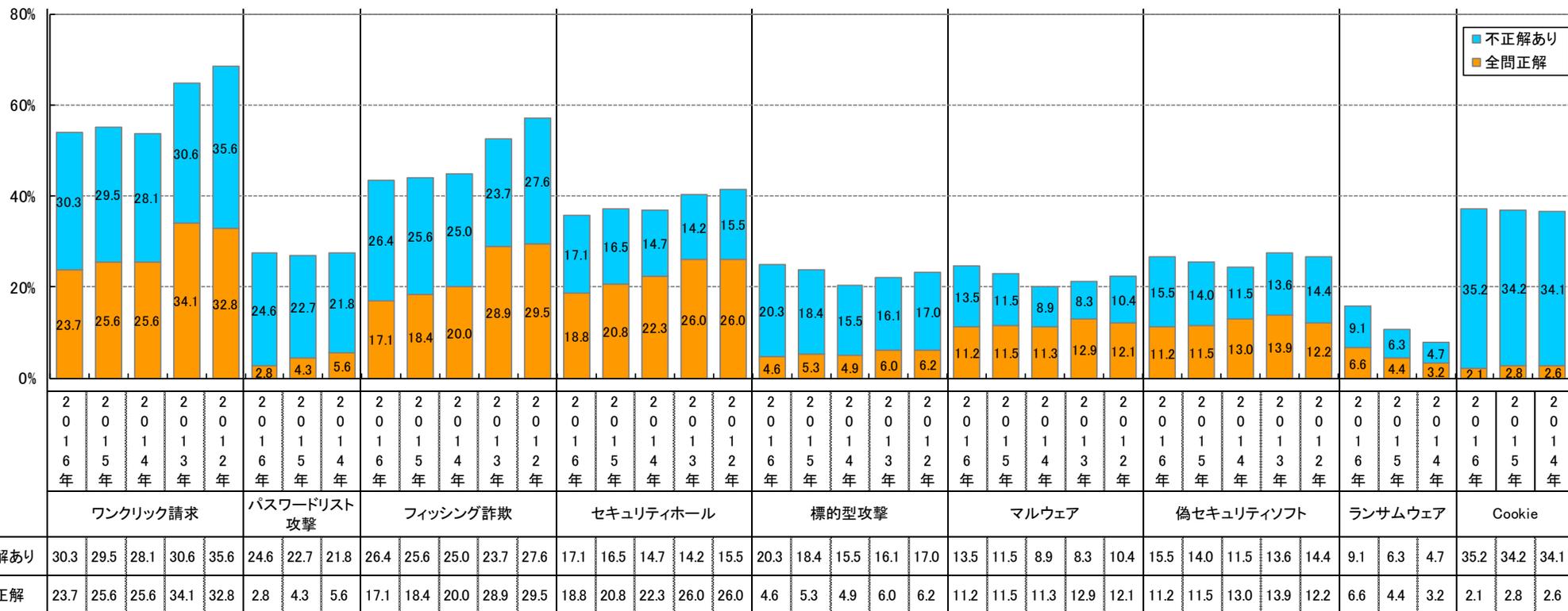
	全体	認知率 (%)										
		ワンクリック請求	パスワードリスト攻撃 (リスト型アカウントハッキング)	フィッシング詐欺	セキュリティホール (脆弱性)	標的型攻撃	マルウェア	偽セキュリティソフト	ランサムウェア	cookie (クッキー)	オプトアウト (opt-out) / オプトイン (opt-in)	
全体	5000	88.7	56.2	87.2	72.1	51.9	51.9	55.9	34.1	83.1	33.2	
性別	男性	2740	91.5	63.0	91.3	79.8	61.9	62.0	62.5	41.9	85.5	38.4
	女性	2260	85.3	48.0	82.3	62.8	39.8	39.5	47.8	24.6	80.2	27.0
年代別	10代	385	85.7	56.9	77.4	66.2	50.6	50.6	52.5	38.4	73.8	37.9
	20代	759	91.4	60.5	85.4	71.9	53.8	62.6	60.6	44.0	83.9	40.2
	30代	901	90.9	55.8	87.0	69.5	49.7	57.9	55.6	39.6	84.0	37.4
	40代	1063	91.7	58.2	90.9	76.2	55.4	56.9	58.6	38.0	87.4	38.4
	50代	799	88.2	56.1	89.2	72.5	50.7	49.4	56.6	30.9	86.6	28.9
	60代	721	84.9	51.0	87.4	72.0	49.1	38.3	50.2	19.7	80.4	21.1
	70代以上	372	80.4	52.4	86.3	72.8	52.7	33.6	52.2	19.4	74.5	22.3
パソコン習熟度	レベル4	493	95.9	83.2	96.3	93.1	82.6	89.0	82.6	68.0	94.9	62.9
	レベル3	1902	94.7	67.0	94.9	86.9	64.7	68.4	68.9	44.6	93.2	41.9
	レベル2	1802	87.6	46.4	84.9	63.3	40.3	36.5	45.3	20.8	78.8	22.3
	レベル1	803	72.4	36.1	68.5	44.2	28.8	24.3	32.4	18.2	61.6	19.2

4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度①

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度について、全問正解の割合をみると、「ワンクリック請求」(23.7%)が最も高い。次いで「セキュリティホール」(18.8%)、「フィッシング詐欺」(17.1%)、「マルウェア」(11.2%)、「偽セキュリティソフト」(11.2%)と続く。

【Q10】 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※インターネット上での各攻撃・脅威を問う設問において、全3問正解の場合を「全問正解」、正解が2問以下の場合を「不正解」と定義している。
 ※n数を調査対象者全体として算出。2016年：n=5000、2015年：n=5000、2014年：n=5000、2013年：n=5160、2012年：n=5000

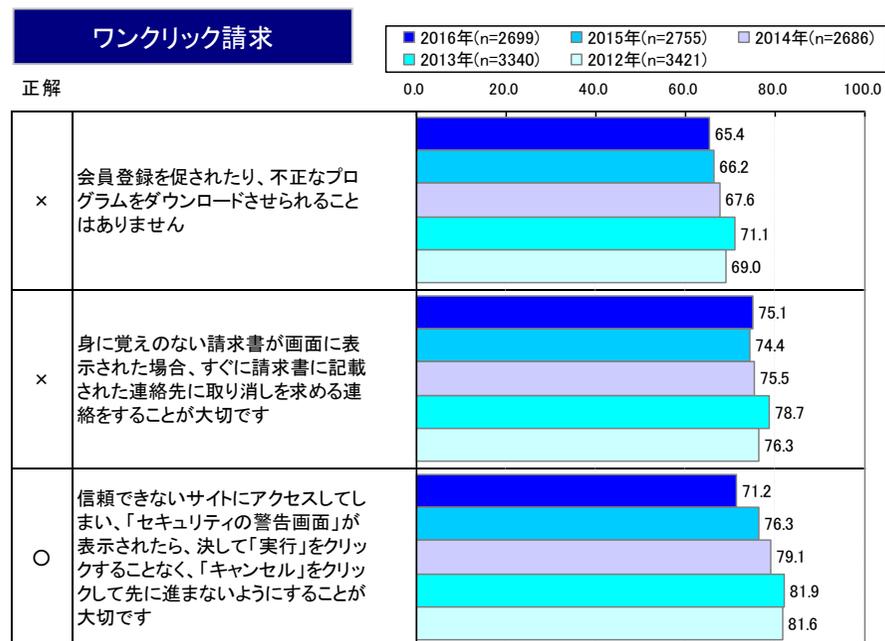


4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度②

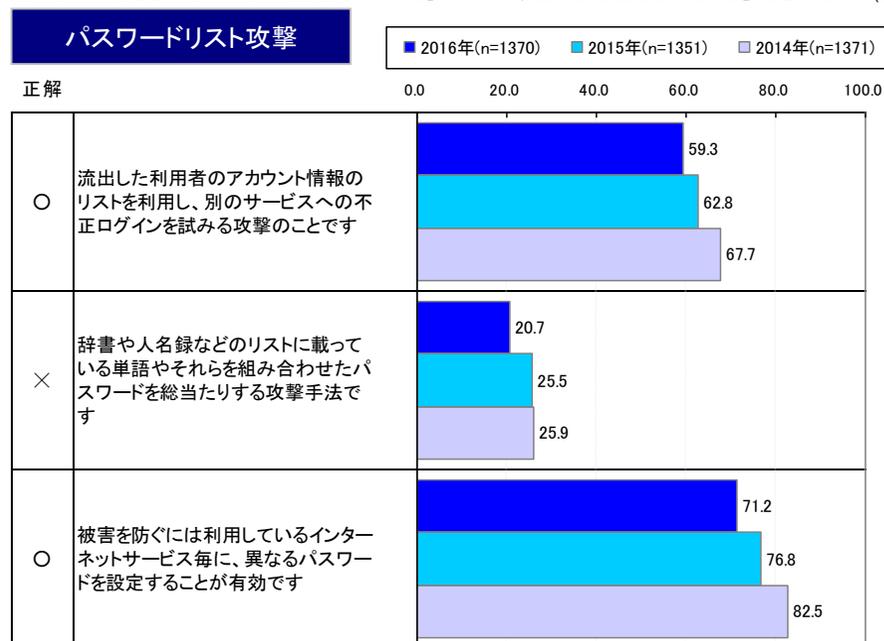
- ワンクリック請求について、全問正解率は43.9%。
- 前年（2015年）と比較すると、「信頼できないサイトにアクセスしてしまい、「セキュリティの警告画面」が表示されたら、決して「実行」をクリックすることなく、「キャンセル」をクリックして先に進まないようにすることが大切です」の正解率が5.1ポイント減少している。
- パスワードリスト攻撃について、全問正解率は10.1%。前年（2015年）よりも5.8ポイント減少している。
- 前年（2015年）と比較すると、全ての項目の正解率が減少している。

【Q10】 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q9)



	全問正解	不正解あり
2016年	43.9%	56.1%
2015年	46.5%	53.5%
2014年	47.7%	52.3%
2013年	52.7%	47.3%
2012年	47.9%	52.1%



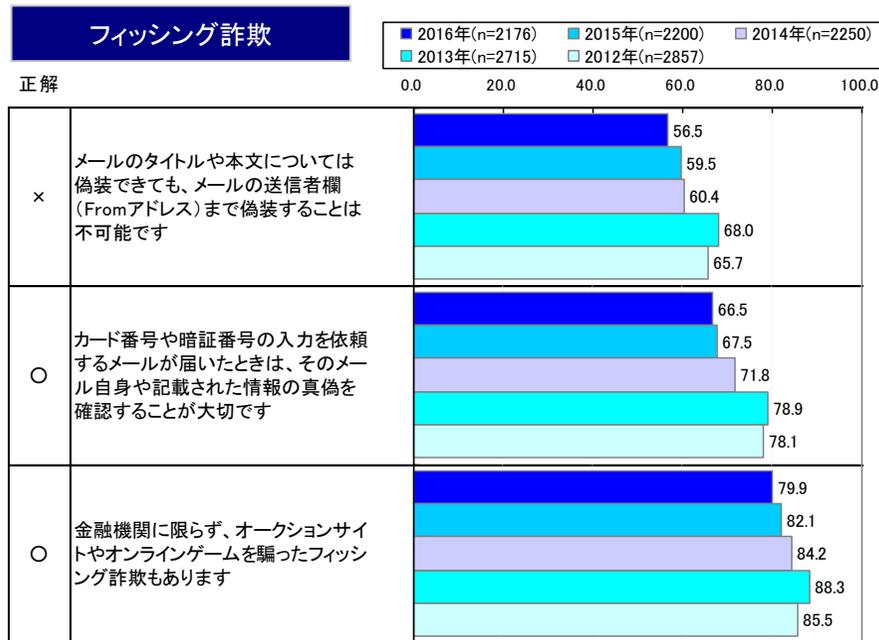
	全問正解	不正解あり
2016年	10.1%	89.9%
2015年	15.9%	84.1%
2014年	20.5%	79.5%

4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度③

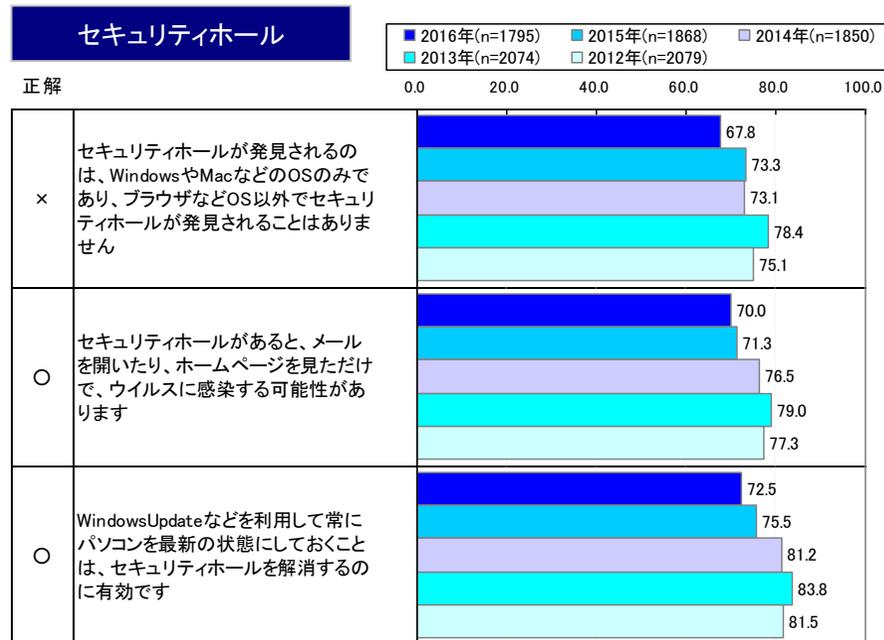
- フィッシング詐欺について、全問正解率は39.2%。
- 前年（2015年）と比較すると、「メールのタイトルや本文については偽装できて、メールの送信者欄（Fromアドレス）まで偽装することは不可能です」の正解率が3ポイントとやや減少している。
- セキュリティホールについて、全問正解率は52.3%。前年（2015年）よりも3.5ポイントとやや減少している。
- 前年（2015年）と比較すると、「セキュリティホールが発見されるのは、WindowsやMacなどのOSのみであり、ブラウザなどOS以外でセキュリティホールが発見されることはありません」の正解率が5.5ポイント減少している。「WindowsUpdateなどを利用して常にパソコンを最新の状態にしておくことは、セキュリティホールを解消するのに有効です」の正解率が3ポイントとやや減少している。

【Q10】 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q9)



	全問正解	不正解あり
2016年	39.2%	60.8%
2015年	41.9%	58.1%
2014年	44.5%	55.5%
2013年	54.9%	45.1%
2012年	51.7%	48.3%



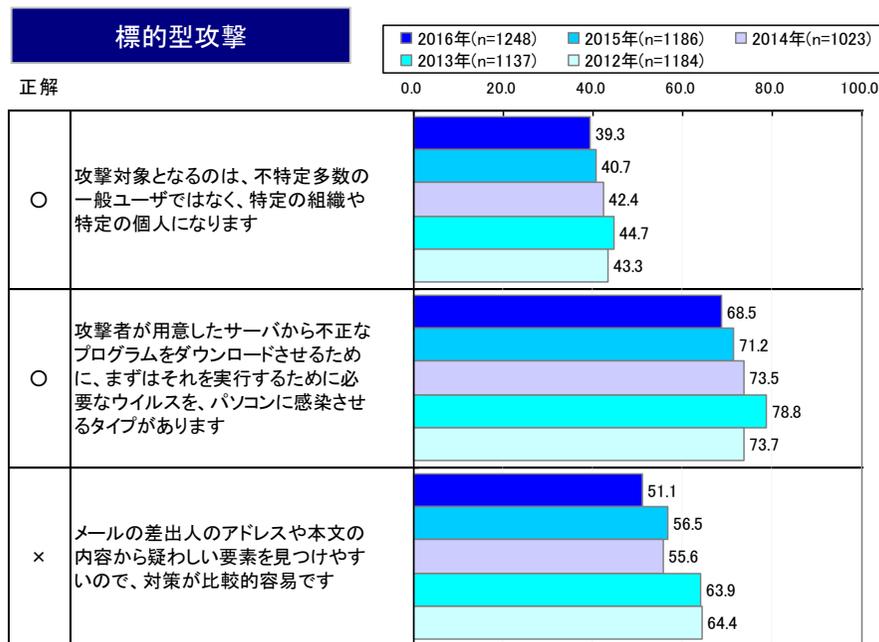
	全問正解	不正解あり
2016年	52.3%	47.7%
2015年	55.8%	44.2%
2014年	60.3%	39.7%
2013年	64.7%	35.3%
2012年	62.7%	37.3%

4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度④

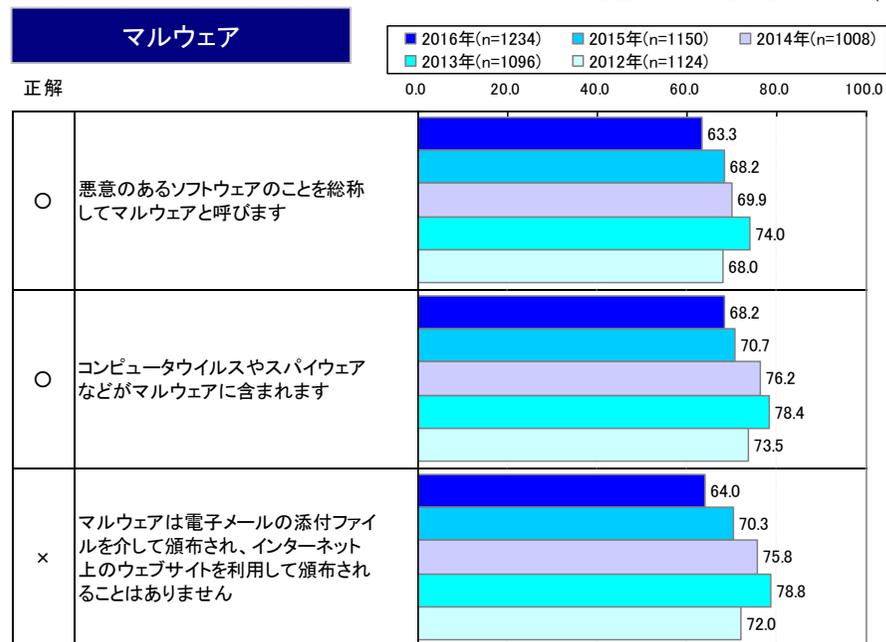
- 標的型攻撃について、全問正解率は18.6%。前年（2015年）よりも3.9ポイントとやや減少している。
- 前年（2015年）と比較すると、「メールの差出人のアドレスや本文の内容から疑わしい要素を見つけやすいので、対策が比較的容易です」の正解率が5.4ポイント減少している。
- マルウェアについて、全問正解率は45.4%。前年（2015年）よりも4.8ポイントとやや減少している。
- 前年（2015年）と比較すると、「マルウェアは電子メールの添付ファイルを通じて頒布され、インターネット上のウェブサイトを利用して頒布されることはありません」の正解率が6.3ポイント減少している。「悪意のあるソフトウェアのことを総称してマルウェアと呼びます」の正解率が4.9ポイントとやや減少している。

【Q10】 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q9)



	全問正解	不正解あり
2016年	18.6%	81.4%
2015年	22.5%	77.5%
2014年	24.0%	76.0%
2013年	27.1%	72.9%
2012年	26.8%	73.2%



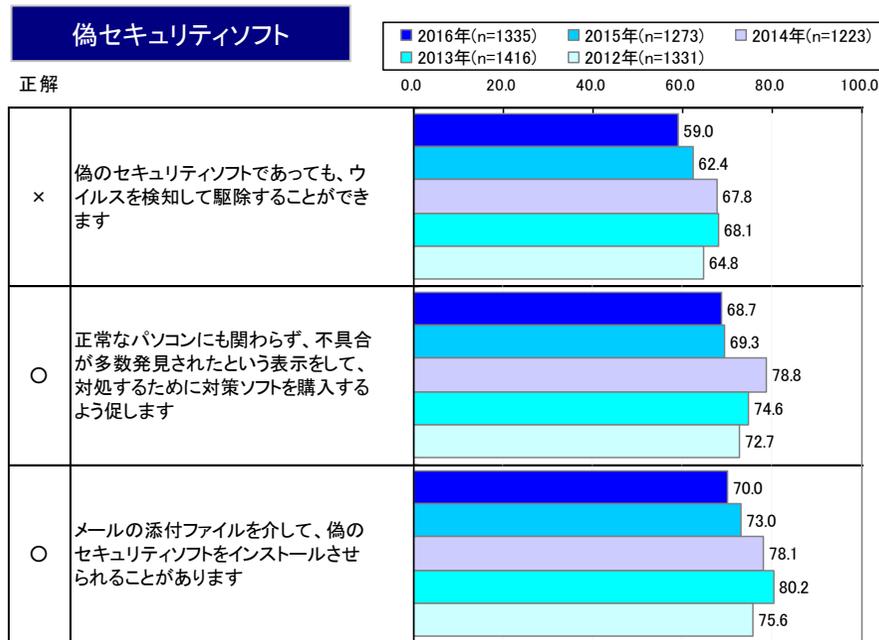
	全問正解	不正解あり
2016年	45.4%	54.6%
2015年	50.2%	49.8%
2014年	56.1%	43.9%
2013年	60.8%	39.2%
2012年	53.8%	46.2%

4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑤

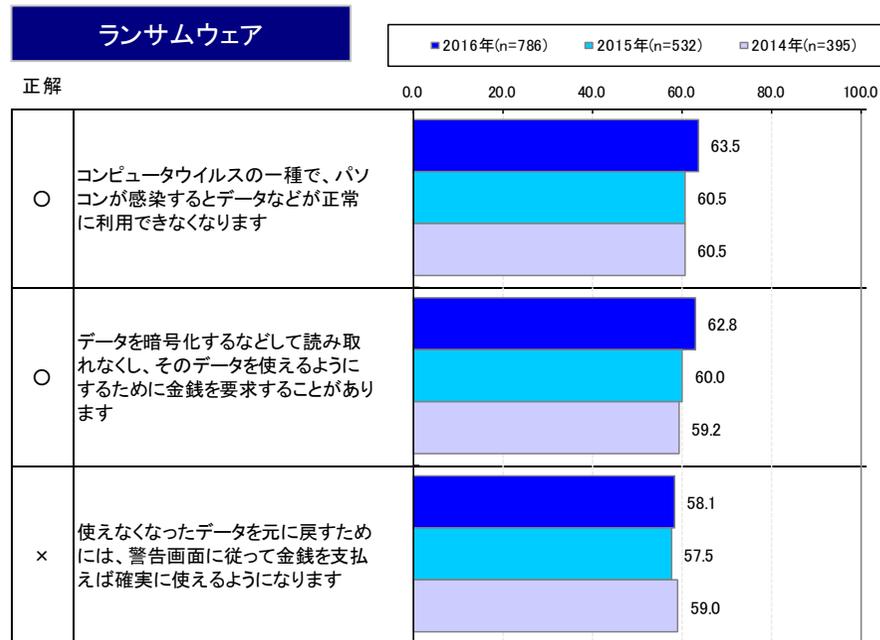
- 偽セキュリティソフトについて、全問正解率は41.9%。前年（2015年）よりも3.1ポイントとやや減少している。
- 前年（2015年）と比較すると、「偽のセキュリティソフトであっても、ウイルスを検知して駆除することができます」が3.4ポイント、「メールの添付ファイルを介して、偽のセキュリティソフトをインストールさせられることがあります」が3ポイントと正解率がやや減少している。
- ランサムウェアについて、全問正解率は42.2%。
- 前年（2015年）と比較すると、「コンピュータウイルスの一種で、パソコンが感染するとデータなどが正常に利用できなくなります」の正解率が3ポイントとやや増加している。

【Q10】 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q9)



	全問正解	不正解あり
2016年	41.9%	58.1%
2015年	45.0%	55.0%
2014年	53.1%	46.9%
2013年	50.6%	49.4%
2012年	45.8%	54.8%



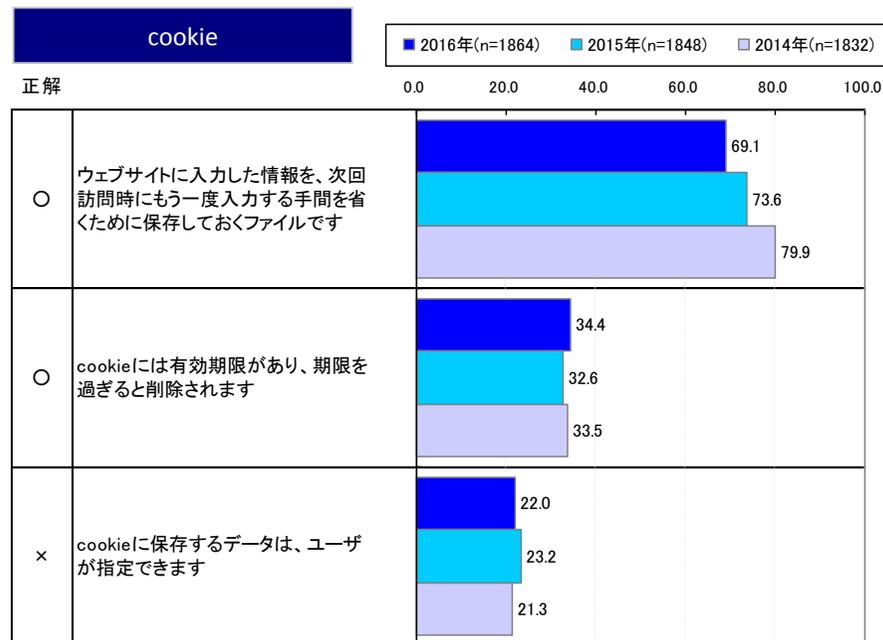
	全問正解	不正解あり
2016年	42.2%	57.8%
2015年	41.0%	59.0%
2014年	40.0%	60.0%

4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑥

- Cookieについて、全問正解率は5.6%。
- 前年（2015年）と比較すると、「ウェブサイトに入力した情報を、次回訪問時にもう一度入力する手間を省くために保存しておくファイルです」の正解率が4.5ポイントとやや減少している。

【Q10】 それぞれの項目について、概要や特徴に関する説明が正しいか間違っているかについて、あなたが思うものを選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q9)



	全問正解	不正解あり
2016年	5.6%	94.4%
2015年	7.5%	92.5%
2014年	7.0%	93.0%

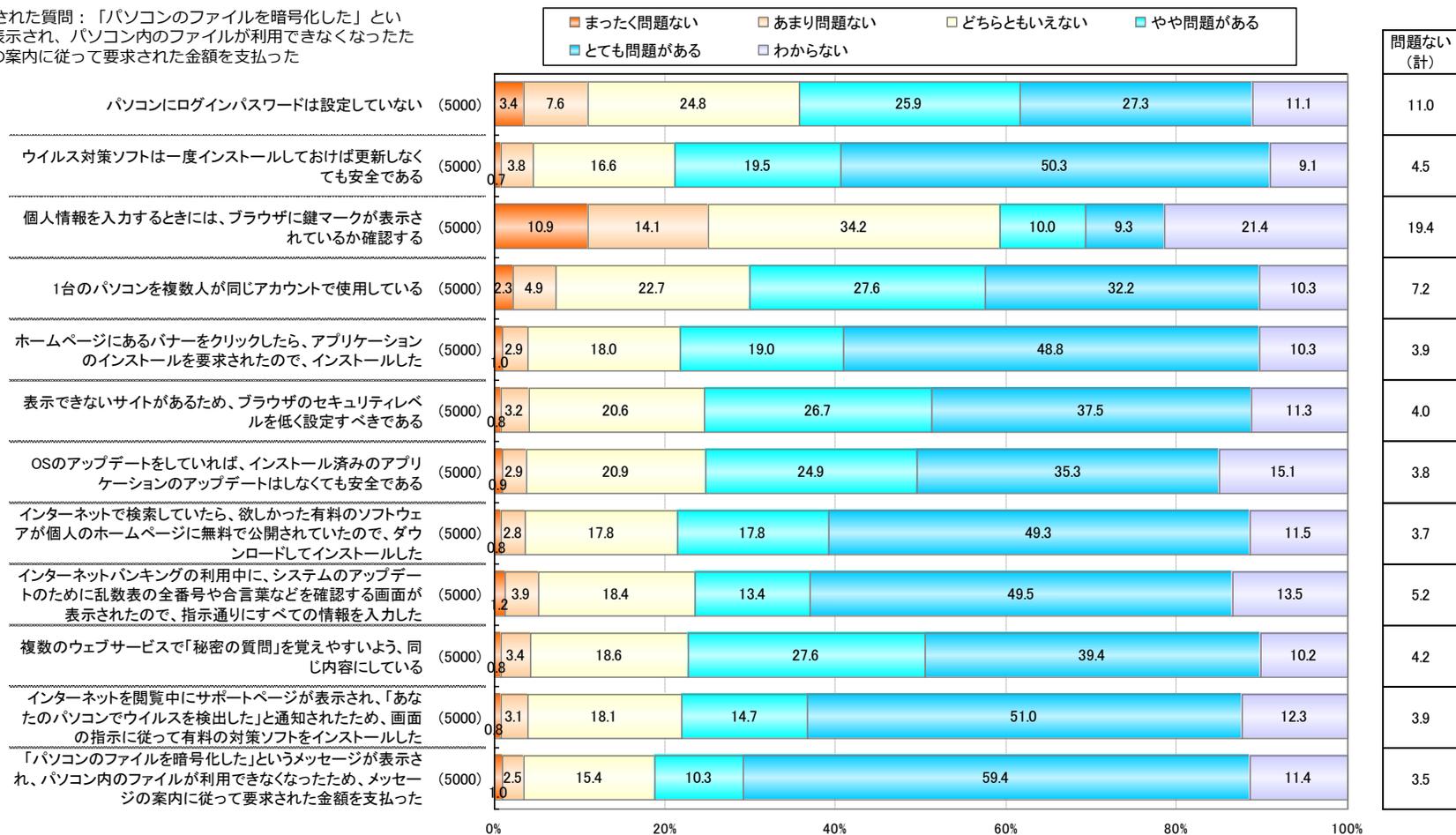
4-2-3.情報セキュリティに関する問題意識①

- 情報セキュリティに関する問題意識について、問題ない（計）の割合が最も高いのは「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」（19.4%）である。次いで「パソコンにログインパスワードは設定していない」（11.0%）、「1台のパソコンを複数人が同じアカウントで使用している」（7.2%）、「インターネットバンキングの利用中に、システムのアップデートのために乱数表の全番号や合言葉などを確認する画面が表示されたので、指示通りにすべての情報を入力した」（5.2%）と続く。

※「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」は反転項目のため、「とても問題がある」「やや問題がある」の合計が対象

【Q11】以下の行為について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

2016年度に追加された質問：「パソコンのファイルを暗号化した」というメッセージが表示され、パソコン内のファイルが利用できなくなったため、メッセージの案内に従って要求された金額を支払った

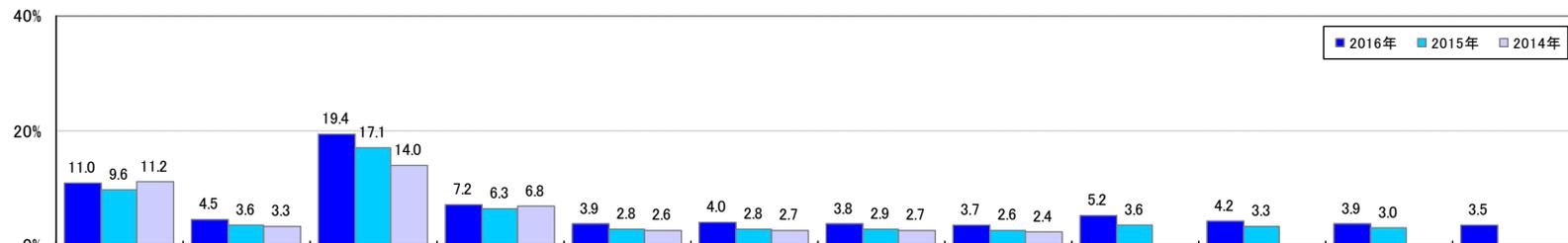


4-2-3.情報セキュリティに関する問題意識②

- 情報セキュリティに関する問題意識について最も高いのは、「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」(19.4%)である。次いで「パソコンにログインパスワードは設定していない」(11.0%)、「1台のパソコンを複数人が同じアカウントで使用している」(7.2%)、「インターネットバンキングの利用中に、システムのアップデートのために乱数表の全番号や合言葉などを確認する画面が表示されたので、指示通りにすべての情報を入力した」(5.2%)と続く。
- 年代別で見ると、70代以上は「パソコンにログインパスワードは設定していない」の割合が全体よりも6.5ポイントとやや高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」の割合が全体よりも5.3ポイントとやや高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」の割合が2.3ポイントとやや増加している。

【Q11】 以下の行為について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※値は「まったく問題ない」「あまり問題ない」の合計値
 ※「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」は反転項目のため「とても問題がある」「やや問題がある」の合計値



2016年度に追加された質問：「パソコンのファイルを暗号化した」というメッセージが表示され、パソコン内のファイルが利用できなくなったため、メッセージの案内に従って要求された金額を支払った

■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下 (属性n=30以上)

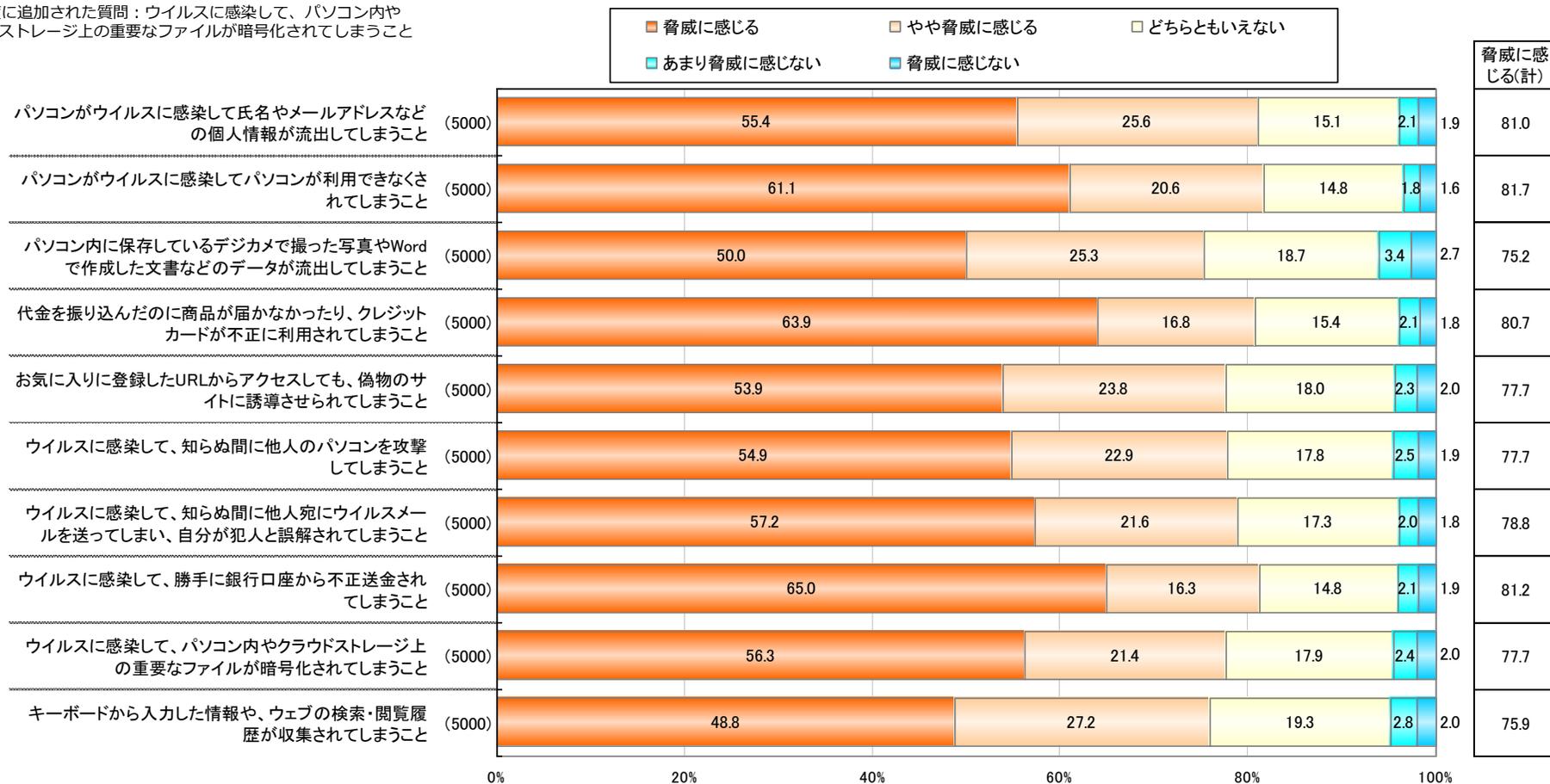
属性	属性	属性	定パソコンにログインパスワードは設定していない	全ユーザーに対して対策ソフトウェアは更新しなくても安全	個人情報を入力するときに、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する	1台のパソコンを複数人が同じアカウントで使用している	ホスト/クライアント間の接続を安全にする	表示できないセキュリティがあるため、ブラウザのアドレス欄に鍵マークが表示されているか確認する	インターネットバンキングの利用中に、システムのアップデートのために乱数表の全番号や合言葉などを確認する画面が表示されたので、指示通りにすべての情報を入力した						
全体	5000		11.0	4.5	19.4	7.2	3.9	4.0	3.8	3.7	5.2	4.2	3.9	3.5	
性別	男性	2740	11.5	4.6	19.4	6.6	3.6	4.1	3.9	3.7	5.1	4.3	3.8	3.5	
	女性	2260	10.4	4.3	19.3	7.8	4.2	3.9	3.7	3.6	5.2	4.1	4.0	3.5	
年代別	10代	385	9.6	5.5	21.8	6.5	3.6	4.4	3.6	4.4	4.9	5.5	5.2	3.4	
	20代	759	9.6	5.9	19.2	6.3	4.2	5.7	4.6	4.1	5.3	4.3	4.5	4.6	
	30代	901	11.0	5.4	22.2	9.2	5.4	6.0	5.9	5.3	7.0	5.8	5.0	5.2	
	40代	1063	9.5	3.5	19.0	4.8	2.7	2.4	2.5	2.4	3.2	3.1	2.9	2.2	
	50代	799	9.5	3.9	18.9	7.1	4.3	3.5	3.6	3.8	5.5	3.6	3.6	3.5	
	60代	721	13.7	4.2	17.5	7.1	2.9	2.8	3.1	3.1	4.7	3.5	3.1	2.8	
	70代以上	372	17.5	3.2	15.9	11.6	4.0	3.2	3.0	2.7	6.5	4.6	4.0	2.2	
パソコン習熟度	レベル4	493	11.6	4.9	24.7	6.5	4.7	5.3	4.7	4.1	6.5	4.7	4.9	4.3	
	レベル3	1902	10.5	4.2	19.2	5.8	3.2	3.9	3.4	3.4	5.3	3.8	3.5	3.2	
	レベル2	1802	11.5	4.6	17.9	8.2	3.9	3.9	3.7	3.7	4.9	4.3	3.6	3.1	
	レベル1	803	10.6	4.9	19.6	8.5	5.0	3.7	4.6	4.1	4.7	4.5	5.0	4.7	
時系列	2015年	5000	9.6	3.6	17.1	6.3	2.8	2.8	2.9	2.6	3.6	3.3	3.0	4.7	
	2014年	5000	11.2	3.3	14.0	6.8	2.6	2.7	2.4	2.4	3.6	3.3	3.0	4.7	

4-2-4.情報セキュリティに関する攻撃の脅威度①

- 情報セキュリティに関する攻撃の脅威度について、脅威を感じる（計）の割合が最も高いのは「パソコンがウイルスに感染してパソコンが利用できなくなってしまうこと」（81.7%）である。次いで「ウイルスに感染して、勝手に銀行口座から不正送金されてしまうこと」（81.2%）、「パソコンがウイルスに感染して氏名やメールアドレスなどの個人情報が流出してしまうこと」（81.0%）、「代金を振り込んだのに商品が届かなかったり、クレジットカードが不正に利用されてしまうこと」（80.7%）と続く。

【Q12】 あなたは、次にあげるインターネット上の攻撃や被害を、どの程度脅威に感じていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

2016年度に追加された質問：ウイルスに感染して、パソコン内やクラウドストレージ上の重要なファイルが暗号化されてしまうこと

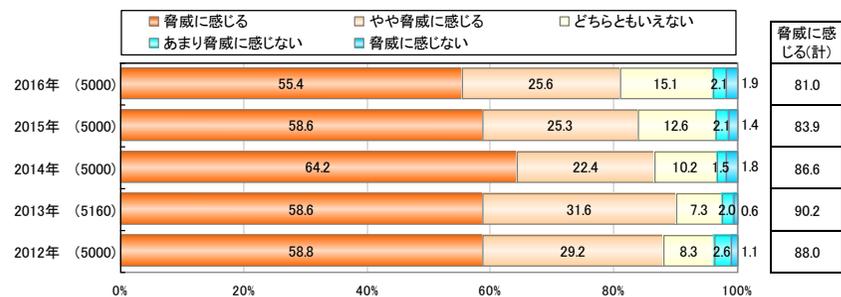


4-2-4.情報セキュリティに関する攻撃の脅威度②

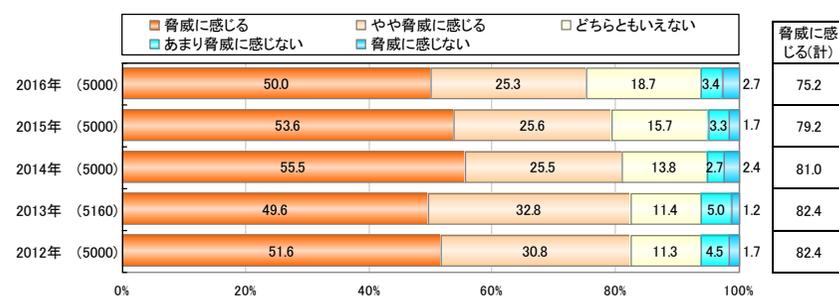
- パソコン内に保存しているデジカメで撮った写真やWordで作成した文書などのデータが流出してしまうことについては、前年（2015年）と比較すると、「脅威に感じる(計)」の割合が4.0ポイントとやや減少している。
- 代金を振り込んだのに商品が届かなかったり、クレジットカードが不正に利用されてしまうことについては、前年（2015年）と比較すると、「脅威に感じる(計)」の割合が3.5ポイントとやや減少している。

【Q12】 あなたは、次にあげるインターネット上の攻撃や被害を、どの程度脅威に感じていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

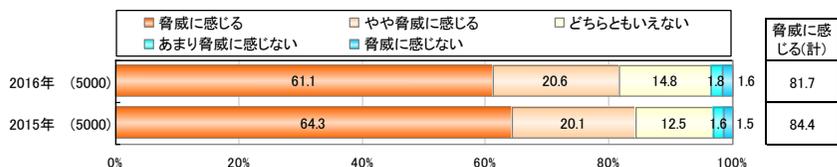
パソコンがウイルスに感染して氏名やメールアドレスなどの個人情報が流出してしまうこと



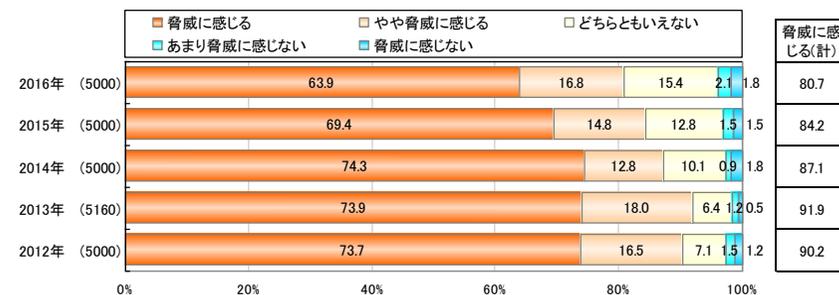
パソコン内に保存しているデジカメで撮った写真やWordで作成した文書などのデータが流出してしまうこと



パソコンがウイルスに感染してパソコンが利用できなくされてしまうこと



代金を振り込んだのに商品が届かなかったり、クレジットカードが不正に利用されてしまうこと

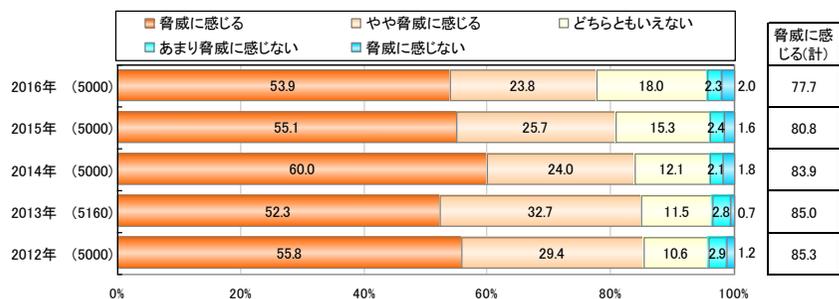


4-2-4.情報セキュリティに関する攻撃の脅威度③

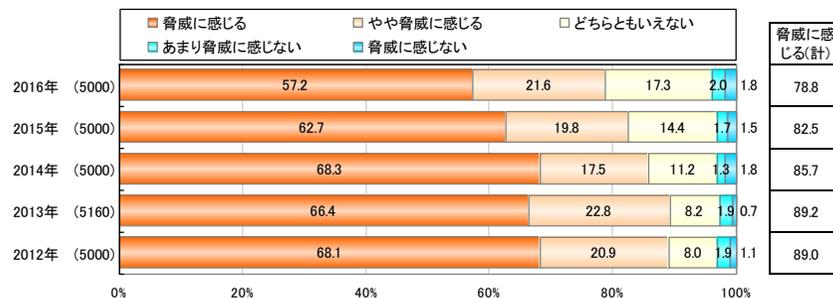
- お気に入りに登録したURLからアクセスしても、偽物のサイトに誘導させられてしまうことについては、前年（2015年）と比較すると、「脅威に感じる(計)」の割合が3.1ポイントとやや減少している。
- ウイルスに感染して、知らぬ間に他人のパソコンを攻撃してしまうことについては、前年（2015年）と比較すると、「脅威に感じる(計)」の割合が4.2ポイントとやや減少している。
- ウイルスに感染して、知らぬ間に他人宛にウイルスメールを送ってしまい、自分が犯人と誤解されてしまうことについては、前年（2015年）と比較すると、「脅威に感じる(計)」の割合が3.7ポイントとやや減少している。
- ウイルスに感染して、勝手に銀行口座から不正送金されてしまうことについては、前年（2015年）と比較すると、「脅威に感じる(計)」の割合が3ポイントとやや減少している。
- キーボードから入力した情報や、ウェブの検索・閲覧履歴が収集されてしまうことについては、前年（2015年）と比較すると、「脅威に感じる(計)」の割合が3.7ポイントとやや減少している。

【Q12】 あなたは、次にあげるインターネット上の攻撃や被害を、どの程度脅威に感じていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

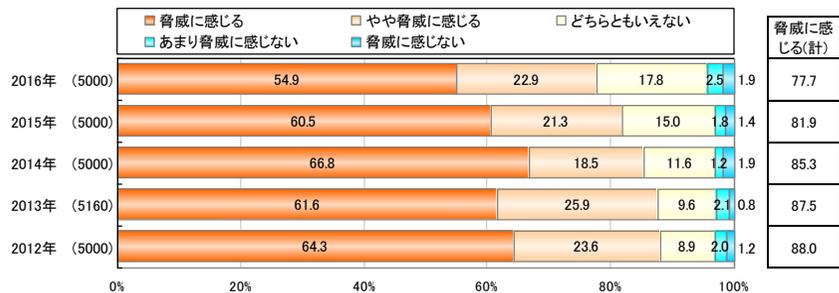
お気に入りに登録したURLからアクセスしても、偽物のサイトに誘導させられてしまうこと



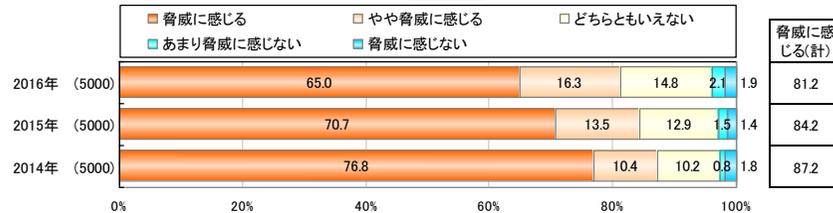
ウイルスに感染して、知らぬ間に他人宛にウイルスメールを送ってしまい、自分が犯人と誤解されてしまうこと



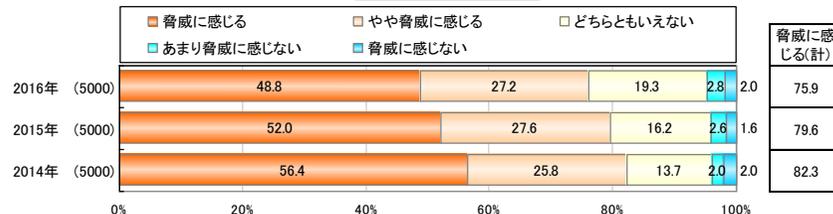
ウイルスに感染して、知らぬ間に他人のパソコンを攻撃してしまうこと



ウイルスに感染して、勝手に銀行口座から不正送金されてしまうこと



キーボードから入力した情報や、ウェブの検索・閲覧履歴が収集されてしまうこと

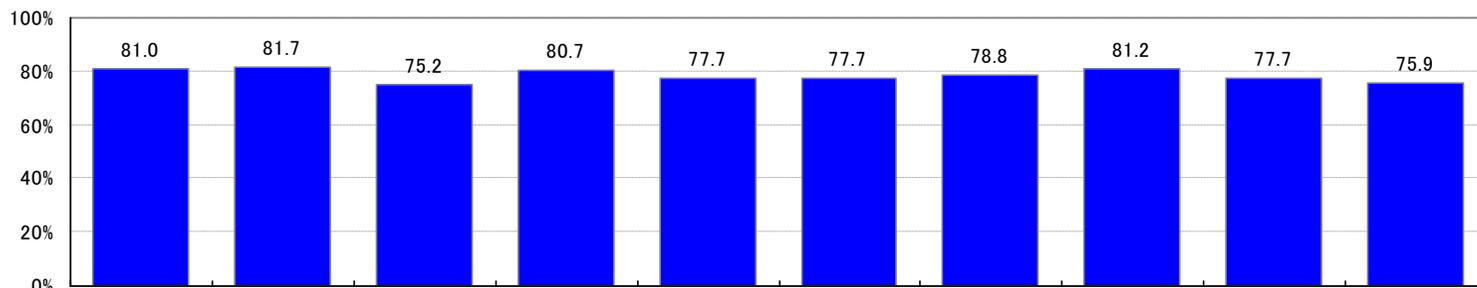


4-2-4.情報セキュリティに関する攻撃の脅威度④

- 情報セキュリティに関する攻撃の脅威度について最も高いのは、「パソコンがウイルスに感染してパソコンが利用できなくなってしまうこと」(81.7%)である。次いで「ウイルスに感染して、勝手に銀行口座から不正送金されてしまうこと」(81.2%)、「パソコンがウイルスに感染して氏名やメールアドレスなどの個人情報が流出してしまうこと」(81.0%)、「代金を振り込んだのに商品が届かなかったり、クレジットカードが不正に利用されてしまうこと」(80.7%)と続く。
- 年代別でみると、60代、70代以上は多数の項目の割合が全体よりも5ポイント以上高い。

【Q12】 あなたは、次にあげるインターネット上の攻撃や被害を、どの程度脅威に感じていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※値は「脅威に感じる」「やや脅威に感じる」の合計値



2016年度に追加された質問：ウイルスに感染して、パソコン内やクラウドストレージ上の重要なファイルが暗号化されてしまうこと

	属性	属性数	脅威の種類									
			個人情報が流出してしまうこと	スマートフォンにウイルスに感染して個人情報が流出してしまうこと	スマートフォンにウイルスに感染して写真や動画が流出してしまうこと	スマートフォンにウイルスに感染してメールが流出してしまうこと	スマートフォンにウイルスに感染してSNSのアカウントが乗っ取られてしまうこと	スマートフォンにウイルスに感染してGPSの位置情報が流出してしまうこと	スマートフォンにウイルスに感染して通話記録が流出してしまうこと	クレジットカードが不正に利用されてしまうこと	銀行口座から不正送金されてしまうこと	パソコンがウイルスに感染してパソコンが利用できなくなってしまうこと
全体	全体	5000	81.0	81.7	75.2	80.7	77.7	77.7	78.8	81.2	77.7	75.9
性別	男性	2740	78.7	79.1	72.1	78.4	74.7	75.5	76.5	79.0	75.8	73.3
	女性	2260	83.8	84.9	79.0	83.5	81.3	80.5	81.6	83.9	79.9	79.2
年代別	10代	385	74.3	74.0	69.1	70.6	70.9	68.8	69.9	70.4	69.6	67.8
	20代	759	71.4	73.0	67.2	72.1	68.6	70.2	71.9	74.2	68.6	67.6
	30代	901	77.4	77.4	73.0	77.1	73.5	73.8	74.8	77.6	74.7	71.3
	40代	1063	83.3	83.9	77.9	83.2	79.6	79.8	80.4	83.1	79.7	78.1
	50代	799	85.6	86.2	79.0	85.4	82.1	80.9	82.6	85.7	81.5	81.5
	60代	721	87.0	87.7	79.1	87.2	84.2	85.0	85.9	87.4	83.1	81.1
	70代以上	372	87.9	90.3	80.4	87.9	86.0	85.2	85.5	88.7	87.1	84.7
パソコン習熟度	レベル4	493	77.9	76.9	73.2	77.3	73.6	74.6	76.7	78.9	76.5	75.3
	レベル3	1902	83.5	84.5	78.5	83.8	79.5	80.8	82.3	84.5	80.6	78.1
	レベル2	1802	83.8	84.7	77.1	83.5	81.3	79.8	80.6	83.4	79.6	78.7
	レベル1	803	70.6	71.2	64.6	69.4	67.7	67.7	67.7	69.9	67.1	65.0

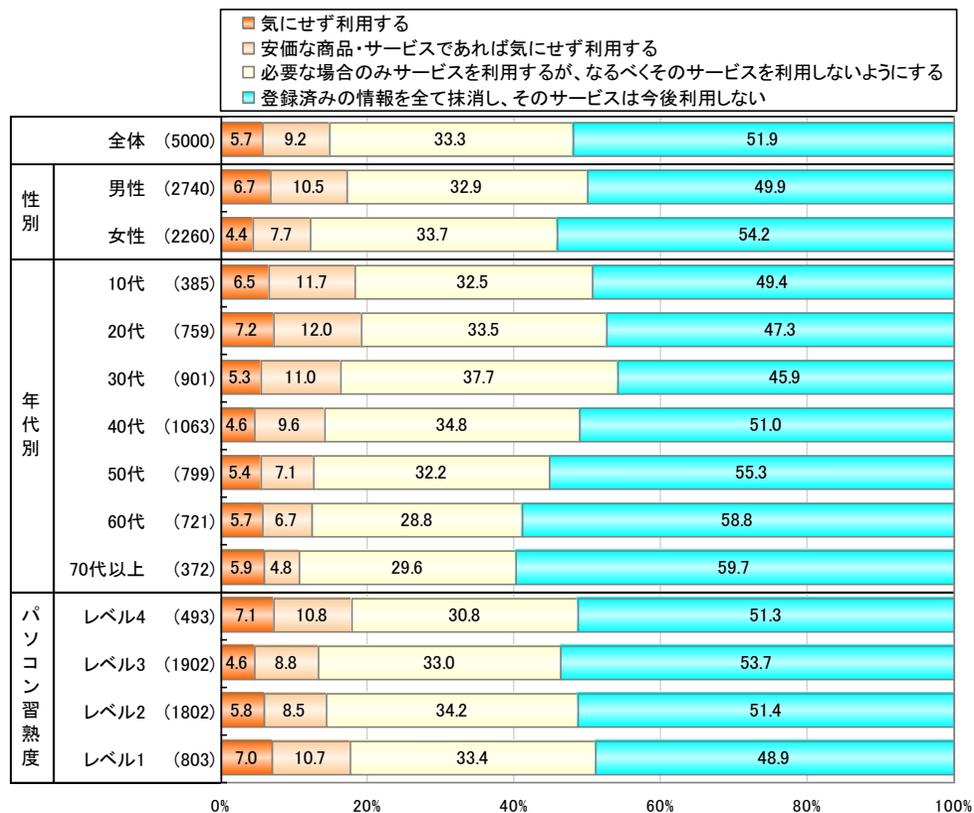
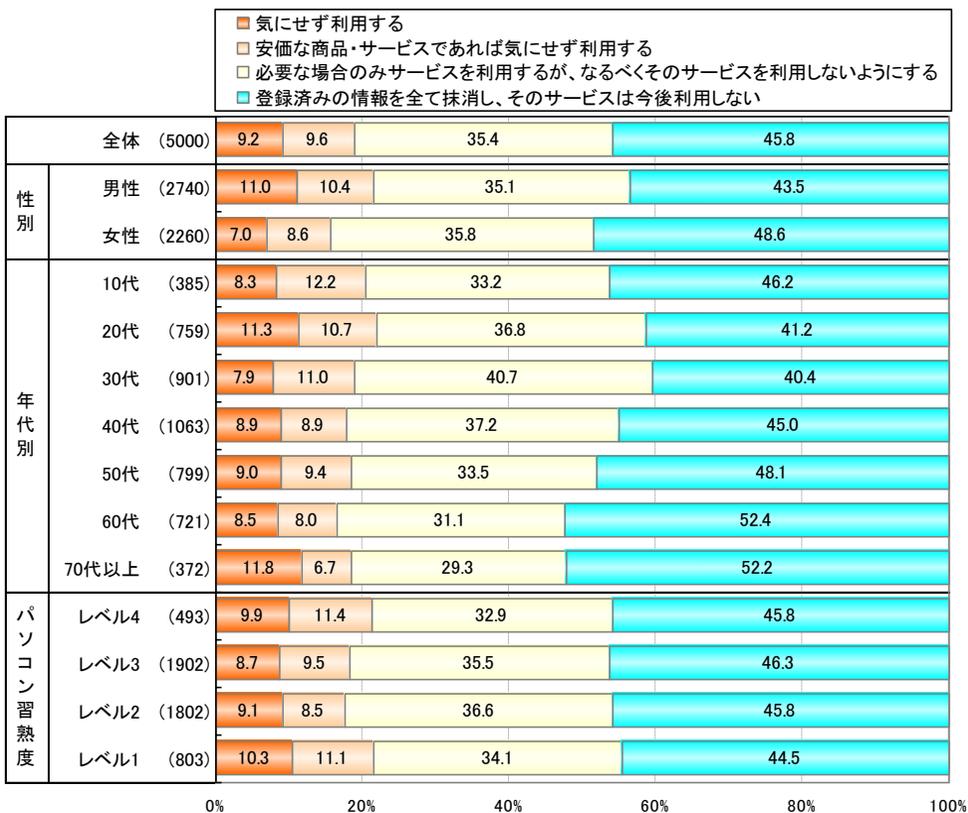
4-2-5.情報セキュリティ事故が発生した場合のサービス利用意向①

- 【攻撃を受けたが、ウイルス等に感染しなかった】について最も高いのは、「登録済みの情報を全て抹消し、そのサービスは今後利用しない」(45.8%)である。次いで「必要な場合のみサービスを利用するが、なるべくそのサービスを利用しないようにする」(35.4%)、「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」(9.6%)、「気にせず利用する」(9.2%)と続く。
- 【攻撃を受けウイルス等に感染したが、会員登録情報の漏えいは無かった】について最も高いのは、「登録済みの情報を全て抹消し、そのサービスは今後利用しない」(51.9%)である。次いで「必要な場合のみサービスを利用するが、なるべくそのサービスを利用しないようにする」(33.3%)、「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」(9.2%)、「気にせず利用する」(5.7%)と続く。

【Q13】あなたが現在利用しているサービスについて、情報セキュリティ事故が発生した場合、今後のサービス利用についてどのように対応しますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

攻撃を受けたが、ウイルス等に感染しなかった

攻撃を受けウイルス等に感染したが、会員登録情報の漏えいは無かった



2016年度に追加された質問(Q13)

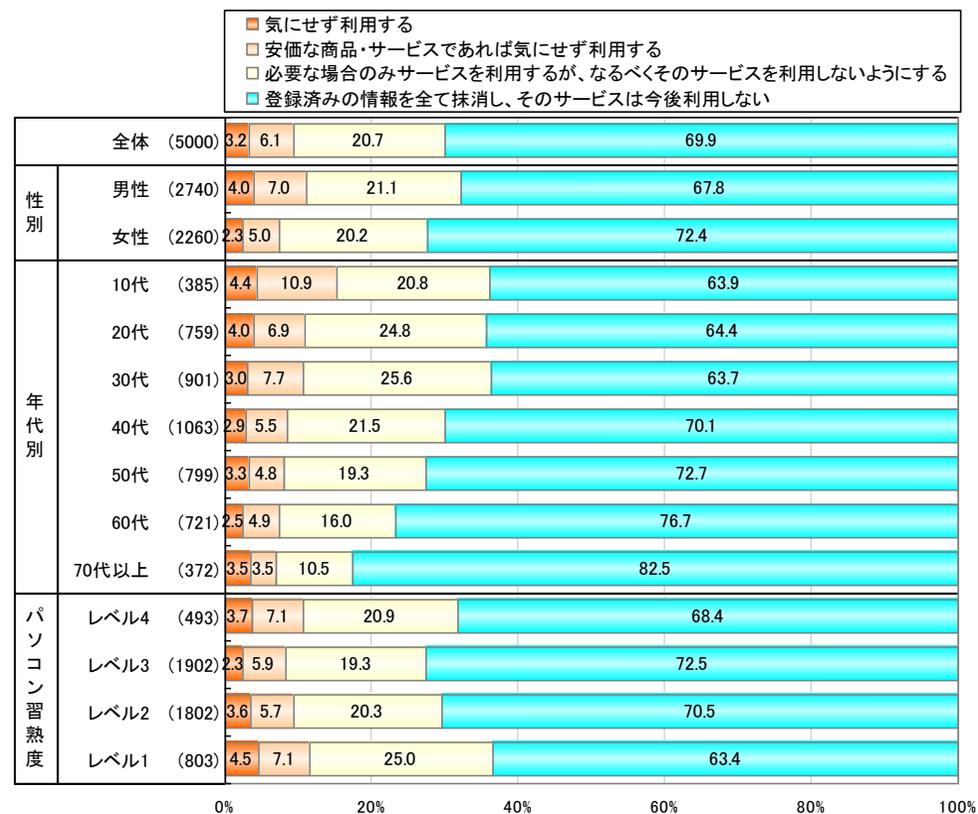
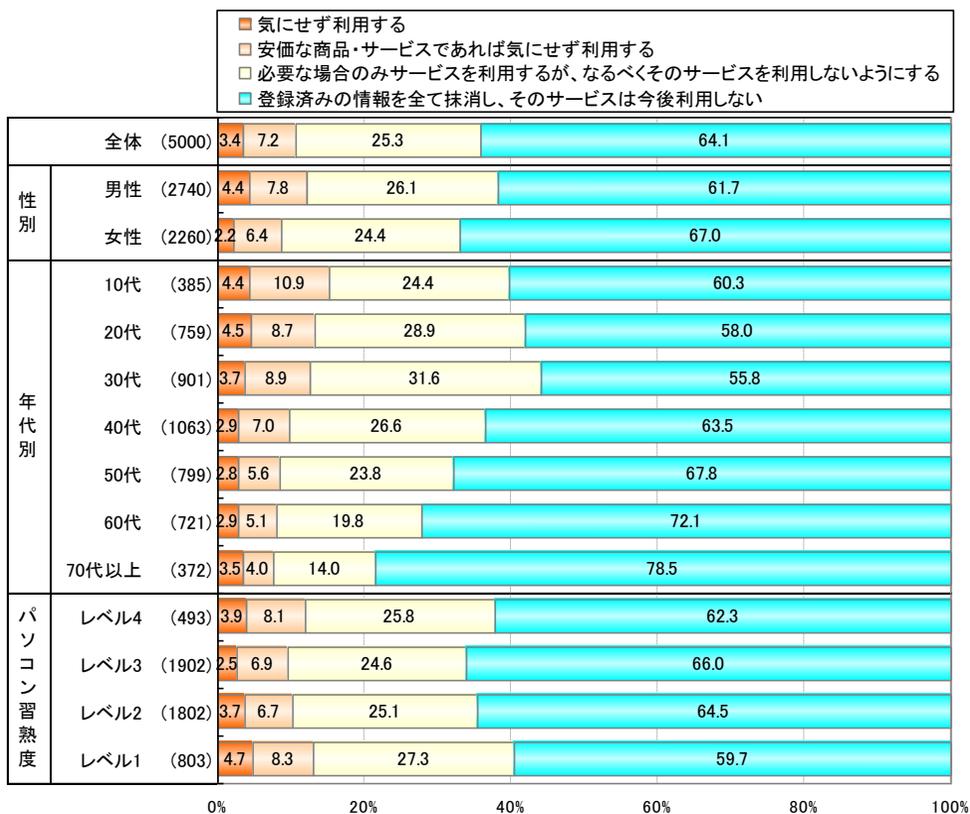
4-2-5.情報セキュリティ事故が発生した場合のサービス利用意向②

- 【攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレス等の会員登録情報だけが漏えいした】について最も高いのは、「登録済みの情報を全て抹消し、そのサービスは今後利用しない」(64.1%)である。次いで「必要な場合のみサービスを利用するが、なるべくそのサービスを利用しないようにする」(25.3%)、「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」(7.2%)、「気にせず利用する」(3.4%)と続く。
- 【攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレスの他、本人を同定できる氏名、住所等の登録情報が漏えいした】について最も高いのは、「登録済みの情報を全て抹消し、そのサービスは今後利用しない」(69.9%)である。次いで「必要な場合のみサービスを利用するが、なるべくそのサービスを利用しないようにする」(20.7%)、「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」(6.1%)、「気にせず利用する」(3.2%)と続く。

【Q13】あなたが現在利用しているサービスについて、情報セキュリティ事故が発生した場合、今後のサービス利用についてどのように対応しますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレス等の会員登録情報だけが漏えいした

攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレスの他、本人を同定できる氏名、住所等の登録情報が漏えいした



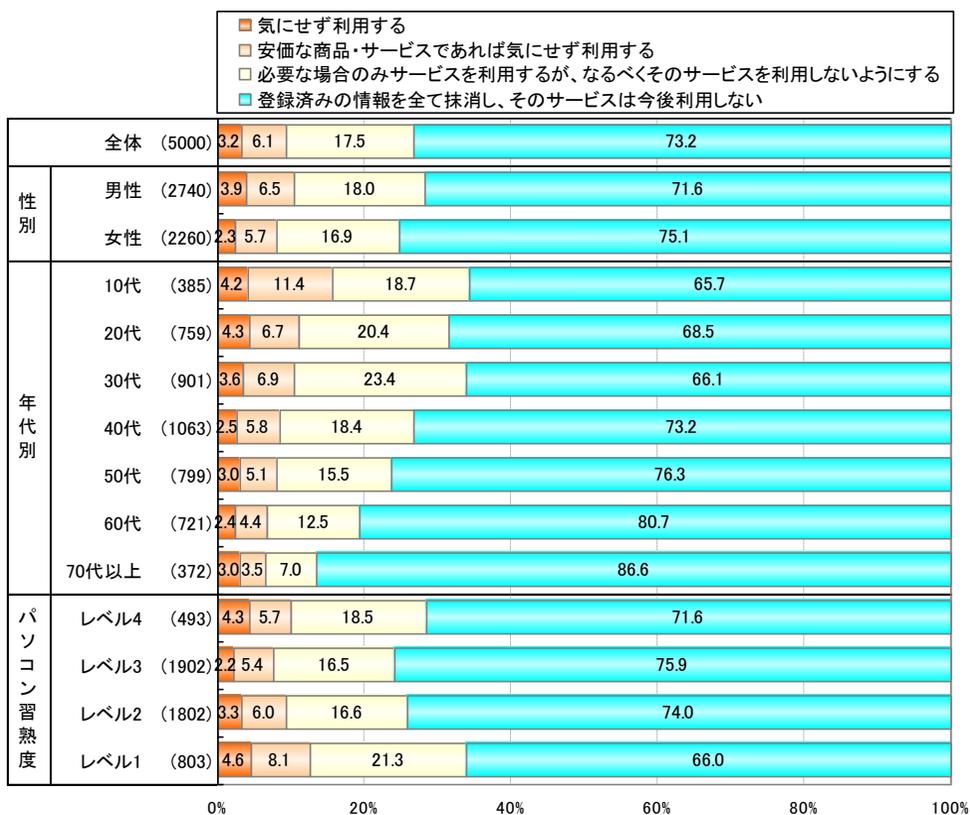
2016年度に追加された質問(Q13)

4-2-5.情報セキュリティ事故が発生した場合のサービス利用意向③

- 【攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレス、氏名、住所に加え、クレジットカード番号等の決済情報が漏えいした】について最も高いのは、「登録済みの情報を全て抹消し、そのサービスは今後利用しない」(73.2%)である。次いで「必要な場合のみサービスを利用するが、なるべくそのサービスを利用しないようにする」(17.5%)、「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」(6.1%)、「気にせず利用する」(3.2%)と続く。

【Q13】あなたが現在利用しているサービスについて、情報セキュリティ事故が発生した場合、今後のサービス利用についてどのように対応しますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

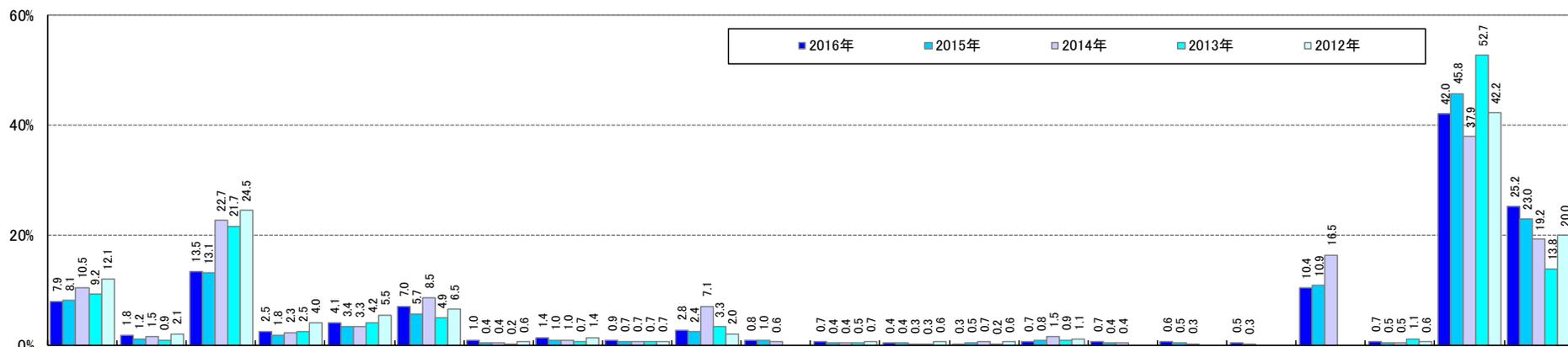
攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレス、氏名、住所に加え、クレジットカード番号等の決済情報が漏えいした



4-3.情報セキュリティに関する被害状況 4-3-1.過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブル①

■ 過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルについて、前年（2015年）と比較すると、「被害にあったことはない」の割合が3.8ポイントとやや減少している。

【Q14】あなたは、過去1年間にパソコンやインターネットを利用して、以下のような情報セキュリティに関する被害やトラブルを経験したことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）

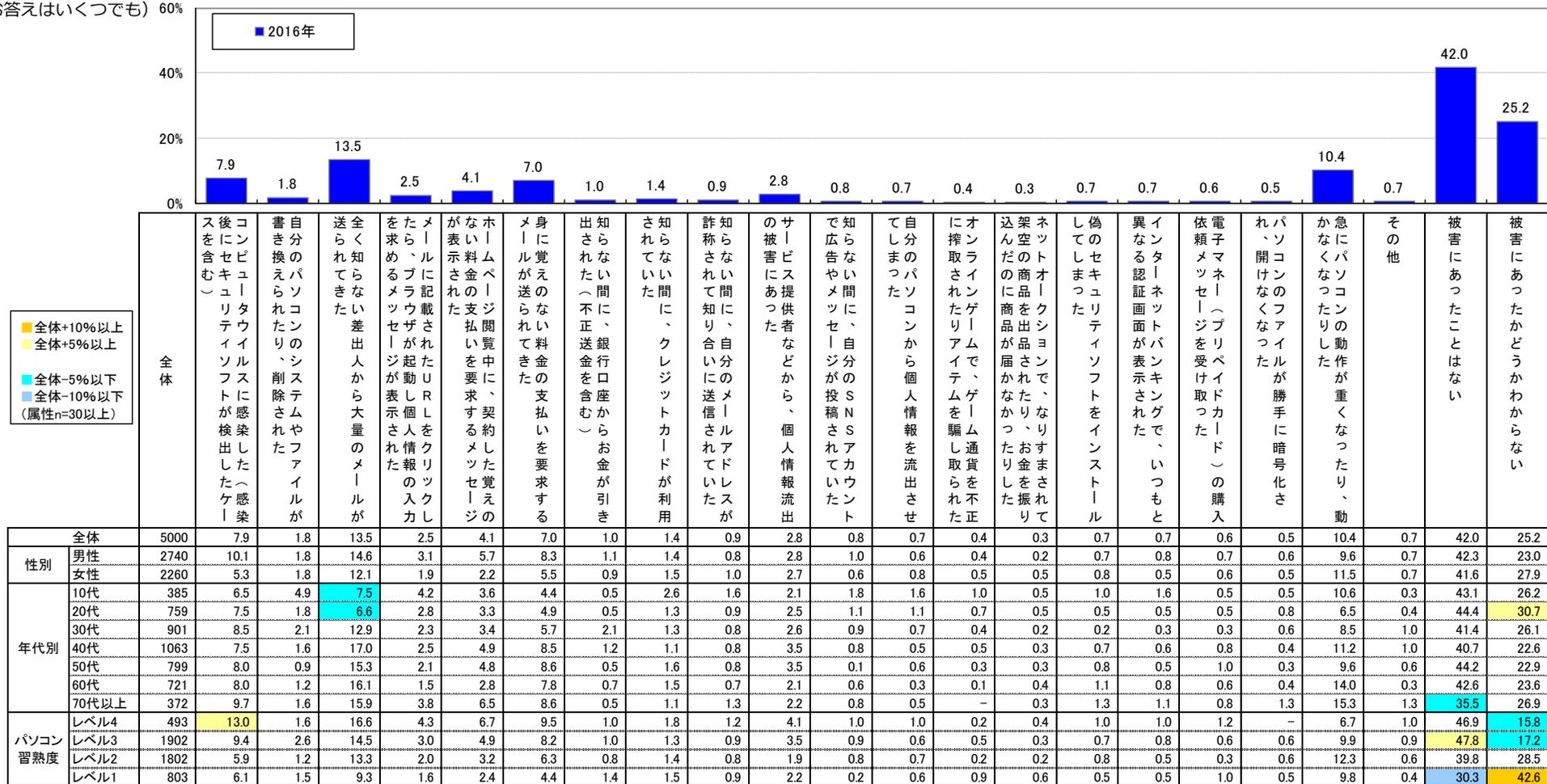


時系列	全体	後述のセキュリティウイルスソフトが検出した（感染を含む）	書き換えられたり、削除された	送られてきた	メールに記載されたURLをクリックした	知らない間に、不正送金を含む	知らない間に、クレジットカードが利用	詐欺されて知り合いに送信されていた	サービスの提供者などから、個人情報流出の被害にあった	知らない間に、自分のSNSアカウントで広告やメッセージが投稿されていた	自分のパソコンから個人情報流出させた	オンラインゲームで、ゲーム通貨を不正に搾取された	架空の商品が届けられたり、お金を振り込まされた	ネットオークションで、なりすまされて	偽のセキュリティソフトをインストールしてしまった	異なる認証画面が表示された	電子マネー（プリペイドカード）の購入	パソコンのファイルが勝手に暗号化された	急になんか動けなくなった	その他	被害にあったことはない	被害にあったかどうかわからない
2016年	5000	7.9	1.8	13.5	2.5	4.1	7.0	1.0	1.4	0.9	2.8	0.8	0.7	0.4	0.7	0.7	0.6	0.5	10.4	0.7	42.0	25.2
2015年	5000	8.1	1.2	13.1	1.8	3.4	5.7	0.4	1.0	0.7	2.4	1.0	0.4	0.4	0.8	0.4	0.5	0.3	10.9	0.5	45.8	23.0
2014年	5000	10.5	1.5	22.7	2.3	3.3	8.5	0.4	1.0	0.7	7.1	0.6	0.4	0.3	1.5	0.4	0.3		16.5	0.5	37.9	19.2
2013年	5160	9.2	0.9	21.7	2.5	4.2	4.9	0.2	0.7	0.7	3.3		0.5	0.3	0.9					1.1	52.7	13.8
2012年	5000	12.1	2.1	24.5	4.0	5.5	6.5	0.6	1.4	0.7	2.0		0.7	0.6	1.1					0.6	42.2	20.0

4-3-1.過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブル②

- 過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルについて最も高いのは、「被害にあったことはない」(42.0%)である。次いで「被害にあったかどうかわからない」(25.2%)、「全く知らない差出人から大量のメールが送られてきた」(13.5%)、「急にパソコンの動作が重くなったり、動かなくなったりした」(10.4%)と続く。
- 年代別で見ると、20代は「被害にあったかどうかわからない」の割合が全体よりも5.5ポイントとやや高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル1は「被害にあったかどうかわからない」の割合が全体よりも17.4ポイント高い。

【Q14】あなたは、過去1年間にパソコンやインターネットを利用して、以下のような情報セキュリティに関する被害やトラブルを経験したことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



4-3-2.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害経験

■ 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害経験割合は5.0%である。

【Q15】 Q14でお答えになった情報セキュリティに関する被害やトラブルで、あなたは過去1年間に金銭的な被害を被りましたか。（お答えは1つ）

n=情報セキュリティの被害やトラブル経験者(Q14)

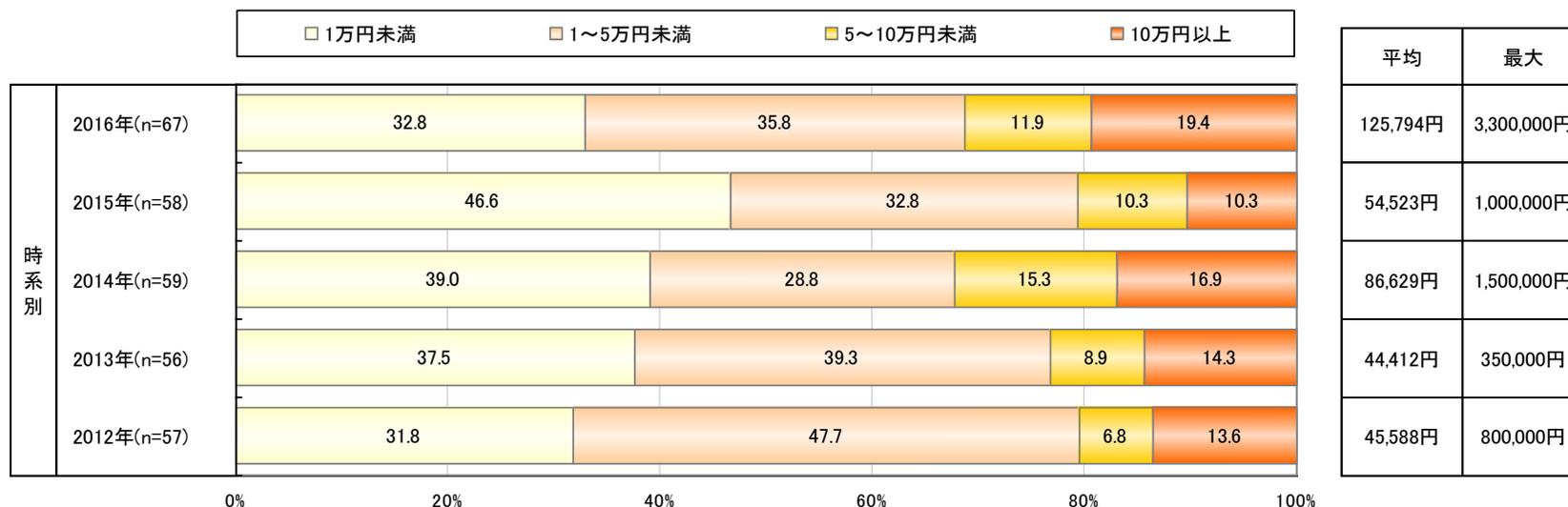


4-3-3.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額①

- 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額は平均125,794円である。前年（2015年）と比較すると、71,271円増加しており、「10万円以上」の被害が9.1ポイント増加している。

【Q16】 Q15でお答えの情報セキュリティに関する被害やトラブルについて、それぞれ過去1年間で被った具体的な被害額をご記入ください。※金銭的な被害を被っていないトラブルについては「0円」とご記入ください。

n=金銭的な被害を被った方(Q15)

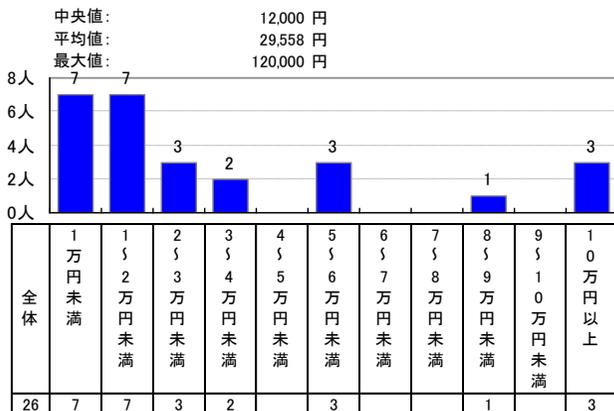


4-3-3.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額②

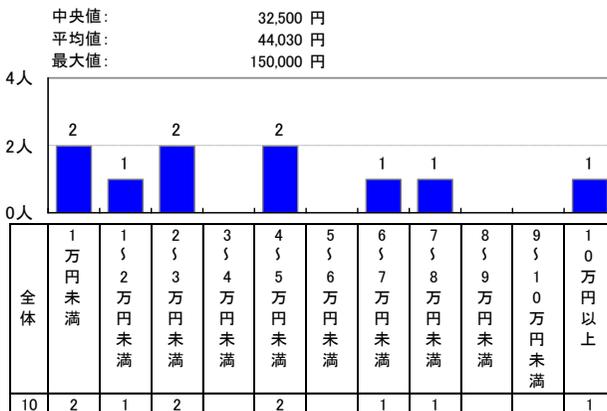
■ 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害について、「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ」は最も被害者が多く（26人）、「1万円未満」と「1～2万円未満」の被害額が多く中央値は12,000円、平均値は29,558円である。

【Q16】 Q15でお答えの情報セキュリティに関する被害やトラブルについて、それぞれ過去1年間で被った具体的な被害額をご記入ください。※金銭的な被害を被っていないトラブルについては「0円」とご記入ください。
n=金銭的な被害を被った方(Q15)

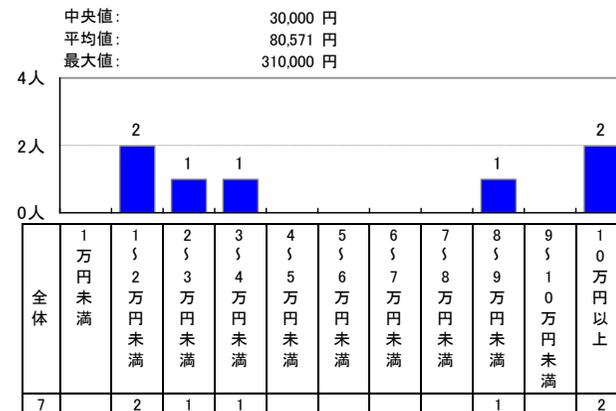
ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ



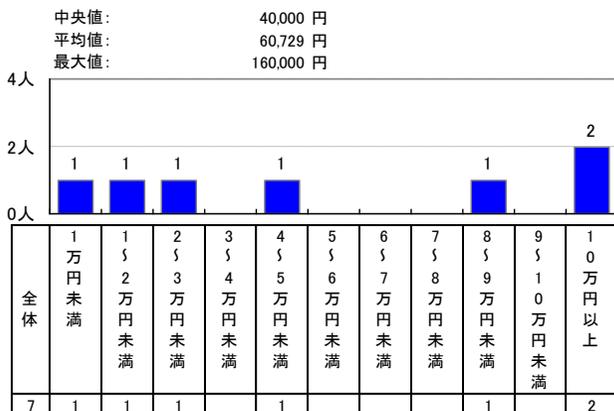
身に覚えのない料金の支払いを要求するメール



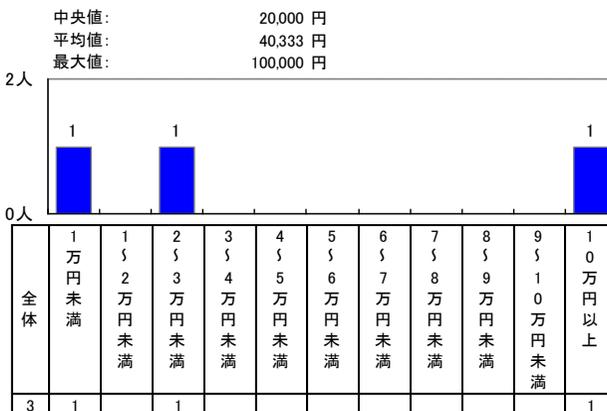
知らない間に、銀行口座からお金が引き出された(不正送金を含む)



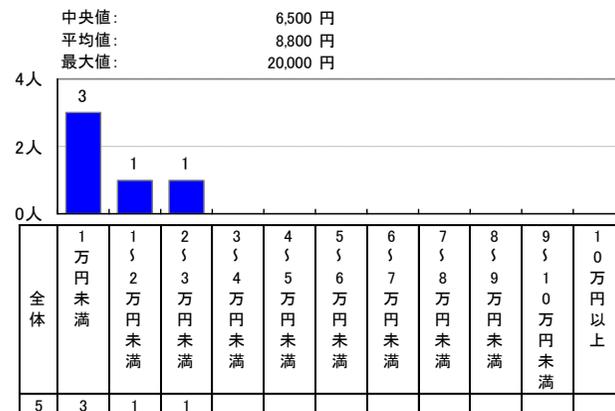
知らない間に、クレジットカードが利用されていた



オンラインゲームでの被害



ネットオークションでの被害



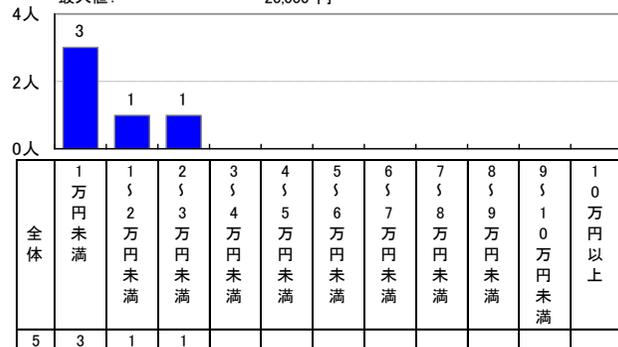
4-3-3.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額③

- 「トラブル対応のために有償サービスを利用した費用」は1万円未満の被害額が多く中央値は8,500円である。
- 「その他」では330万円の高額被害（投資詐欺）も見られた。

【Q16】 Q15でお答えの情報セキュリティに関する被害やトラブルについて、それぞれ過去1年間で被った具体的な被害額をご記入ください。※金銭的な被害を被っていないトラブルについては「0円」とご記入ください。
n=金銭的な被害を被った方(Q15)

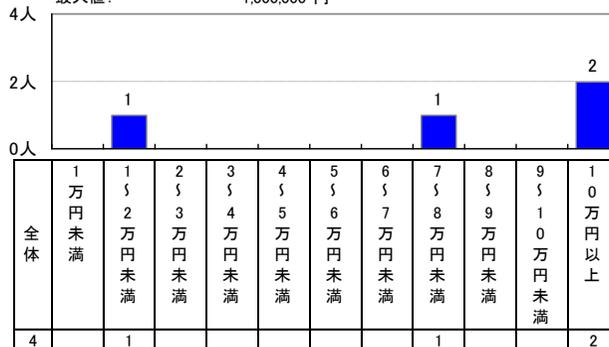
偽のセキュリティソフトによる被害
(購入費など)

中央値: 5,000 円
 平均値: 8,400 円
 最大値: 20,000 円



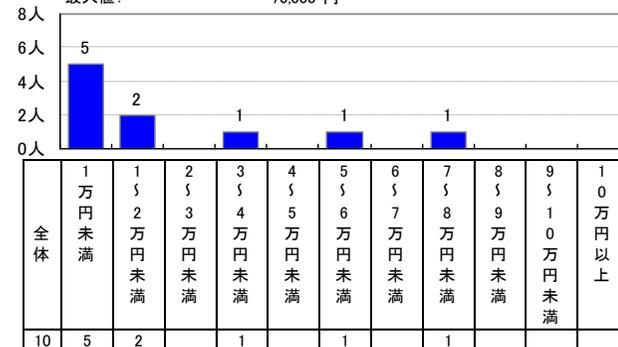
要求された電子マネーなどの購入額

中央値: 137,500 円
 平均値: 321,250 円
 最大値: 1,000,000 円



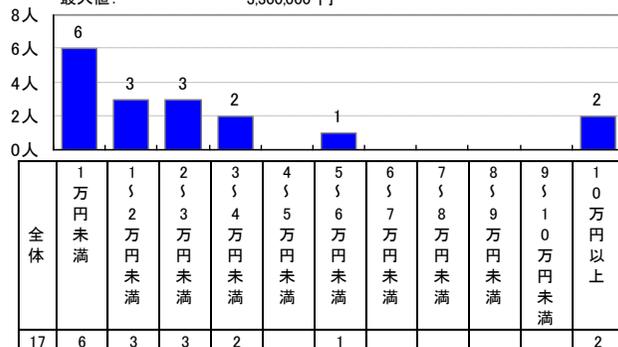
トラブル対応のために有償サービスを利用した費用

中央値: 8,500 円
 平均値: 20,100 円
 最大値: 70,000 円



その他

中央値: 17,000 円
 平均値: 266,900 円
 最大値: 3,300,000 円

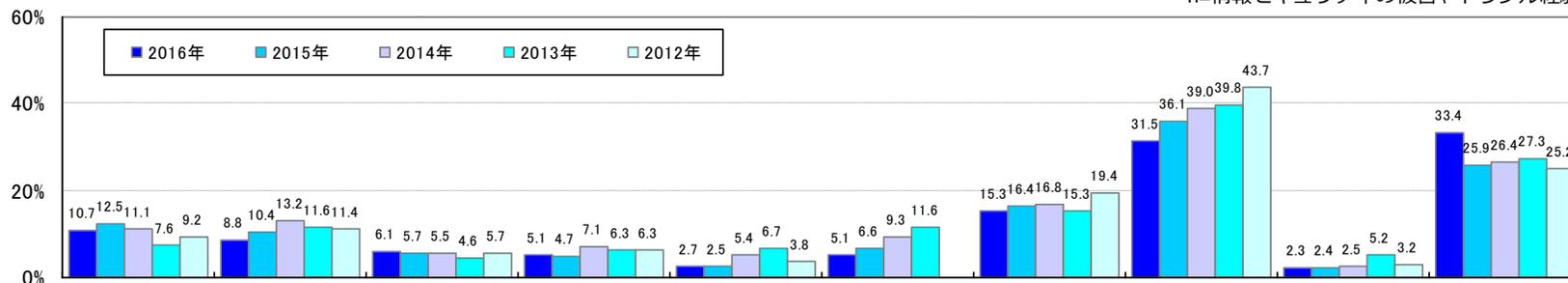


4-3-4.情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法

- 情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法について最も高いのは、「何もしなかった」(33.4%)である。次いで「自力で対処」(31.5%)、「家族・友人・知人に相談」(15.3%)、「パソコンメーカーに相談」(10.7%)と続く。
- 性別でみると、男性は「自力で対処」が8.0ポイント、女性は「家族・友人・知人に相談」が7.8ポイント、全体よりもやや高い。
- 年代別でみると、10代は「家族・友人・知人に相談」の割合が全体よりも12.7ポイント高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「自力で対処」の割合が全体よりも22.8ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「何もしなかった」の割合が7.5ポイント増加している。反対に「自力で対処」の割合が4.6ポイントとやや減少している。

[Q17] Q14でお答えになった被害やトラブルにあったときに、あなたがとった対処方法を以下からすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=情報セキュリティの被害やトラブル経験者(Q14)



	属性	全体	対処方法									
			パソコンメーカーに相談	プロバイダに相談	パソコン・ソフトウェアの販売店に相談	サービス(オークションやゲーム等)の提供会社に相談	公的機関(警察署、消費者センター、IPAなど)に相談	銀行・クレジットカード会社へ連絡	家族・友人・知人に相談	自力で対処	その他	何もしなかった
性別	全体	1637	10.7	8.8	6.1	5.1	2.7	5.1	15.3	31.5	2.3	33.4
	男性	949	10.5	9.5	7.1	4.5	3.0	5.6	9.6	39.5	2.2	30.9
	女性	688	10.9	7.8	4.8	6.0	2.3	4.5	23.1	20.3	2.3	36.8
年代別	10代	118	16.9	14.4	9.3	6.8	-	5.9	28.0	16.9	-	31.4
	20代	189	14.8	9.5	10.1	6.9	1.6	5.3	13.2	34.4	1.1	29.6
	30代	293	8.2	6.5	5.1	6.1	1.4	4.8	13.7	34.1	1.4	37.9
	40代	390	7.2	5.6	4.1	5.1	3.6	3.8	15.9	35.4	2.8	33.6
	50代	263	12.9	9.1	6.1	6.8	4.2	5.7	12.5	28.9	2.7	34.6
	60代	244	9.4	11.9	4.5	2.0	1.6	4.1	12.7	31.6	2.9	32.8
	70代以上	140	12.9	10.7	8.6	1.4	5.7	9.3	18.6	27.9	4.3	28.6
パソコン習熟度	レベル4	184	10.3	12.0	3.8	6.5	2.7	5.4	6.5	54.3	2.7	21.2
	レベル3	664	8.3	8.3	6.5	4.7	2.7	4.8	10.8	41.3	2.4	31.6
	レベル2	571	11.4	8.2	6.5	4.9	2.8	4.7	19.3	21.7	1.9	38.0
	レベル1	218	16.5	9.2	6.0	6.0	2.3	6.9	25.7	7.8	2.3	36.7
時系列	2015年	1558	12.5	10.4	5.7	4.7	2.5	6.6	16.4	36.1	2.4	25.9
	2014年	2144	11.1	13.2	5.5	7.1	5.4	9.3	16.8	39.0	2.5	26.4
	2013年	1727	7.6	11.6	4.6	6.3	6.7	11.6	15.3	39.8	5.2	27.3
	2012年	1891	9.2	11.4	5.7	6.3	3.8	19.4	43.7	3.2	25.2	

4-3-5.情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由

- 情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由について最も高いのは、「何をしてもよいかわからなかった」(46.2%)である。次いで「対処の必要性を感じなかった」(42.5%)、「面倒だった」(15.9%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「何をしてもよいかわからなかった」の割合が全体よりも7.2ポイントとやや高い。
- 年代別で見ると、「何をしてもよいかわからなかった」が10代で5.2ポイント、「面倒だった」が20代で5.5ポイント、「対処の必要性を感じなかった」が50代で5.9ポイント、60代で5.0ポイントと全体よりもやや高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「対処の必要性を感じなかった」が16.5ポイント、レベル1は「何をしてもよいかわからなかった」が22.6ポイントと全体よりも高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「何をしてもよいかわからなかった」の割合が6.5ポイント増加している。反対に「対処の必要性を感じなかった」の割合が8.1ポイント減少している。

【Q18】 対処を何もしなかった理由をすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=被害やトラブル遭遇時に対処しなかった者(Q17)

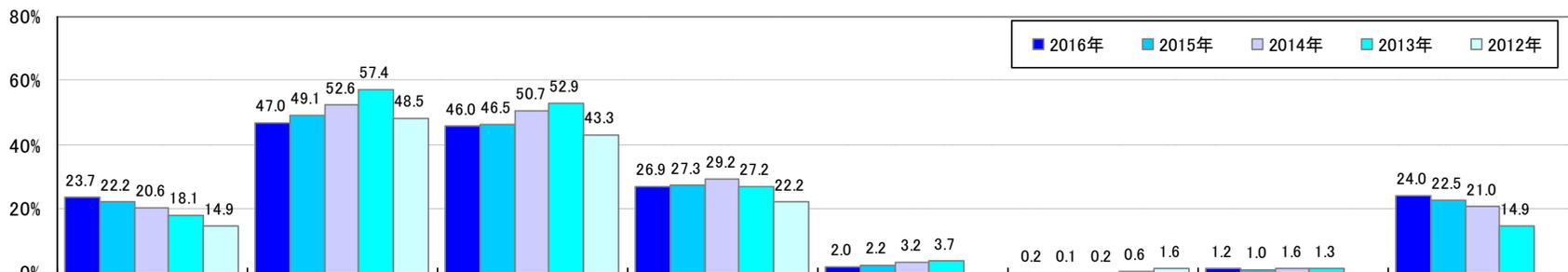


	属性	n	理由			
			対処の必要性を感じなかった	面倒だった	何をしてもよいかわからなかった	その他
全体	全体	546	42.5	15.9	46.2	4.0
性別	男性	293	45.1	18.8	39.9	5.5
	女性	253	39.5	12.6	53.4	2.4
年代別	10代	37	27.0	18.9	51.4	5.4
	20代	56	44.6	21.4	44.6	-
	30代	111	43.2	14.4	45.9	3.6
	40代	131	37.4	16.8	48.9	7.6
	50代	91	48.4	14.3	44.0	2.2
	60代	80	47.5	11.3	47.5	1.3
	70代以上	40	45.0	20.0	37.5	7.5
パソコン習熟度	レベル4	39	59.0	17.9	12.8	15.4
	レベル3	210	50.5	17.1	34.3	4.8
	レベル2	217	38.2	14.3	55.3	2.3
	レベル1	80	25.0	16.3	68.8	1.3
時系列	2015年	403	50.6	13.4	39.7	4.0
	2014年	567	42.5	15.0	45.7	4.6
	2013年	471	50.1	17.8	35.7	7.0
	2012年	477	48.6	19.1	40.7	3.8

4-4.情報セキュリティ対策の実施状況 4-4-1.パスワードの設定方法①

- パスワードの設定方法について最も高いのは、「パスワードは誕生日など推測されやすいものを避けて設定している」(47.0%)である。次いで「パスワードはわかりにくい文字列(8文字以上、記号含む)を設定している」(46.0%)、「サービス毎に異なるパスワードを設定している」(26.9%)、「どれにもあてはまらない」(24.0%)、「パスワードは定期的に変更している」(23.7%)と続く。
- 年代別で見ると、70代以上は「パスワードはわかりにくい文字列(8文字以上、記号含む)を設定している」の割合が全体よりも10.2ポイント高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル1は「どれにもあてはまらない」の割合が全体よりも16.3ポイント高い。

【Q19】 インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウントのパスワード設定方法について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



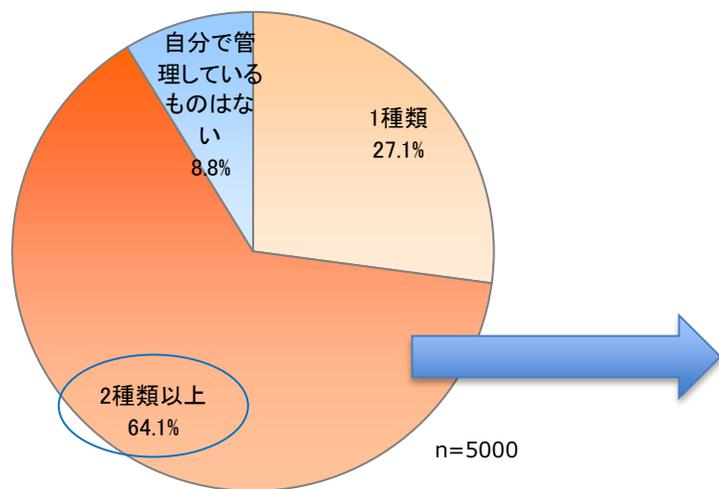
	属性	n	パスワード設定方法							
			定期的に変更している	誕生日など推測されやすいものを避けて設定している	わかりにくい文字列(8文字以上、記号含む)を設定している	サービス毎に異なるパスワードを設定している	サービス提供者から送られた初期パスワードをそのまま使っている	その他の設定方法	自分で管理しているパスワードは1つもない(パスワードが必要なサービスを使っていない、親が管理しているなど)	どれにもあてはまらない
全体	全体	5000	23.7	47.0	46.0	26.9	2.0	0.2	1.2	24.0
性別	男性	2740	22.9	45.8	48.0	27.7	2.2	0.3	1.0	23.9
	女性	2260	24.7	48.5	43.5	26.0	1.8	0.0	1.5	24.1
年代別	10代	385	18.4	36.6	37.9	20.0	2.3	-	7.8	24.2
	20代	759	22.9	39.0	42.0	23.6	2.0	-	1.1	29.8
	30代	901	20.9	43.5	42.8	25.7	1.6	-	1.3	29.9
	40代	1063	24.6	48.3	47.8	27.9	2.3	0.1	0.5	23.3
	50代	799	23.4	52.6	46.7	27.8	2.4	-	0.4	20.5
	60代	721	27.3	52.6	49.8	29.4	0.8	0.4	0.3	19.0
	70代以上	372	28.8	56.2	56.2	34.4	3.8	1.1	0.5	16.4
パソコン習熟度	レベル4	493	31.6	52.7	53.3	33.9	1.8	0.2	1.0	19.7
	レベル3	1902	26.5	51.7	53.4	32.5	1.9	0.2	0.5	17.8
	レベル2	1802	21.4	47.1	44.7	25.0	2.2	0.2	1.2	24.3
	レベル1	803	17.4	32.3	26.9	13.8	2.1	-	3.4	40.3
時系列	2015年	5000	22.2	49.1	46.5	27.3	2.2	0.1	1.0	22.5
	2014年	5000	20.6	52.6	50.7	29.2	3.2	0.2	1.6	21.0
	2013年	5160	18.1	57.4	52.9	27.2	3.7	0.6	1.3	14.9
	2012年	5000	14.9	48.5	43.3	22.2	1.6	-	-	-

4-4-1.パスワードの設定方法② 複数IDを持つ利用者のパスワード設定

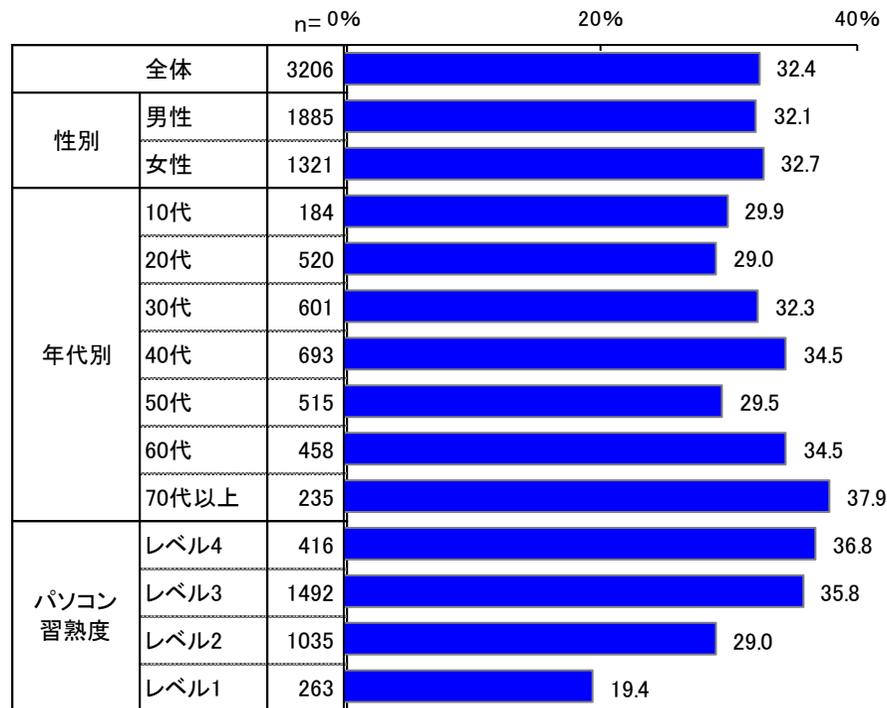
- 管理しているID（アカウント）が2種類以上の回答者のうち、32.4%がサービス毎に異なるパスワードを設定している。
- パソコン習熟度でみると、パソコン習熟度が高い人ほど、サービス毎に異なるパスワードを設定している割合が高い。

【Q19】 [サービス毎に異なるパスワードを設定している] インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウントのパスワード設定方法について、あてはまるものをすべて選択してください。
(お答えはいくつでも)

Q6 あなたがインターネットで利用しているID（アカウント）の内、自分で管理しているものはいくつありますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。（お答えは1つ）



n=管理しているID（アカウント）が2種類以上の回答者(Q6)



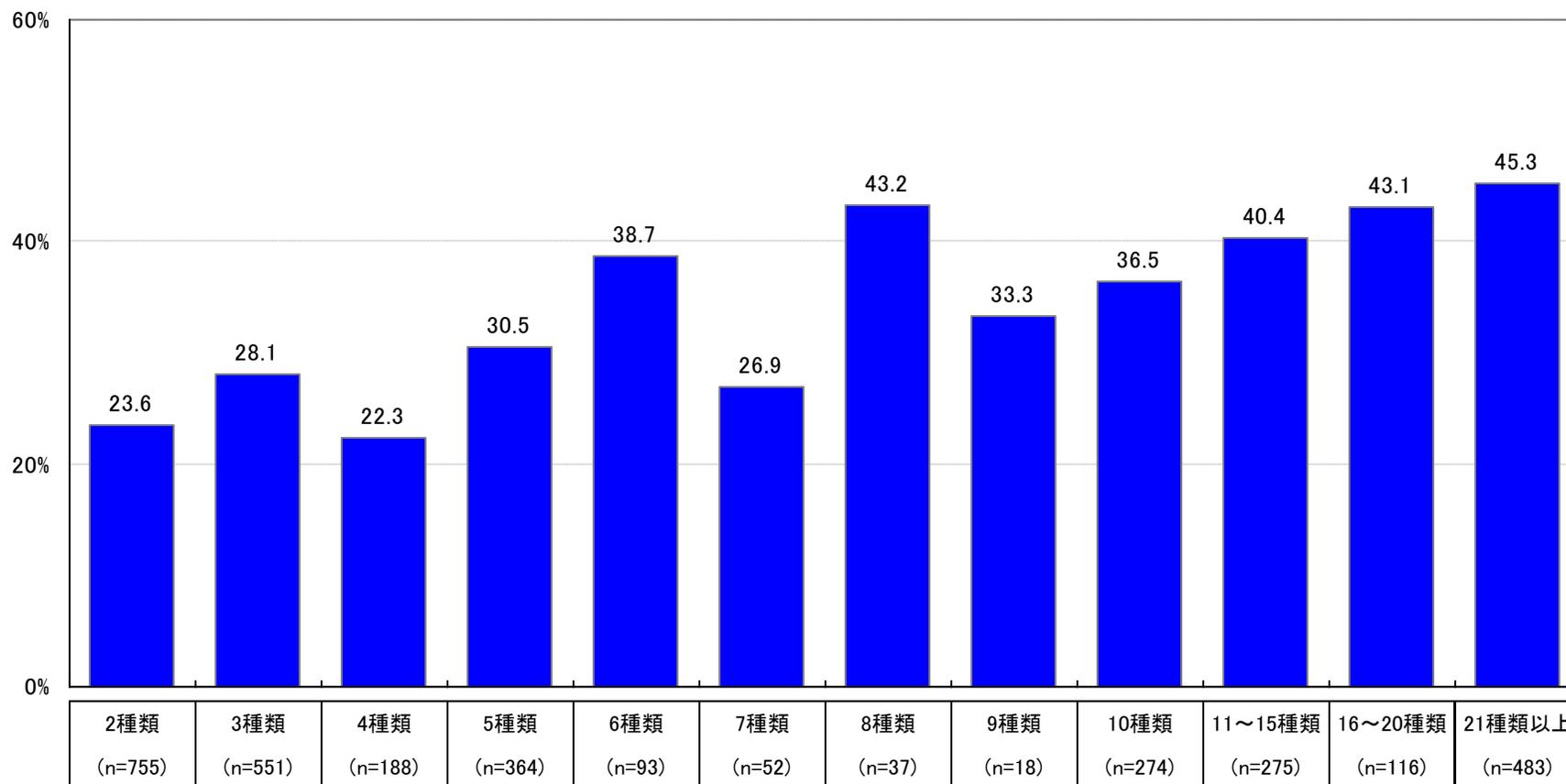
4-4-1.パスワードの設定方法③ 複数IDを持つ利用者のパスワード設定

- 管理しているID（アカウント数）別にサービス毎に異なるパスワードを設定している割合をみると、最も高いのは「21種類以上」（45.3%）である。次いで「8種類」（43.2%）、「16～20種類」（43.1%）、「11～15種類」（40.4%）と続く。

【Q19】 [サービス毎に異なるパスワードを設定している] インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウントのパスワード設定方法について、あてはまるものをすべて選択してください。

（お答えはいくつでも）

n=管理しているID（アカウント）が2種類以上の回答者(Q6)



4-4-1.パスワードの設定方法④ 複数IDを持つ利用者のパスワード設定

- 年代別で見ると、60代は「3種類」の割合が全体よりも10.5ポイント高い。40代は「21種類以上」の割合が全体よりも6.2ポイントとやや高い。

[Q19] [サービス毎に異なるパスワードを設定している] インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウントのパスワード設定方法について、あてはまるものをすべて選択してください。

(お答えはいくつでも)

n=管理しているID(アカウント)が2種類以上の回答者(Q6)

n数一覧

		2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	11種類	12種類	13種類以上
全体		23.6	28.1	22.3	30.5	38.7	26.9	43.2	33.3	36.5	40.4	43.1	45.3
性別	男性	24.1	26.7	20.5	32.2	36.8	16.7	30.0	50.0	35.1	39.0	39.7	46.3
	女性	22.8	30.3	25.0	28.3	41.7	35.7	58.8	12.5	38.3	42.3	47.2	43.5
年代別	10代	18.2	33.3	40.0	44.0	60.0	-	25.0	25.0	18.2	25.0	60.0	37.5
	20代	17.8	24.1	18.8	33.3	27.8	-	50.0	33.3	29.8	39.7	43.5	36.8
	30代	19.0	25.3	19.4	29.0	50.0	-	-	66.7	34.0	43.5	45.8	49.5
	40代	25.2	26.4	20.0	23.8	52.6	53.8	40.0	33.3	34.8	40.3	50.0	51.5
	50代	25.0	26.6	20.8	28.3	18.8	37.5	57.1	-	27.6	37.2	31.8	44.1
	60代	26.7	38.6	21.9	29.4	40.0	28.6	60.0	-	54.8	31.0	35.7	40.7
	70代以上	32.8	23.4	35.7	45.5	37.5	100.0	100.0	-	46.2	70.0	50.0	40.0
パソコン習熟度	レベル4	26.9	29.8	35.7	40.6	31.6	22.2	-	33.3	45.0	44.1	17.6	47.1
	レベル3	26.6	28.6	19.8	30.9	45.7	30.4	53.3	50.0	41.4	42.0	44.3	50.0
	レベル2	22.4	29.2	20.0	32.5	39.3	29.4	43.8	25.0	29.4	35.6	55.6	33.3
	レベル1	17.0	19.1	21.4	9.7	27.3	-	33.3	-	19.0	38.9	50.0	23.1

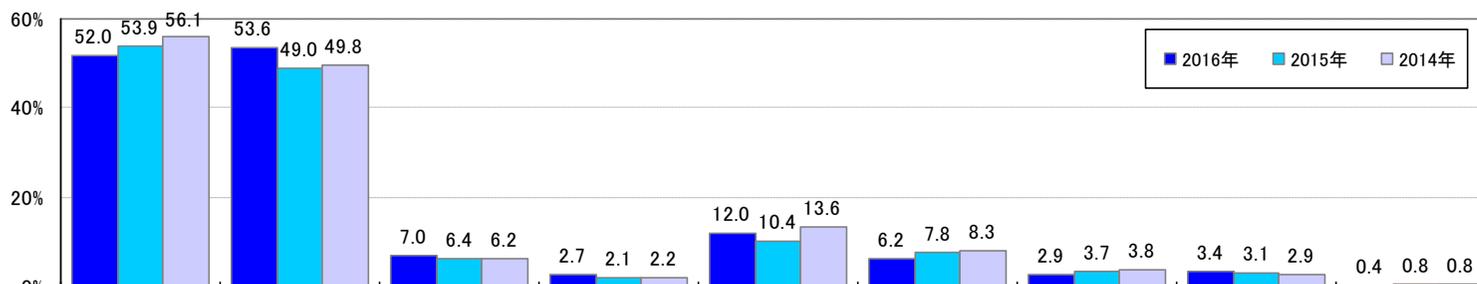
2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	11種類	12種類	13種類以上
178	155	42	111	36	14	16	6	100	111	50	219
104	88	23	66	21	4	6	5	54	64	25	146
74	67	19	45	15	10	10	1	46	47	25	73
12	14	4	11	3	0	1	1	2	1	3	3
16	20	6	19	5	0	5	1	14	23	10	32
23	23	7	20	6	0	0	2	17	30	11	55
35	28	8	19	10	7	2	2	24	25	10	69
38	25	5	17	3	3	4	0	8	16	7	26
32	34	7	15	6	2	3	0	23	9	5	22
22	11	5	10	3	2	1	0	12	7	4	12
18	17	10	13	6	2	0	2	18	15	3	49
71	77	17	54	16	7	8	2	53	63	31	135
72	52	12	41	11	5	7	2	25	26	15	32
17	9	3	3	3	0	1	0	4	7	1	3

4-4-2.ID・パスワードの管理方法

- ID・パスワードの管理方法について最も高いのは、「手帳などの紙にメモをしている」(53.6%)である。次いで「自分で記憶している」(52.0%)、「ブラウザの保存機能を使っている」(12.0%)、「パソコンにインストールして使うアカウント管理ソフトウェアを使っている」(7.0%)と続く。
- 年代別でみると、10代、20代、30代は「自分で記憶している」が最も高い。
- 年代別でみると、「自分で記憶している」は10代が10.6ポイント、20代は11.6ポイント、「手帳などの紙にメモをしている」は60代が11.2ポイント、70代以上は21.8ポイントとそれぞれ全体よりも高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「自分で記憶している」が最も高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「手帳などの紙にメモをしている」の割合が4.6ポイントとやや増加している。

【Q20】 インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウント(IDやパスワード)の管理方法について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=パスワードを管理している人(Q19)



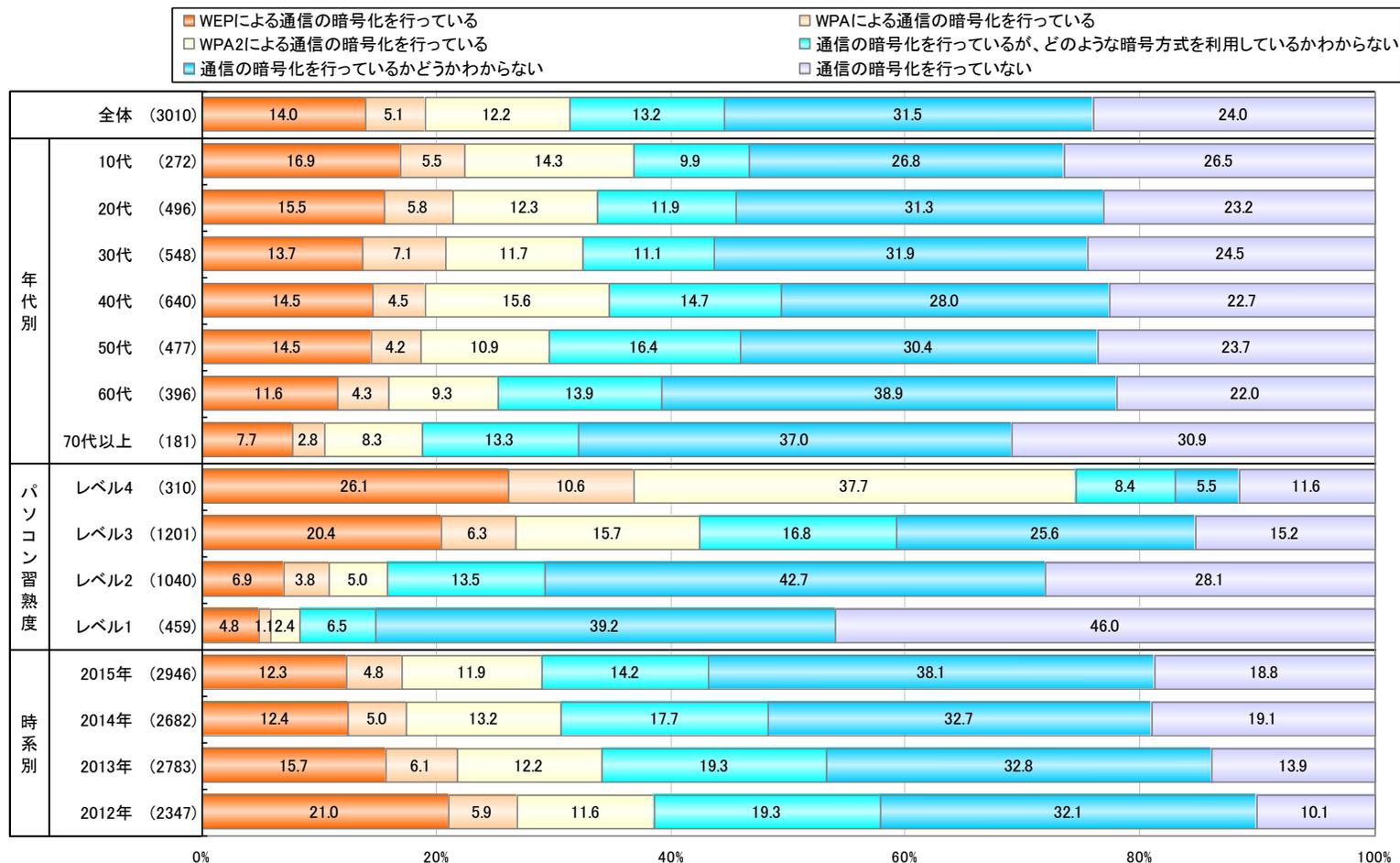
	全体	全体+10%以上		全体+5%以上		全体-5%以下		全体-10%以下		属性n=30以上
		黄色	赤	青	紫	緑	黒			
全体	3740	52.0	53.6	7.0	2.7	12.0	6.2	2.9	3.4	0.4
性別	男性	2058	51.5	50.2	9.2	3.3	14.4	7.6	3.6	0.4
	女性	1682	52.6	57.7	4.3	2.1	9.0	4.6	2.0	0.4
	全体	3740	52.0	53.6	7.0	2.7	12.0	6.2	2.9	3.4
年代別	10代	262	62.6	38.2	9.2	3.1	8.4	3.8	1.9	3.8
	20代	525	63.6	41.7	6.9	3.8	13.0	6.9	2.1	3.0
	30代	620	61.9	46.5	8.1	2.9	9.2	6.1	2.9	4.0
	40代	810	54.8	51.4	7.2	2.8	12.2	7.8	2.2	3.8
	50代	632	48.1	58.7	5.9	2.5	14.4	4.6	3.6	2.1
	60代	582	36.3	64.8	7.2	1.9	11.5	6.4	3.6	4.6
	70代以上	309	33.3	75.4	5.2	1.9	13.9	6.5	3.9	2.3
パソコン習熟度	レベル4	391	60.4	33.8	14.6	5.1	15.3	9.0	7.2	7.4
	レベル3	1554	53.3	50.3	8.2	3.2	15.4	8.5	3.7	3.9
	レベル2	1343	50.3	60.4	4.5	1.7	9.2	4.3	1.3	2.7
	レベル1	452	44.9	61.9	3.8	2.2	5.3	1.8	0.9	0.9
時系列別	2015年	3822	53.9	49.0	6.4	2.1	10.4	7.8	3.7	3.1
	2014年	3873	56.1	49.8	6.2	2.2	13.6	8.3	2.9	0.8

4-4-3.自宅無線LAN (Wi-Fi) の暗号化

- 自宅無線LAN (Wi-Fi) の暗号化について最も高いのは、「通信の暗号化を行っているかどうか分からない」(31.5%)である。次いで「通信の暗号化を行っていない」(24.0%)、「WEPによる通信の暗号化を行っている、または確認している」(14.0%)、「通信の暗号化を行っているが、どのような暗号方式を利用しているかわからない、確認方法がわからない」(13.2%)と続く。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「WPA2による通信の暗号化を行っている、または確認している」が25.5ポイント、レベル1は「通信の暗号化を行っていない」が22ポイントと全体よりも高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「通信の暗号化を行っていない」の割合が5.2ポイント増加している。反対に「通信の暗号化を行っているかどうか分からない」の割合が6.6ポイント減少している。

【Q21】 自宅の無線LAN (Wi-Fi) は、通信の暗号化対策を行っていますか。(お答えは1つ)

n=自宅無線LAN利用者(Q4)

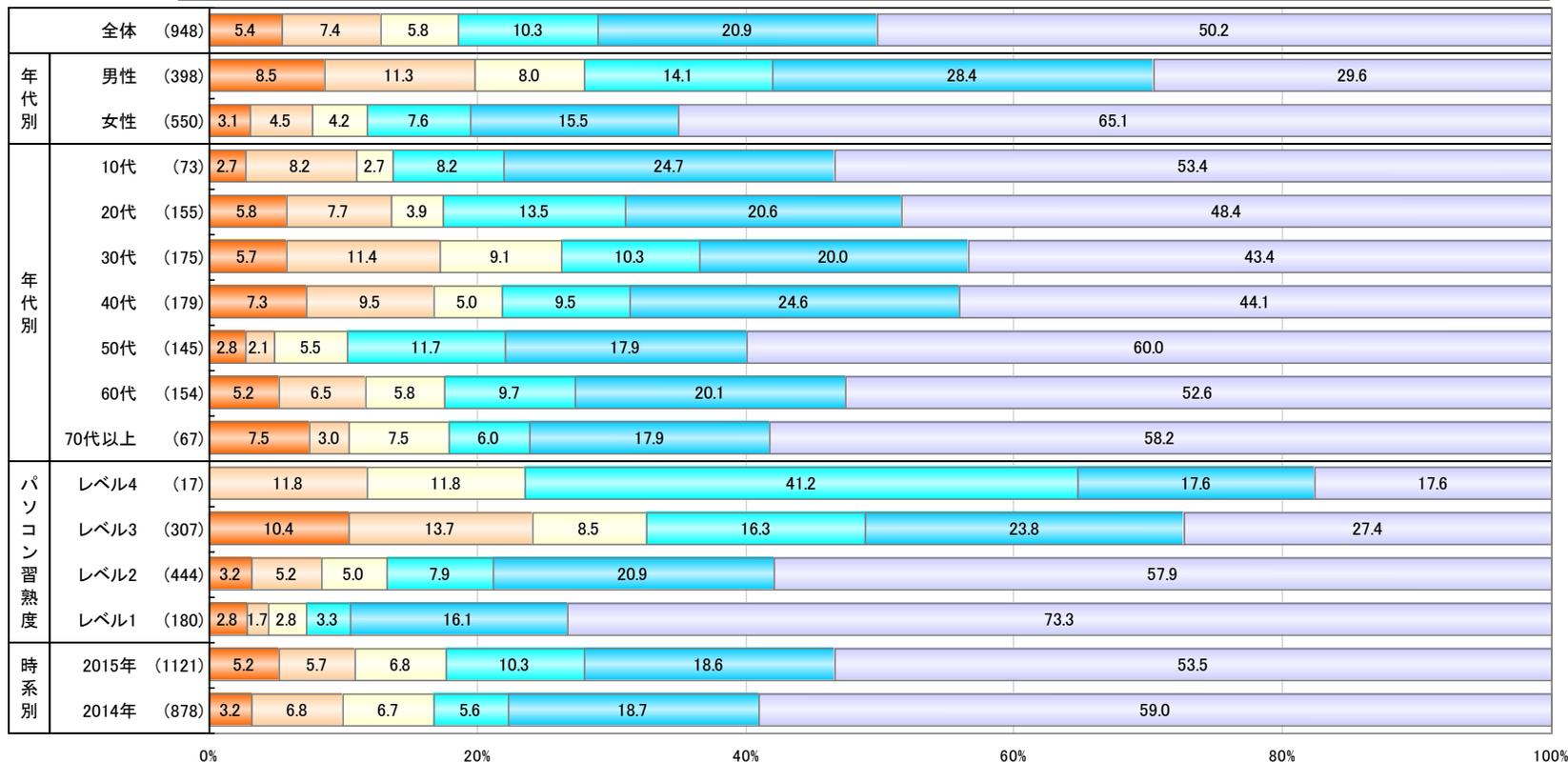
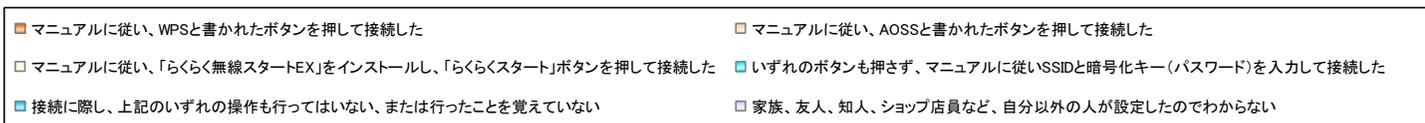


4-4-4. 自宅無線LAN (Wi-Fi) への初回接続時の行動

- 自宅無線LAN (Wi-Fi) への初回接続時の行動について最も高いのは、「家族、友人、知人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからない」(50.2%)である。次いで「接続に際し、上記のいずれの操作も行っていない、または行ったことを覚えていない」(20.9%)、「いずれのボタンも押さず、マニュアルに従いSSIDと暗号化キー (パスワード) を入力して接続した」(10.3%)、「マニュアルに従い、AOSSと書かれたボタンを押して接続した」(7.4%)と続く。
- パソコン習熟度でみると、レベル1は「家族、友人、知人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからない」の割合が全体よりも23.1ポイント高い。
- 前年 (2015年) と比較すると、「家族、友人、知人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからない」の割合が3.3ポイントとやや減少している。

【Q22】 自宅の無線LAN (Wi-Fi) に最初に接続する際に行った行動として、あてはまるものを以下から選択してください。(お答えは1つ) ※WPS: Wi-Fi Protected System、AOSS: AirStation One-Touch Secure System

n=通信の暗号化を行っているかどうかわからない方(Q21)

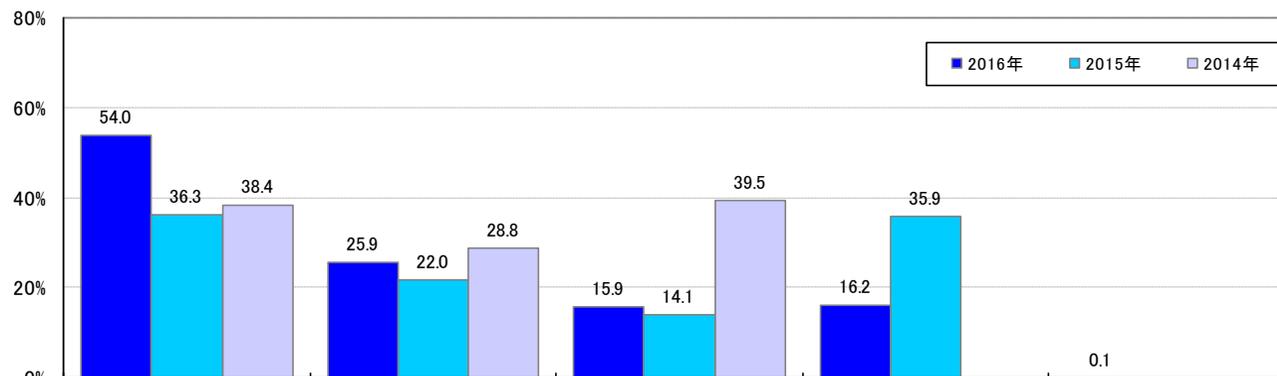


4-4-5.自宅無線LAN (Wi-Fi) の暗号化対策をしていない理由

- 自宅無線LAN (Wi-Fi) の暗号化対策をしていない理由で最も高いのは、「対策の方法がわからないから」(54.0%)である。次いで「特に問題が起きていないから」(25.9%)、「家族、友人、知人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからないから」(16.2%)、「設定が面倒だから」(15.9%)と続く。
- 年代別でみると、20代は「家族、友人、知人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからないから」が12.5ポイント、70代以上は「対策の方法がわからないから」が10.3ポイントと全体よりも高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「特に問題が起きていないから」の割合が全体よりも18.5ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「対策の方法がわからないから」の割合が17.7ポイントと大きく増加している。「特に問題が起きていないから」の割合が3.9ポイントとやや増加している。反対に「家族、友人、知人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからないから」の割合が19.7ポイントと大きく減少している。

【Q23】 自宅の無線LAN (Wi-Fi) に通信の暗号化対策をしていない理由としてあてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=通信の暗号化を行っていない方(Q21)

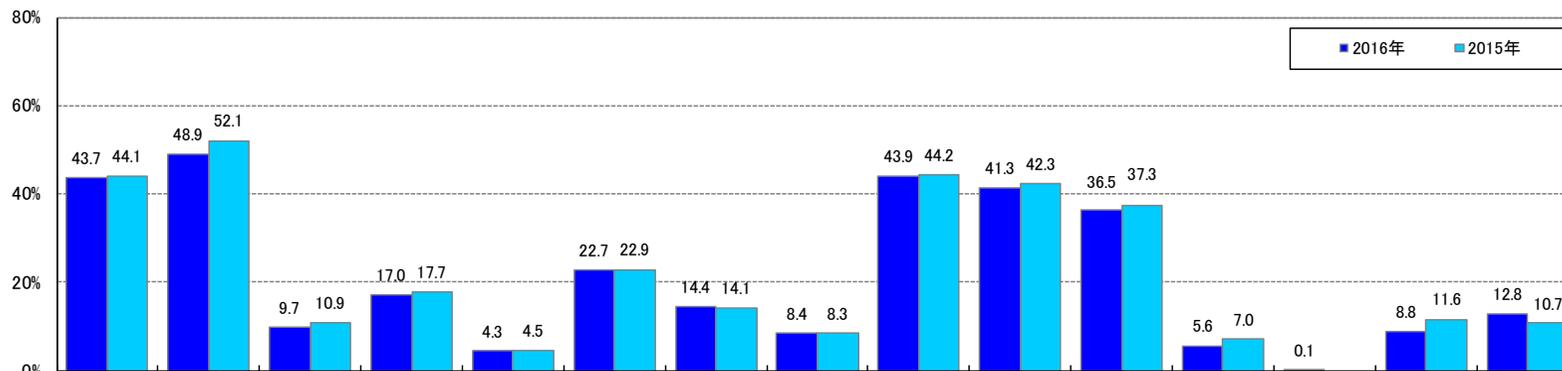


		全体	対策の方法がわからないから	特に問題が起きていないから	設定が面倒だから	家族、友人、知人、ショップ店員など、自分以外の方が設定したのでわからないから	その他	
		全体	722	54.0	25.9	15.9	16.2	0.1
性別	男性	340	54.4	34.1	16.2	10.3	0.3	
	女性	382	53.7	18.6	15.7	21.5	-	
年代別	10代	72	56.9	25.0	16.7	12.5	-	
	20代	115	41.7	21.7	19.1	28.7	-	
	30代	134	60.4	26.1	11.2	14.9	-	
	40代	145	55.2	27.6	17.9	13.1	0.7	
	50代	113	54.0	23.0	13.3	16.8	-	
	60代	87	49.4	31.0	16.1	11.5	-	
	70代以上	56	64.3	28.6	19.6	12.5	-	
パソコン習熟度	レベル4	36	47.2	44.4	11.1	11.1	2.8	
	レベル3	183	47.0	30.1	23.5	14.2	-	
	レベル2	292	58.2	27.4	14.4	13.4	-	
	レベル1	211	55.5	17.1	12.3	22.7	-	
時系別	2015年	554	36.3	22.0	14.1	35.9	-	
	2014年	511	38.4	28.8	39.5	-	-	

4-4-6.情報セキュリティ対策

- 情報セキュリティ対策で最も高いのは、「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」(48.9%)である。次いで「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」(43.9%)、「WindowsUpdate等によるセキュリティパッチの更新」(43.7%)、「怪しいと思われるウェブサイトにはアクセスしない」(41.3%)と続く。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「WindowsUpdate等によるセキュリティパッチの更新」が28.7ポイント、「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」が19.1ポイント、「ルータの利用」が28.8ポイント、「パソコンのデータのバックアップ」が20.9ポイントと全体よりも大幅に高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」の割合が3.2ポイントとやや減少している。

【Q24】 あなた自身が所有するパソコンや自宅のネットワークについて、現在実施しているセキュリティ対策をすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



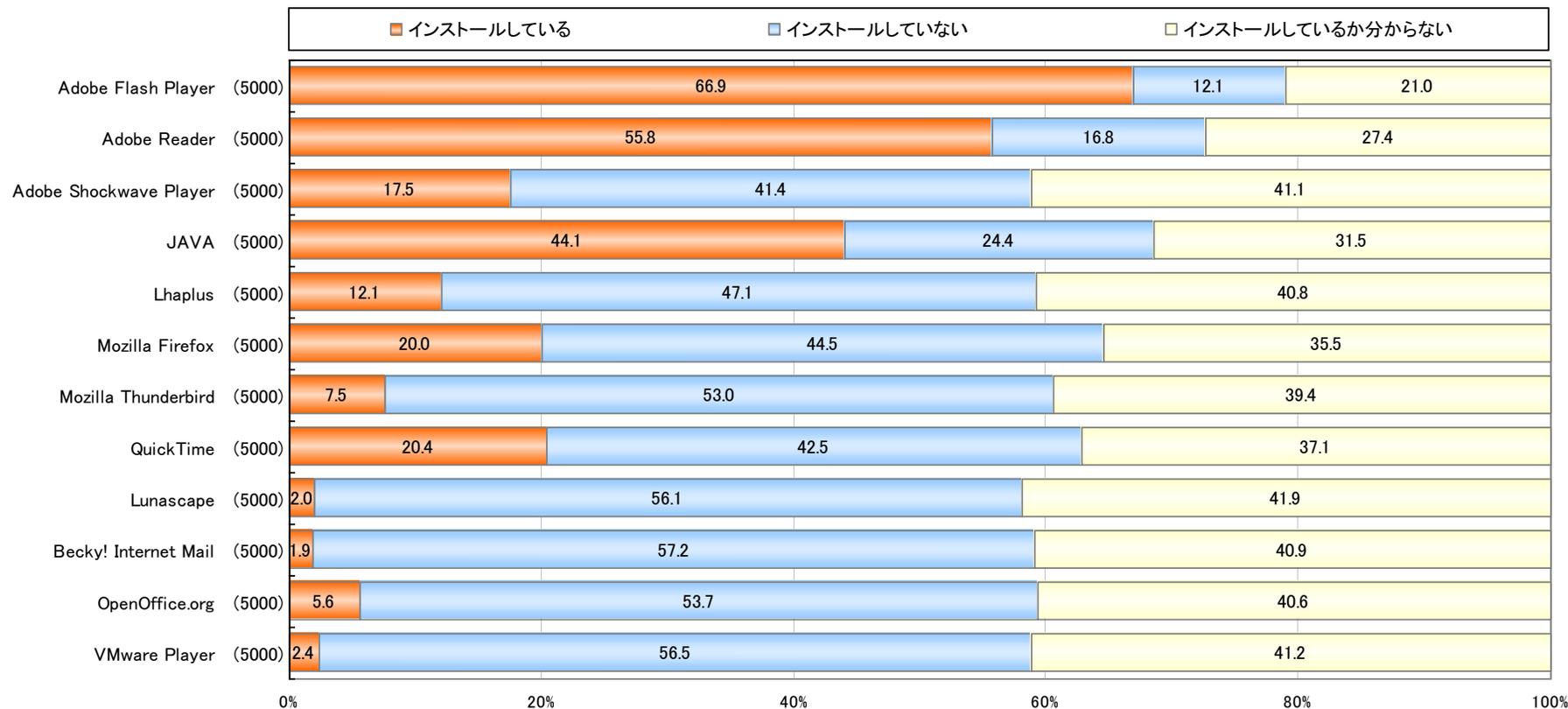
■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

属性	属性別	属性別	セキュリティソフト・サービスの導入・活用	不審な電子メールの添付ファイルは開かない	WindowsUpdate等によるセキュリティパッチの更新	怪しいと思われるウェブサイトにはアクセスしない	よく知らないウェブサイトをダウンロードしない	パソコンや家族が設定している対策は、家族が設定している対策	その他	わからない	特になし
全体	5000		48.9	43.9	43.7	41.3	36.5	5.6	0.1	8.8	12.8
性別	男性	2740	54.9	45.3	45.1	41.4	37.7	2.1	0.1	5.8	12.8
	女性	2260	41.6	42.3	41.2	35.0	9.9	-	-	12.4	12.8
年代別	10代	385	36.9	26.8	28.8	23.4	14.0	-	-	14.8	13.5
	20代	759	38.1	29.0	29.4	27.7	3.0	-	-	12.1	19.5
	30代	901	41.5	39.1	35.7	32.0	2.8	-	-	9.0	17.3
	40代	1063	47.7	47.3	45.6	39.6	4.8	0.1	6.7	11.7	
	50代	799	45.2	50.7	45.3	40.1	6.4	-	8.8	10.1	
	60代	721	45.9	55.8	49.5	45.1	6.9	0.1	5.8	7.1	
	70代以上	372	48.4	57.0	54.8	45.4	7.0	0.3	7.0	7.8	
パソコン習熟度	レベル4	493	68.0	55.6	52.1	46.7	1.8	0.4	1.0	9.9	
	レベル3	1902	61.4	53.0	49.2	44.9	2.4	0.1	3.7	8.6	
	レベル2	1802	42.3	41.0	38.6	33.4	8.2	-	10.2	13.8	
	レベル1	803	22.5	21.9	21.9	17.1	9.7	-	22.4	22.4	
時系列別	2015年	5000	52.1	44.2	42.3	37.3	7.0			11.6	10.7

4-4-7.インストールしているソフトウェア①

- インストールしているソフトウェアについて、最も高いのは「Adobe Flash Player」(66.9%)である。次いで「Adobe Reader」(55.8%)、「JAVA」(44.1%)、「QuickTime」(20.4%)、「Mozilla Firefox」(20.0%)と続く。

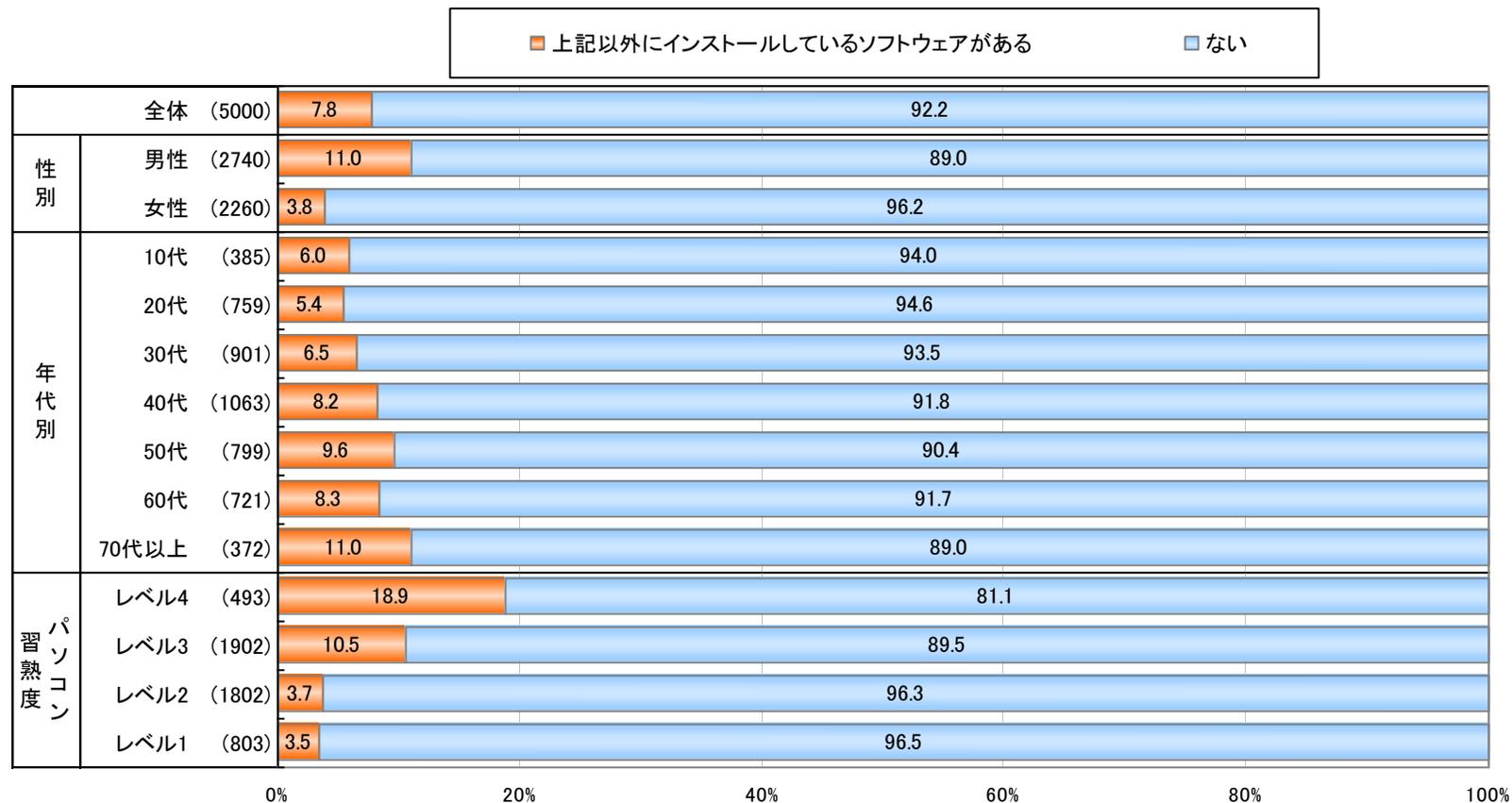
【Q25】 あなたのパソコンには以下のソフトウェアがインストールされていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）



4-4-7.インストールしているソフトウェア②

- アンケートにて挙げたソフトウェア以外にインストールしているソフトウェアがある割合は7.8%である。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4はインストールしているソフトウェアがある割合が全体よりも11.1ポイント高い。
- 回答のあったソフトウェアとしては「Google Chrome」や「Microsoft Office」、「ウイルスバスター」「ノートンセキュリティ」等のセキュリティソフトが多く見られた。

【Q25SQ1】 上記以外にインストールしているソフトウェアはありますか。複数ある場合は、その中から代表的なものを1つお答えください。（お答えは1つ）

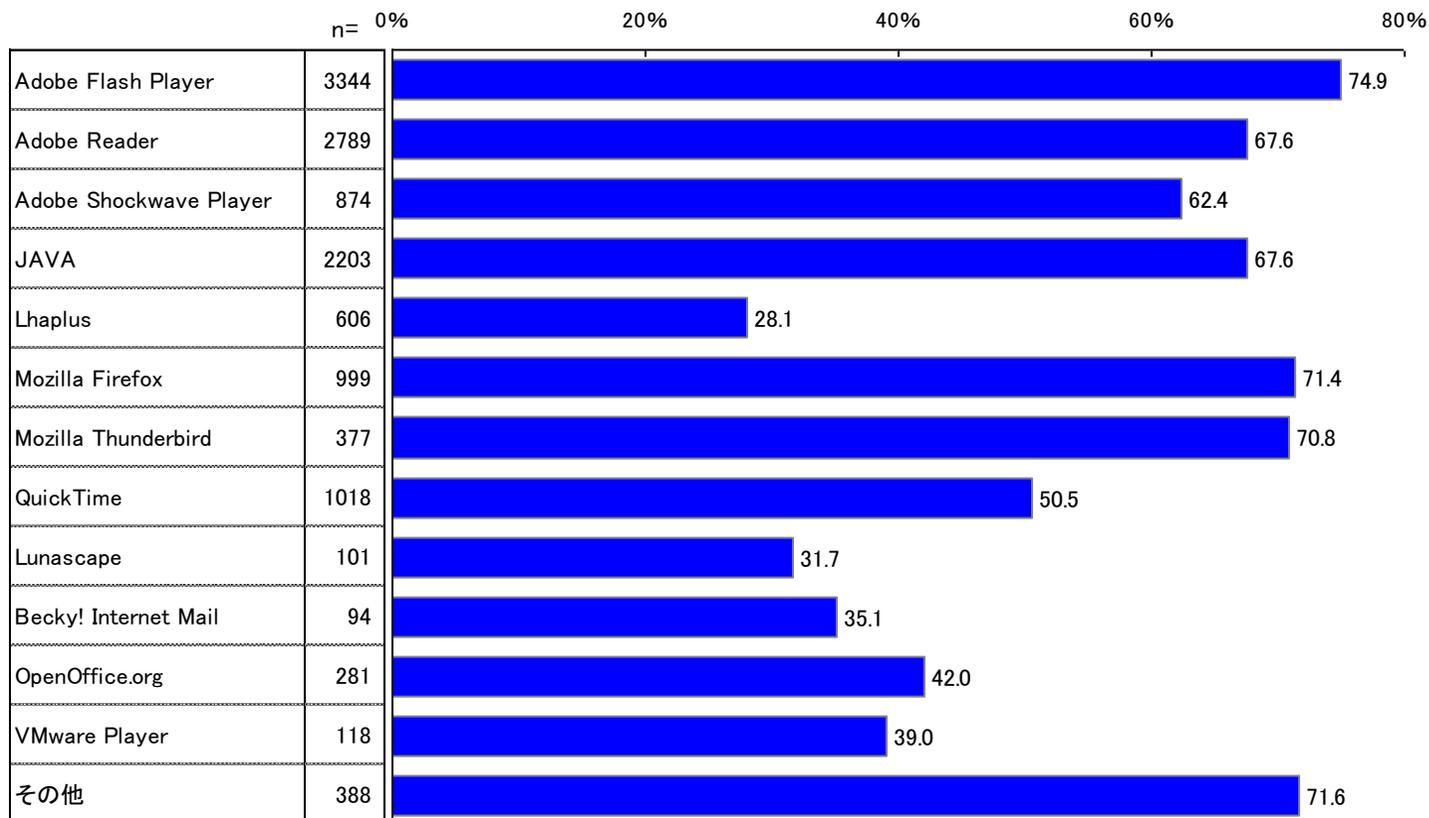


4-4-8.更新しているソフトウェア

- 更新しているソフトウェアについて、最も高いのは「Adobe Flash Player」(74.9%)である。次いで「Mozilla Firefox」(71.4%)、「Mozilla Thunderbird」(70.8%)、「Adobe Reader」(67.6%)、「JAVA」(67.6%)と続く。

【Q25SQ2】 あなたのパソコンにインストールされているソフトウェアの中で、更新しているものをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）

n=ソフトウェアインストーラー者(Q25)

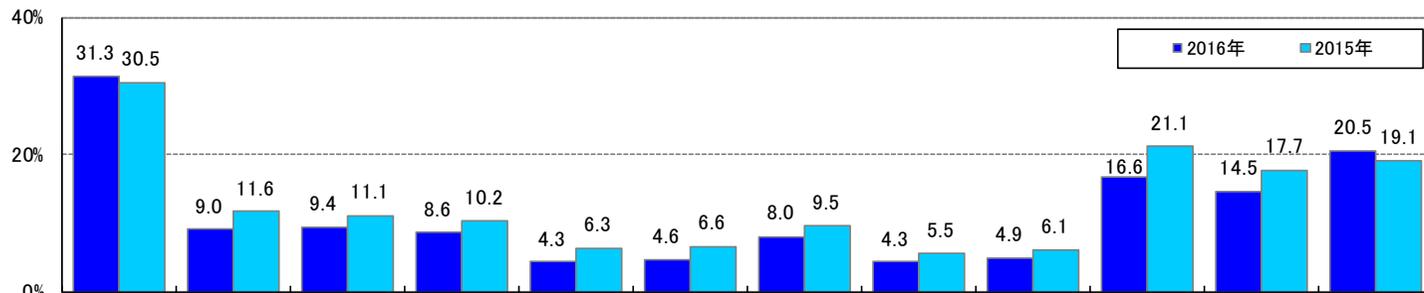


4-4-9.OSのUpdate等によるセキュリティパッチの更新をしない理由

- OSのUpdate等によるセキュリティパッチの更新をしない理由について最も高いのは、「書かれている内容がわからない」(31.3%)である。次いで「対策しているかわからない」(16.6%)、「家族や知人、ショップに対応してもらっている」(14.5%)、「導入などに手間がかかる、設定が面倒くさい」(9.4%)と続く。
- 前年(2015年)と比較すると、「対策しているかわからない」が4.5ポイント、「家族や知人、ショップに対応してもらっている」が3.2ポイントとやや減少している。

[Q26S1] [OSのUpdate等によるセキュリティパッチの更新]対策をしていない理由としてあてはまるものを、すべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=Windows Update等によるセキュリティパッチの更新を実施していない人(Q24)



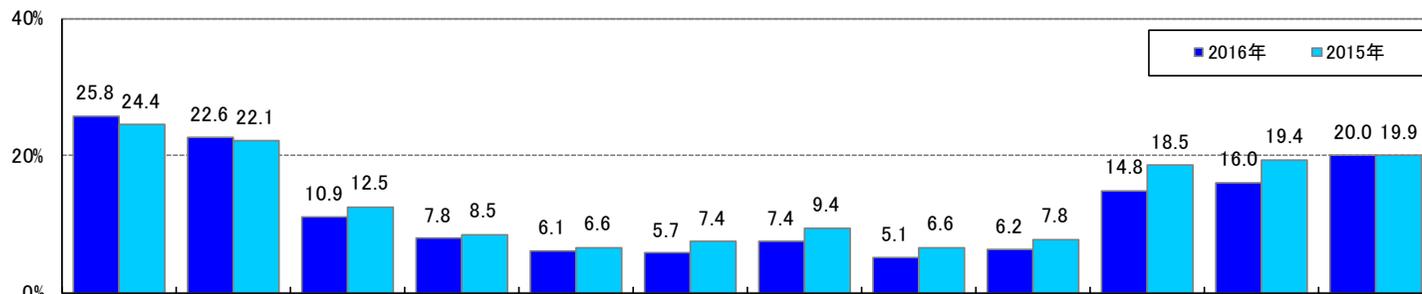
	属性	n	理由												
			書かれている内容がわからない	費用がかかる	導入などに手間がかかる	更新の方法がわからない	対策の必要性を感じない	動作が遅くなる、エラーが出る	対策を行うことができない	対策の設定方法がわからない	起きないと思う	更新の買い替えなど、更新の手続きが面倒	対策しているかわからない	家族や知人、ショップに対応してもらっている	その他
全体	全体	2816	31.3	9.0	9.4	8.6	4.3	4.6	8.0	4.3	4.9	16.6	14.5	20.5	
	男性	1286	28.3	10.5	9.7	9.0	4.4	4.2	7.5	4.5	5.3	16.3	7.9	26.3	
	女性	1530	33.8	7.8	9.2	8.2	4.1	5.0	8.5	4.1	4.6	16.9	20.1	15.7	
年代別	10代	243	29.6	9.1	8.6	7.0	2.9	4.1	5.3	2.9	3.3	14.0	22.2	17.3	
	20代	470	33.0	6.2	11.3	6.6	4.9	4.0	5.7	5.3	4.3	18.1	10.4	19.4	
	30代	527	36.6	9.9	11.0	8.0	4.2	4.2	8.5	4.0	5.7	15.0	10.8	14.2	
	40代	556	33.3	9.4	8.6	9.0	4.5	4.3	7.0	4.5	4.5	15.6	15.1	22.1	
	50代	438	24.9	9.1	8.4	6.2	3.4	5.5	8.2	3.4	5.5	15.5	16.9	23.5	
	60代	390	30.5	10.0	9.0	12.8	4.4	5.6	11.5	4.6	6.2	18.2	16.7	22.3	
	70代以上	192	25.0	10.4	7.3	12.5	5.7	4.7	10.9	4.7	4.2	22.9	13.5	29.7	
パソコン習熟度	レベル4	136	22.1	12.5	8.8	6.6	5.1	5.9	5.1	2.2	3.7	14.0	5.1	39.0	
	レベル3	811	21.8	10.1	12.0	7.0	5.3	5.5	6.2	6.0	5.1	16.6	6.7	27.1	
	レベル2	1215	34.7	8.5	8.8	9.5	4.1	4.4	8.6	3.5	5.6	17.6	17.0	16.8	
	レベル1	654	38.5	8.0	7.6	9.2	3.1	3.5	9.9	3.8	3.8	15.3	21.6	15.4	
時系別	2015年	2797	30.5	11.6	11.1	10.2	6.3	6.6	9.5	5.5	6.1	21.1	17.7	19.1	

4-4-10.セキュリティソフト・サービスの導入・活用をしない理由

- セキュリティソフト・サービスの導入・活用をしない理由について最も高いのは、「書かれている内容がわからない」(25.8%)である。次いで「費用がかかる」(22.6%)、「家族や知人、ショップに対応してもらっている」(16.0%)、「対策しているかわからない」(14.8%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「家族や知人、ショップに対応してもらっている」の割合が全体よりも12.0ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「対策しているかわからない」が3.7ポイント、「家族や知人、ショップに対応してもらっている」が3.4ポイントとやや減少している。

[Q26S2] [セキュリティソフト・サービスの導入・活用]対策をしていない理由としてあてはまるものを、すべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=セキュリティソフト・サービスの導入・活用を実施していない人(Q24)

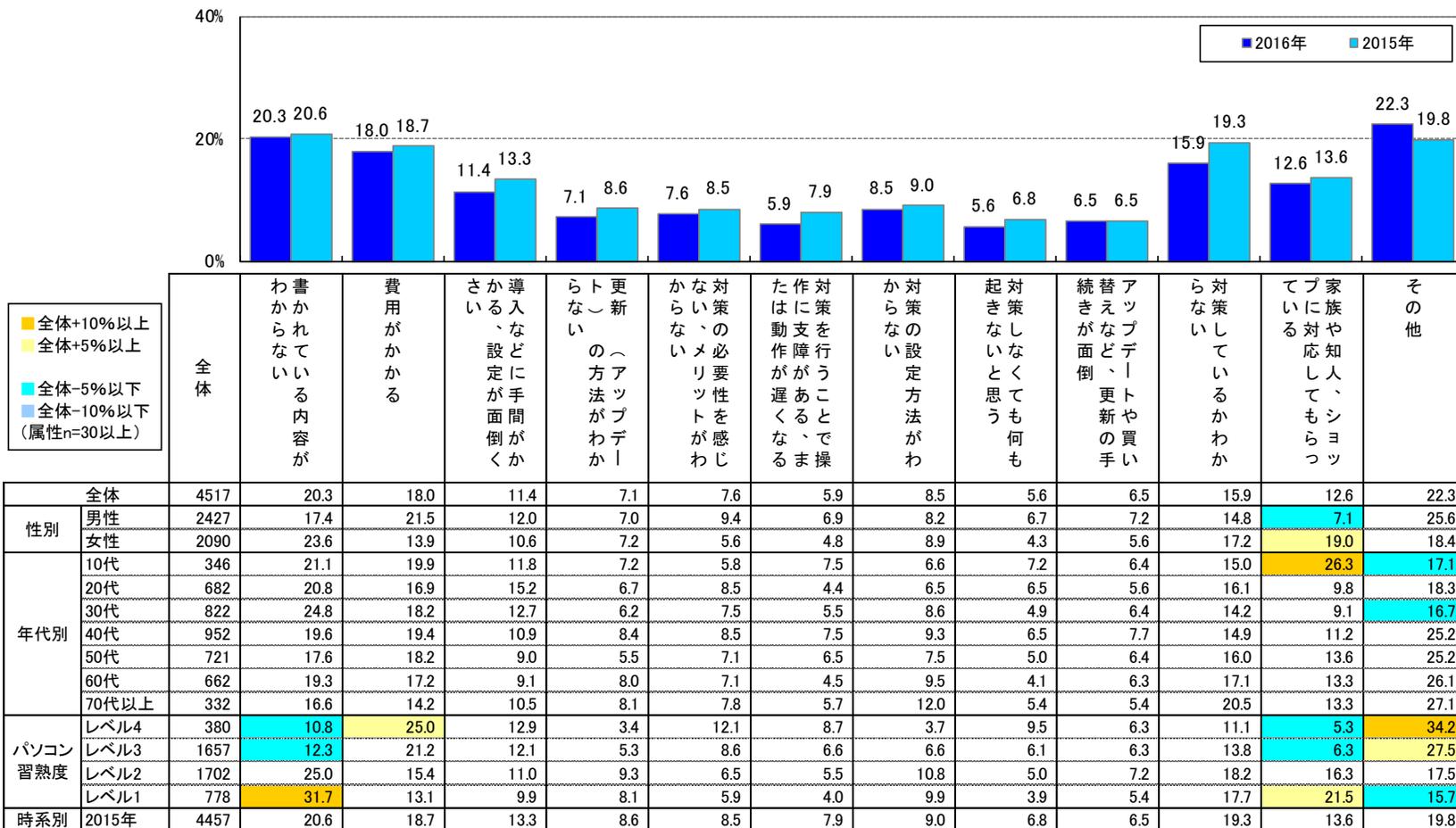


	属性	n	理由												
			書かれている内容がわからない	費用がかかる	導入などに手間がかかる	新しい(更新)の方法がわからない	対策の必要性を感じない	動作が遅くなる	対策の設定方法がわからない	対策しなくても何も起きないと思う	更新や買い替えなど面倒	対策しているかわからない	家族や知人、ショップに対応してもらっている	その他	
	全体	2555	25.8	22.6	10.9	7.8	6.1	5.7	7.4	5.1	6.2	14.8	16.0	20.0	
性別	男性	1235	23.3	27.0	10.8	8.2	7.0	5.9	7.1	5.8	6.9	12.9	9.6	23.6	
	女性	1320	28.0	18.5	11.1	7.5	5.2	5.5	7.6	4.5	5.5	16.7	22.0	16.6	
年代別	10代	243	26.7	21.8	7.4	6.2	7.4	5.3	6.6	7.0	7.8	13.6	28.0	17.7	
	20代	455	24.4	19.1	14.7	6.8	4.8	4.8	6.2	5.1	5.9	16.9	11.2	20.2	
	30代	473	35.3	23.7	11.6	8.7	5.5	5.5	4.2	5.1	6.6	13.5	12.3	13.1	
	40代	490	24.1	24.1	12.2	8.6	7.3	6.7	7.6	4.5	6.7	13.3	13.9	22.4	
	50代	382	23.0	20.4	7.3	5.0	3.1	3.7	7.3	3.1	4.7	13.9	16.2	21.5	
	60代	336	20.5	27.4	9.5	9.8	8.0	8.0	11.0	6.0	6.3	14.6	20.2	22.9	
	70代以上	176	22.7	21.0	10.8	10.8	8.0	6.3	12.5	7.4	5.1	21.6	18.8	25.0	
パソコン習熟度	レベル4	158	15.2	28.5	12.7	4.4	7.6	5.7	2.5	5.1	5.7	10.1	1.9	32.3	
	レベル3	735	15.9	30.7	13.9	7.3	8.3	8.6	6.1	7.6	7.1	13.5	8.4	24.6	
	レベル2	1040	28.8	20.0	10.7	8.6	4.8	4.3	8.9	4.1	6.3	15.3	18.8	17.5	
	レベル1	622	34.9	15.8	7.4	8.0	5.1	4.7	7.4	3.9	5.1	16.9	23.8	15.4	
時系別	2015年	2394	24.4	22.1	12.5	8.5	6.6	7.4	9.4	6.6	7.8	18.5	19.4	19.9	

4-4-11.有害なウェブサイトへのアクセスを防止するソフトまたはサービスの導入・活用をしない理由

- 有害なウェブサイトへのアクセスを防止するソフトまたはサービスの導入・活用をしない理由で最も高いのは、「書かれている内容がわからない」(20.3%)である。次いで「費用がかかる」(18.0%)、「対策しているかわからない」(15.9%)、「家族や知人、ショップに対応してもらっている」(12.6%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「家族や知人、ショップに対応してもらっている」の割合が全体よりも13.7ポイント高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル1は「書かれている内容がわからない」の割合が全体よりも11.4ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「対策しているかわからない」の割合が3.4ポイントとやや減少している。

【Q26S3】 [有害なウェブサイトへのアクセスを防止するソフトまたはサービスの導入・活用]対策をしていない理由としてあてはまるものを、すべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)
 n=有害なウェブサイトへのアクセスを防止するソフトまたはサービスの導入・活用を実施していない人(Q24)

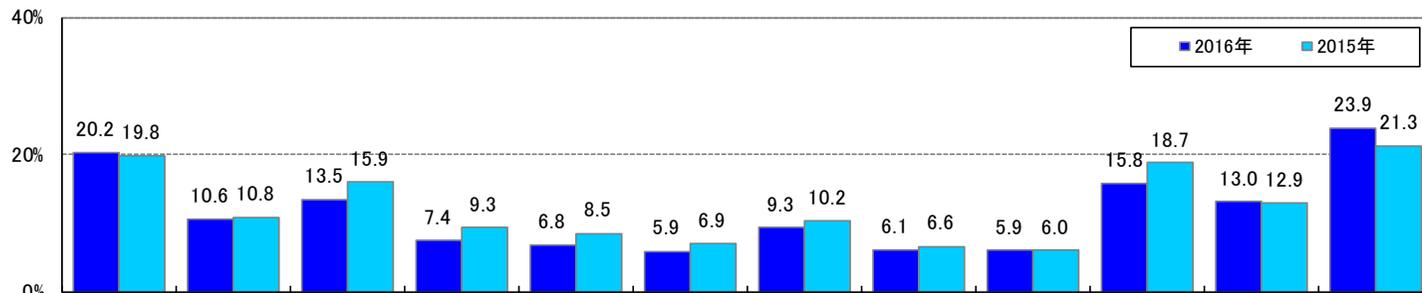


4-4-12.ファイルの保護（暗号化、バックアップなど）をしない理由

- ファイルの保護（暗号化、バックアップなど）をしない理由について最も高いのは、「書かれている内容がわからない」（20.2%）である。次いで「対策しているかわからない」（15.8%）、「導入などに手間がかかる、設定が面倒くさい」（13.5%）、「家族や知人、ショップに対応してもらっている」（13.0%）と続く。
- 年代別でみると、10代は「家族や知人、ショップに対応してもらっている」の割合が全体よりも13.1ポイント高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル1は「書かれている内容がわからない」の割合が全体よりも11.0ポイント高い。

【Q26S4】 [ファイルの保護（暗号化、バックアップなど）]対策をしていない理由としてあてはまるものを、すべて選択してください。（お答えはそれぞれいくつでも）

n = 「暗号化されたUSBメモリの利用や、重要なファイルの暗号化」「パソコンのデータのバックアップ」のいずれかを実施していない人(Q24)

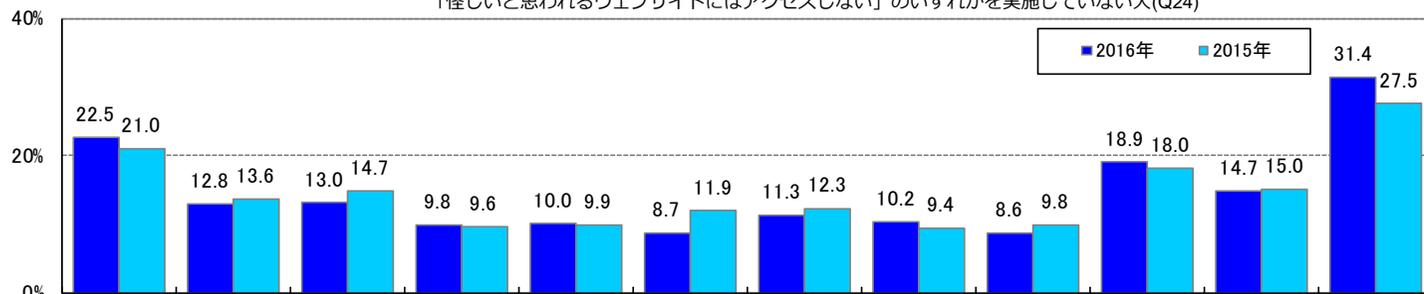


		n	理由												
			書かれている内容がわからない	費用がかかる	導入などに手間がかかる	新しい方法がわからない	対策の必要性を感じない	動作が遅くなる、エラーが出る	対策を行うことが難しい	対策しないと思う	更新や買い替えなど、面倒	対策しているかわからない	家族や知人、ショップに対応してもらっている	その他	
全体	全体	4866	20.2	10.6	13.5	7.4	6.8	5.9	9.3	6.1	5.9	15.8	13.0	23.9	
	男性	2663	17.1	12.8	15.5	7.5	8.5	6.6	8.9	7.8	6.9	14.9	7.6	28.0	
	女性	2203	24.0	7.9	11.0	7.2	4.8	5.0	9.8	4.1	4.7	16.8	19.7	18.9	
年代別	10代	371	21.3	13.5	13.2	6.7	8.1	5.9	8.4	7.0	3.8	13.7	26.1	17.3	
	20代	734	20.4	8.4	16.2	5.4	6.0	5.4	7.8	6.0	4.4	16.8	7.9	18.9	
	30代	881	24.6	11.2	14.8	7.0	6.0	5.0	8.6	5.6	6.7	14.4	9.0	18.2	
	40代	1029	19.3	10.2	14.4	8.4	8.2	7.5	9.0	6.1	6.6	15.5	12.4	26.7	
	50代	782	18.3	12.0	12.1	6.6	6.1	6.3	9.6	6.3	7.3	15.1	15.7	27.6	
	60代	707	19.0	9.5	10.5	8.8	6.4	4.4	10.7	5.8	5.7	16.5	13.7	28.6	
	70代以上	362	17.1	10.8	11.3	8.6	7.7	6.4	12.2	7.5	5.0	20.4	14.6	29.6	
パソコン習熟度	レベル4	453	7.7	14.1	18.3	5.7	11.5	9.1	4.9	8.8	5.7	10.4	5.5	38.2	
	レベル3	1828	12.6	11.1	15.6	5.0	7.3	5.9	7.4	7.1	6.0	14.1	6.9	30.0	
	レベル2	1787	26.2	10.5	12.1	9.0	6.1	5.6	11.6	5.1	6.6	17.9	17.1	17.7	
	レベル1	798	31.2	7.9	8.9	9.9	4.6	4.8	10.9	4.8	4.3	18.3	22.4	15.7	
時系列別	2015年	4855	19.8	10.8	15.9	9.3	8.5	6.9	10.2	6.6	6.0	18.7	12.9	21.3	

4-4-13.自分自身で注意すべき対策をしない理由

- 自分自身で注意すべき対策をしない理由について最も高いのは、「書かれている内容がわからない」(22.5%)である。次いで「対策しているかわからない」(18.9%)、「家族や知人、ショップに対応してもらっている」(14.7%)、「導入などに手間がかかる、設定が面倒くさい」(13.0%)と続く。
- 年代別でみると、10代は「家族や知人、ショップに対応してもらっている」の割合が全体よりも11.9ポイント高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル1は「書かれている内容がわからない」が11.6ポイント、「家族や知人、ショップに対応してもらっている」が11.7ポイントと全体よりも高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「対策を行うことで操作に支障がある、または動作が遅くなる」の割合が3.2ポイントとやや減少している。

【Q26S5】 [ご自身で注意すべき対策(不審な電子メールの添付ファイルは開かない、怪しいウェブサイトへアクセスしない、など)]対策をしていない理由としてあてはまるものを、すべて選択してください。
 (お答えはそれぞれいくつでも)
 n=「自宅のパソコンを家族で使う場合、利用者毎にアカウント(ユーザID)をわけている」「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」「怪しいと思われるウェブサイトにはアクセスしない」のいずれかを実施していない人(Q24)



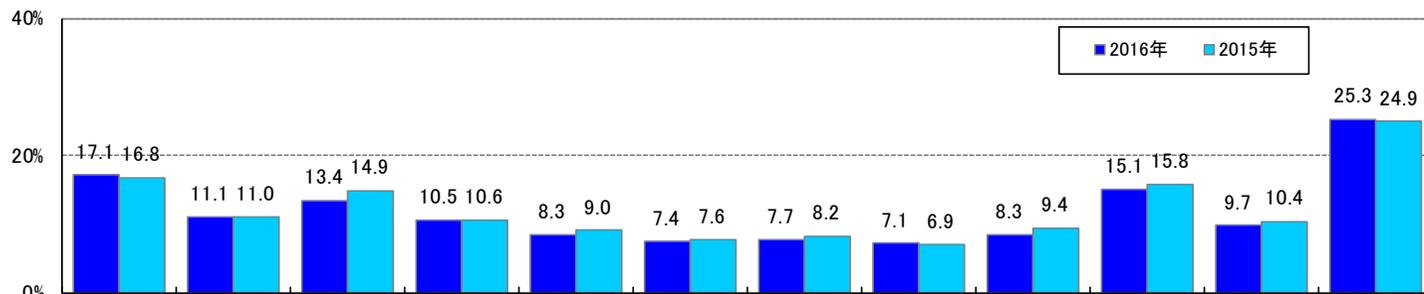
	属性	n	理由												
			書かれている内容がわからない	費用がかかる	導入などに手間がかかる	新しい方法がわからない	対策の必要性を感じない	対策を行うことで操作に支障がある、または動作が遅くなる	対策の設定方法がわからない	対策しないとも何も起きないと思う	更新や買い替えなど、面倒	対策しているかわからない	家族や知人、ショップに対応してもらっている	その他	
性別	全体	4730	22.5	12.8	13.0	9.8	10.0	8.7	11.3	10.2	8.6	18.9	14.7	31.4	
	男性	2598	19.9	14.0	13.1	9.3	11.4	9.0	10.8	11.3	8.8	17.8	9.9	35.1	
	女性	2132	25.7	11.4	12.9	10.4	8.4	8.3	11.9	8.9	8.4	20.3	20.5	26.7	
年代別	10代	365	23.0	15.3	12.6	9.0	9.0	7.9	9.6	10.1	9.6	17.3	26.6	21.1	
	20代	727	19.8	9.2	13.5	6.9	9.9	7.0	8.7	8.9	6.9	18.7	10.2	25.3	
	30代	865	25.7	13.3	14.0	8.9	8.7	8.0	10.9	9.2	8.2	17.7	10.8	24.7	
	40代	995	20.5	12.0	12.1	9.4	9.6	8.2	10.9	9.5	7.9	17.2	12.9	33.0	
	50代	752	19.5	13.3	12.5	9.4	8.9	7.6	10.4	8.2	8.1	18.0	14.6	37.1	
	60代	681	25.0	12.9	12.2	12.2	11.0	11.0	13.4	12.9	10.1	20.6	18.1	38.3	
	70代以上	345	27.2	17.7	15.9	15.9	16.5	13.6	18.6	15.9	12.5	28.4	20.3	40.6	
パソコン習熟度	レベル4	436	9.4	12.4	13.1	5.3	10.1	9.2	5.3	10.3	6.0	11.0	4.1	44.3	
	レベル3	1774	14.7	11.7	12.7	7.2	9.6	7.6	8.7	9.6	7.6	16.0	7.7	37.5	
	レベル2	1731	28.5	12.6	12.8	12.0	9.1	8.3	13.2	10.0	9.0	21.5	19.2	25.8	
	レベル1	789	34.1	16.0	14.4	13.3	13.1	11.7	16.1	11.9	11.7	24.3	26.4	22.6	
時系列別	2015年	4735	21.0	13.6	14.7	9.6	9.9	11.9	12.3	9.4	9.8	18.0	15.0	27.5	

4-4-14.インストールされたソフトウェアのバージョンアップをしない理由

- インストールされたソフトウェアのバージョンアップをしない理由について最も高いのは、「書かれている内容がわからない」(17.1%)である。次いで「対策しているかわからない」(15.1%)、「導入などに手間がかかる、設定が面倒くさい」(13.4%)、「費用がかかる」(11.1%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「家族や知人、ショップに対応してもらっている」の割合が全体よりも15.1ポイント高い。

[Q26S6] [インストールされたソフトウェアのバージョンアップ]対策をしていない理由としてあてはまるものを、すべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=インストールされたソフトウェアを更新していない人(Q25SQ2)



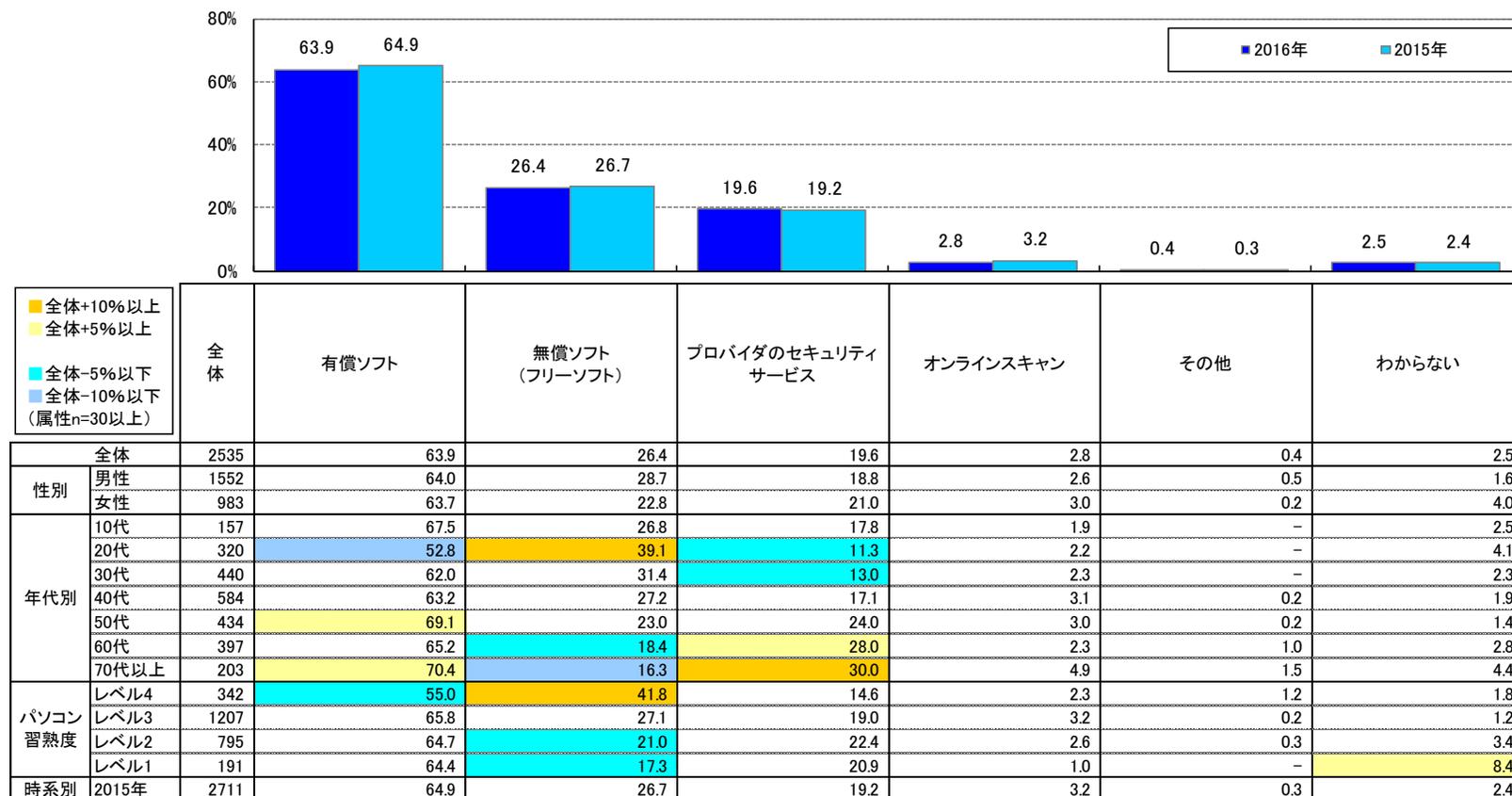
	属性	n	理由												
			書かれている内容がわからない	費用がかかる	導入などに手間がかかる、設定が面倒くさい	新しい方法がわからない	対策の必要性を感じない	動作が遅くなる、エラーが出る	対策を行うことができない	対策の設定方法がわからない	起きないと思う	更新や買い替えなど、更新の手続きが面倒	対策しているかわからない	家族や知人、ショップに対応してもらっている	その他
全体	全体	2063	17.1	11.1	13.4	10.5	8.3	7.4	7.7	7.1	8.3	15.1	9.7	25.3	
	男性	1273	15.0	12.7	14.4	9.8	9.2	7.6	7.9	7.9	8.8	13.7	6.8	28.9	
	女性	790	20.4	8.4	11.8	11.6	7.0	7.1	7.2	5.9	7.6	17.2	14.6	19.4	
年代別	10代	157	15.9	17.2	12.1	5.7	8.3	7.6	6.4	7.6	6.4	13.4	24.8	17.2	
	20代	303	19.1	6.9	18.2	8.9	5.6	4.6	3.6	7.6	7.3	15.8	6.3	18.5	
	30代	375	21.6	12.8	15.7	12.3	7.5	5.6	7.7	7.5	9.9	16.5	6.4	20.0	
	40代	465	14.4	9.5	11.8	10.1	9.7	8.6	6.2	4.9	7.1	14.8	7.7	25.2	
	50代	343	14.0	10.2	11.1	9.6	7.6	7.9	7.0	5.8	7.9	12.2	8.5	29.7	
	60代	291	18.2	14.1	12.0	12.7	9.3	9.3	12.7	10.0	10.7	13.7	12.0	32.6	
	70代以上	129	15.5	9.3	11.6	14.0	12.4	9.3	14.0	9.3	9.3	22.5	14.7	38.0	
パソコン習熟度	レベル4	223	8.1	12.6	14.3	7.2	12.1	6.7	4.0	8.1	5.4	8.5	2.2	33.2	
	レベル3	939	10.5	11.2	14.1	7.6	7.6	6.3	4.8	6.5	8.0	14.1	5.1	30.5	
	レベル2	691	25.9	9.7	12.6	14.5	8.2	8.2	10.6	7.7	10.0	16.6	16.4	18.2	
	レベル1	210	26.7	13.3	11.9	14.3	8.1	10.5	14.8	7.1	7.6	21.4	16.7	16.7	
時系別	2015年	2081	16.8	11.0	14.9	10.6	9.0	7.6	8.2	6.9	9.4	15.8	10.4	24.9	

4-4-15.利用しているセキュリティソフト・サービス

- 利用しているセキュリティソフト・サービスについて最も高いのは、「有償ソフト」(63.9%)である。次いで「無償ソフト(フリーソフト)」(26.4%)、「プロバイダのセキュリティサービス」(19.6%)、「オンラインスキャン」(2.8%)と続く。
- 年代別でみると、20代は「無償ソフト(フリーソフト)」が12.7ポイント、70代以上は「プロバイダのセキュリティサービス」が10.4ポイントと全体よりも高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「無償ソフト(フリーソフト)」の割合が全体よりも15.4ポイント高い。

【Q27】 あなたがお使いのセキュリティソフト・サービスを以下から選択してください。(お答えはいくつでも)

n=セキュリティソフト・サービス導入・活用者(Q24)

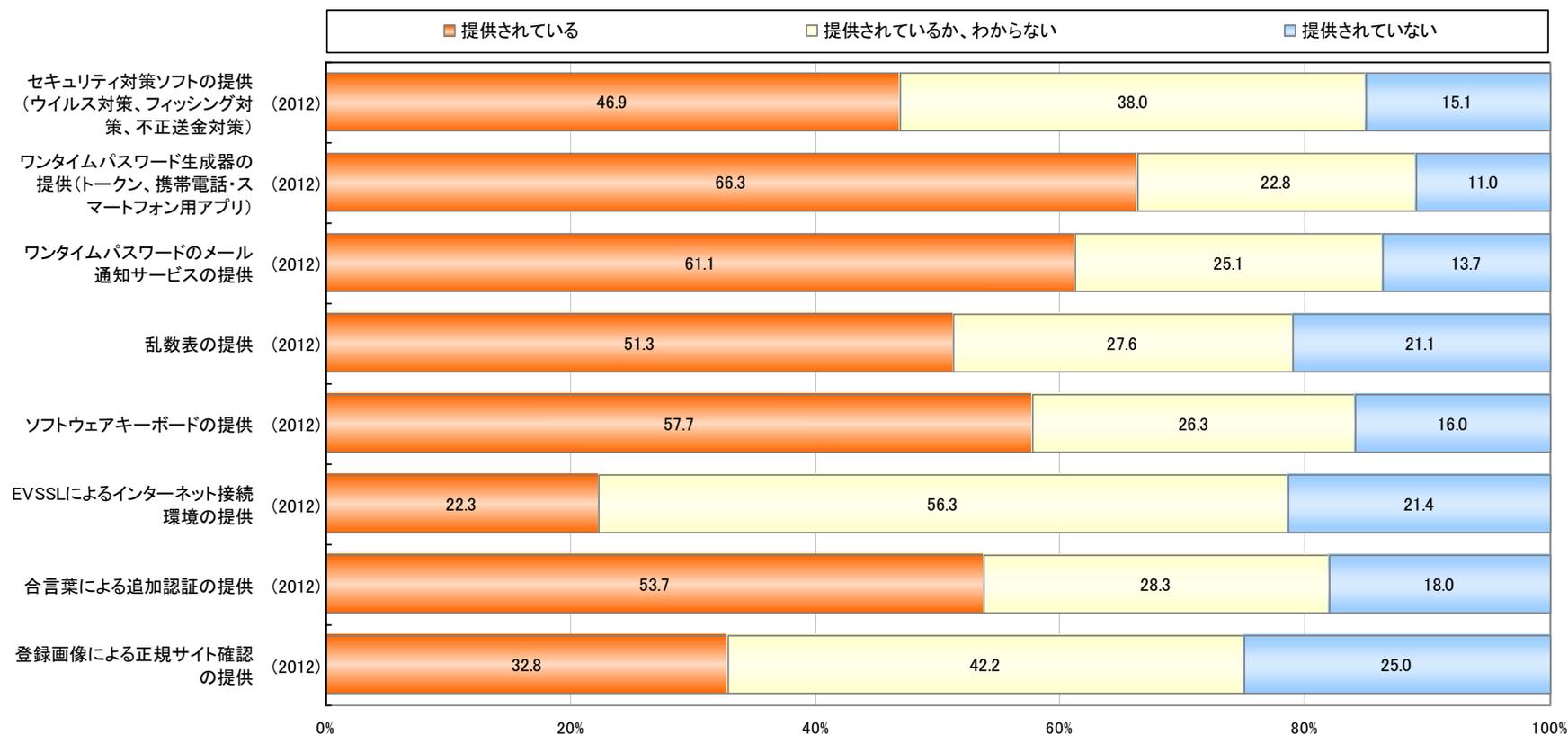


4-4-16.金融機関提供のセキュリティサービス内容①

- 金融機関提供のセキュリティサービス内容について、「提供されている」割合が最も高いのは「ワンタイムパスワード生成器の提供」(66.3%)である。次いで「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」(61.1%)、「ソフトウェアキーボードの提供」(57.7%)、「合言葉による追加認証の提供」(53.7%)と続く。

【Q29】あなたが「インターネットバンキング」を利用するうえで金融機関が提供しているセキュリティサービスを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネットバンキング利用者(Q5)



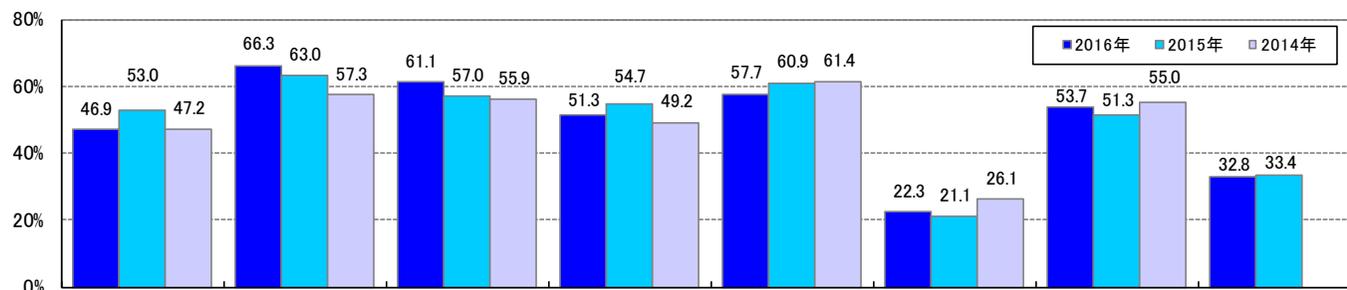
4-4-16.金融機関提供のセキュリティサービス内容②

- 金融機関提供のセキュリティサービス内容について最も高いのは、「ワンタイムパスワード生成器の提供（トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ）」（66.3%）である。次いで「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」（61.1%）、「ソフトウェアキーボードの提供」（57.7%）、「合言葉による追加認証の提供」（53.7%）と続く。
- 年代別で見ると70代以上は「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」の割合が全体よりも10.8ポイント高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「ソフトウェアキーボードの提供」が21.3ポイント、「EVSSLによるインターネット接続環境の提供」が17.6ポイントと全体よりも高い。
- 前年（2015年）と比較すると、「ワンタイムパスワード生成器の提供（トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ）」が3.3ポイント、「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」が4.1ポイントとやや増加している。反対に「セキュリティ対策ソフトの提供（ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策）」が6.1ポイント減少している。「乱数表の提供」が3.4ポイント、「ソフトウェアキーボードの提供」が3.2ポイントとやや減少している。

【Q29】 あなたが「インターネットバンキング」を利用するうえで金融機関が提供しているセキュリティサービスを選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

n=インターネットバンキング利用者(Q5)

※値は「提供されている」



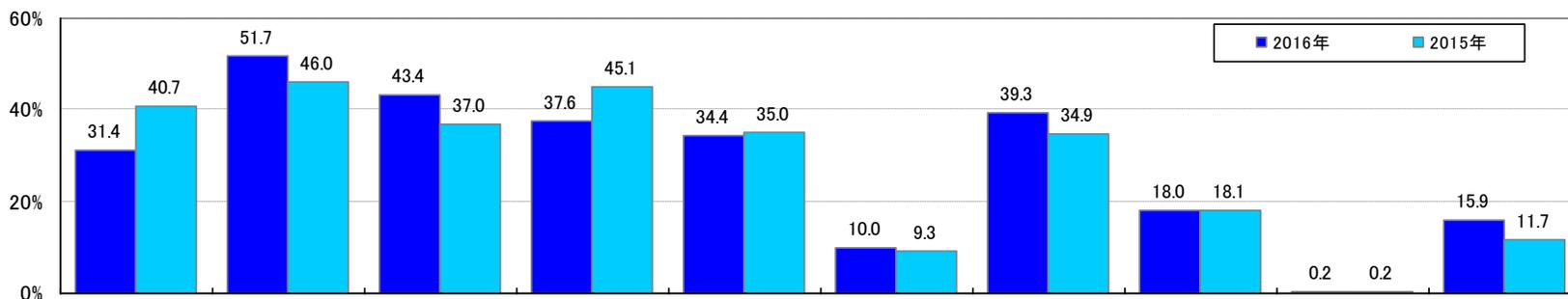
		全体+10%以上		全体+5%以上		全体-5%以下		全体-10%以下 (属性n=30以上)		
		2012	2015	2016	2015	2016	2015	2016		
	全体	2012	46.9	66.3	61.1	51.3	57.7	22.3	53.7	32.8
性別	男性	1240	46.6	67.7	60.3	51.3	59.8	23.8	54.0	32.6
	女性	772	47.3	64.0	62.4	51.3	54.4	19.8	53.1	33.2
	年代別	10代	49	42.9	51.0	63.3	44.9	46.9	22.4	40.8
	20代	201	36.8	52.2	45.8	39.3	44.3	23.9	45.3	29.4
	30代	364	39.8	58.5	53.6	46.2	51.6	17.9	48.1	28.0
	40代	503	49.9	69.2	60.0	54.3	62.8	26.8	52.5	33.4
	50代	374	52.7	71.7	66.3	57.0	61.0	24.9	55.9	35.0
	60代	368	48.9	72.3	68.5	54.3	61.7	19.3	62.0	33.4
	70代以上	153	49.0	70.6	71.9	50.3	58.8	16.3	60.8	39.9
パソコン習熟度	レベル4	271	57.6	76.8	69.4	61.3	79.0	39.9	61.6	47.2
	レベル3	960	50.5	70.1	64.6	53.3	60.5	24.6	56.4	35.0
	レベル2	620	41.1	60.3	56.5	47.3	49.7	14.7	47.9	27.7
	レベル1	161	29.2	48.4	44.7	37.9	36.0	8.1	46.6	14.9
時系列	2015年	1628	53.0	63.0	57.0	54.7	60.9	21.1	51.3	33.4
	2014年	1599	47.2	57.3	55.9	49.2	61.4	26.1	55.0	

4-4-17.利用している金融機関提供のセキュリティサービス内容

- 利用している金融機関提供のセキュリティサービス内容について最も高いのは、「ワンタイムパスワード生成器（トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ）」(51.7%)である。次いで「ワンタイムパスワードのメール通知サービス」(43.4%)、「合言葉による追加認証」(39.3%)、「乱数表」(37.6%)と続く。
- 年代別で見ると、20代は「セキュリティサービスは利用していない」が11.0ポイント、70代以上は「合言葉による追加認証」が11.7ポイントと全体よりも高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「ワンタイムパスワード生成器（トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ）」が10.3ポイント、レベル1は「セキュリティサービスは利用していない」が12.1ポイントと全体よりも高い。
- 前年（2015年）と比較すると、「ワンタイムパスワード生成器（トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ）」が5.7ポイント、「ワンタイムパスワードのメール通知サービス」が6.4ポイント増加している。「合言葉による追加認証」が4.4ポイント、「セキュリティサービスは利用していない」が4.2ポイントとやや増加している。反対に「セキュリティ対策ソフト（ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策）」が9.3ポイント、「乱数表」が7.5ポイント減少している。

【Q30】 主に利用している金融機関の「インターネットバンキング」のセキュリティサービスのうち、あなたが利用しているものをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）

n=インターネットバンキング利用者(Q5)



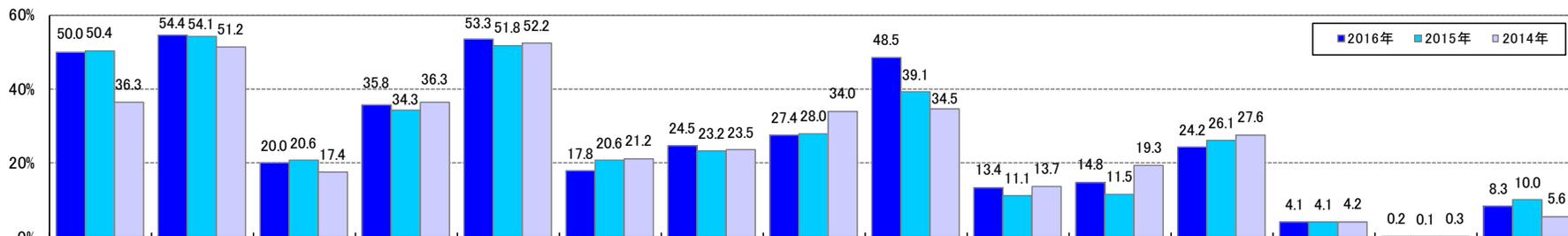
		セキュリティサービス利用状況 (2015年 vs 2016年)										
		全体	セキュリティ対策ソフト	ワンタイムパスワード生成器	ワンタイムパスワードのメール通知サービス	乱数表	ソフトウェアキーボード	EV SSLによるインターネット接続環境	合言葉による追加認証	登録画像による正規サイト確認	その他	セキュリティサービスは利用していない
	全体	2012	31.4	51.7	43.4	37.6	34.4	10.0	39.3	18.0	0.2	15.9
性別	男性	1240	31.2	52.8	41.7	37.0	34.3	10.6	38.5	16.5	0.3	15.0
	女性	772	31.6	49.9	46.1	38.6	34.7	9.1	40.5	20.5	0.1	17.2
年代別	10代	49	34.7	36.7	40.8	22.4	22.4	4.1	20.4	8.2	-	22.4
	20代	201	22.9	39.3	32.3	28.4	22.9	10.0	32.3	17.4	-	26.9
	30代	364	26.9	47.5	39.6	32.4	26.1	7.4	33.0	15.7	-	23.1
	40代	503	34.0	53.1	41.6	39.0	39.2	12.5	38.2	19.5	0.2	16.3
	50代	374	34.0	54.5	47.9	41.4	38.5	11.0	41.7	18.4	0.5	11.2
	60代	368	32.9	56.8	49.2	44.8	36.4	9.2	45.9	17.9	0.5	9.5
	70代以上	153	33.3	58.8	49.0	35.9	43.1	9.2	51.0	22.2	-	7.2
パソコン習熟度	レベル4	271	36.2	62.0	47.2	41.0	42.4	17.3	42.4	25.5	-	10.3
	レベル3	960	35.1	55.5	45.6	39.8	37.4	12.3	42.1	19.9	0.2	12.9
	レベル2	620	27.6	45.3	42.4	36.0	30.5	5.3	36.1	15.2	0.2	19.7
	レベル1	161	15.5	36.0	27.3	25.5	18.6	1.9	29.2	5.6	1.2	28.0
時系列別	2015年	1628	40.7	46.0	37.0	45.1	35.0	9.3	34.9	18.1	0.2	11.7

4-4-18.金融機関のインターネットバンキングの利用について

- 金融機関のインターネットバンキングの利用について最も高いのは、「ウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしている」(54.4%)である。次いで「預金残高を定期的に確認する」(53.3%)、「利用するブラウザを常に最新の状態にしている」(50.0%)、「ワンタイムパスワードを利用している」(48.5%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「預金残高を定期的に確認する」の割合が全体よりも19.2ポイント高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「利用するブラウザを常に最新の状態にしている」が22.3ポイント、「URLやメールアドレスを確認する」が17.6ポイントと全体よりも高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「ワンタイムパスワードを利用している」が9.4ポイント増加している。「メールでのワンタイムパスワード通知サービスは、携帯電話のメールアドレスを登録している」が3.3ポイントとやや増加している。

【Q31】 主に利用している金融機関の「インターネットバンキング」を利用するうえで、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=インターネットバンキング利用者(Q5)



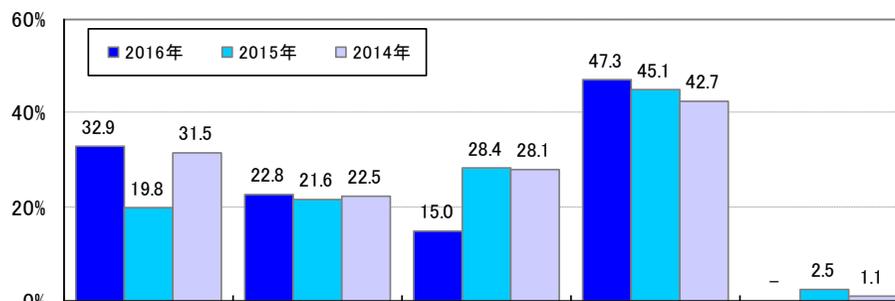
	全体	セキュリティ対策																	
		新利用する状態にブラウザを常に最新の状態にしている	ウイルス対策ソフトは常に最新の状態でいる	金融機関が提供しているセキュリティ対策を利用している	金融機関からのパスワードに一致しない	預金残高を定期的に確認する	入力しない言葉、すべり力を入れない	乱数表、合言葉などを入力する	URLやメールアドレスを確認する	他のサービスアカウントとは異なるパスワードを利用している	ワンタイムパスワードを利用している	他のサービスアカウントとは異なるパスワードを利用している	携帯電話の通話録音サービスを利用している	メールでのワンタイムパスワード通知サービスは、携帯電話のメールアドレスを登録している	利用するサイトのセキュリティ対策は家族が設定している	その他	行っていない	セキュリティ対策は何も	
全体	2012	50.0	54.4	20.0	35.8	53.3	17.8	24.5	27.4	48.5	13.4	14.8	24.2	4.1	0.2	8.3			
性別	男性	1240	55.2	60.1	19.3	36.1	52.3	19.2	25.9	26.4	47.3	13.9	13.8	25.9	1.7	0.2	7.5		
	女性	772	41.8	45.3	21.1	35.4	54.9	15.7	22.3	29.0	50.4	12.6	16.5	21.4	8.0	0.3	9.6		
年代別	10代	49	44.9	42.9	16.3	28.6	32.7	8.2	12.2	16.3	26.5	8.2	4.1	6.1	4.1	-	10.2		
	20代	201	54.2	50.7	13.4	28.4	41.8	17.4	23.9	23.4	35.8	14.9	10.4	18.9	3.0	0.5	14.9		
	30代	364	50.5	50.3	13.2	28.3	47.8	15.1	22.5	23.9	41.2	14.0	12.6	20.1	3.3	-	13.2		
	40代	503	55.3	57.9	21.1	36.6	53.7	18.1	28.6	29.0	53.7	17.3	16.1	27.2	4.6	0.2	7.6		
	50代	374	45.5	55.6	18.4	42.5	51.6	20.6	21.7	25.9	51.3	10.4	16.6	27.0	3.5	-	6.4		
	60代	368	46.5	54.9	25.3	35.6	61.1	16.6	21.2	29.6	58.4	9.2	17.4	23.6	4.3	0.5	3.8		
	70代以上	153	47.7	57.5	33.3	47.7	72.5	23.5	35.3	37.3	62.7	15.7	14.4	30.7	7.2	0.7	5.2		
パソコン習熟度	レベル4	271	72.3	69.4	22.5	46.1	60.5	26.9	42.1	39.5	54.2	25.5	19.6	33.9	4.1	0.7	4.4		
	レベル3	960	59.4	64.6	22.3	39.6	54.3	19.8	26.9	30.9	50.3	16.0	17.7	29.0	2.0	0.1	5.9		
	レベル2	620	34.4	39.4	16.3	28.9	52.3	13.5	17.7	21.5	46.3	6.5	9.7	16.1	6.6	0.3	10.3		
	レベル1	161	17.4	26.7	16.1	23.0	39.8	7.5	6.8	8.7	36.0	3.7	9.3	9.9	7.5	-	21.1		
時系列	2015年	1628	50.4	54.1	20.6	34.3	51.8	20.6	23.2	28.0	39.1	11.1	11.5	26.1	4.1	0.1	10.0		
	2014年	1599	36.3	51.2	17.4	36.3	52.2	21.2	23.5	34.0	34.5	13.7	19.3	27.6	4.2	0.3	5.6		

4-4-19.インターネットバンキング利用時にセキュリティ対策をしていない理由

- インターネットバンキング利用時にセキュリティ対策をしていない理由について最も高いのは、「セキュリティ対策の方法がわからないから」(47.3%)である。次いで「預金残高が少ないから」(32.9%)、「対策しなくても、これまで被害に遭ったことがないから」(22.8%)、「セキュリティ対策が面倒だから」(15.0%)と続く。
- 前年(2015年)と比較すると、「預金残高が少ないから」の割合が13.1ポイントと大きく増加している。反対に「セキュリティ対策が面倒だから」の割合が13.4ポイントと大きく減少している。

【Q32】「インターネットバンキング」を利用するうえでセキュリティ対策を行っていない理由としてあてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n = 「インターネットバンキング」を利用するうえで、セキュリティ対策は何も行っていない方(Q31)

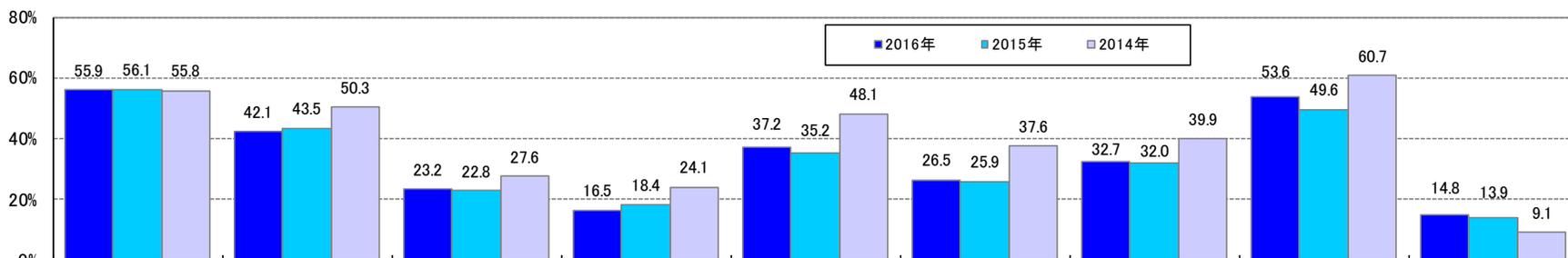


		理由					その他
		全体	預金残高が少ないから	対策しなくても、これまで被害に遭ったことがないから	セキュリティ対策が面倒だから	セキュリティ対策の方法がわからないから	
全体	全体	167	32.9	22.8	15.0	47.3	-
	男性	93	33.3	23.7	17.2	47.3	-
	女性	74	32.4	21.6	12.2	47.3	-
年代別	10代	5	60.0	-	-	40.0	-
	20代	30	30.0	30.0	20.0	43.3	-
	30代	48	33.3	29.2	8.3	43.8	-
	40代	38	18.4	18.4	21.1	50.0	-
	50代	24	37.5	16.7	12.5	62.5	-
	60代	14	35.7	14.3	21.4	57.1	-
	70代以上	8	75.0	25.0	12.5	12.5	-
パソコン習熟度	レベル4	12	25.0	33.3	8.3	41.7	-
	レベル3	57	38.6	26.3	24.6	40.4	-
	レベル2	64	26.6	23.4	14.1	51.6	-
	レベル1	34	38.2	11.8	2.9	52.9	-
時系別	2015年	162	19.8	21.6	28.4	45.1	2.5
	2014年	89	31.5	22.5	28.1	42.7	1.1

4-4-20.情報セキュリティに関する日常の行動

- 情報セキュリティに関する日常の行動について最も高いのは、「パソコンには、ログインパスワードを設定している」(55.9%)である。次いで「知らない人からの電子メールの添付ファイルは、開かずに削除する」(53.6%)、「ウイルス対策ソフトのパターンファイルは常に最新の状態にしている」(42.1%)、「ウェブ閲覧中に、意図しないアプリケーションのインストールファイルがダウンロードされる場合は、キャンセルする」(37.2%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「個人のホームページや怪しいサイトにあるソフトウェアは、ウイルスに感染する可能性が高いので使わない」が21.9ポイント、「知らない人からの電子メールの添付ファイルは、開かずに削除する」が17.6ポイントと全体よりも高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「ウイルス対策ソフトのパターンファイルは常に最新の状態にしている」が23.8ポイント、「氏名や住所、クレジットカード番号などを入力する時は、アドレスバーのURLを必ずチェックし、安全な設定になっているかを確認する。」が21.6ポイント、「ウェブ閲覧中に、意図しないアプリケーションのインストールファイルがダウンロードされる場合は、キャンセルする」が16.8ポイント、「OSのアップデートと共に、インストールしているソフトウェアも最新のバージョンに更新している」が23.2ポイントと全体よりも高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「知らない人からの電子メールの添付ファイルは、開かずに削除する」の割合が4.0ポイントとやや増加している。

【Q28】あなたは以下の行動をとっていますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

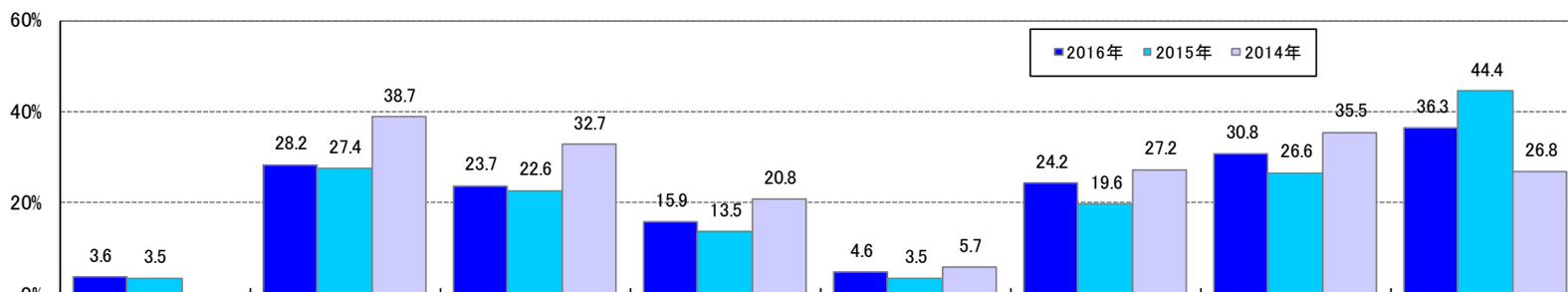


	属性	人数	行動										
			全体+10%以上	全体+5%以上	全体-5%以下	全体-10%以下 (属性n=30以上)	全体	パソコンには、ログインパスワードを設定している	ウイルス対策ソフトのパターンファイルは常に最新の状態にしている	氏名や住所、クレジットカード番号などを入力する時は、アドレスバーのURLを必ずチェックし、安全な設定になっているかを確認する。	ブラウザのセキュリティ設定は常に高くし、表示されない場合だけ指示に従って設定している	ウェブ閲覧中に、意図しないアプリケーションのインストールファイルがダウンロードされる場合は、キャンセルする	OSのアップデートと共に、インストールしているソフトウェアも最新のバージョンに更新している
全体	全体	5000	55.9	42.1	23.2	16.5	37.2	26.5	32.7	53.6	14.8		
性別	男性	2740	57.2	49.2	25.6	18.2	40.8	32.0	34.6	52.5	14.6		
	女性	2260	54.4	33.6	20.4	14.3	32.9	19.7	30.4	54.9	15.0		
年代別	10代	385	53.2	32.7	16.1	13.0	23.1	19.2	18.2	33.0	18.2		
	20代	759	49.0	32.9	20.9	12.8	31.6	20.3	23.7	38.3	23.3		
	30代	901	48.8	37.5	20.1	16.6	34.2	25.0	26.1	48.5	20.5		
	40代	1063	57.4	47.2	27.1	20.2	40.0	27.9	32.9	55.9	12.9		
	50代	799	60.8	47.8	25.0	16.8	40.4	28.7	35.2	61.2	10.5		
	60代	721	60.7	47.3	20.4	14.6	41.6	30.0	43.6	66.0	7.6		
	70代以上	372	65.6	45.2	33.3	19.4	47.3	34.7	54.6	71.2	8.1		
パソコン習熟度	レベル4	493	60.4	65.9	44.8	29.6	54.0	49.7	40.8	58.2	9.7		
	レベル3	1902	60.3	54.6	29.8	23.1	49.5	36.7	39.6	58.0	10.5		
	レベル2	1802	56.3	33.6	17.1	10.7	30.1	18.0	31.1	54.2	14.2		
	レベル1	803	41.8	17.3	8.1	5.5	13.8	7.0	14.7	38.9	29.3		
時系別	2015年	5000	56.1	43.5	22.8	18.4	35.2	25.9	32.0	49.6	13.9		
	2014年	5000	55.8	50.3	27.6	24.1	48.1	37.6	39.9	60.7	9.1		

4-4-21.行動ターゲティング広告に対する認識・行動

- 行動ターゲティング広告に対する認識・行動について最も高いのは、「このような広告を見たことがない/上記にあてはまるものはない」(36.3%)である。次いで「このような広告を表示しないでほしいと思う」(30.8%)、「これまで購入したり検索したりした商品等に関連した商品が広告に表示されたことがある」(28.2%)、「このような広告をクリックしないようにしている」(24.2%)と続く。
- パソコン習熟度でみると、レベル1は「このような広告を見たことがない/上記にあてはまるものはない」の割合が全体よりも17.0ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「このような広告をクリックしないようにしている」が4.6ポイント、「このような広告を表示しないでほしいと思う」が4.2ポイントとやや増加している。反対に「このような広告を見たことがない/上記にあてはまるものはない」が8.1ポイント減少している。

【Q33】 利用者がインターネットで検索した商品やサービス、利用している駅、位置情報、購買履歴等を利用して、利用者が興味がある商品やサービスについて個別に知らせる行動ターゲティング広告というサービスがあります。行動ターゲティング広告について、あなた自身にあてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



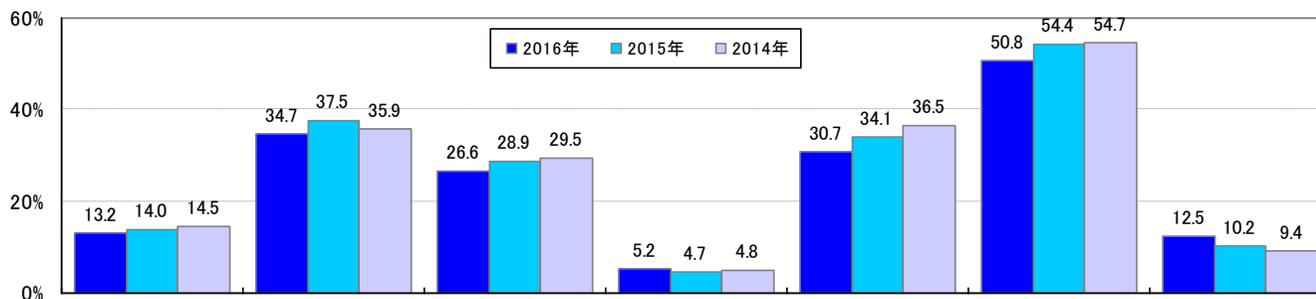
	属性	n	行動ターゲティング広告に対する認識・行動 (%)									
			改札を通過するときに、登録した情報に関する広告の配信サービスを受けたことがある	これまで購入したり検索したりした商品等に関連した商品が広告に表示されたことがある	表示しているブラウザの左右、または下に広告が表示されたことがある	広告に表示された商品のページに移動し、価格などを確認したことがある	広告に表示された商品のページに移動し、購入したことがある	このような広告をクリックしないようにしている	このような広告を表示しないでほしいと思う	このような広告を見たことがない/上記にあてはまるものはない		
全体	全体	5000	3.6	28.2	23.7	15.9	4.6	24.2	30.8	36.3		
性別	男性	2740	4.0	28.5	24.1	15.8	4.5	26.1	30.4	35.1		
	女性	2260	3.2	27.8	23.1	16.0	4.8	21.9	31.2	37.7		
年代別	10代	385	8.1	21.0	19.5	11.2	4.2	25.5	27.5	32.5		
	20代	759	4.6	25.2	20.2	11.9	3.6	22.4	29.1	40.4		
	30代	901	4.4	24.4	24.3	13.9	3.7	22.5	30.1	38.4		
	40代	1063	2.7	28.5	26.1	16.6	4.3	24.5	33.8	35.1		
	50代	799	3.0	34.4	26.0	18.3	4.6	25.5	33.0	30.8		
	60代	721	1.9	31.9	22.9	18.4	5.5	25.8	28.2	37.3		
	70代以上	372	2.2	29.6	23.4	21.5	8.6	23.9	30.6	40.1		
パソコン習熟度	レベル4	493	7.3	36.7	32.0	19.1	4.1	33.9	36.5	25.8		
	レベル3	1902	3.8	34.4	30.2	18.2	4.7	26.7	35.9	28.7		
	レベル2	1802	2.9	25.5	19.6	15.8	4.7	22.5	28.6	39.6		
	レベル1	803	2.6	14.4	12.1	8.5	4.5	16.2	20.0	53.3		
時系別	2015年	5000	3.5	27.4	22.6	13.5	3.5	19.6	26.6	44.4		
	2014年	5000	3.7	38.7	32.7	20.8	5.7	27.2	35.5	26.8		

※2016年度より「このような広告を見たことがない」を「このような広告を見たことがない/上記にあてはまるものはない」に変更。

4-4-22.行動ターゲティング広告に対する意識

- 行動ターゲティング広告に対する意識について最も高いのは、「知らない間に自分の情報が収集されているようで、気持ちが悪い」(50.8%)である。次いで「すでに商品を購入していても関連する商品の広告が表示されるので、うるさく感じる」(34.7%)、「収集されている情報が漏えいしないか不安である」(30.7%)、「収集されている情報が、正しく管理されているのか不安に思う」(26.6%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「収集されている情報が、正しく管理されているのか不安に思う」の割合が全体よりも12.9ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「知らない間に自分の情報が収集されているようで、気持ちが悪い」が3.6ポイント、「収集されている情報が漏えいしないか不安である」が3.4ポイントとやや減少している。

【Q34】 行動ターゲティング広告について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

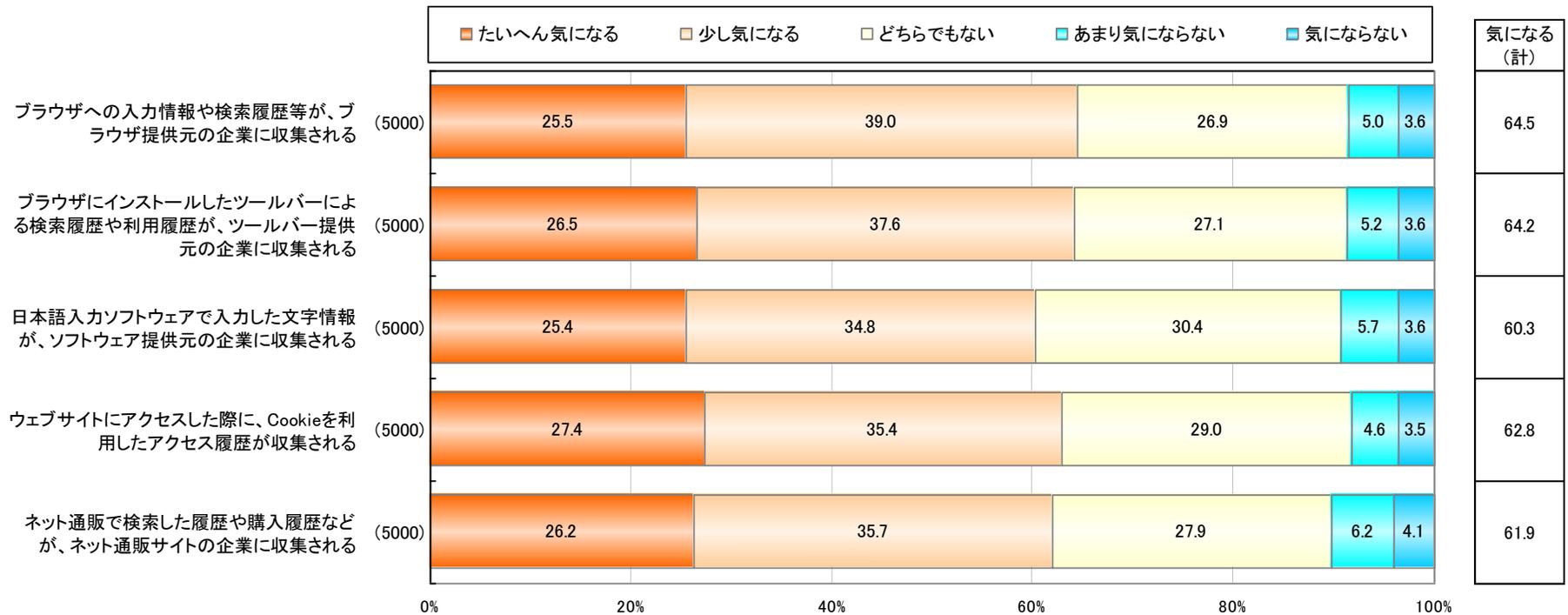


	属性	属性数	回答内容						なにも思わない
			興味がある情報や広告が提供されるので参考にして	すでに商品を購入していても関連する商品の広告が表示されるので、うるさく感じる	収集されている情報が、正しく管理されているのか不安に思う	商品の購入など積極的に活用している	収集されている情報が漏えいしないか不安である	知らない間に自分の情報が収集されているようで、気持ちが悪い	
	全体	3185	13.2	34.7	26.6	5.2	30.7	50.8	12.5
性別	男性	1777	13.6	34.4	27.7	5.8	29.2	46.9	14.8
	女性	1408	12.9	35.0	25.1	4.5	32.7	55.7	9.5
年代別	10代	260	14.6	24.2	24.2	7.3	28.5	38.5	16.9
	20代	452	14.8	28.8	25.0	6.4	31.9	45.4	13.9
	30代	555	13.5	29.4	24.7	6.3	30.3	50.1	12.3
	40代	690	11.6	35.8	25.4	4.1	28.6	52.8	12.2
	50代	553	13.0	39.2	25.9	3.3	30.2	54.6	10.7
	60代	452	12.2	43.4	28.1	5.1	32.5	54.9	11.7
	70代以上	223	15.7	39.9	39.5	6.7	36.8	53.8	11.7
パソコン習熟度	レベル4	366	15.6	36.9	29.8	7.9	32.5	49.2	12.0
	レベル3	1356	12.4	39.3	28.2	4.9	32.2	50.6	11.1
	レベル2	1088	12.4	32.8	26.7	4.5	30.3	53.9	12.7
	レベル1	375	16.5	21.3	16.8	6.1	24.8	44.0	17.3
時系列	2015年	2781	14.0	37.5	28.9	4.7	34.1	54.4	10.2
	2014年	3660	14.5	35.9	29.5	4.8	36.5	54.7	9.4

4-4-23.ブラウザへの入力情報等が収集される行為に対する意識①

■ ブラウザへの入力情報等が収集される行為に対する意識について、気になる（計）の割合が最も高いのは「ブラウザへの入力情報や検索履歴等が、ブラウザ提供元の企業に収集される」(64.5%)である。次いで「ブラウザにインストールしたツールバーによる検索履歴や利用履歴が、ツールバー提供元の企業に収集される」(64.2%)、「ウェブサイトへアクセスした際に、Cookieを利用したアクセス履歴が収集される」(62.8%)と続く。

【Q35】 ブラウザへの入力情報、検索履歴、文字入力情報等が収集される場合がありますが、その様な行為についてあなたはどの様に感じますか。それぞれ、1つずつお選びください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

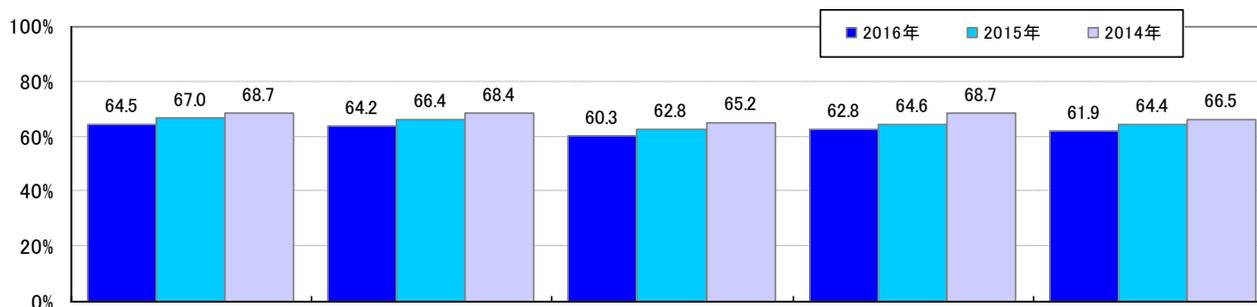


4-4-23.ブラウザへの入力情報等が収集される行為に対する意識②

- ブラウザへの入力情報等が収集される行為に対する意識について最も高いのは、「ブラウザへの入力情報や検索履歴等が、ブラウザ提供元の企業に収集される」(64.5%)である。次いで「ブラウザにインストールしたツールバーによる検索履歴や利用履歴が、ツールバー提供元の企業に収集される」(64.2%)、「ウェブサイトへアクセスした際に、Cookieを利用したアクセス履歴が収集される」(62.8%)、「ネット通販で検索した履歴や購入履歴などが、ネット通販サイトの企業に収集される」(61.9%)と続く。
- 年代別で見ると、60代は「ブラウザにインストールしたツールバーによる検索履歴や利用履歴が、ツールバー提供元の企業に収集される」が5.7ポイント、70代以上は「ブラウザにインストールしたツールバーによる検索履歴や利用履歴が、ツールバー提供元の企業に収集される」が5.2ポイント、「ネット通販で検索した履歴や購入履歴などが、ネット通販サイトの企業に収集される」が6.4ポイントと全体よりもやや高い。

【Q35】 ブラウザへの入力情報、検索履歴、文字入力情報等が収集される場合がありますが、その様な行為についてあなたはどの様に感じますか。それぞれ、1つずつお選びください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※値は「たいへん気になる」「少し気になる」の合計値

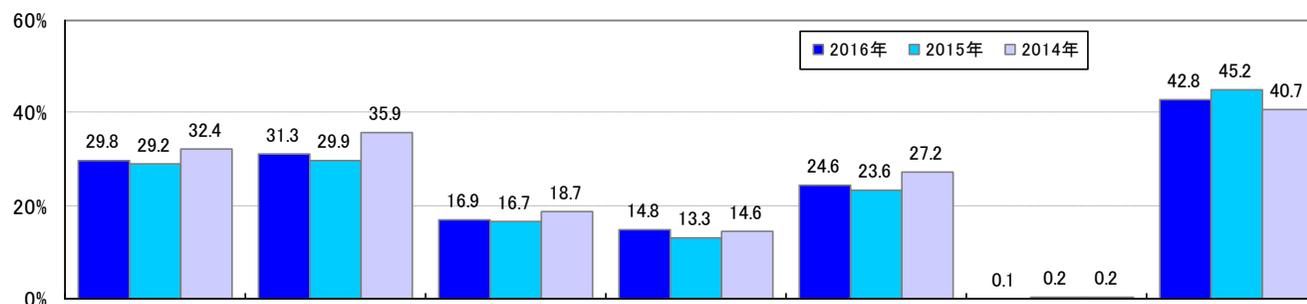


	属性	n	意識の割合 (%)				
			全体+10%以上	全体+5%以上	全体-5%以下	全体-10%以下 (属性n=30以上)	その他
全体	全体	5000	64.5	64.2	60.3	62.8	61.9
性別	男性	2740	61.2	60.4	57.0	59.9	58.5
	女性	2260	68.4	68.7	64.2	66.4	66.0
年代別	10代	385	62.9	60.8	57.1	60.0	60.8
	20代	759	55.9	54.8	54.2	55.3	53.0
	30代	901	62.4	61.2	58.6	60.4	59.3
	40代	1063	66.2	65.5	62.2	65.9	63.8
	50代	799	67.5	68.7	61.2	65.0	64.8
	60代	721	69.2	69.9	64.8	67.0	65.7
	70代以上	372	68.3	69.4	63.7	65.9	68.3
パソコン習熟度	レベル4	493	67.7	65.7	63.3	65.7	63.1
	レベル3	1902	67.9	67.4	62.6	67.0	64.5
	レベル2	1802	65.6	66.1	61.8	63.6	63.3
	レベル1	803	51.8	51.1	49.6	49.6	51.8
時系列	2015年	5000	67.0	66.4	62.8	64.6	64.4
	2014年	5000	68.7	68.4	65.2	68.7	66.5

4-4-24.過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報

- 過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報について最も高いのは、「特にない」(42.8%)である。次いで「被害を防ぐための予防策や被害が生じた場合の対応策などの具体的事例に関する情報」(31.3%)、「最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報」(29.8%)、「被害が起きたときの相談や届出に関する情報」(24.6%)と続く。
- 年代別で見ると、70代以上は「被害が起きたときの相談や届出に関する情報」の割合が全体よりも14.6ポイント高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル1は「特にない」の割合が全体よりも13.5ポイント高い。

【Q36】 過去1年間に、あなたが知りたいと思ったセキュリティ情報はどのようなことでしたか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

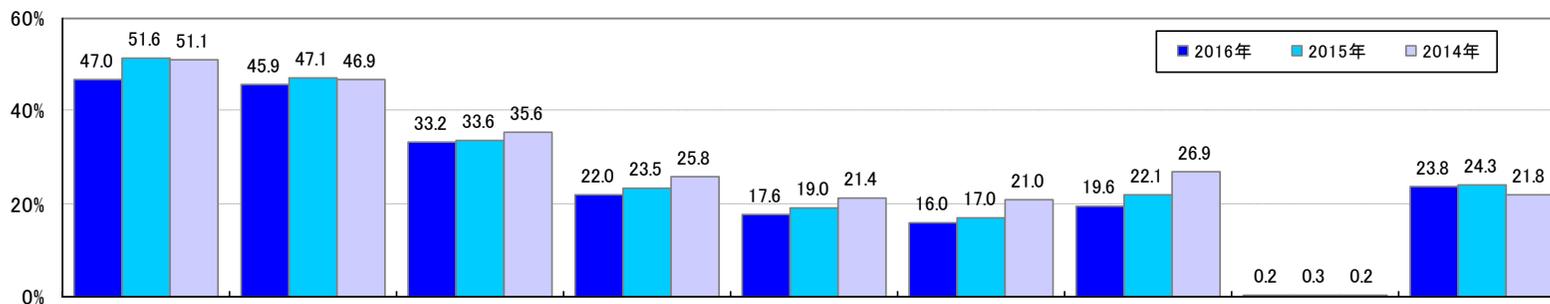


		セキュリティ情報							
		全体	最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報	被害を防ぐための予防策や被害が生じた場合の対応策などの具体的事例に関する情報	市販されているセキュリティサービス・製品に関する情報	ユーザの被害や対策実施等に関する体験談やレポートの情報	被害が起きたときの相談や届出に関する情報	その他	特にない
属性	全体	5000	29.8	31.3	16.9	14.8	24.6	0.1	42.8
	性別								
	男性	2740	30.9	30.7	17.0	13.9	22.1	0.0	44.3
女性	2260	28.4	32.0	16.8	15.8	27.6	0.2	41.1	
年代別	10代	385	28.3	20.8	10.9	11.7	16.9	-	46.5
	20代	759	26.2	23.6	15.2	12.4	14.0	-	52.2
	30代	901	28.0	28.6	17.0	13.9	20.3	-	45.7
	40代	1063	33.9	32.6	19.2	18.0	26.0	0.1	38.6
	50代	799	31.3	35.9	17.9	15.4	26.9	0.3	39.2
	60代	721	26.9	36.8	16.9	13.5	33.0	0.3	39.5
	70代以上	372	33.3	39.8	18.3	17.5	39.2	-	39.2
パソコン習熟度	レベル4	493	38.3	33.5	22.5	15.6	20.7	0.2	41.6
	レベル3	1902	33.2	34.9	18.9	16.7	25.7	0.1	37.5
	レベル2	1802	28.9	31.4	16.0	15.3	26.4	0.1	42.7
	レベル1	803	18.2	21.3	11.0	8.6	20.3	0.1	56.3
時系列別	2015年	5000	29.2	29.9	16.7	13.3	23.6	0.2	45.2
	2014年	5000	32.4	35.9	18.7	14.6	27.2	0.2	40.7

4-4-25.セキュリティ情報を収集する際の問題点

- セキュリティ情報を収集する際の問題点について最も高いのは、「知らない用語が多い」(47.0%)である。次いで「内容が難しい」(45.9%)、「情報が多すぎる」(33.2%)、「特に問題点は感じていない」(23.8%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「知らない用語が多い」が12.1ポイント、「自分に関係がある情報なのかわからない」が14.8ポイントと全体よりも高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル2は「知らない用語が多い」が12.3ポイント、「内容が難しい」が11.3ポイント、レベル4は「特に問題点は感じていない」が15.3ポイントと全体よりも高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「知らない用語が多い」の割合が4.6ポイントとやや減少している。

【Q37】 あなたは、セキュリティ情報を収集するにあたって、どのような問題点を感じていますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



	属性	n	問題点								
			知らない用語が多い	内容が難しい	情報が多すぎる	自分から情報収集や勉強をするのが面倒	情報の更新が早すぎて追いつけない	情報がどこにあるかわからない	自分に関係がある情報なのかわからない	その他	特に問題点は感じていない
全体	全体	5000	47.0	45.9	33.2	22.0	17.6	16.0	19.6	0.2	23.8
性別	男性	2740	39.2	39.6	32.3	20.1	16.2	14.2	17.9	0.3	28.2
	女性	2260	56.4	53.5	34.3	24.2	19.3	18.2	21.7	0.0	18.3
年代別	10代	385	42.3	40.8	31.4	18.2	12.7	11.7	17.7	0.3	23.1
	20代	759	39.5	40.3	30.4	18.8	15.0	12.4	13.2	-	30.7
	30代	901	44.2	42.0	33.3	21.4	16.8	14.2	12.8	0.3	27.2
	40代	1063	46.5	47.0	34.6	22.4	19.2	17.0	16.6	0.3	23.3
	50代	799	48.2	48.9	35.2	21.8	19.9	17.3	23.0	0.1	20.3
	60代	721	54.0	49.7	32.3	25.1	17.9	19.1	29.0	0.1	18.6
	70代以上	372	59.1	54.6	33.9	26.9	19.9	20.7	34.4	0.3	20.7
パソコン習熟度	レベル4	493	20.3	22.5	29.2	15.0	14.2	9.7	11.2	0.6	39.1
	レベル3	1902	39.9	40.1	35.7	21.7	19.6	14.6	18.0	0.3	24.0
	レベル2	1802	59.3	57.2	34.7	25.5	18.3	18.8	22.9	0.1	17.8
	レベル1	803	52.6	48.4	26.3	19.1	13.3	17.2	21.0	-	27.3
時系列	2015年	5000	51.6	47.1	33.6	23.5	19.0	17.0	22.1	0.3	24.3
	2014年	5000	51.1	46.9	35.6	25.8	21.4	21.0	26.9	0.2	21.8

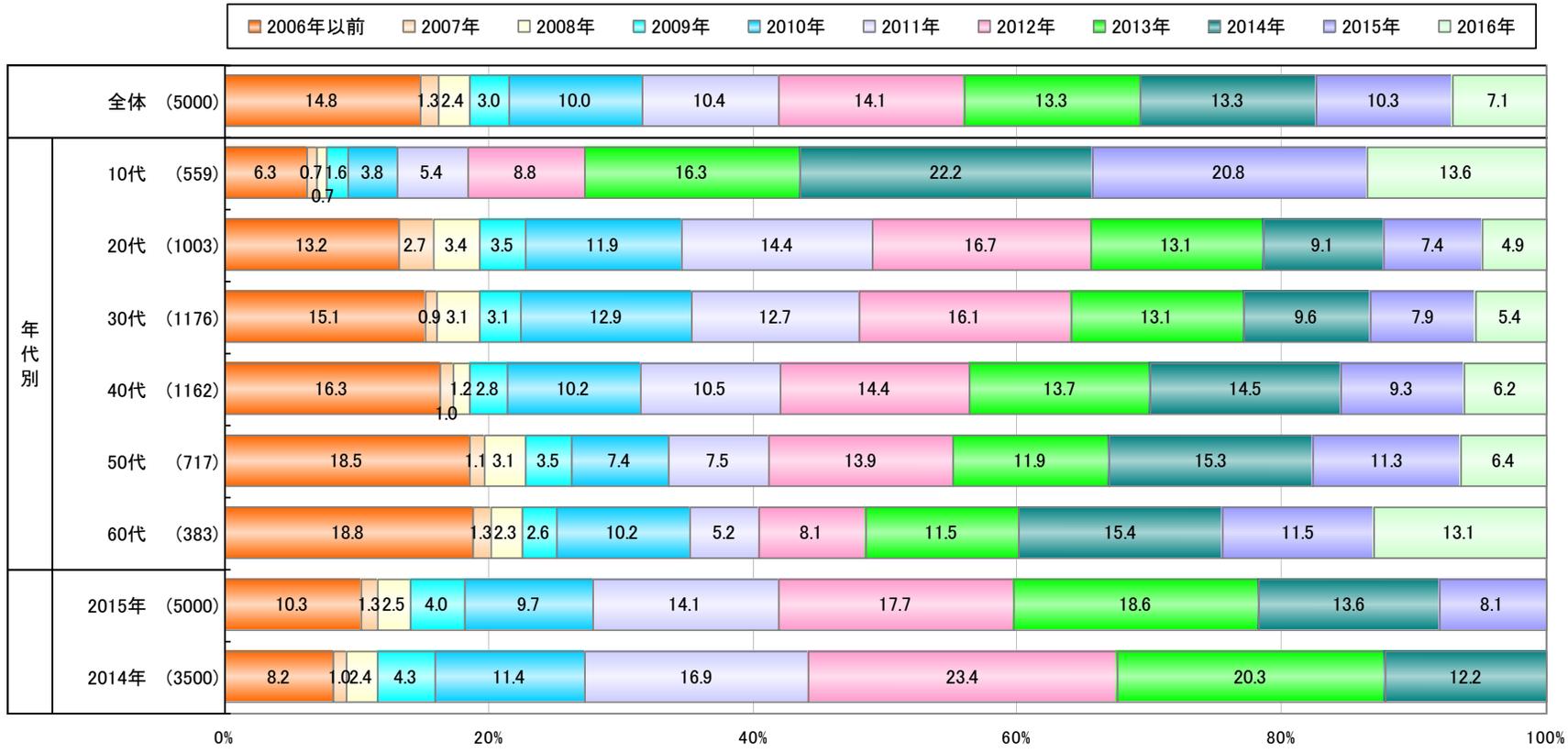
5

調査結果詳細【スマートデバイス調査】

5-1.スマートデバイスでのインターネット利用状況 5-1-1.スマートデバイスによるインターネット利用開始時期

- スマートデバイスによるインターネット利用開始時期について最も高いのは、「2006年以前」(14.8%)である。次いで「2012年」(14.1%)、「2013年」(13.3%)、「2014年」(13.3%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「2015年」の割合が全体よりも10.5ポイント高い。

【Q2】 あなたが、スマートデバイスでインターネットを利用し始めた時期はいつですか。覚えていない場合はだいたいの時期で構いませんので以下よりご回答ください。(お答えは1つ)



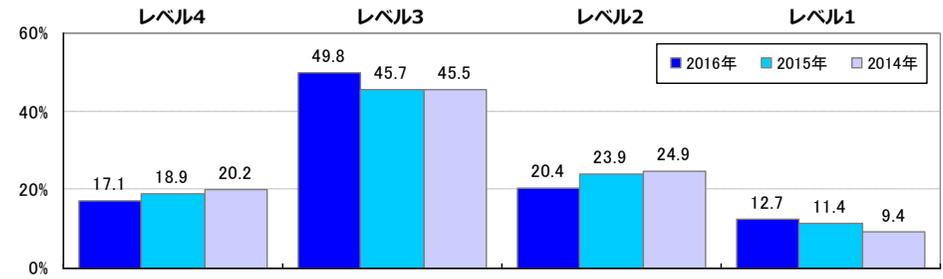
5-1-2.スマートデバイスの習熟度

- スマートデバイスの習熟度について最も高いのは、「必要なアプリをインストールしたり、設定を変更したりして使えるレベルである」(49.8%)である。次いで「メールを使ったり、ホームページを閲覧したりするのに支障がないレベルである」(20.4%)、「トラブルが起きても自分で解決できるレベルである」(17.1%)、「スマートデバイスの簡単な操作ならできるレベルである(設定等はお店にしてもらい、買った時のままにしている)」(12.7%)と続く。
- 職業別でみると、会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)は「トラブルが起きても自分で解決できるレベルである」の割合が全体よりも24.5ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「必要なアプリをインストールしたり、設定を変更したりして使えるレベルである」が4.1ポイントとやや増加している。反対に「メールを使ったり、ホームページを閲覧したりするのに支障がないレベルである」が3.5ポイントとやや減少している。

[Q3] あなたのスマートデバイスの習熟度について、最も近いものを1つ選択してください。(お答えは1つ)

※習熟度を以下のように定義し、分析に使用している。

- レベル4: 非常に習熟している(トラブルが起きても自分で解決できる)
- レベル3: 習熟している(必要なアプリをインストールしたり、設定を変更したりして使える)
- レベル2: 基本操作は習熟(メールを使ったり、ホームページを閲覧したりするのに支障がない)
- レベル1: 入門・初心者(スマートデバイスの簡単な操作ならできる(設定等はお店にしてもらい、買った時のままにしている))



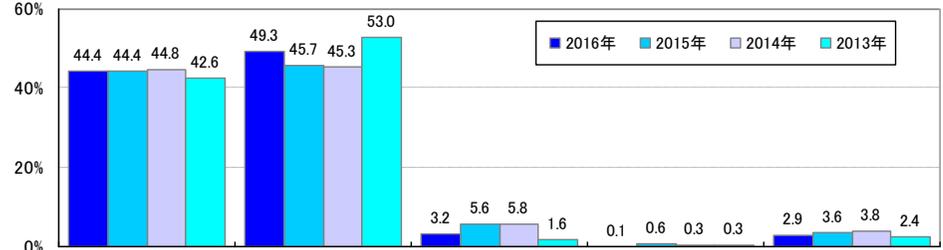
- 全体+10%以上
- 全体+5%以上
- 全体-5%以下
- 全体-10%以下 (属性n=30以上)

		全体	レベル4 トラブルが起きても自分で解決できるレベルである	レベル3 必要なアプリをインストールしたり、設定を変更したりして使えるレベルである	レベル2 メールを使ったり、ホームページを閲覧したりするのに支障がないレベルである	レベル1 スマートデバイスの簡単な操作ならできるレベルである(設定等はお店にしてもらい、買った時のままにしている)
性	全体	5000	17.1	49.8	20.4	12.7
別	男性	2426	24.1	49.5	16.3	10.2
	女性	2574	10.6	50.1	24.3	15.0
年	10代	559	13.8	54.0	22.4	9.8
	20代	1003	23.1	51.3	12.8	12.8
	30代	1176	15.0	53.1	18.5	13.4
	40代	1162	18.7	47.6	21.9	11.8
	50代	717	14.1	46.6	25.1	14.2
	60代	383	14.1	41.8	30.0	14.1
職	経営者・役員	79	25.3	48.1	16.5	10.1
	会社員・公務員・教員(管理職)	456	23.2	49.1	17.3	10.3
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)	178	41.6	37.1	10.7	10.7
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)	1254	17.9	52.3	17.9	11.9
	医者・弁護士等の専門職	88	18.2	44.3	23.9	13.6
	契約社員・派遣社員	262	18.7	49.2	20.6	11.5
	自営業・自由業	244	25.4	50.8	14.3	9.4
	専業主婦・主夫	759	8.0	46.6	27.8	17.5
	家事手伝い・無職(定年退職含む)	305	15.4	50.5	21.0	13.1
	パート・アルバイト	713	12.8	48.0	23.8	15.4
	中学生	149	12.1	42.3	32.2	13.4
	高校生	227	12.8	61.2	18.9	7.0
	専門学校生	22	13.6	59.1	4.5	22.7
	短大生・高専生	16	18.8	56.3	25.0	-
大学生	177	24.9	59.3	10.2	5.6	
大学院生	16	37.5	37.5	25.0	-	
その他	55	5.5	50.9	23.6	20.0	
時	2015年	5000	18.9	45.7	23.9	11.4
	2014年	3500	20.2	45.5	24.9	9.4

5-1-3.使用機器のOS

- 使用機器のOSについて最も高いのは、「Android (Galaxy、AQUOS PHONE、XPERIA、REGZA、等) 」(49.3%)である。次いで「iOS (iPhoneシリーズ、iPadシリーズ) 」(44.4%)、「Windows (Windows Phone、Windows Mobile、Windows RT、Windows 8 / 8.1、Windows 10) 」(3.2%)、「わからない」(2.9%)と続く。
- 年代別でみると、10代は「iOS (iPhoneシリーズ、iPadシリーズ) 」の割合が全体よりも13.2ポイント高い。
- 職業別でみると、高校生は「iOS (iPhoneシリーズ、iPadシリーズ) 」の割合が全体よりも18.2ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「Android (Galaxy、AQUOS PHONE、XPERIA、REGZA、等) 」の割合が3.6ポイントとやや増加している。

【Q1】あなたが主に利用しているスマートデバイスのOSをお答えください。スマートデバイスの端末を複数台所有している場合は、主に使っている端末のOSについてお答えください。(お答えは1つ) ※個人で所有するスマートデバイスの端末に限らず、ご家族が所有している機器なども含んでお答えください。



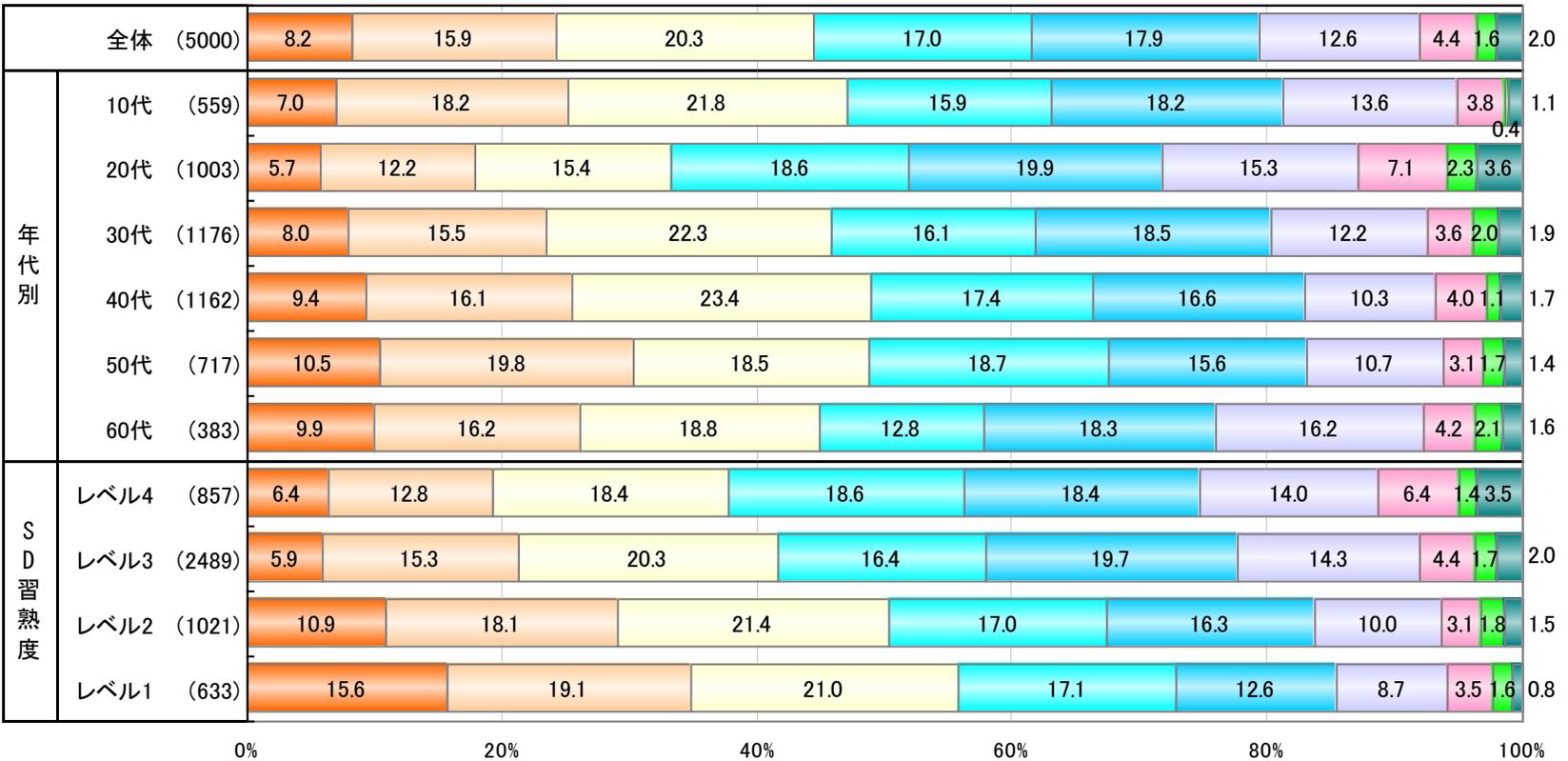
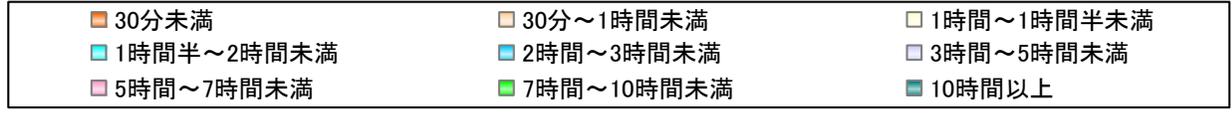
■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

	全体	iOS (iPhoneシリーズ、iPadシリーズ)	Android (Galaxy、AQUOS PHONE、XPERIA、REGZA、等)	Windows (Windows Phone、Windows Mobile、Windows RT、Windows 8 / 8.1、Windows 10)	その他	わからない	
全体	5000	44.4	49.3	3.2	0.1	2.9	
年代別	10代	559	57.6	35.4	3.0	-	3.9
	20代	1003	48.2	48.8	1.2	-	1.9
	30代	1176	40.2	55.9	1.5	0.1	2.3
	40代	1162	42.2	52.2	3.0	0.2	2.5
	50代	717	44.6	47.6	4.0	0.1	3.6
	60代	383	35.0	46.0	12.8	-	6.3
職業別	経営者・役員	79	54.4	34.2	8.9	-	2.5
	会社員・公務員・教員(管理職)	456	50.4	43.9	3.5	0.2	2.0
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)	178	39.9	55.6	3.4	-	1.1
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)	1254	44.3	51.4	2.2	0.1	2.0
	医者・弁護士等の専門職	88	44.3	52.3	1.1	1.1	1.1
	契約社員・派遣社員	262	37.0	56.9	1.9	0.4	3.8
	自営業・自由業	244	42.6	48.4	6.6	-	2.5
	専業主婦・主夫	759	43.5	49.3	3.7	-	3.6
	家事手伝い・無職(定年退職含む)	305	33.1	56.7	4.9	-	5.2
	パート・アルバイト	713	40.8	52.5	2.7	-	4.1
	中学生	149	48.3	42.3	3.4	-	6.0
	高校生	227	62.6	32.2	2.6	-	2.6
	専門学校生	22	63.6	31.8	-	-	4.5
	短大生・高専生	16	62.5	25.0	6.3	-	6.3
	大学生	177	54.2	41.8	2.8	-	1.1
大学院生	16	50.0	50.0	-	-	-	
その他	55	34.5	60.0	3.6	-	1.8	
時系列別	2015年	5000	44.4	45.7	5.6	0.6	3.6
	2014年	3500	44.8	45.3	5.8	0.3	3.8
	2013年	2066	42.6	53.0	1.6	0.3	2.4

5-1-4.スマートデバイスでのインターネット利用時間（平日） ①

■ スマートデバイスでのインターネット利用時間（平日）について最も高いのは、「1時間～1時間半未満」（20.3%）である。次いで「2時間～3時間未満」（17.9%）、「1時間半～2時間未満」（17.0%）、「30分～1時間未満」（15.9%）と続く。

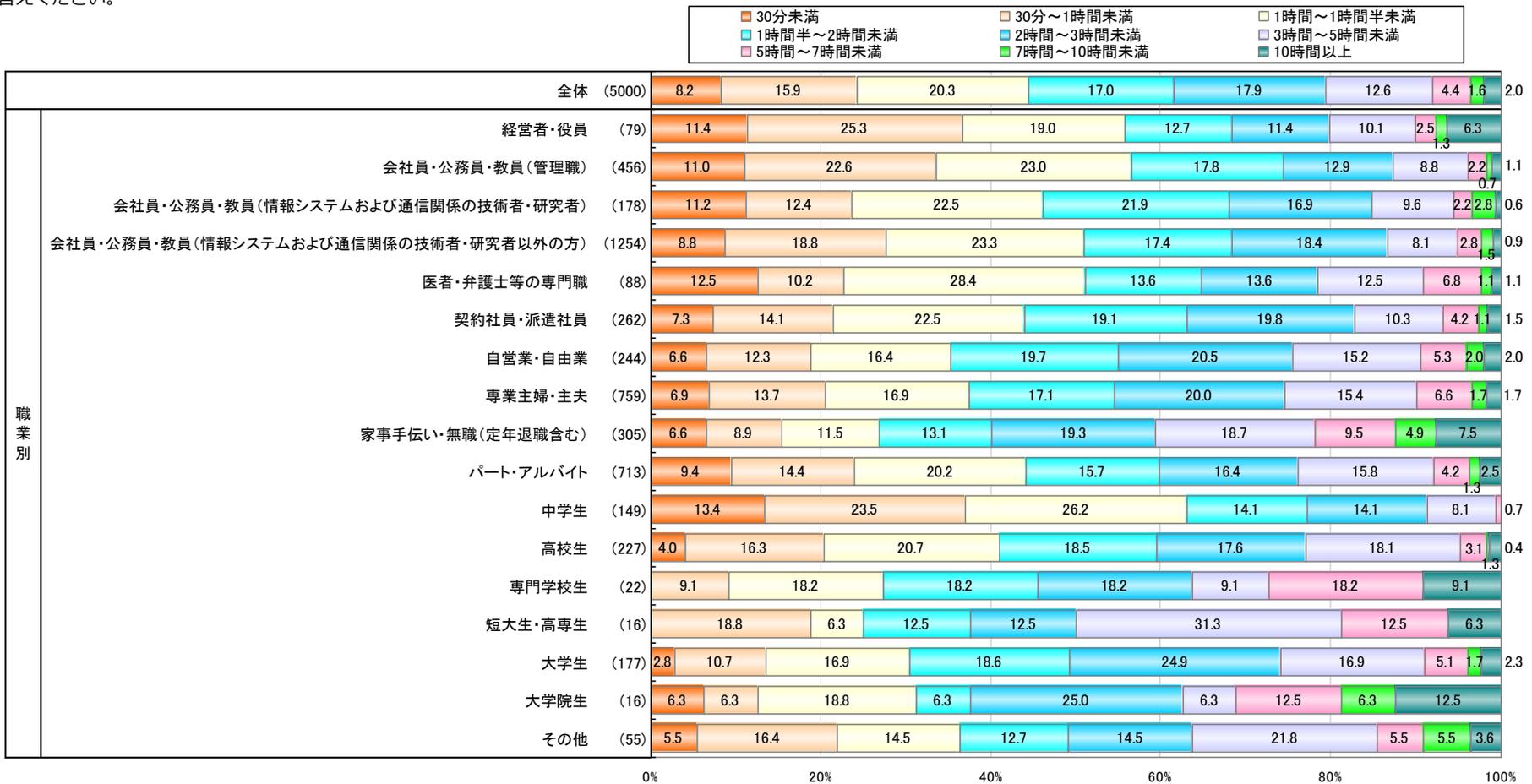
【SC5】 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日（またはお仕事や学校などのある日）／休日（またはお仕事や学校などのない日）の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。（お答えはそれぞれ1つずつ）※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。



5-1-4.スマートデバイスでのインターネット利用時間（平日）②

■ 職業別でみると、その他は「3時間～5時間未満」、経営者・役員は「30分～1時間未満」、大学生は「2時間～3時間未満」が最も高い。

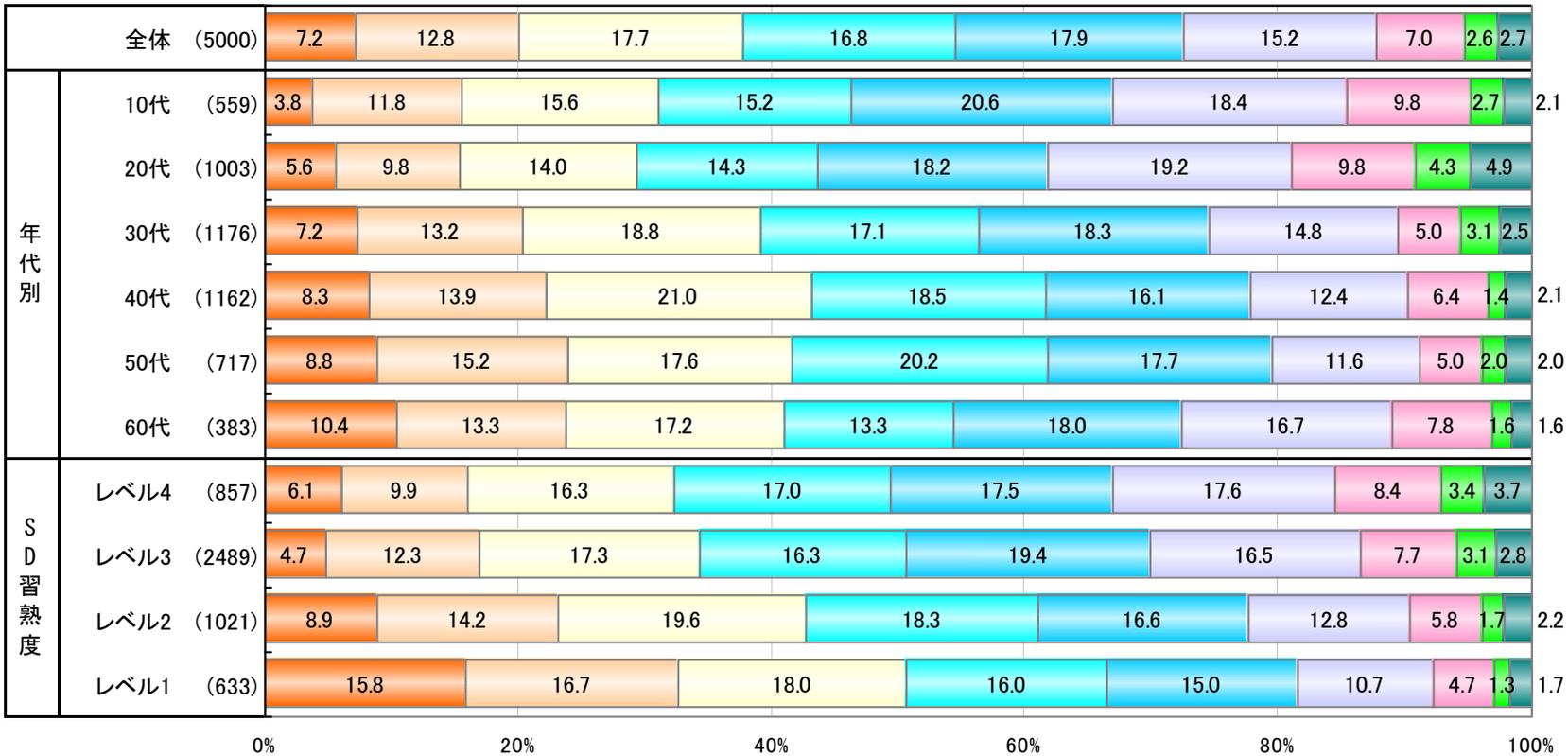
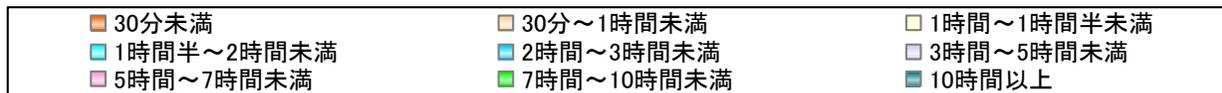
【SC5】 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日（またはお仕事や学校などのある日）／休日（またはお仕事や学校などのない日）の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。（お答えはそれぞれ1つずつ）※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。



5-1-5.スマートデバイスでのインターネット利用時間（休日） ①

■ スマートデバイスでのインターネット利用時間（休日）について最も高いのは、「2時間～3時間未満」（17.9%）である。次いで「1時間～1時間半未満」（17.7%）、「1時間半～2時間未満」（16.8%）、「3時間～5時間未満」（15.2%）と続く。

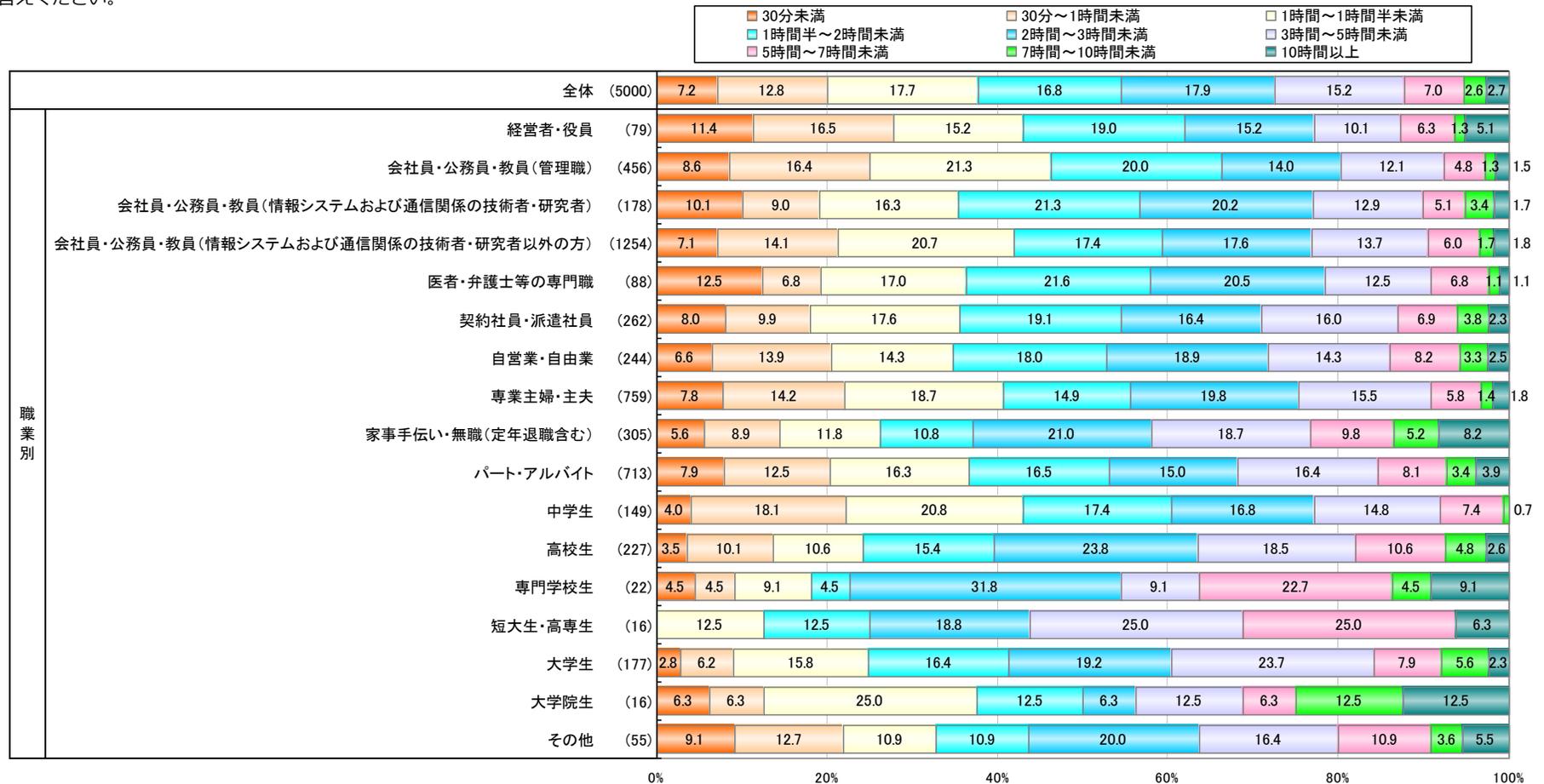
【SC5】 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日（またはお仕事や学校などのある日）／休日（またはお仕事や学校などのない日）の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。（お答えはそれぞれ1ずつ）※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。



5-1-5.スマートデバイスでのインターネット利用時間（休日）②

■ 職業別で見ると、医者・弁護士等の専門職は「30分未満」の割合が全体よりも5.3ポイントとやや高い。大学生は「3時間～5時間未満」の割合が全体よりも8.5ポイント高い。

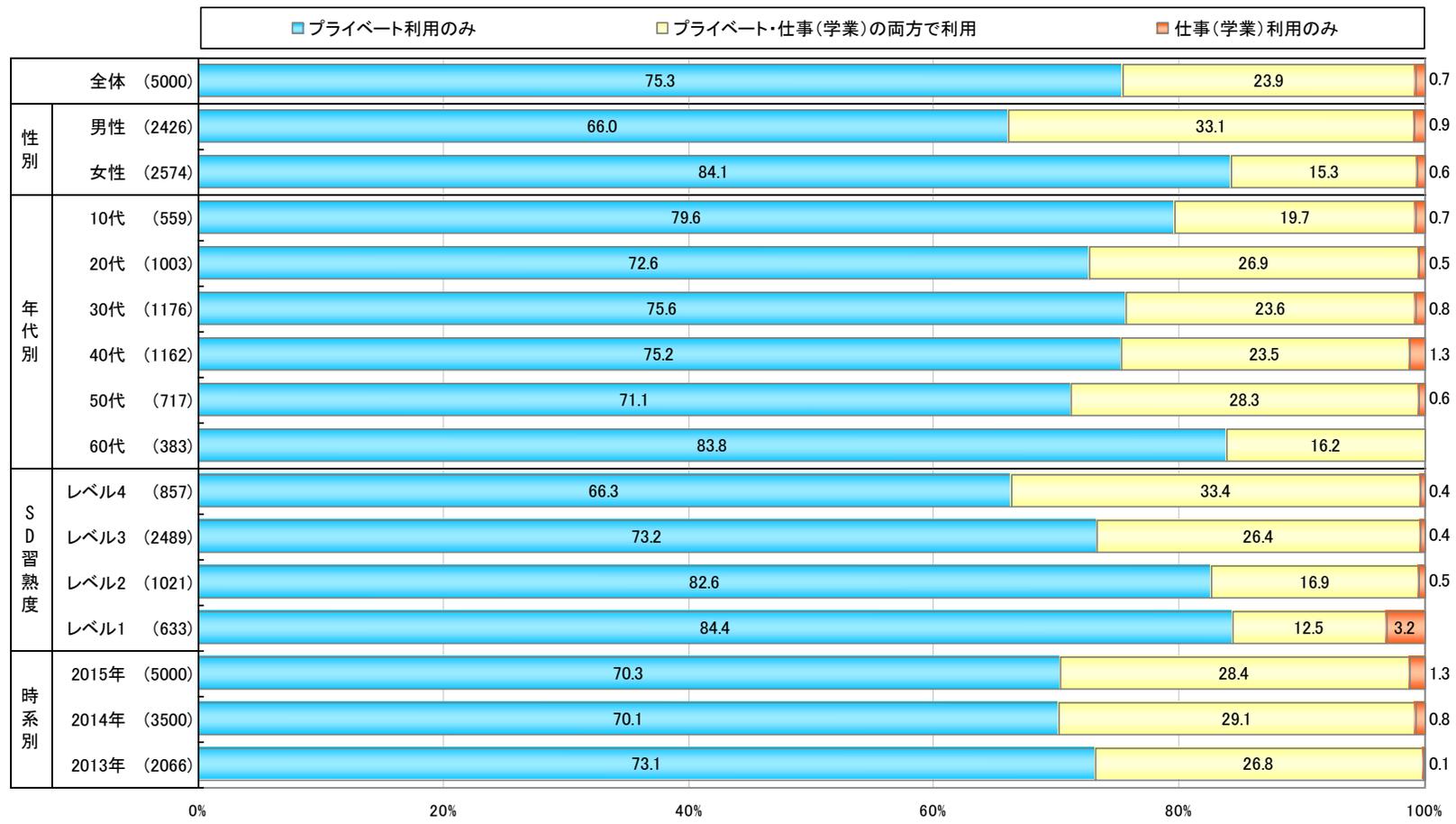
【SC5】 あなたは日頃プライベートで、以下の機器から、どのくらいの時間インターネットを利用していますか。平日（またはお仕事や学校などのある日）／休日（またはお仕事や学校などのない日）の別に、1日あたりのおよその平均時間をお答えください。（お答えはそれぞれ1つずつ）※SNS閲覧・投稿やニュースサイト閲覧、写真投稿など、アプリの利用も含めてお答えください。仕事や授業、講義での利用は除いてお答えください。



5-1-6.スマートデバイスのプライベート/ビジネス使用

- スマートデバイスのプライベート/ビジネス使用について最も高いのは、「プライベート利用のみ」(75.3%)である。次いで「プライベート・仕事(学業)の両方で利用」(23.9%)、「仕事(学業)利用のみ」(0.7%)と続く。
- 前年(2015年)と比較すると、「プライベート利用のみ」の割合が5.1ポイント増加している。反対に「プライベート・仕事(学業)の両方で利用」の割合が4.5ポイントとやや減少している。

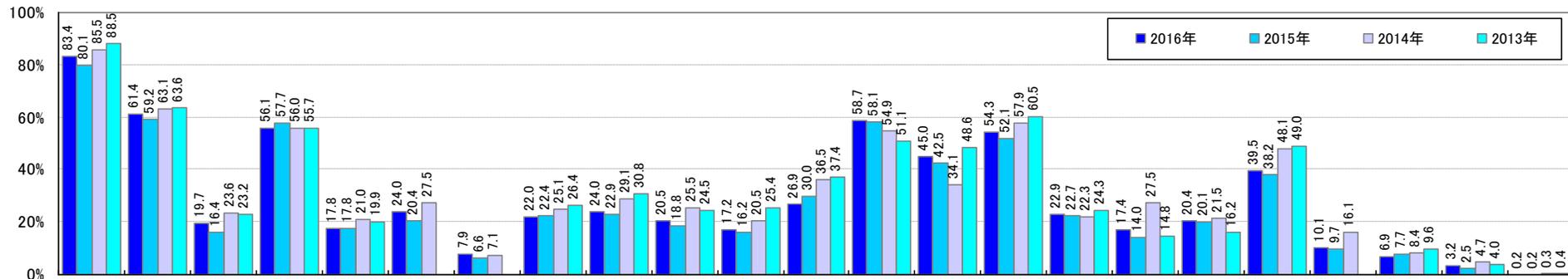
【Q4】 お持ちのスマートデバイスはプライベート(家事も含む)利用ですか、仕事・学業でも利用しますか。あてはまるものを1つ選択してください。(お答えは1つ)



5-1-7.インターネットの利用用途①

■ インターネットの利用用途について、前年（2015年）と比較すると、「検索サイト・ポータルサイト」が3.3ポイント、「企業・団体のサイト」が3.3ポイント、「インターネットバンキング」が3.6ポイント、「懸賞サイト」が3.4ポイントとやや増加している。反対に「Wikipedia等、百科事典サイト、オンライン辞書」が3.1ポイントとやや減少している。

[Q5] スマートデバイスでインターネットを利用する際、どのようなサイトやサービスなどを利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）

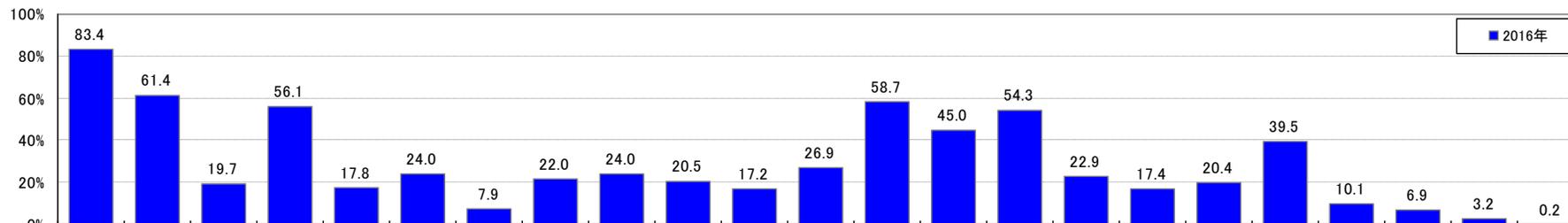


時系列	総数	利用用途																							
		検索サイト・ポータルサイト	ニュースサイト	企業・団体のサイト	インターネットショッピング	インターネットオークション	インターネットバンキング	株のネット取引	旅行のオンライン予約サイト(宿泊、航空券、飲食店の予約)	商品比較・クチコミ等のコミュニティサイト	Q & A サイト	掲示板	オンライン辞書、Wikipedia等、百科事典サイト	Twitter等、Facebook、Google+、SNS(LINE、Gmail、LINE等)	等(Skype、ハンズオン、LINE)	通話・インスタントメッセージング	電子メール・SMS(ショートメールサービス)	オンラインゲーム	懸賞サイト	映像や音楽、電子書籍の購入・閲覧	動画共有サイト(YouTube、ニコニコ動画等)	クラウドサービス(DropboxやiCloud、Google Drive等のネットストレージサービス等)	アダルトサイトの閲覧	海外サイトの閲覧	その他
2016年	5000	83.4	61.4	19.7	56.1	17.8	24.0	7.9	22.0	24.0	20.5	17.2	26.9	58.7	45.0	54.3	22.9	17.4	20.4	39.5	10.1	6.9	3.2	0.2	0.2
2015年	5000	80.1	59.2	16.4	57.7	17.8	20.4	6.6	22.4	22.9	18.8	16.2	30.0	58.1	42.5	52.1	22.7	14.0	20.1	38.2	9.7	7.7	2.5	0.2	0.2
2014年	3500	85.5	63.1	23.6	56.0	21.0	27.5	7.1	25.1	29.1	25.5	20.5	36.5	54.9	34.1	57.9	22.3	27.5	21.5	48.1	16.1	8.4	4.7	0.3	0.3
2013年	2066	88.5	63.6	23.2	55.7	19.9			26.4	30.8	24.5	25.4	37.4	51.1	48.6	60.5	24.3	14.8	16.2	49.0		9.6	4.0	0.4	0.4

5-1-7.インターネットの利用用途②

- インターネットの利用用途について最も高いのは、「検索サイト・ポータルサイト」(83.4%)である。次いで「ニュースサイト」(61.4%)、「SNS (LINE、mixi、Facebook、Google+、Twitter等)」(58.7%)、「インターネットショッピング」(56.1%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「SNS」が10.4ポイント、「オンラインゲーム」が17.4ポイント、「動画共有サイト」が11.7ポイント、20代は「動画共有サイト」が10.5ポイント、60代は「ニュースサイト」が11.7ポイントと全体よりも高い。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「インターネットオークション」が11.3ポイント、「インターネットバンキング」が11.8ポイント、「クラウドサービス」が13.1ポイントと全体よりも高い。

[Q5] スマートデバイスでインターネットを利用する際、どのようなサイトやサービスなどを利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

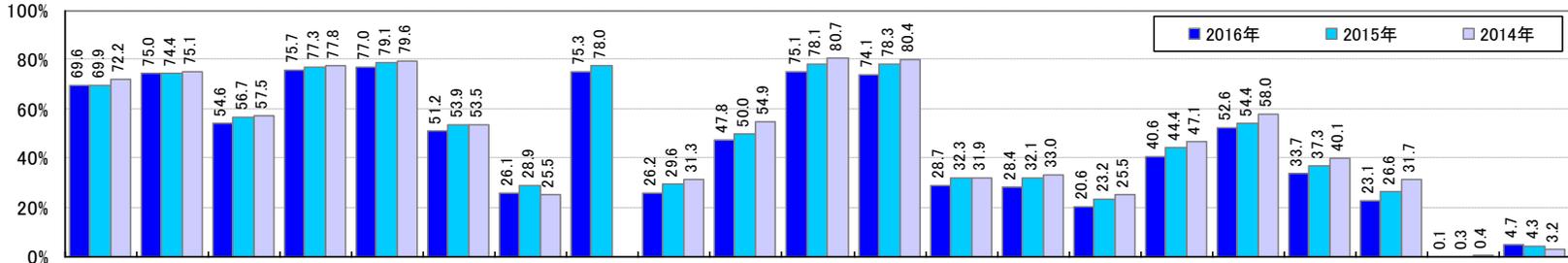


		全体	検索サイト・ポータルサイト	ニュースサイト	企業・団体のサイト	インターネットショッピング	インターネットオークション	インターネットバンキング	株のネット取引	旅行のオンライン予約サイト(宿泊、航空)	商品比較・クチコミ等のコミュニティサイト	Q & A サイト	掲示板	Wiki pedia 等、百科事典サイト、オンライン辞書	Twitter 等	Facebook、Google+、mixi、LINE、SNS (LINE、mixi、Facebook、Google+、Twitter等)	通話・インスタントメッセージングサービス (Skype、Hangouts、LINE 等)	電子メール・SMS (ショートメールサービス)	オンラインゲーム	懸賞サイト	映像や音楽、電子書籍の購入・閲覧	動画共有サイト (YouTube、ニコニコ動画等)	クラウドサービス (Dropbox や iCloud、Google Drive 等のネットストレージサービス、等)	アダルトサイトの閲覧	海外サイトの閲覧	その他
性別	全体	5000	83.4	61.4	19.7	56.1	17.8	24.0	7.9	22.0	24.0	20.5	17.2	26.9	58.7	45.0	54.3	22.9	17.4	20.4	39.5	10.1	6.9	3.2	0.2	
	男性	2426	84.5	65.7	21.4	50.5	20.1	28.4	12.2	19.8	19.7	17.6	18.1	27.1	52.5	39.7	52.7	22.9	17.0	19.7	40.1	12.2	12.8	4.5	0.2	
	女性	2574	82.2	57.3	18.1	61.3	15.7	19.8	3.7	24.2	28.0	23.2	16.4	26.8	64.5	50.1	55.9	22.8	17.7	21.0	38.9	8.2	1.2	2.1	0.2	
年代別	10代	559	79.4	45.4	12.2	30.1	9.5	6.6	2.1	6.1	14.5	17.4	16.1	24.5	69.1	47.4	50.8	40.3	8.2	22.2	51.2	4.8	1.3	0.7	-	
	20代	1003	83.2	54.0	19.8	60.2	16.6	18.9	6.2	20.5	24.2	22.9	22.0	34.5	68.4	49.0	54.0	21.9	15.3	24.8	50.0	11.8	11.2	4.8	0.3	
	30代	1176	84.5	61.7	19.9	62.4	21.9	28.4	8.7	23.6	27.2	23.9	18.3	28.2	60.4	46.3	51.8	22.8	19.2	19.9	38.2	9.0	7.9	2.3	0.1	
	40代	1162	83.2	65.3	21.4	57.3	20.8	29.6	9.1	24.5	25.1	20.5	17.0	23.8	52.9	42.9	56.0	21.7	17.5	18.8	34.6	11.3	7.0	3.8	0.4	
	50代	717	84.8	70.7	21.6	58.9	14.9	26.4	8.2	28.3	23.3	16.3	12.8	23.0	50.9	41.1	56.5	17.6	21.1	17.3	29.8	10.6	5.6	3.8	0.1	
	60代	383	83.8	73.1	21.1	54.8	17.2	27.4	13.6	25.1	25.1	15.9	11.5	23.8	44.6	40.7	58.7	13.8	23.2	18.0	32.1	12.3	2.6	2.9	0.5	
SD 習熟度	レベル4	857	85.3	65.5	27.7	62.8	29.1	35.8	13.3	23.5	30.6	24.4	22.8	35.2	60.3	47.6	57.6	25.0	19.4	26.8	44.0	23.2	12.3	7.7	0.2	
	レベル3	2489	87.9	65.6	23.2	61.9	19.4	26.4	8.2	25.8	28.8	25.1	20.2	33.1	67.2	53.1	62.6	27.5	19.2	25.2	47.9	11.1	7.6	2.7	0.2	
	レベル2	1021	80.2	59.0	13.5	49.6	10.9	16.8	5.4	18.3	17.7	14.2	11.4	16.4	50.9	36.6	46.9	18.1	16.7	12.7	30.5	2.2	2.6	1.1	0.3	
	レベル1	633	68.1	42.8	5.4	34.8	7.7	10.0	3.3	11.2	6.0	7.3	7.1	8.7	35.2	23.2	29.1	9.6	8.7	4.9	15.2	1.3	3.3	2.7	0.5	

5-1-8.インターネット上に漏えいしたら困る情報

- インターネット上に漏えいしたら困る情報について最も高いのは、「住所」(77.0%)である。次いで「携帯電話番号」(75.7%)、「マイナンバー（個人番号）」(75.3%)、「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」(75.1%)、「氏名」(75.0%)、「銀行の口座情報」(74.1%)と続く。
- 前年（2015年）と比較すると、「職業」が3.4ポイント、「クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード」が3.0ポイント、「銀行の口座情報」が4.2ポイント、「ウェブの検索履歴」が3.6ポイント、「ウェブの閲覧履歴」が3.7ポイント、「位置情報」が3.8ポイント、「インターネット上にバックアップした写真」が3.6ポイント、「ネットストレージ等のインターネット上にアップロードしたデータ」が3.5ポイントとやや減少している。

[Q6] インターネット上に漏えいしたら困るものとして、以下からあてはまるものをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）

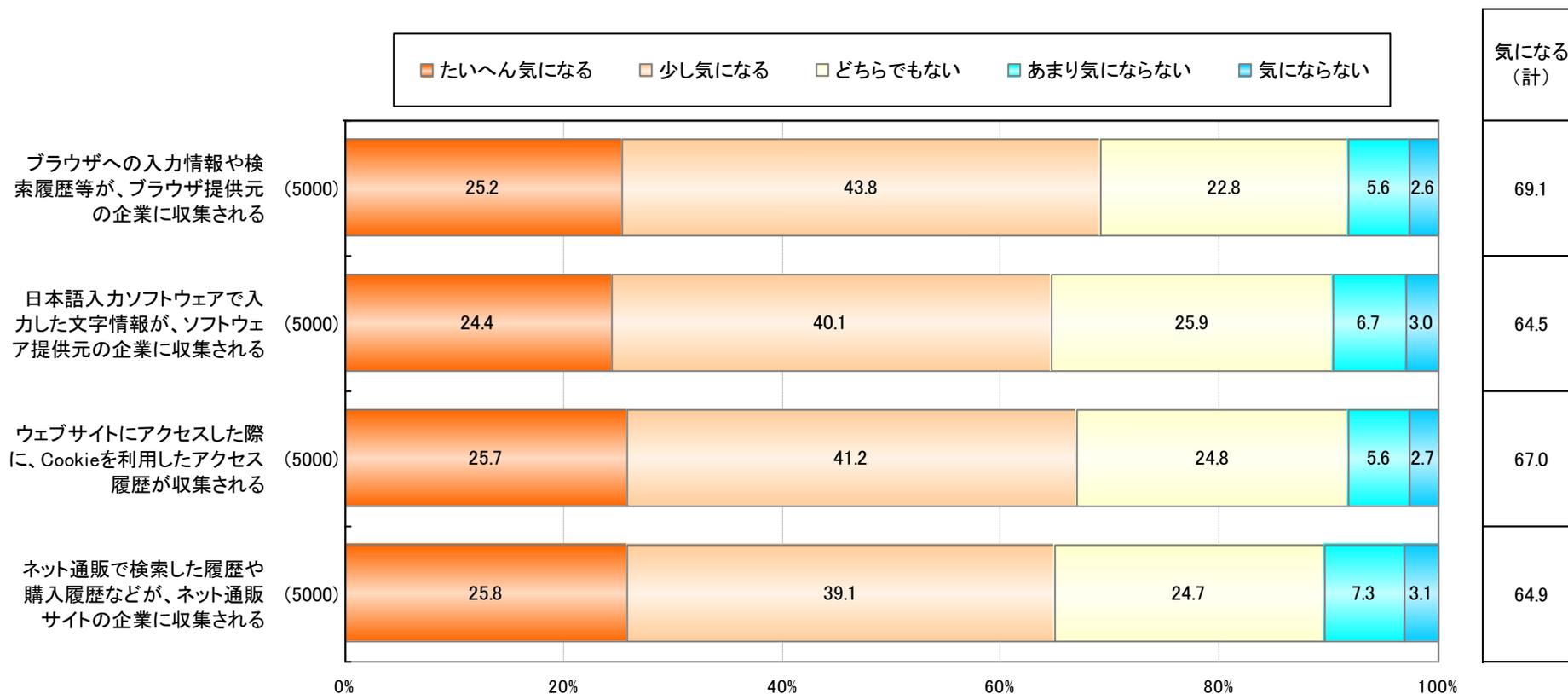


■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

属性	属性名	属性数	電子メールアドレス	氏名	固定電話番号	携帯電話番号	住所	生年月日	性別	マイナンバー（個人番号）	職業	勤務先・通学先	クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード	銀行の口座情報	ウェブの検索履歴	ウェブの閲覧履歴	文字入力履歴	位置情報	自分が写っている写真	インターネット上にバックアップした写真	インターネット上にアップロードしたデータ	ネットストレージ等にアップロードしたデータ	その他	特になし
全体	全体	5000	69.6	75.0	54.6	75.7	77.0	51.2	26.1	75.3	26.2	47.8	75.1	74.1	28.7	28.4	20.6	40.6	52.6	33.7	23.1	0.1	4.7	
性別	男性	2426	64.8	70.0	51.0	68.8	70.3	45.5	23.9	68.9	25.2	45.3	69.6	68.7	23.6	23.3	17.9	33.4	42.4	27.6	20.0	0.1	6.1	
	女性	2574	74.1	79.7	57.9	82.1	83.2	56.6	28.2	81.4	27.2	50.2	80.2	79.3	33.6	33.2	23.2	47.4	62.2	39.4	26.1	0.2	3.4	
年代別	10代	559	73.9	79.8	62.6	78.9	80.0	53.5	27.4	70.1	17.2	52.8	56.0	57.8	24.5	23.8	16.5	37.0	54.6	33.5	21.1	0.2	4.3	
	20代	1003	63.3	72.1	44.8	75.1	78.2	44.4	22.0	75.1	28.1	50.3	73.5	74.8	31.9	31.2	23.8	44.5	54.2	34.9	24.7	0.1	6.3	
	30代	1176	68.4	76.1	48.1	75.8	77.3	49.9	24.7	74.0	28.7	49.3	77.0	76.4	30.1	29.7	21.7	41.4	54.1	35.9	25.7	0.2	4.8	
	40代	1162	71.4	75.4	57.3	75.5	77.0	53.5	28.1	75.6	28.6	49.7	77.7	74.8	31.3	31.8	23.0	42.0	52.6	34.9	24.5	0.2	4.4	
	50代	717	72.5	74.3	63.5	74.5	74.8	55.0	28.9	77.7	26.2	44.2	79.9	78.0	25.0	24.4	16.6	39.2	49.2	30.3	19.8	0.1	4.2	
	60代	383	72.8	71.8	63.2	74.9	72.3	56.1	28.2	82.5	19.6	30.0	84.1	80.2	21.4	20.6	15.1	31.6	46.7	26.6	16.2	-	-	2.9
SD 習熟度	レベル4	857	65.9	67.6	52.0	70.6	71.3	43.9	23.3	68.8	24.7	44.1	70.8	67.2	25.8	26.6	21.9	37.9	46.7	34.2	27.0	-	-	5.1
	レベル3	2489	72.7	79.0	56.6	80.2	82.3	53.6	26.1	81.6	27.2	52.9	80.9	80.4	31.9	31.3	22.9	45.7	57.0	38.4	26.2	0.2	2.2	
	レベル2	1021	71.3	78.3	57.3	77.3	77.2	56.1	28.8	75.0	26.7	46.5	75.1	74.5	27.7	27.1	17.4	38.4	54.8	29.5	18.2	0.2	4.3	
	レベル1	633	59.7	63.8	45.3	62.2	63.2	44.2	25.9	59.9	23.7	34.6	57.8	58.1	22.0	21.2	15.0	27.6	39.7	21.0	14.1	-	14.4	
時系列	2015年	5000	69.9	74.4	56.7	77.3	79.1	53.9	28.9	78.0	29.6	50.0	78.1	78.3	32.3	32.1	23.2	44.4	54.4	37.3	26.6	0.3	4.3	
	2014年	3500	72.2	75.1	57.5	77.8	79.6	53.5	25.5	-	31.3	54.9	80.7	80.4	31.9	33.0	25.5	47.1	58.0	40.1	31.7	0.4	3.2	

■ ブラウザへの入力情報等が収集される行為に対する意識について、気になる（計）の割合はどれも6～7割である。

【Q7】 以下の様に、ブラウザへの入力情報、検索履歴、文字入力情報等が収集される場合がありますが、あなたはその様な行為についてどの様に感じますか。それぞれ、1つずつ選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

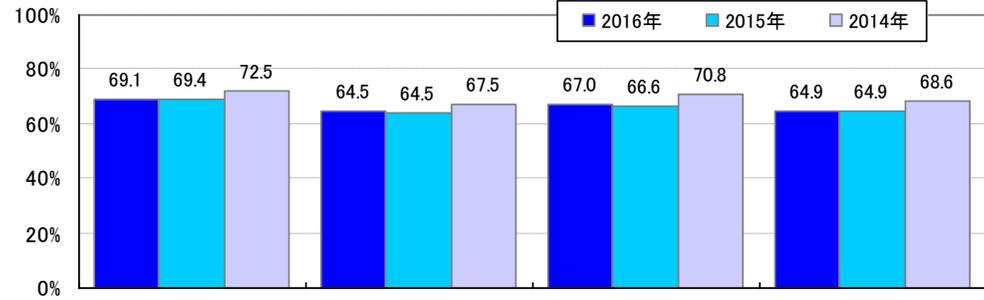


5-2-1.ブラウザへの入力情報等が収集される行為に対する意識②

- ブラウザへの入力情報等が収集される行為に対する意識について最も高いのは、「ブラウザへの入力情報や検索履歴等が、ブラウザ提供元の企業に収集される」(69.1%)である。次いで「ウェブサイトへアクセスした際に、Cookieを利用したアクセス履歴が収集される」(67.0%)、「ネット通販で検索した履歴や購入履歴などが、ネット通販サイトの企業に収集される」(64.9%)、「日本語入力ソフトウェアで入力した文字情報が、ソフトウェア提供元の企業に収集される」(64.5%)と続く。
- 年代別で見ると、60代は「ネット通販で検索した履歴や購入履歴などが、ネット通販サイトの企業に収集される」の割合が全体よりも5.6ポイントとやや高い。
- SD習熟度で見ると、レベル1は全ての項目において全体よりも10ポイント以上低い。

【Q7】 以下の様に、ブラウザへの入力情報、検索履歴、文字入力情報等が収集される場合がありますが、あなたはその様な行為についてどの様に感じますか。それぞれ、1つずつ選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

※値は「たいへん気になる」「少し気になる」の合計値

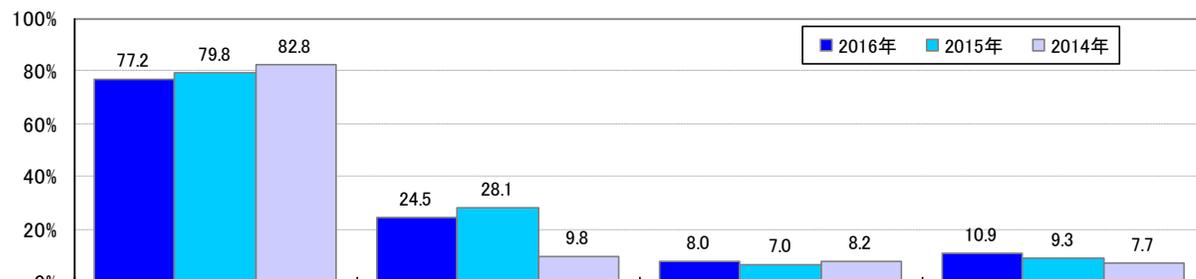


		全体	ブラウザへの入力情報や検索履歴等が、ブラウザ提供元の企業に収集される	日本語入力ソフトウェアで入力した文字情報が、ソフトウェア提供元の企業に収集される	ウェブサイトへアクセスした際に、Cookieを利用したアクセス履歴が収集される	ネット通販で検索した履歴や購入履歴などが、ネット通販サイトの企業に収集される
全体		5000	69.1	64.5	67.0	64.9
性別	男性	2426	66.4	62.0	64.0	61.7
	女性	2574	71.6	66.9	69.8	68.0
年代別	10代	559	65.7	60.1	63.1	61.0
	20代	1003	65.1	59.9	61.9	57.9
	30代	1176	69.6	66.8	68.6	65.9
	40代	1162	71.7	67.0	69.6	68.6
	50代	717	69.9	65.7	69.0	67.2
	60代	383	73.4	66.1	68.9	70.5
SD習熟度	レベル4	857	71.5	68.6	68.0	64.8
	レベル3	2489	72.5	67.4	71.2	67.9
	レベル2	1021	68.1	62.7	65.2	64.7
	レベル1	633	53.9	50.7	51.8	53.7
時系列	2015年	5000	69.4	64.5	66.6	64.9
	2014年	3500	72.5	67.5	70.8	68.6

5-2-2.アプリダウンロードサイト

- アプリダウンロードサイトについて最も高いのは、「公式サイト（AppStore、Google Play、携帯電話会社のサイト）」（77.2%）である。次いで「非公式サイト（AmazonAndroidアプリストア、楽天アプリ市場、個人のWebサイトなど）」（24.5%）、「アプリをダウンロードをしたことはない」（10.9%）、「わからない」（8.0%）と続く。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「公式サイト」が11.6ポイント、レベル1は「わからない」が12.2ポイント、「アプリをダウンロードをしたことはない」が22.6ポイントと全体よりも高い。
- プライベート/ビジネス使用別で見ると、仕事（学業）利用のみは「アプリをダウンロードをしたことはない」の割合が全体よりも37.7ポイント高い。
- 前年（2015年）と比較すると、「非公式サイト（AmazonAndroidアプリストア、楽天アプリ市場、個人のWebサイトなど）」の割合が3.6ポイントとやや減少している。

【Q8】 次のうち、アプリをダウンロードしたことがあるサイトをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）



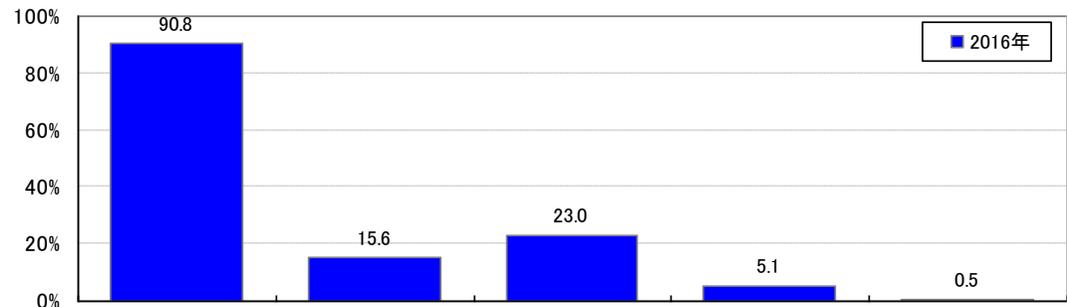
		全体	公式サイト (AppStore、Google Play、携帯電話会社のサイト)	非公式サイト (AmazonAndroidアプリストア、楽天アプリ市場、個人のWebサイトなど)	わからない	アプリをダウンロードをしたことはない
全体		5000	77.2	24.5	8.0	10.9
性別	男性	2426	79.3	24.2	6.5	10.6
	女性	2574	75.2	24.7	9.5	11.2
年代別	10代	559	78.0	16.1	7.5	11.8
	20代	1003	79.8	24.2	6.7	10.6
	30代	1176	78.7	25.8	6.8	10.5
	40代	1162	77.7	24.6	7.5	9.9
	50代	717	74.8	25.5	11.4	10.9
	60代	383	67.9	30.8	11.5	15.1
SD習熟度	レベル4	857	88.8	28.9	2.7	6.2
	レベル3	2489	87.1	28.1	4.5	4.7
	レベル2	1021	64.8	19.6	13.6	16.1
	レベル1	633	42.7	11.8	20.2	33.5
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3767	75.9	23.2	8.5	11.8
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1196	82.7	28.8	6.2	6.9
	仕事(学業)利用のみ	37	27.0	10.8	16.2	48.6
時系別	2015年	5000	79.8	28.1	7.0	9.3
	2014年	3500	82.8	9.8	8.2	7.7

5-2-3.アプリダウンロード非公式サイト

- アプリダウンロード非公式サイトについて最も高いのは、「Amazon Androidアプリストア、楽天アプリ市場などの有名な企業が運営するサイト」(90.8%)である。次いで「公式ストアで有名な無料のアプリなどを公開している個人のWebサイト」(23.0%)、「自作アプリなどを作成・公開している個人のWebサイト」(15.6%)、「公式ストアでは有料のアプリを無料で公開している個人のWebサイト」(5.1%)と続く。
- SD習熟度でみると、レベル4は「自作アプリなどを作成・公開している個人のWebサイト」が13.4ポイント、「公式ストアで有名な無料のアプリなどを公開している個人のWebサイト」が13.7ポイントと全体よりも高い。

【Q9】 どのような非公式サイトからアプリをダウンロードしたことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）

n=非公式サイトからのアプリダウンロード経験者(Q8)



		全体	Amazon Androidアプリストア、楽天アプリ市場などの有名な企業が運営するサイト	自作アプリなどを作成・公開している個人のWebサイト	公式ストアで有名な無料のアプリなどを公開している個人のWebサイト	公式ストアでは有料のアプリを無料で公開している個人のWebサイト	その他
全体		1223	90.8	15.6	23.0	5.1	0.5
性別	男性	587	88.4	22.1	26.6	6.8	0.3
	女性	636	92.9	9.6	19.7	3.5	0.6
年代別	10代	90	88.9	22.2	22.2	6.7	-
	20代	243	88.1	22.6	31.7	6.2	-
	30代	303	89.8	17.8	20.8	6.3	0.3
	40代	286	90.6	11.9	18.9	3.8	1.4
	50代	183	95.6	8.2	21.9	3.8	-
	60代	118	93.2	11.0	22.9	3.4	0.8
SD習熟度	レベル4	248	90.7	29.0	36.7	13.7	0.4
	レベル3	700	91.9	12.0	21.1	2.9	0.3
	レベル2	200	88.0	13.0	13.0	2.5	1.0
	レベル1	75	88.0	12.0	21.3	4.0	1.3
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	875	92.1	13.8	21.0	3.9	0.6
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	344	87.8	20.3	27.6	8.1	0.3
	仕事(学業)利用のみ	4	50.0	-	50.0	-	-

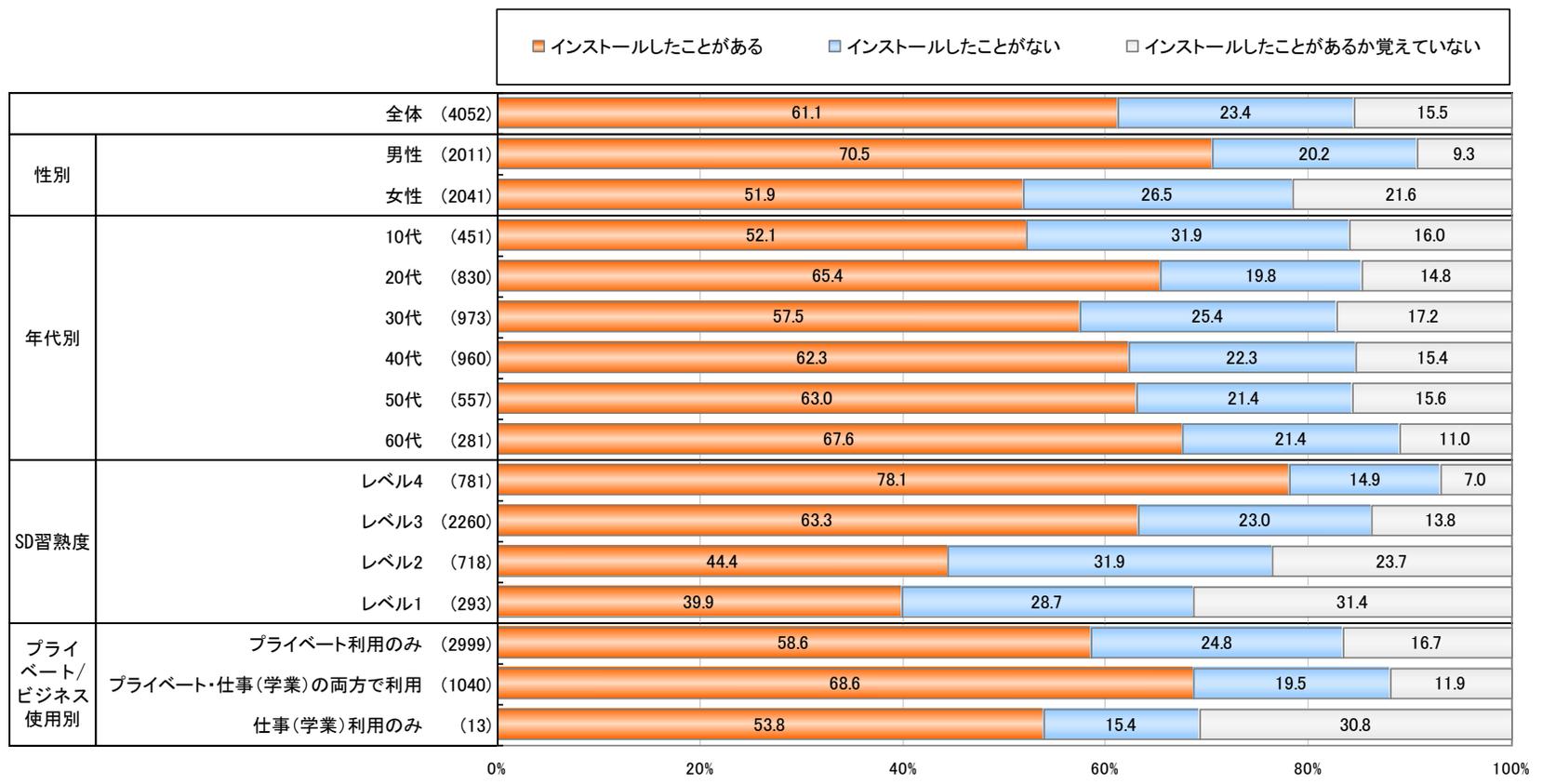
■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

5-2-4.スマートデバイスの位置情報を利用するアプリのインストール経験

- スマートデバイスの位置情報を利用するアプリのインストール経験について最も高いのは、「インストールしたことがある」(61.1%)である。次いで「インストールしたことがない」(23.4%)、「インストールしたことがないか覚えていない」(15.5%)と続く。
- SD習熟度でみると、レベル4は「インストールしたことがある」が17.0ポイント、レベル1は「インストールしたことがないか覚えていない」が15.9ポイントと全体よりも高い。

【Q10】 これまでにスマートデバイスの位置情報を利用するアプリをインストールしたことがありますか。(お答えは1つ)

n=アプリダウンロード経験者(Q8)



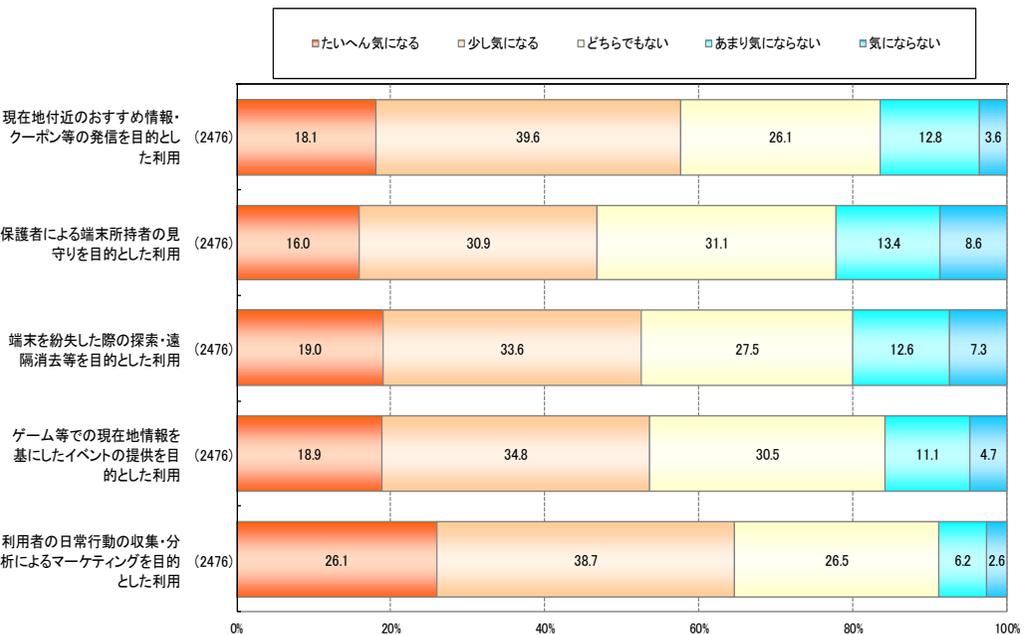
5-2-5.取得した位置情報の利用方法

■ 取得した位置情報の利用方法について最も高いのは、「利用者の日常行動の収集・分析によるマーケティングを目的とした利用」(64.7%)である。次いで「現在地付近のおすすめ情報・クーポン等の発信を目的とした利用」(57.6%)、「ゲーム等での現在地情報を基にしたイベントの提供を目的とした利用」(53.7%)、「端末を紛失した際の探索・遠隔消去等を目的とした利用」(52.6%)と続く。

[Q11] 取得した位置情報の利用方法について、あなたはどの様に感じますか。それぞれ、1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

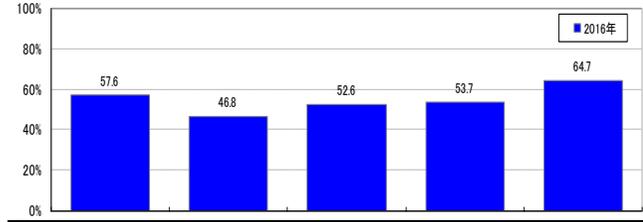
n=位置情報を利用するアプリのインストール経験者(Q10)

※値は「たいへん気になる」「少し気になる」の合計値



気になる(計)
57.6
46.8
52.6
53.7
64.7

■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下 (異性n=30以上)

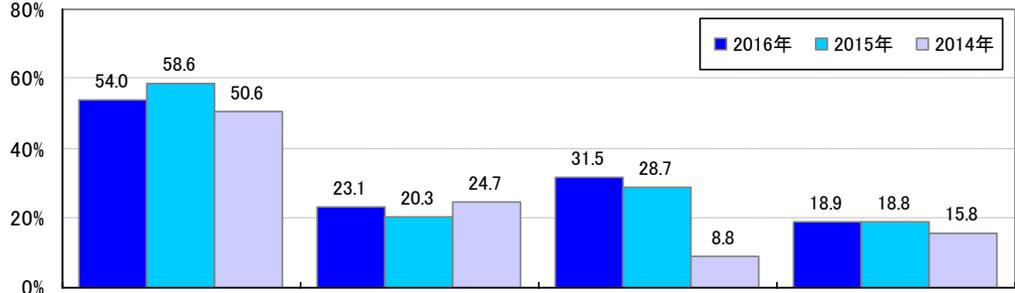


	全体	現在地付近のおすすめ情報・クーポン等の発信を目的とした利用	保護者による端末所持者の見守りを目的とした利用	端末を紛失した際の探索・遠隔消去等を目的とした利用	ゲーム等での現在地情報を基にしたイベントの提供を目的とした利用	利用者の日常行動の収集・分析によるマーケティングを目的とした利用
全体	2476	57.6	46.8	52.6	53.7	64.7
性別						
男性	1417	54.8	45.2	49.3	50.5	80.5
女性	1059	61.4	49.1	57.0	57.9	70.3
年代別						
10代	235	52.3	54.0	48.9	52.8	59.1
20代	543	57.3	46.4	49.9	54.7	65.0
30代	559	61.9	50.3	57.4	59.0	67.1
40代	598	59.0	47.3	52.5	52.2	64.5
50代	351	54.7	40.7	51.3	51.0	63.0
60代	190	53.7	38.9	53.2	45.8	67.4
SD						
レベル4	610	58.4	48.5	51.1	57.2	66.7
レベル3	1430	56.7	46.0	52.4	52.1	64.9
レベル2	319	60.2	46.1	53.3	52.4	61.1
レベル1	117	58.1	50.4	59.8	58.1	61.5
プライバシー/ビジネス使用別						
プライベート利用のみ	1756	57.8	46.5	52.2	52.8	64.2
プライベート・仕事(学業)の両方で利用	713	57.2	47.7	53.4	55.8	65.9
仕事(学業)利用のみ	7	57.1	57.1	57.1	57.1	57.1

5-2-6.無線LAN (Wi-Fi) 接続時の環境

- 無線LAN (Wi-Fi) 接続時の環境について最も高いのは、「暗号化や認証等のセキュリティ対策が施されている環境で接続する」(54.0%)である。次いで「公衆無線LANなどのフリーWi-Fiを利用して接続する」(31.5%)、「モバイルルータを利用してキャリア網に接続する」(23.1%)、「無線LANは使わない」(18.9%)と続く。
- SD習熟度でみると、レベル4は「暗号化や認証等のセキュリティ対策が施されている環境で接続する」が15.7ポイント、レベル1は「無線LANは使わない」が23.9ポイントと全体よりも高い。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「無線LANは使わない」の割合が全体よりも27.0ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「暗号化や認証等のセキュリティ対策が施されている環境で接続する」の割合が4.6ポイントとやや減少している。

【Q12】 無線LAN (Wi-Fi)を使ってスマートデバイスをインターネットに接続する際に、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

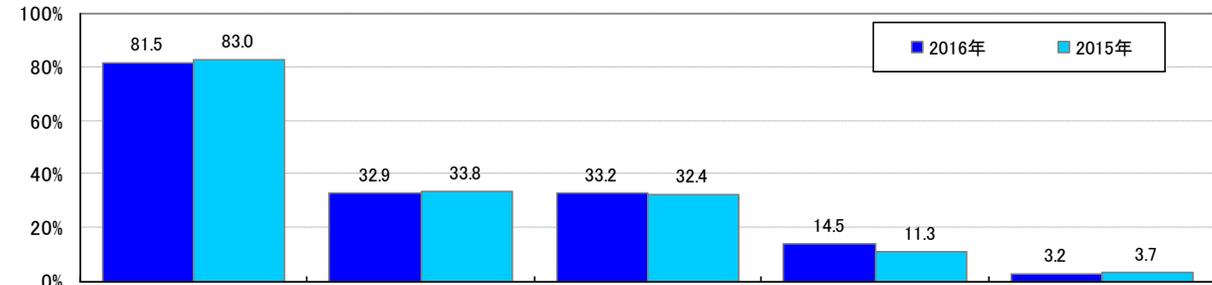
		全体	暗号化や認証等のセキュリティ対策が施されている環境で接続する	モバイルルータを利用してキャリア網に接続する	公衆無線LANなどのフリーWi-Fiを利用して接続する	無線LANは使わない
全体		5000	54.0	23.1	31.5	18.9
性別	男性	2426	59.2	26.5	33.8	13.5
	女性	2574	49.1	19.9	29.3	23.9
年代別	10代	559	60.6	19.0	30.9	12.9
	20代	1003	53.8	24.7	32.2	20.3
	30代	1176	50.1	24.2	32.4	20.6
	40代	1162	54.1	21.3	30.2	19.5
	50代	717	55.5	25.4	32.5	17.7
	60代	383	53.5	22.7	29.8	18.5
SD習熟度	レベル4	857	69.7	31.3	35.9	8.9
	レベル3	2489	59.5	24.1	33.1	13.2
	レベル2	1021	41.7	18.7	29.1	26.2
	レベル1	633	31.0	15.3	22.9	42.8
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3767	52.7	20.5	29.5	20.6
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1196	58.8	31.4	38.0	12.5
	仕事(学業)利用のみ	37	27.0	18.9	21.6	45.9
時系別	2015年	5000	58.6	20.3	28.7	18.8
	2014年	3500	50.6	24.7	8.8	15.8

5-2-7.公衆無線LAN (Wi-Fi) 接続時に利用しているサービス

- 公衆無線LAN (Wi-Fi) 接続時に利用しているサービスについて最も高いのは、「ホームページやブログ等の閲覧」(81.5%)である。次いで「ネットショッピングやネットオークションでの買い物」(33.2%)、「Web掲示板やSNSへの書き込み」(32.9%)、「インターネットバンキングやオンライントレード等の金融関連サービス」(14.5%)と続く。
- 年代別で見ると、10代が12.8ポイント、20代は11.7ポイント「Web掲示板やSNSへの書き込み」の割合が全体よりも高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「インターネットバンキングやオンライントレード等の金融関連サービス」の割合が3.2ポイントとやや増加している。

【Q13】 公衆無線LANなどのフリーWi-Fiを利用する際にどのようなサービスを利用していますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=公衆無線LANなどのフリーWi-Fi利用者(Q12)



■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

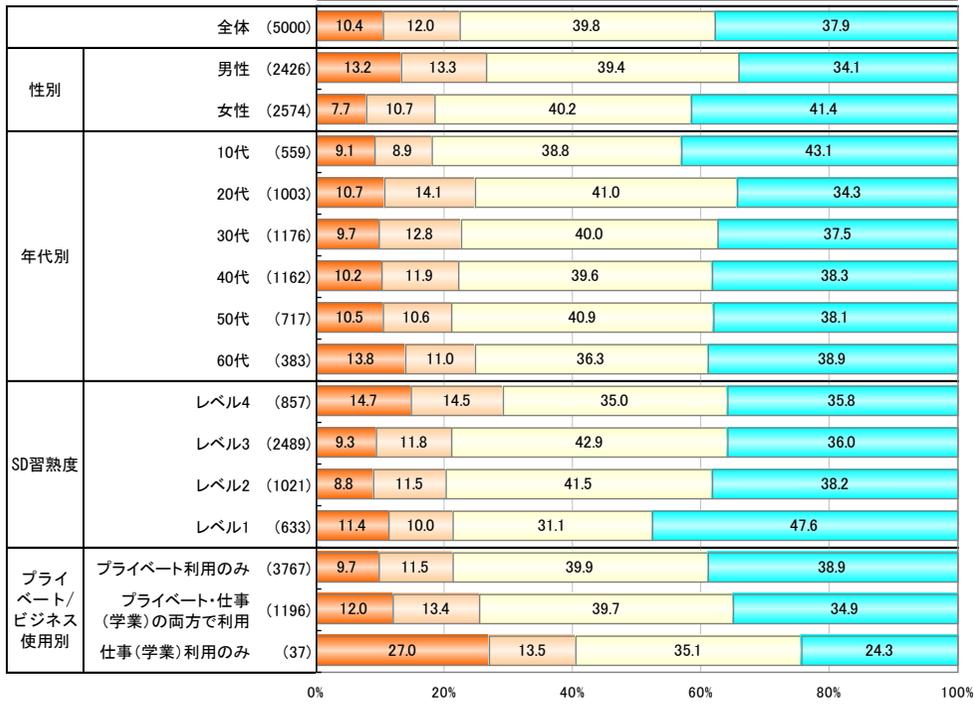
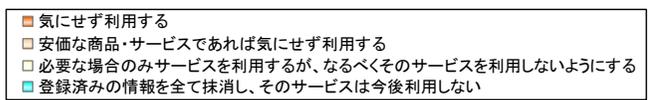
		全体	ホームページやブログ等の閲覧	Web掲示板やSNSへの書き込み	ネットショッピングやネットオークションでの買い物	インターネットバンキングやオンライントレード等の金融関連サービス	その他
全体		1575	81.5	32.9	33.2	14.5	3.2
性別	男性	820	82.6	35.0	33.7	17.9	2.4
	女性	755	80.4	30.6	32.7	10.7	4.0
年代別	10代	173	78.6	45.7	23.1	8.7	4.0
	20代	323	83.0	44.6	31.9	12.4	2.8
	30代	381	84.5	29.9	36.2	16.5	1.8
	40代	351	81.8	23.9	33.3	15.4	3.1
	50代	233	80.3	27.9	36.9	17.6	3.9
	60代	114	73.7	28.1	34.2	13.2	6.1
SD習熟度	レベル4	308	82.8	40.9	38.0	19.8	2.6
	レベル3	825	84.8	34.3	32.4	13.3	3.3
	レベル2	297	76.1	26.3	32.7	13.1	2.0
	レベル1	145	71.0	21.4	29.0	12.4	6.2
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	1112	81.1	30.1	31.4	12.3	3.6
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	455	82.9	40.2	37.4	19.8	2.2
	仕事(学業)利用のみ	8	62.5	-	50.0	12.5	-
時系別	2015年	1437	83.0	33.8	32.4	11.3	3.7

5-2-8.情報セキュリティ事故が発生した場合のサービス利用意向①

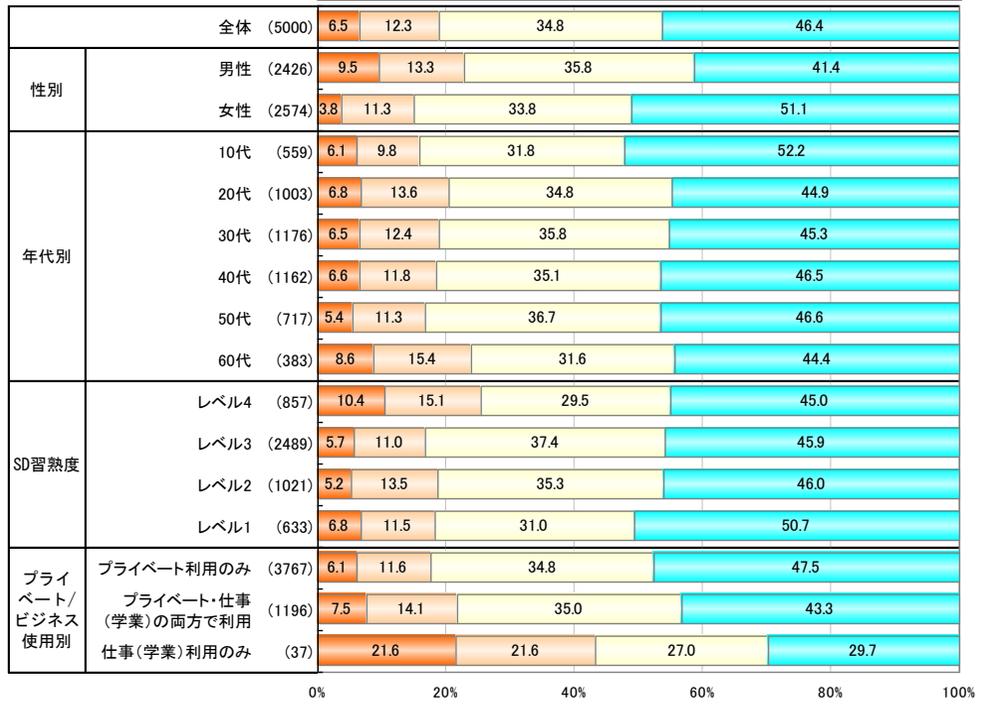
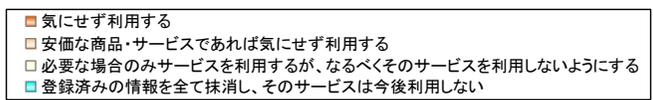
- 【攻撃を受けたが、ウイルス等に感染しなかった】について最も高いのは、「必要な場合のみサービスを利用するが、なるべくそのサービスを利用しないようにする」(39.8%)である。次いで「登録済みの情報を全て抹消し、そのサービスは今後利用しない」(37.9%)、「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」(12.0%)、「気にせず利用する」(10.4%)と続く。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「気にせず利用する」の割合が全体よりも16.6ポイント高い。
- 【攻撃を受けウイルス等に感染したが、会員登録情報の漏えいは無かった】について最も高いのは、「登録済みの情報を全て抹消し、そのサービスは今後利用しない」(46.4%)である。次いで「必要な場合のみサービスを利用するが、なるべくそのサービスを利用しないようにする」(34.8%)、「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」(12.3%)、「気にせず利用する」(6.5%)と続く。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「気にせず利用する」の割合が全体よりも15.1ポイント高い。

【Q14】あなたが現在利用しているサービスについて、情報セキュリティ事故が発生した場合、今後のサービス利用についてどのように対応しますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

攻撃を受けたが、ウイルス等に感染しなかった



攻撃を受けウイルス等に感染したが、会員登録情報の漏えいは無かった



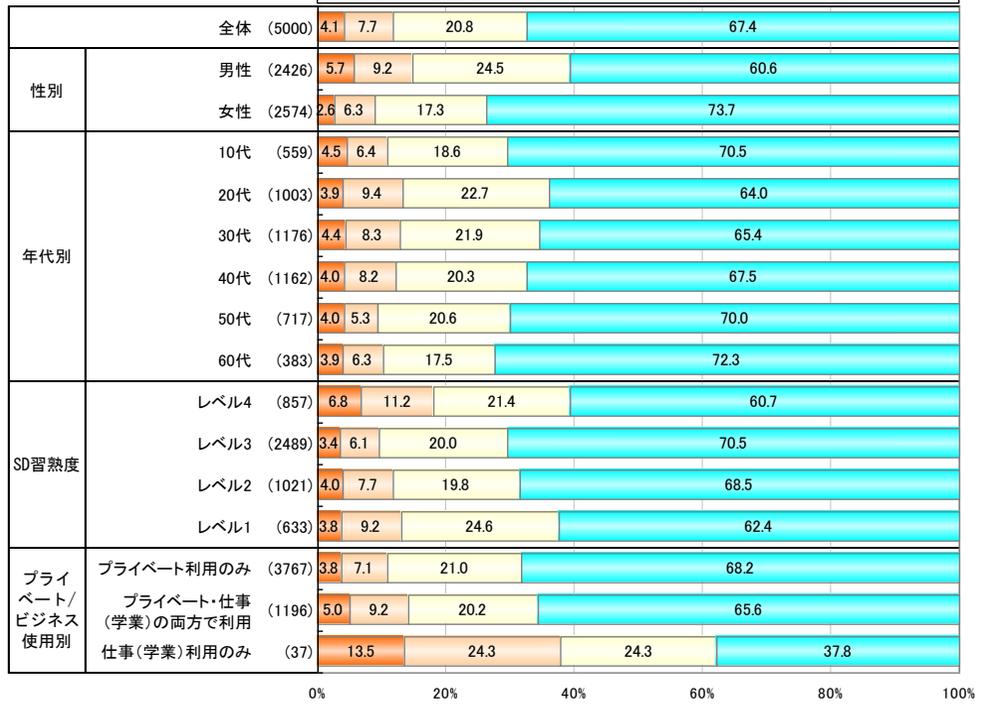
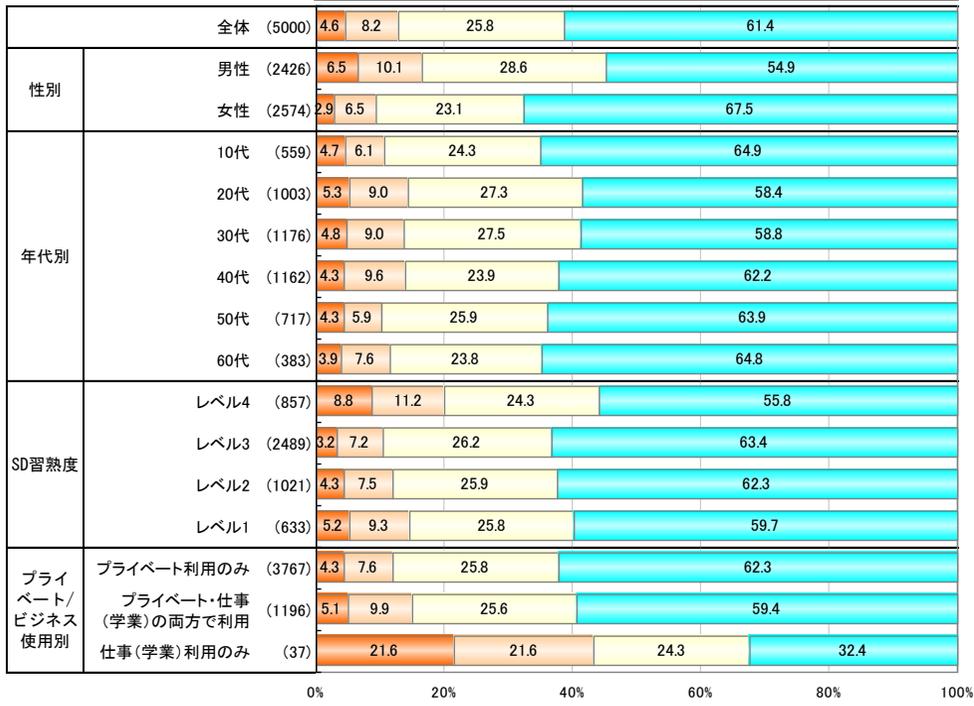
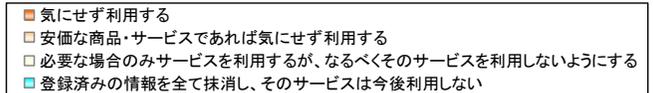
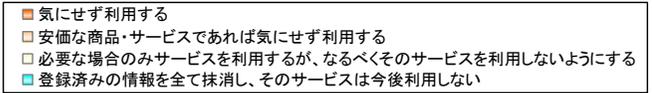
5-2-8.情報セキュリティ事故が発生した場合のサービス利用意向②

- 【攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレス等の会員登録情報だけが漏えいした】について最も高いのは、「登録済みの情報を全て抹消し、そのサービスは今後利用しない」(61.4%)である。次いで「必要な場合のみサービスを利用するが、なるべくそのサービスを利用しないようにする」(25.8%)、「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」(8.2%)、「気にせず利用する」(4.6%)と続く。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「気にせず利用する」の割合が全体よりも17.0ポイント高い。
- 【攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレスの他、本人を同定できる氏名、住所等の登録情報が漏えいした】について最も高いのは、「登録済みの情報を全て抹消し、そのサービスは今後利用しない」(67.4%)である。次いで「必要な場合のみサービスを利用するが、なるべくそのサービスを利用しないようにする」(20.8%)、「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」(7.7%)、「気にせず利用する」(4.1%)と続く。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」の割合が全体よりも16.6ポイント高い。

【Q14】あなたが現在利用しているサービスについて、情報セキュリティ事故が発生した場合、今後のサービス利用についてどのように対応しますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレス等の会員登録情報だけが漏えいした

攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレスの他、本人を同定できる氏名、住所等の登録情報が漏えいした

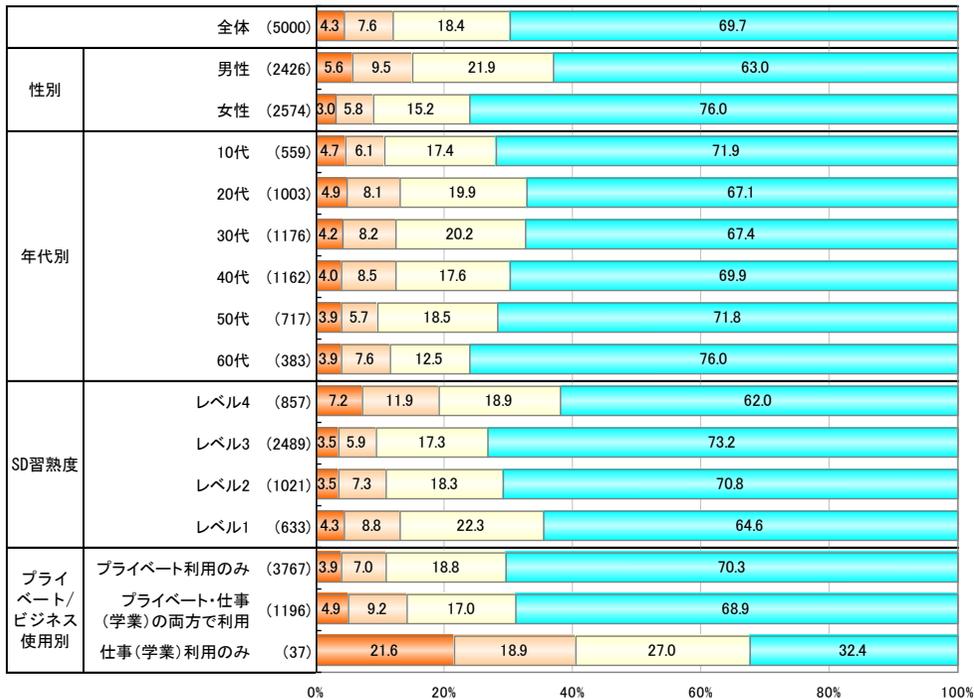
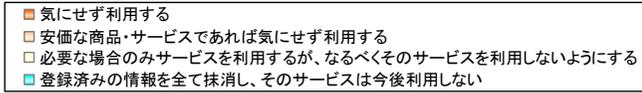


5-2-8.情報セキュリティ事故が発生した場合のサービス利用意向③

- 【攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレス、氏名、住所に加え、クレジットカード番号等の決済情報が漏えいした】について最も高いのは、「登録済みの情報を全て抹消し、そのサービスは今後利用しない」(69.7%)である。次いで「必要な場合のみサービスを利用するが、なるべくそのサービスを利用しないようにする」(18.4%)、「安価な商品・サービスであれば気にせず利用する」(7.6%)、「気にせず利用する」(4.3%)と続く。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事（学業）利用のみは「気にせず利用する」の割合が全体よりも17.3ポイント高い。

【Q14】あなたが現在利用しているサービスについて、情報セキュリティ事故が発生した場合、今後のサービス利用についてどのように対応しますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

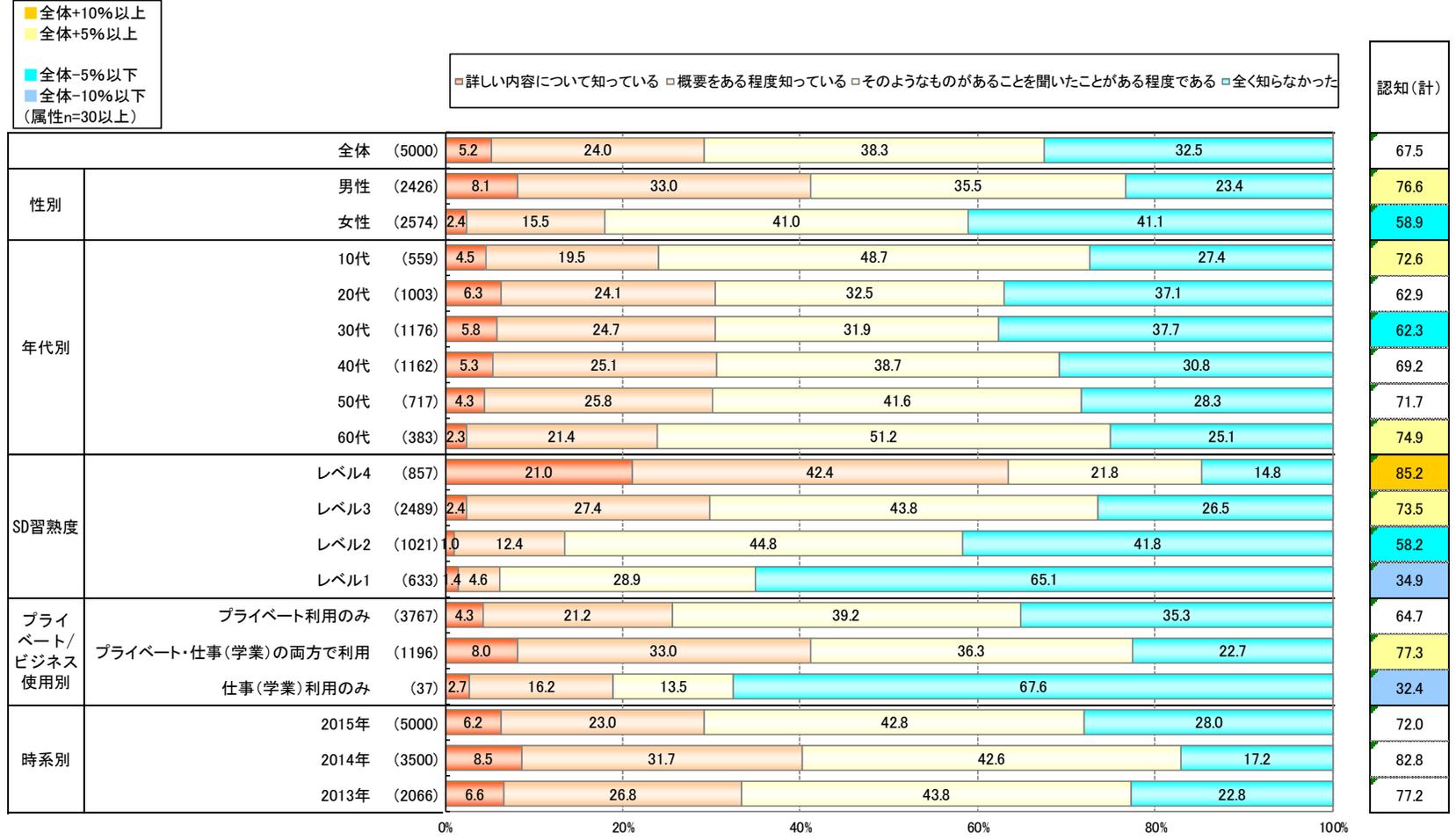
攻撃を受けウイルス等に感染し、ユーザIDやメールアドレス、氏名、住所に加え、クレジットカード番号等の決済情報が漏えいした



5-2-9.スマートデバイスのウイルス認知

- スマートデバイスのウイルス認知については、「詳しい内容について知っている」(5.2%)、「概要をある程度知っている」(24.0%)、「そのようなものがあることを聞いたことがある程度である」(38.3%)を合計した認知率が67.5%であり、「全く知らなかった」は32.5%。
- SD習熟度でみると、レベルの高い層ほど認知率が高く、レベル4では85.2%、レベル1では34.9%と大きな差が見られる。レベル4は「詳しい内容について知っている」が15.8ポイント、「概要をある程度知っている」が18.2ポイント、レベル1は「全く知らなかった」が32.6ポイントと全体よりも高い。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「全く知らなかった」の割合が全体よりも35.1ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、認知率が4.5ポイントとやや減少しており、「全く知らなかった」が4.5ポイントとやや増加している。反対に「そのようなものがあることを聞いたことがある程度である」が4.5ポイントとやや減少している。

【Q15】 スマートデバイスをターゲットとしたウイルス(マルウェア)があることをご存知でしたか。(お答えは1つ)

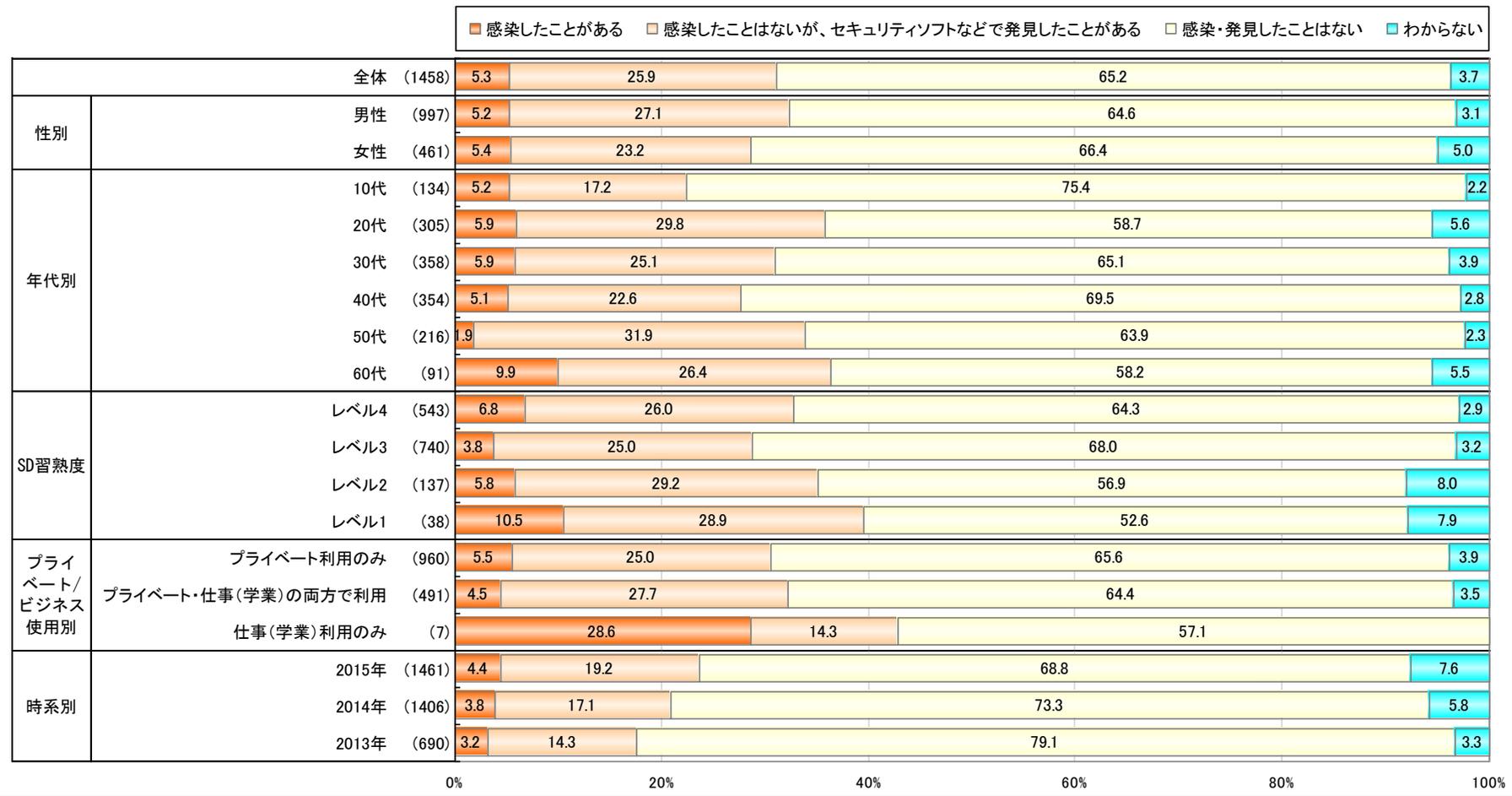


5-2-10.スマートデバイスのウイルス感染経験

- スマートデバイスのウイルス感染経験について最も高いのは、「感染・発見したことはない」(65.2%)である。次いで「感染したことはないが、セキュリティソフトなどで発見したことがある」(25.9%)、「感染したことがある」(5.3%)、「わからない」(3.7%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「感染・発見したことはない」の割合が全体よりも10.2ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「感染したことはないが、セキュリティソフトなどで発見したことがある」が6.7ポイント増加している。反対に「感染・発見したことはない」が3.6ポイント、「わからない」が3.9ポイントとやや減少している。

【Q16】 スマートデバイスでウイルス(マルウェア)に感染したことがありますか。(お答えは1つ)

n=スマートデバイスをターゲットとしたウイルス認知者(Q15)

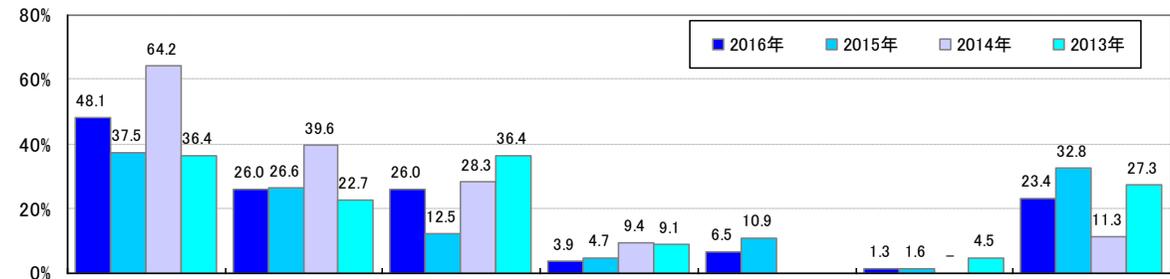


5-2-11.スマートデバイスのウイルス感染時の被害状況

- スマートデバイスのウイルス感染時の被害状況について最も高いのは、「個人の情報（電話番号、メールアドレス等）の流出」（48.1%）である。次いで「友人・知人の情報（電話帳情報）の流出」（26.0%）、「不正な請求メッセージの表示」（26.0%）、「感染はしたが被害は特になかった」（23.4%）と続く。
- 性別でみると、男性は「不正な請求メッセージの表示」の割合が全体よりも10.5ポイント高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は「個人の情報（電話番号、メールアドレス等）の流出」の割合が全体よりも16.8ポイント高い。
- 前年（2015年）と比較すると「個人の情報（電話番号、メールアドレス等）の流出」が10.6ポイント、「不正な請求メッセージの表示」が13.5ポイントと大きく増加している。反対に「感染はしたが被害は特になかった」が9.4ポイント減少している。「画面がロックされる等、スマートデバイスが利用できなくなった」が4.4ポイントとやや減少している。

【Q17】 感染したことによりどのような被害がありましたか。あてはまるものをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）

n=スマートデバイスのウイルス感染経験者(Q16)



■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

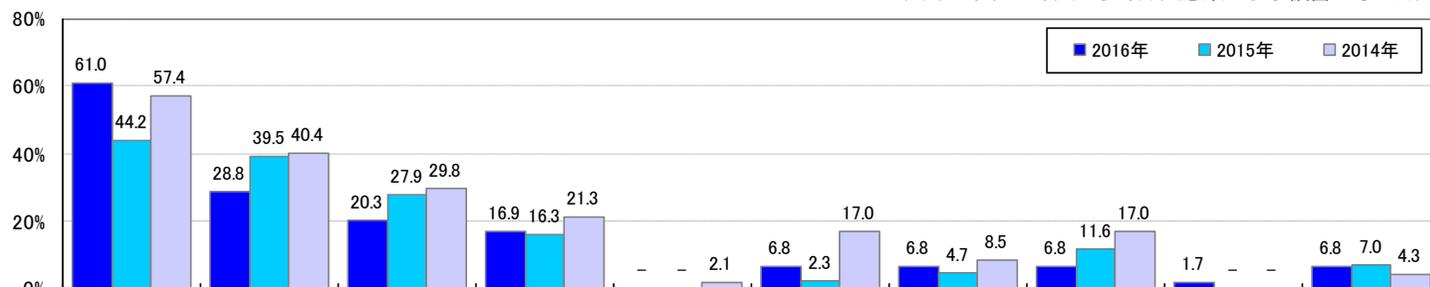
		全体	個人の情報（電話番号、メールアドレス等）の流出	友人・知人の情報（電話帳情報）の流出	不正な請求メッセージの表示	金銭的な被害	画面がロックされる等、スマートデバイスが利用できなくなった	その他	感染はしたが被害は特になかった
全体		77	48.1	26.0	26.0	3.9	6.5	1.3	23.4
性別	男性	52	48.1	25.0	36.5	5.8	9.6	-	25.0
	女性	25	48.0	28.0	4.0	-	-	4.0	20.0
年代別	10代	7	42.9	42.9	28.6	-	-	14.3	-
	20代	18	38.9	38.9	16.7	5.6	-	-	27.8
	30代	21	52.4	14.3	38.1	4.8	4.8	-	23.8
	40代	18	61.1	27.8	16.7	5.6	11.1	-	27.8
	50代	4	25.0	-	25.0	-	-	-	50.0
	60代	9	44.4	22.2	33.3	-	22.2	-	11.1
SD習熟度	レベル4	37	64.9	24.3	35.1	8.1	10.8	-	13.5
	レベル3	28	35.7	28.6	17.9	-	3.6	-	35.7
	レベル2	8	25.0	12.5	25.0	-	-	12.5	25.0
	レベル1	4	25.0	50.0	-	-	-	-	25.0
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	53	50.9	28.3	22.6	1.9	3.8	1.9	18.9
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	22	40.9	18.2	36.4	9.1	13.6	-	36.4
	仕事(学業)利用のみ	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
時系別	2015年	64	37.5	26.6	12.5	4.7	10.9	1.6	32.8
	2014年	53	64.2	39.6	28.3	9.4	-	-	11.3
	2013年	22	36.4	22.7	36.4	9.1	-	4.5	27.3

5-2-12.セキュリティ被害・トラブル時の対処法

- セキュリティ被害・トラブル時の対処法について最も高いのは、「スマートデバイスメーカーに相談」(61.0%)である。次いで「携帯電話会社(キャリア)に相談」(28.8%)、「スマートデバイスを購入した販売店に相談」(20.3%)、「サービス(オークションやゲーム等)の提供会社に相談」(16.9%)と続く。
- SD習熟度でみると、レベル4は「スマートデバイスメーカーに相談」の割合が全体よりも17.1ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「スマートデバイスメーカーに相談」が16.8ポイントと大きく増加している。「銀行・クレジットカード会社へ連絡」が4.5ポイントとやや増加している。反対に「携帯電話会社(キャリア)に相談」が10.7ポイントと大きく減少している。「スマートデバイスを購入した販売店に相談」が7.6ポイント減少している。「自力で対処」が4.8ポイントとやや減少している。

【Q18】 Q17でお答えになった被害やトラブルにあったときに、あなたがとった対処方法を以下からすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=スマートデバイスのウイルス感染により被害にあった人(Q17)



■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

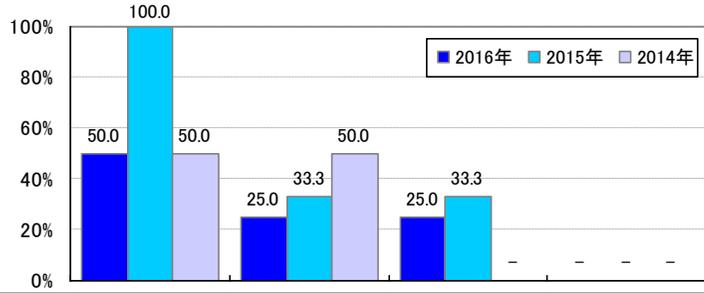
		全体	スマートデバイスメーカーに相談	携帯電話会社(キャリア)に相談	スマートデバイスを購入した販売店に相談	サービス(オークションやゲーム等)の提供会社に相談	公的機関(警察署、国民生活センター、IPAなどに相談)	銀行・クレジットカード会社へ連絡	家族・友人・知人に相談	自力で対処	その他	何もなかった
全体		59	61.0	28.8	20.3	16.9	-	6.8	6.8	6.8	1.7	6.8
性別	男性	39	66.7	30.8	20.5	20.5	-	10.3	7.7	7.7	-	7.7
	女性	20	50.0	25.0	20.0	10.0	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0
年代別	10代	7	14.3	42.9	28.6	28.6	-	-	14.3	28.6	14.3	-
	20代	13	69.2	30.8	15.4	7.7	-	7.7	-	-	-	-
	30代	16	62.5	12.5	37.5	18.8	-	-	-	12.5	-	12.5
	40代	13	92.3	23.1	7.7	15.4	-	15.4	7.7	-	-	7.7
	50代	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	60代	8	50.0	50.0	12.5	25.0	-	12.5	25.0	-	-	-
SD習熟度	レベル4	32	78.1	25.0	18.8	25.0	-	9.4	6.3	3.1	-	6.3
	レベル3	18	44.4	38.9	27.8	11.1	-	5.6	5.6	5.6	-	5.6
	レベル2	6	16.7	33.3	-	-	-	-	16.7	33.3	16.7	16.7
	レベル1	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	43	62.8	27.9	18.6	18.6	-	9.3	4.7	4.7	2.3	4.7
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	14	57.1	35.7	28.6	14.3	-	-	14.3	14.3	-	7.1
	仕事(学業)利用のみ	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
時系別	2015年	43	44.2	39.5	27.9	16.3	-	2.3	4.7	11.6	-	7.0
	2014年	47	57.4	40.4	29.8	21.3	2.1	17.0	8.5	17.0	-	4.3

5-2-13.セキュリティ被害・トラブル時に対処をしなかった理由

■ セキュリティ被害・トラブル時に対処をしなかった理由について最も高いのは、「対処の必要性を感じなかった」(50.0%)である。次いで「面倒だった」(25.0%)、「何をしてもよいかわからなかった」(25.0%)と続く。
 ※サンプル数が少ないため、参考値

【Q19】 対処を何もしなかった理由をすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=スマートデバイスのウイルス感染により被害にあったが、対処しなかった人(Q17)



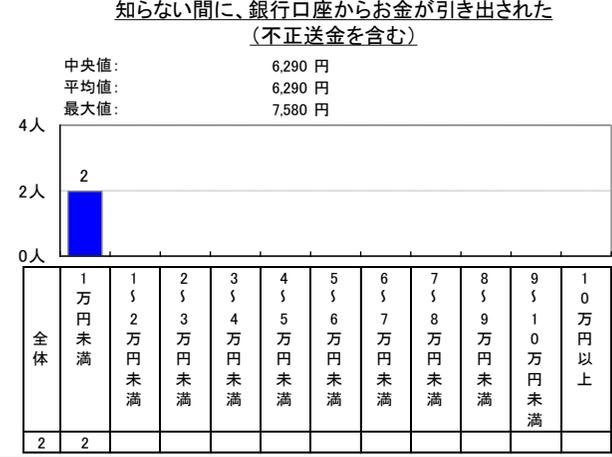
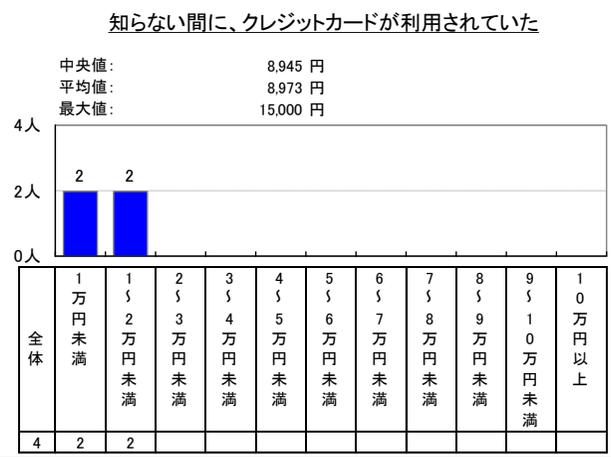
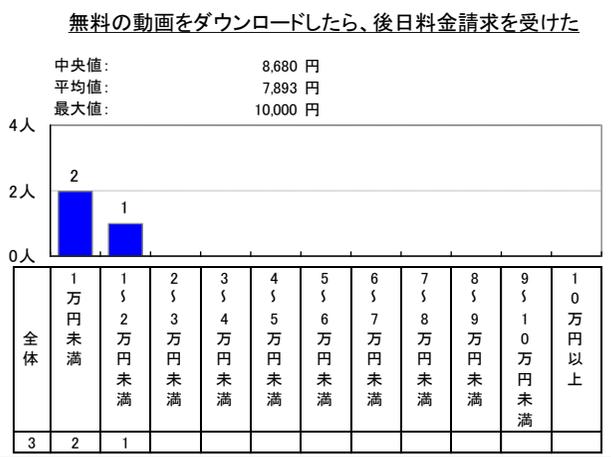
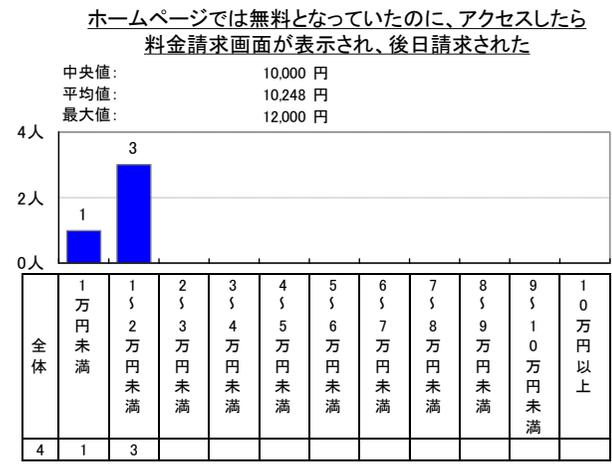
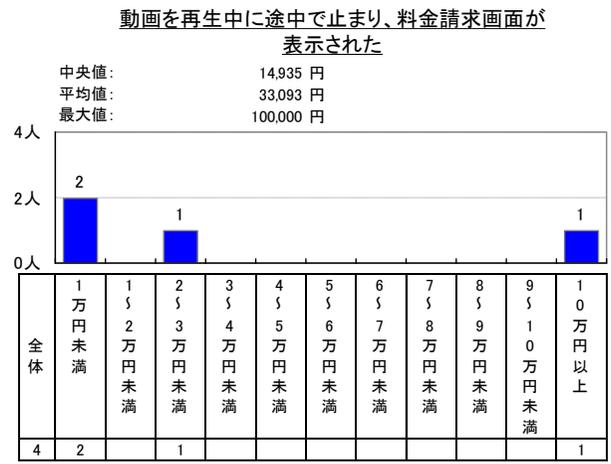
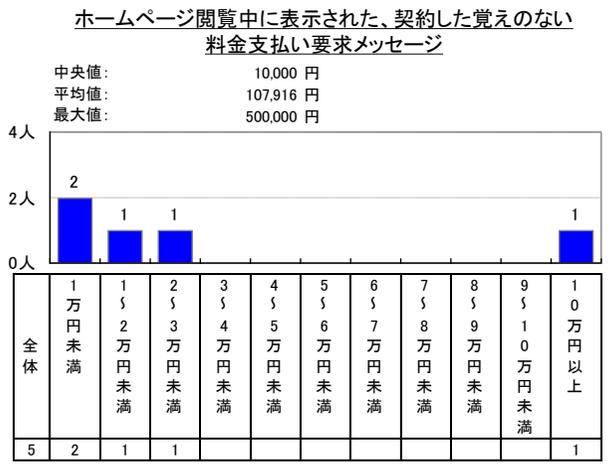
		全体	対処の必要性を感じなかった	面倒だった	何をしてもよいかわからなかった	その他
全体		4	50.0	25.0	25.0	-
性別	男性	3	66.7	-	33.3	-
	女性	1	-	100.0	-	-
	10代	0	-	-	-	-
年代別	20代	0	-	-	-	-
	30代	2	50.0	-	50.0	-
	40代	1	100.0	-	-	-
	50代	1	-	100.0	-	-
	60代	0	-	-	-	-
	SD習熟度	レベル4	2	50.0	-	50.0
	レベル3	1	100.0	-	-	-
	レベル2	1	-	100.0	-	-
	レベル1	0	-	-	-	-
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	2	50.0	50.0	-	-
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1	-	-	100.0	-
	仕事(学業)利用のみ	1	100.0	-	-	-
時系別	2015年	3	100.0	33.3	33.3	-
	2014年	2	50.0	50.0	-	-

■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

5-2-14.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額①

■ 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害について、「ホームページ閲覧中に表示された、契約した覚えのない料金支払い要求メッセージ」は最も被害者が多く（5人）、1万円未満が2人、中央値は10,000円、平均値は107,916円、最大被害額は50万円であった。
 ※サンプル数が少ないため、参考値

【Q20】 Q17でお答えの、スマートデバイスでウイルス（マルウェア）に感染したことによるトラブルや金銭的な被害について、それぞれ過去1年間で被った具体的な被害額をご記入ください。※金銭的な被害を被っていないトラブルについては「0円」とご記入ください。
 n=「不正な請求メッセージの表示」「金銭的な被害」を被った者(Q17)

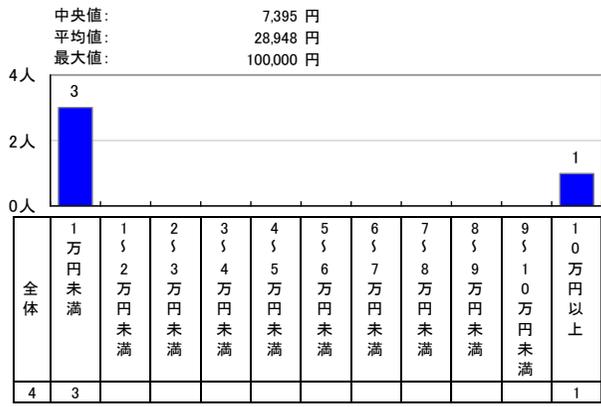


5-2-14.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭的被害額②

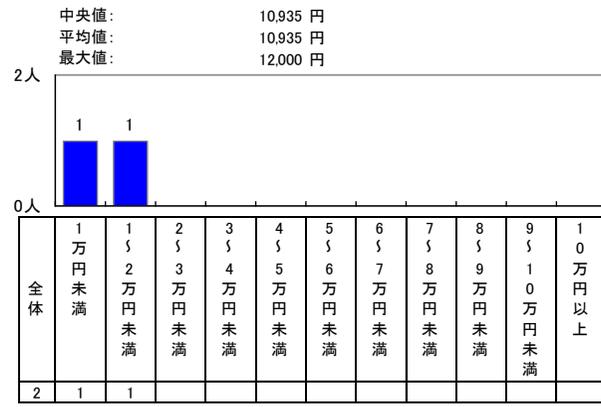
■ 「オンラインゲームでの被害」は1万円未満の被害額が多く中央値は7,395円、平均値は28,948円である。
 ※サンプル数が少ないため、参考値

【Q20】 Q17でお答えの、スマートデバイスでウイルス（マルウェア）に感染したことによるトラブルや金銭的な被害について、それぞれ過去1年間で被った具体的な被害額をご記入ください。※金銭的な被害を被っていないトラブルについては「0円」とご記入ください。
 n=「不正な請求メッセージの表示」「金銭的な被害」を被った者(Q17)

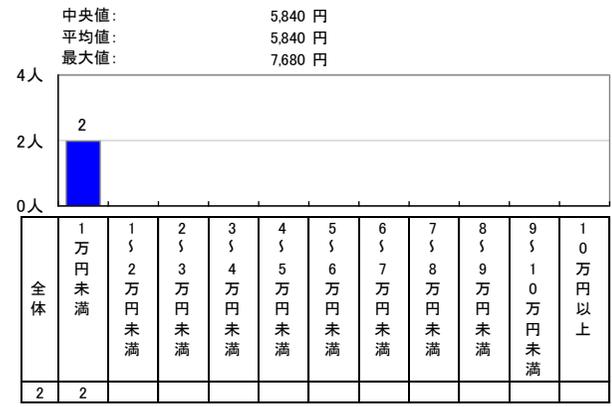
オンラインゲームでの被害



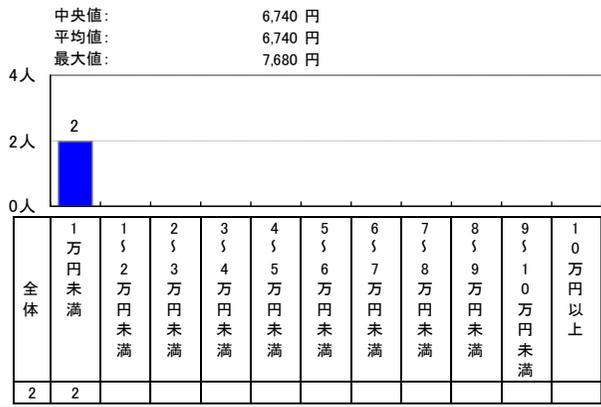
ネットオークションでの被害



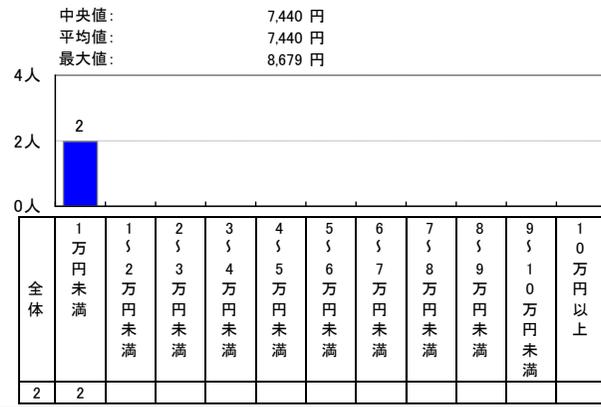
要求された電子マネーなどの購入額



トラブル対応のために有償サービスを利用した費用



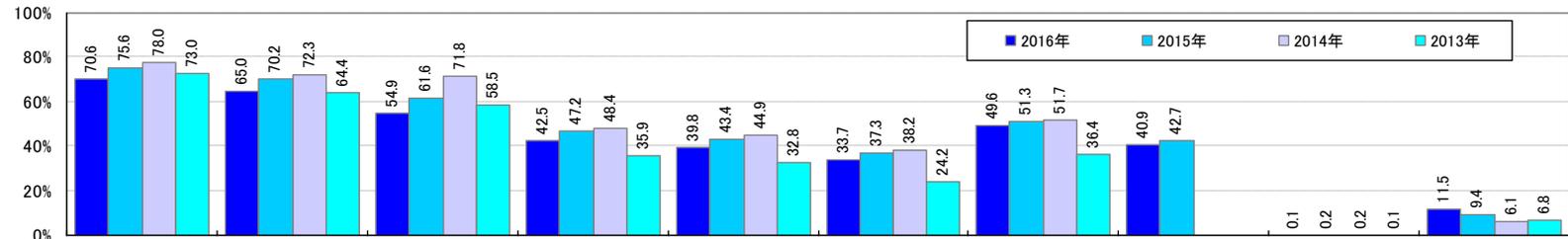
その他



5-2-15.スマートデバイス利用時の不安

- スマートデバイス利用時の不安について最も高いのは、「データ（メールアドレス等の個人情報）が盗難・漏えいすること」（70.6%）である。次いで「第三者に不正利用されること（自動発信、有料サービス利用、データ送信、など）」（65.0%）、「不正アプリによるマルウェア等のウイルスに感染し不正利用されること（自動発信、有料サービス利用、データ送信、など）」（54.9%）、「ワンクリック請求で詐欺に遭うこと」（49.6%）と続く。
- 年代でみると60代は「ワンクリック請求で詐欺に遭うこと」の割合が全体よりも10.2ポイント高い。
- SD習熟度でみると、レベル1は「不安に感じるものはない」の割合が全体よりも17.7ポイント高い。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事（学業）利用のみは「不安に感じるものはない」の割合が全体よりも34.4ポイント高い。
- 前年（2015年）と比較すると、「データが盗難・漏えいすること」が5.0ポイント、「第三者に不正利用されること」が5.2ポイント、「不正アプリによるマルウェア等のウイルスに感染し不正利用されること」が6.7ポイント減少している。「スマートデバイス本体が紛失、盗難すること」が4.7ポイント、「位置情報を取得され、行動履歴が漏えいすること」が3.6ポイント、「スマートデバイスの使用履歴が漏えいすること」が3.6ポイントとやや減少している。

【Q21】 スマートデバイスを利用する上で、どのようなことに不安を感じますか。あてはまるものをすべて選択してください。（お答えはいくつでも）

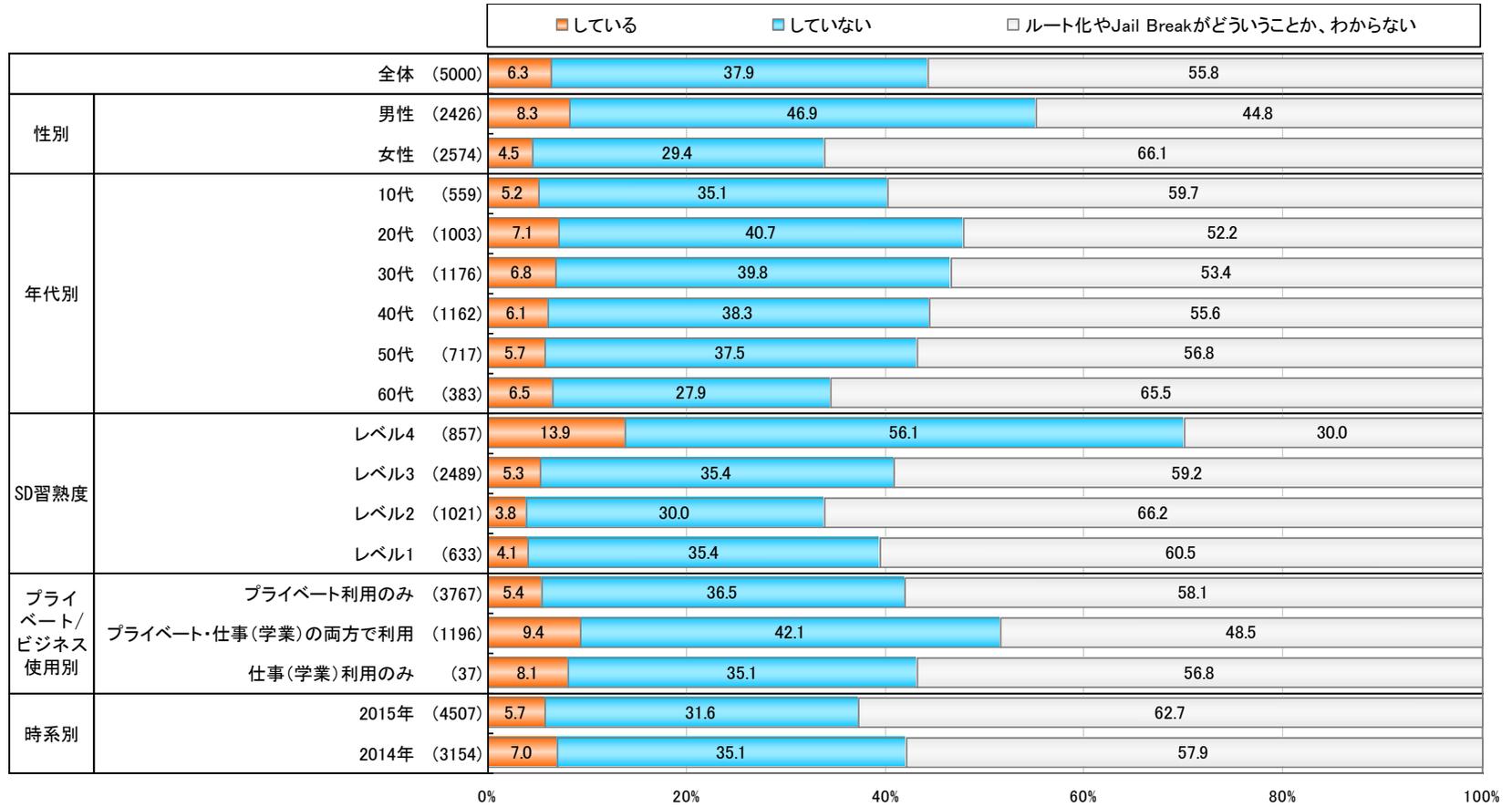


属性	属性	n	不安を感じる項目別の割合（%）									
			データ（メールアドレス等の個人情報）が盗難・漏えいすること	第三者に不正利用されること（自動発信、有料サービス利用、データ送信、など）	不正アプリによるマルウェア等のウイルスに感染し不正利用されること（自動発信、有料サービス利用、データ送信、など）	スマートデバイス本体が紛失、盗難すること	位置情報を取得され、行動履歴が漏えいすること	スマートデバイスの使用履歴（アプリ使用履歴や通話履歴）が漏えいすること	ワンクリック請求で詐欺に遭うこと	不正アプリによるマルウェア等のウイルスに感染しスマートデバイスがロックされ利用できなくなること	その他	不安に感じるものはない
全体	全体	5000	70.6	65.0	54.9	42.5	39.8	33.7	49.6	40.9	0.1	11.5
性別	男性	2426	64.7	60.4	53.3	39.0	32.2	28.2	42.2	36.3	0.1	13.9
	女性	2574	76.1	69.4	56.3	45.8	46.9	39.0	56.7	45.3	0.0	9.3
年代別	10代	559	72.3	67.8	56.4	43.5	40.1	32.7	50.6	42.0	-	11.3
	20代	1003	67.2	60.2	50.4	40.3	41.0	32.2	43.2	38.5	0.1	14.1
	30代	1176	67.9	61.8	53.0	40.7	40.3	32.7	45.9	37.3	0.1	13.7
	40代	1162	72.4	65.2	53.9	43.7	41.5	36.1	51.1	41.8	0.1	11.4
	50代	717	75.6	70.0	60.4	46.0	36.5	36.1	56.2	45.0	0.1	7.7
	60代	383	70.2	73.6	62.7	42.0	35.2	30.5	59.8	46.2	-	6.3
SD習熟度	レベル4	857	67.7	57.2	53.0	43.4	37.0	32.2	39.8	37.2	-	12.1
	レベル3	2489	75.3	72.0	61.5	46.6	44.4	37.6	56.0	46.6	0.1	7.4
	レベル2	1021	72.1	67.7	53.1	42.2	39.0	32.4	52.9	40.6	0.1	10.1
	レベル1	633	53.2	44.2	34.1	25.8	26.5	22.7	32.5	23.9	0.2	29.2
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3767	70.4	64.9	53.9	41.7	39.3	33.3	50.2	40.7	0.1	11.6
	プライベート・仕事（学業）の両方で利用	1196	72.1	66.6	58.8	45.7	41.6	35.5	48.9	42.3	0.1	10.4
	仕事（学業）利用のみ	37	35.1	29.7	27.0	18.9	24.3	18.9	18.9	13.5	-	45.9
時系列	2015年	5000	75.6	70.2	61.6	47.2	43.4	37.3	51.3	42.7	0.2	9.4
	2014年	3500	78.0	72.3	71.8	48.4	44.9	38.2	51.7	42.7	0.2	6.1
	2013年	2066	73.0	64.4	58.5	35.9	32.8	24.2	36.4	36.4	0.1	6.8

5-2-16.ルート化やJailbreakの設定経験

- ルート化やJailbreakの設定経験について最も高いのは、「ルート化やJail Breakがどういうことか、わからない」(55.8%)である。次いで「していない」(37.9%)、「している」(6.3%)と続く。
- 性別でみると、女性は「ルート化やJail Breakがどういうことか、わからない」の割合が全体よりも10.3ポイント高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は「していない」の割合が全体よりも18.2ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「していない」が6.3ポイント増加している。反対に「ルート化やJail Breakがどういうことか、わからない」が6.9ポイント減少している。

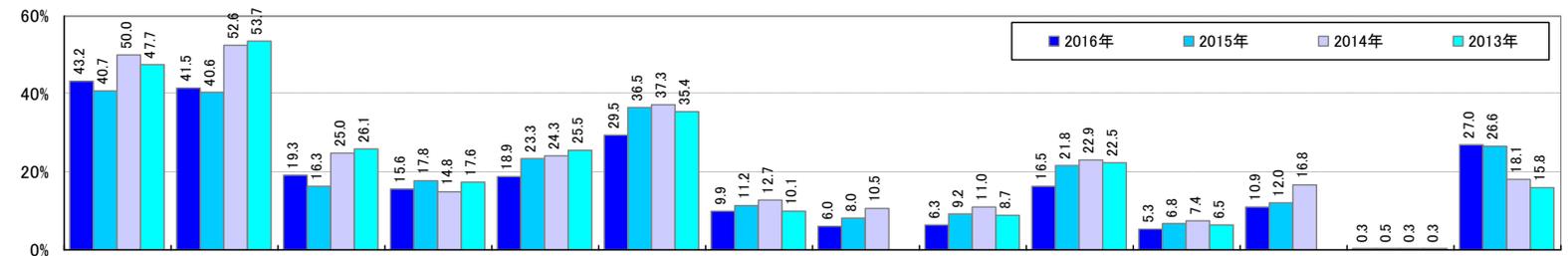
【Q22】 スマートデバイスに対して、Androidならばルート化、iOSならばJailBreakをしていますか。(お答えは1つ)



5-2-17.スマートデバイスのセキュリティ対策の実施状況

- スマートデバイスのセキュリティ対策の実施状況について最も高いのは、「(可能な場合) OS (オペレーティングシステム) のアップデート」(43.2%)である。次いで「信頼できる場所(公式サイト)からアプリをインストールする」(41.5%)、「インストールしたアプリのアップデート」(29.5%)、「特にない」(27.0%)と続く。
- SD習熟度でみると、レベル4は「(可能な場合) OS (オペレーティングシステム) のアップデート」の割合が全体よりも18.2ポイント、レベル1は「特にない」の割合が全体よりも28.3ポイント高い。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「特にない」の割合が全体よりも21.6ポイント高い。
- 前年(2015年)と比較すると、「アプリをインストールする前にアクセス許可を確認する(Androidのみ)」が3.0ポイントとやや増加している。反対に「インストールしたアプリのアップデート」が7.0ポイント、「パスワードやパターン、顔認証などによる画面ロック機能」が5.3ポイントと減少している。「ウイルス検知等のセキュリティソフトやサービス(無償)の導入」が4.4ポイントとやや減少している。

【Q23】 あなた自身が所有するスマートデバイスや自宅のネットワークについて、現在実施しているセキュリティ対策をすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



■ 全体+10%以上
■ 全体+5%以上
■ 全体-5%以下
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

属性	全体	OSのアップデート	信頼できる場所からアプリをインストールする	インストールしたアプリのアップデート	特にない	その他										
全体	5000	43.2	41.5	19.3	15.6	18.9	29.5	9.9	6.0	6.3	16.5	5.3	10.9	0.3	27.0	
性別	男性	2426	51.0	43.8	21.4	18.3	20.1	31.2	10.5	7.4	8.0	17.1	5.2	10.5	0.2	23.7
	女性	2574	35.7	39.4	17.3	13.2	17.8	27.9	9.4	4.7	4.6	15.9	5.4	11.2	0.3	30.1
年代別	10代	559	42.2	42.2	18.8	14.5	14.3	25.0	9.5	5.9	4.5	18.6	3.2	8.4	0.4	26.3
	20代	1003	37.9	37.8	19.6	11.0	16.7	28.2	9.7	4.6	4.5	18.8	5.6	11.1	0.1	31.3
	30代	1176	41.3	38.0	19.6	13.7	19.4	28.2	9.1	6.2	6.2	14.5	5.1	10.1	0.3	29.8
	40代	1162	44.0	42.7	19.2	18.2	18.9	30.8	9.9	6.3	5.9	15.8	5.2	11.4	0.1	26.7
	50代	717	52.4	47.4	18.4	18.5	21.6	32.6	11.6	7.0	10.3	16.2	6.7	12.8	0.8	21.1
	60代	383	44.1	46.2	20.4	22.2	25.3	33.2	11.0	6.8	7.0	16.2	5.7	10.7	-	20.1
SD習熟度	レベル4	857	61.4	49.4	24.2	19.8	21.6	38.9	16.0	13.9	13.5	22.9	9.7	18.6	0.1	18.2
	レベル3	2489	48.7	49.7	21.8	16.2	22.1	36.0	10.3	5.6	6.0	19.6	5.4	12.4	0.1	20.2
	レベル2	1021	29.3	31.1	14.9	15.3	15.6	17.1	6.8	3.2	3.4	11.3	3.7	5.8	0.4	33.3
	レベル1	633	19.1	15.2	10.3	8.2	8.5	10.9	5.4	1.6	2.1	4.3	1.4	2.5	0.8	55.3
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3767	41.6	40.0	19.0	15.2	19.2	28.7	9.3	5.0	5.5	15.7	5.0	9.9	0.2	28.5
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1196	48.7	47.0	20.2	17.1	18.6	32.8	12.0	9.4	8.8	19.5	6.4	14.2	0.3	21.5
	仕事(学業)利用のみ	37	24.3	13.5	18.9	13.5	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	2.7	-	2.7	-	48.6
時系列	2015年	5000	40.7	40.6	16.3	17.8	23.3	36.5	11.2	9.2	9.2	21.8	6.8	12.0	0.5	26.6
	2014年	3500	50.0	52.6	25.0	14.8	24.3	37.3	12.7	10.5	11.0	22.9	7.4	16.8	0.3	18.1
	2013年	2066	47.7	53.7	26.1	17.6	25.5	35.4	10.1	8.7	8.7	22.5	6.5	16.8	0.3	15.8